

ベトナム社会主義共和国
北西部山岳地域農村開発プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成25年6月
(2013年)

独立行政法人国際協力機構
ベトナム事務所

ベト事
J R
13-081

ベトナム社会主義共和国
北西部山岳地域農村開発プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成25年6月
(2013年)

独立行政法人国際協力機構
ベトナム事務所

序 文

ベトナム社会主義共和国（以下、「ベトナム」と記す）は、経済発展が急速に進む一方で、産業間・地域間の経済的格差が顕著となるなどの問題が顕在化してきております。特に、ベトナム人口の70%超が居住する農村部において、その多くが不安定な農業収入に依存しているという現状の改善と、地方農村部の開発を通して住民の生計向上を図ることが、同国が格差拡大に伴う社会の不安定化を防ぎつつ持続的な成長を遂げるための重要な鍵となっております。特に、北西部山岳地域4省（ライチャウ省、ディエンビエン省、ソンラ省、ホアビン省）は、少数民族が人口の約8割を占め、貧困率もいまだ50%近く（2010年）、貧困削減重点地域とされております。

ここで、ディエンビエン省においては、農業は年率約5%で成長している基幹産業となっており、主な作物はコメ、トウモロコシ、ダイズとなっております。特にコメは販売用としてディエンビエンフー市やハノイ市へ輸送されており、一部はラオス国へ輸出されているなど、ディエンビエン米は、ブランド米として一定のステイタスを確立しております。しかしながら、水利条件が比較的良いとされるディエンビエン省のディエンビエン郡以外の郡は全国平均と比べて生産性が低く、また、行政機関の予算及び人材数、能力の不足等により、農業生産を支える行政の役割も限定的です。

このような背景の下、JICAは2010年8月より2015年7月までの5年間の予定で「北西部山岳地域農村開発プロジェクト」を実施しております。

プロジェクトは、ディエンビエン省の農村開発を目標とし、主要農産物の栽培、収穫後処理、販売の方法及びアプローチの改善、水資源配分及び灌漑施設管理の体制強化、関連する地方行政（省、郡、村の人民委員会）及びその下部組織、大衆組織や農業系企業の農村開発のための能力向上により、地方行政組織を核とした体制強化と農村開発の促進を支援してきました。

今回の調査では、プロジェクト協力期間の中間時点となる2013年3月に、既存PDM及び活動計画に基づき、プロジェクトの投入実績、活動実績、計画達成度を調査・確認し、問題点を整理するとともに、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点から、本プロジェクトの目標達成度や成果等を分析するとともに、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について確認しました。

本調査の実施にあたり、ご協力をいただいたベトナム国関係機関並びにわが国関係各位に対し、厚く御礼を申し上げますとともに、当機構の業務に対して今後とも一層のご支援をお願いする次第です。

平成25年6月

独立行政法人国際協力機構

ベトナム事務所長 森 睦也

目 次

序 文

目 次

プロジェクト位置図

写 真

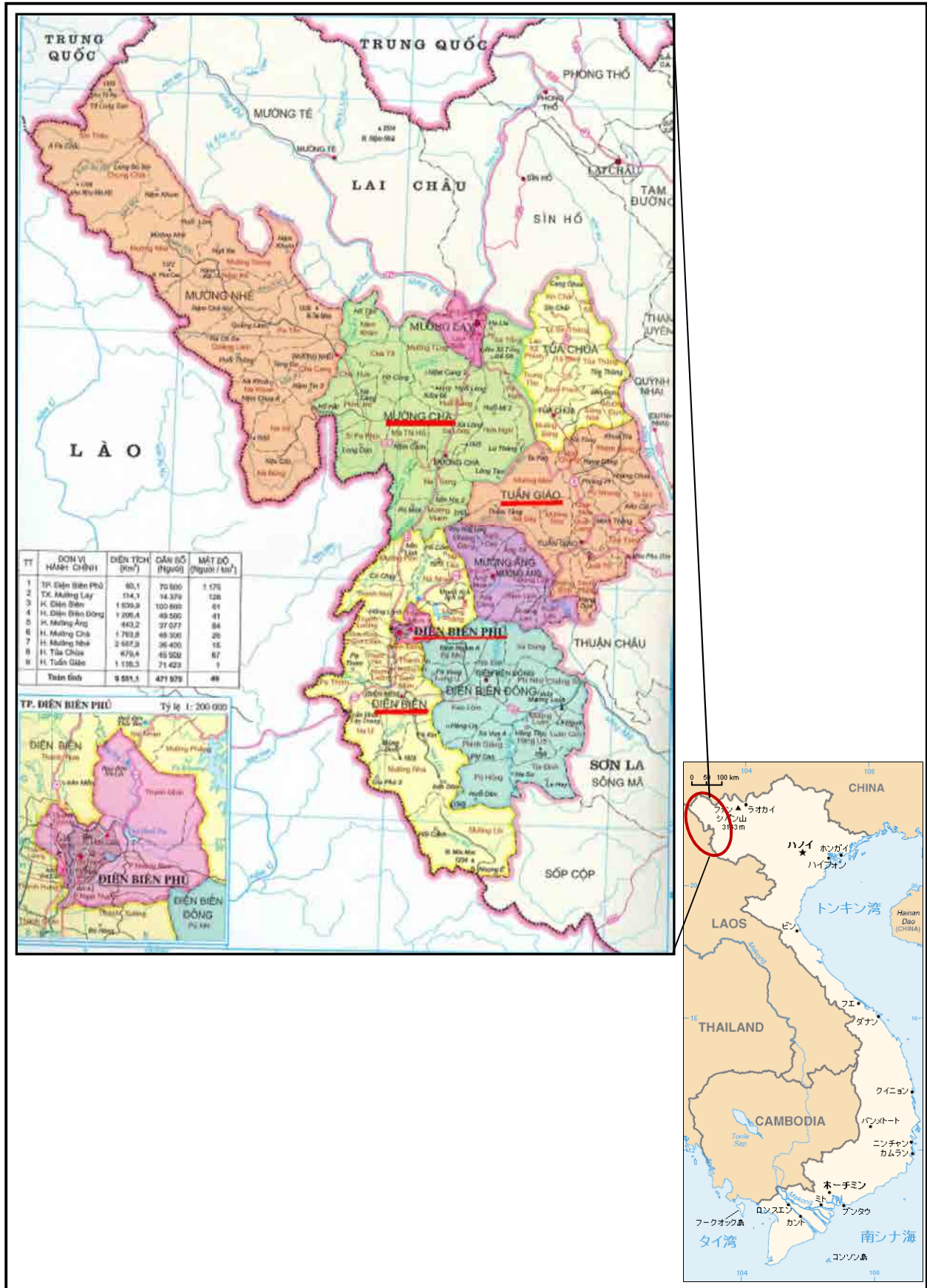
略語表

評価調査結果要約表（和文・英文）

第1章 中間レビューの概要	1
1-1 調査団派遣の目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査団派遣日程	1
第2章 中間レビューの方法	3
2-1 評価の手法	3
2-2 評価の方針	3
2-3 主な調査項目と情報・データ収集方法	3
2-3-1 調査項目	4
2-3-2 データの内容と収集方法	4
第3章 プロジェクトの達成状況	5
3-1 投入実績	5
3-1-1 日本側投入実績	5
3-1-2 ベトナム側投入実績	5
3-2 活動の達成状況	6
3-3 アウトプットの達成状況	8
3-4 プロジェクト目標の達成度	10
3-5 上位目標の達成度	10
第4章 プロジェクト実施体制	11
4-1 報告システム	11
4-2 合同調整委員会（JCC）	11
4-3 省及び郡のプロジェクト管理ユニット（PMU）会議	11
第5章 評価5項目による評価	12
5-1 妥当性	12
5-2 有効性	13
5-3 効率性	13

5-4	インパクト	14
5-5	持続性	15
5-6	効果発現に係る貢献・阻害要因	16
第6章 結論		18
第7章 提言		19
7-1	PDMの改訂	19
7-2	灌漑施設維持管理	19
7-3	技術交換	19
7-4	ベトナム人人材の活用	19
第8章 教訓		20
8-1	事前調査段階で確認すべき事項	20
8-2	相手国実施機関との間で事前及び実施中に確認すべき点	20
8-3	他スキーム、他ドナーとの連携	21
8-4	ベトナムでの他案件を実施する際に留意すべき点	21
付属資料		
1.	合同中間レビュー調査報告書（英語）	25
2.	活動実績	81
3.	投入実績	86
4.	PDM Version 1.0（英語）、PO Version 1.0（英語）、 改訂 PDM Version 2.0（英語・日本語）	108
5.	PDM 変更箇所と理由	114
6.	評価グリッド調査結果表	128
7.	面談者リスト	145
8.	現地収集資料リスト	147

プロジェクト位置図



写 真



DB 郡 PMU 議長



DB 郡人民委員会



DB 郡 PMU メンバー



DB 郡 Thanh Hung コミュニオン



DB 郡有機肥料づくり



DB 郡実証展示圃場に設置した普及用看板



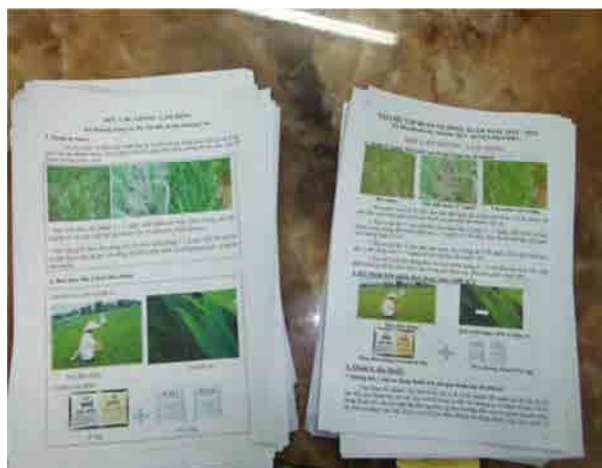
DB 郡灌漑整備予定地



MC 郡灌漑整備予定地



現在使用されている普及用資料



プロジェクトで作成配布予定の普及用教材



TG 郡 Muong Mun コミュニティ



DB 郡 Noong Het コミュニティ



TG 郡 Quai Cang コミューン



MC 郡 PMU1



MC 郡 PMU2



MC 郡 PMU3



MC 郡 Ma Thi Ho コミューン



MC 郡 Muong Tung コミューン



プロジェクト・ディレクター／DARD 局長表敬



第2回 JCC 会合



ディエンビエンフー市内マーケット1



ディエンビエンフー市内マーケット2



MC 郡実証展示圃



MC 郡実証展示圃に設置した普及用看板

略 語 表

C/P	Counterpart	同僚、共働者
CPC	Commune People's Committee	コミューン人民委員会
DARD	Department of Agriculture and Rural Development	農業農村開発局
DB	Dien Bien	ディエンビエン（地名）
DBD	Dien Bien District	ディエンビエン郡
DBP	Dien Bien Province	ディエンビエン省
FB	Feed Back	フィードバック
GDP	Gross Domestic Product	国内総生産
GoV	Government of Vietnam	ベトナム政府
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
JPY	Japanese Yen	日本円
MARD	Ministry of Agriculture and Rural Development	農村農業開発省
MC	Muong Cha	ムオンチャ（地名）
MCD	Muong Cha District	ムオンチャ郡
NIAPP	National Institute of Agricultural Planning and Projection	農業計画・企画国立研究所
NORRD	Northwest Region Rural Development	北西部山岳地域農村開発
OJT	On-the-Job Training	オンザジョブ・トレーニング
OVI	Objectively Verifiable Indicator	指標
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PMU	Project Management Unit	プロジェクト管理組織
PO	Plan of Operations	活動計画
R/D	Record of Discussion	討議議事録
SEDP	Social and Economic Development Plan	社会経済開発計画
TG	Tuan Giao	タンジャオ（地名）
T/G	Target Group	ターゲットグループ（プロジェクト対象）
TGD	Tuan Giao District	タンジャオ郡
USD	United States Dolla	米国ドル
VND	Vietnamese Dong	ベトナムドン

WMC	Water Management Committee	水管理委員会
W/S	Workshop	ワークショップ
WUG	Water User Group	水利組合

評価調査結果要約表（和文）

1. 案件の概要	
国名：ベトナム社会主義共和国	案件名：北西部山岳地域農村開発プロジェクト (NORRD)
分野：農業・農村開発	援助形態：技術協力プログラム
所管部署：JICA ベトナム事務所	協力金額（評価時点）1億4,300万円
	相手国関係機関：ディエンビエン省（DBP）農業農村開発局（DARD）、郡人民委員会
協力期間	2010年8月～2015年7月（5年間）
	(R/D)：2010年6月23日
日本側協力機関：農林水産省	
1-1 協力の背景と概要	
<p>ベトナム社会主義共和国（以下、「ベトナム」と記す）は、人口8,784万人（2011年）、国民1人当たりのGDPは1,300USD（2011年ベトナム国統計局）、「ドイモイ（刷新）政策」導入以降、市場経済の導入等で著しい経済成長を遂げる一方、都市・地方間の格差が拡大傾向にあり、同国の持続的発展にとって格差是正が大きな課題となっている。なかでも、北西部山岳地域4省（ライチャウ省、ディエンビエン省、ソンラ省、ホアビン省）は、少数民族が人口の約8割を占め、貧困率もいまだ50%近く（2010年）と、貧困削減重点地域とされている。</p> <p>このうちディエンビエン省（Dien Bien Province：DBP）において農業はGDPの37%、雇用の79.6%を占め、年率約5%（2000～2005年平均）で成長している基幹産業である。主な作物はコメ、トウモロコシ、ダイズであり、2009年目標生産量はそれぞれ約14万5,000t、6万7,000t、1万5,000tを掲げている。特にコメは販売用としてディエンビエンフー市やハノイ市へ輸送されており、一部はラオス国へ輸出されている。しかし、水利条件が比較的良好とされるDBPのディエンビエン郡（Dien Bien District：DBD）以外の郡は、灌漑設備の整備が不十分なため冬水稲を作付けできる土地が少なく二期作が困難であるなど、全国平均と比べてその生産性は低い。平地の少ない郡では山間傾斜地で森林伐採を行い、キャッサバやトウモロコシ等の自給用食料が生産されており環境への負荷が高い等の課題が見受けられる。また、行政機関の予算及び人材数、能力の不足等により、農業生産を支える普及員等行政の役割も限定的である。</p> <p>このような背景の下、ベトナム政府は、わが国に対し、北西部地域の牽引産業として競争力のある農業の振興を図るための技術協力を要請した。この要請に基づき、DBPにおいて基幹産業として地域開発の牽引力となることが期待される農業について、①主要農産物の栽培、収穫後処理、販売の方法及びアプローチの改善、②水資源配分及び灌漑施設管理の体制強化、③関連する地方行政（省、郡、村の人民委員会）及びその下部組織、大衆組織や農業系企業の農村開発のための能力向上により、地方行政組織を核とした体制強化と農村開発の促進をめざす「北西部山岳地域農村開発プロジェクト」（以下、「プロジェクト」）が、ベトナム側とJICAの合意により、2010年8月より2015年7月までの5年間の予定で実施されている。本プロジェクトは、DBP農業農村開発局（Department of Agriculture and Rural Development：DARD）をカウンターパート（Counterpart：C/P）機関、対象3郡〔DBD、タンジャオ郡（Tuan Giao District：TGD）、ムオンチャ郡（Muong Cha District：MCD）〕の人民委員会を関係機関に定め、各郡に設置した計6つのパイロットサイトで活動を進めている。</p> <p>プロジェクト協力期間の中間地点として実施する今回の調査では、既存PDM及び活動計画</p>	

(Plan of Operations : PO) に基づき、プロジェクトの投入実績、活動実績、計画達成度を調査・確認し、問題点を整理するとともに、評価5項目の観点から、プロジェクトチーム、ベトナム側関係者と共に、本プロジェクトの中間レビューを実施し、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について確認し、合同評価報告書（和文・英文）に取りまとめ、合意することを目的とする。

1-2 協力内容（PDM Version 1.0 に基づく）

(1) 上位目標：ディエンビエン省において、農村開発が促進される。

(2) プロジェクト目標：パイロット郡において、市場志向の農産物の生産、加工、販売の推進のための郡行政機関を中核とした体制の強化を通じて、農村開発が促進される。

(3) アウトプット

1. パイロット郡で、水稻、とうもろこし、大豆等の農産物の生産、加工、販売の手法が改善される。
2. パイロット郡で水資源の配分が効率化するとともに、灌漑施設管理が改善される。
3. 地方政府（省、郡、コミューン）職員及び関係組織、大衆組織・農民組織や農業系企業の市場志向の農産物の生産、加工、販売体制強化を通じた農村開発に係る能力が向上する。

(4) 投入（評価時点）

1) 日本側

- ・ 専門家派遣：長期専門家派遣 3名、短期専門家派遣 延べ5人、運営指導 2名
- ・ 機材供与：約 572 万円
- ・ ローカルコスト負担：約 2,416 万円（1～3 年次合計）
- ・ 研修員派遣（本邦研修）：C/P 研修 13 名（ほか、集団研修 7 名）

2) ベトナム側

- ・ 主な C/P 人材の配置：30 名
 [プロジェクト・ディレクター：DBP-DARD 局長、プロジェクト・マネジャー：DBP-DARD 農業部長、C/P：28 名（省の PMU：7 名、郡の PMU：21 名）]
- ・ 施設提供：DARD 内 2 室をプロジェクト執務室として提供、棚机、椅子等備品を配置、会議室等の利用

2. レビュー調査団の概要

団員 構成	日本側											
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">団長</td> <td style="width: 30%;">佐藤 武明</td> <td style="width: 50%;">(JICA 客員専門員)</td> </tr> <tr> <td>総合農村開発</td> <td>横井 英治</td> <td>(農林水産省)</td> </tr> <tr> <td>協力企画</td> <td>山本 聡</td> <td>(JICA ベトナム事務所)</td> </tr> <tr> <td>評価分析</td> <td>白井 和子</td> <td>(株式会社 VSOC)</td> </tr> </table>	団長	佐藤 武明	(JICA 客員専門員)	総合農村開発	横井 英治	(農林水産省)	協力企画	山本 聡	(JICA ベトナム事務所)	評価分析	白井 和子
団長	佐藤 武明	(JICA 客員専門員)										
総合農村開発	横井 英治	(農林水産省)										
協力企画	山本 聡	(JICA ベトナム事務所)										
評価分析	白井 和子	(株式会社 VSOC)										
	ベトナム側											
	<p>Mr. Tran Kim Long Deputy Director General, International Cooperation Department, Ministry of Agriculture and Rural Development (MARD)</p>											

	<p>Mr. Nguyen Anh Minh Director, Bilateral Cooperation Division, International Cooperation Department, Ministry of Agriculture and Rural Development (MARD)</p>
--	--

調査期間	2013年3月4～17日
------	--------------

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) プロジェクト目標の達成状況

現行 PDM に記載された指標に基づき、達成度を測ることは困難であったことから、評価団は関係者から得られた定性的な情報を基に以下のとおり達成度を分析することとした。

現行プロジェクト目標：パイロット郡において、市場志向の農産物の生産、加工、販売の推進のための郡行政機関を中核とした体制の強化を通じて、農村開発が促進される。

指 標	達成状況
<p><i>指標：1</i> パイロット郡における農家の農業粗利益が平均 XX%増加する。</p>	<p>パイロットコミュニティの幾つかの農家によれば、既にコメ生産により収入が向上し、有機肥料生産により幾らかの支出減となった。行政官の能力を向上させつつ PDM に記載された活動を継続し実施していくことにより、プロジェクト後半に更に農業が向上すると期待できる。</p>
<p><i>指標：2</i> パイロット郡において、水稻、とうもろこし、大豆等、市場志向の農作物生産量が XX%以上、販売量が XX%以上、販売額が XX%以上増える。</p>	<p>DBD は販売志向の農作物を販売に重点をおいた普及サービスを受けることによって増やしていくことが可能である。他方、現在でも TGD と MCD ではコメ不足により自給はままならず、主に自家用に栽培している。したがって、指標が示す達成レベルは DBD と TGD、MCD とは異なると考えられる。</p>

(2) アウトプットの達成度

アウトプット1は、おおむね達成されつつある。有機肥料の導入によりその使い方は向上し、高品質の種子は実証圃場にて栽培試験中である。他方、DBD 郡では販売量が増えているが、他の2郡では現在も自給目的でコメを生産している。

幾つかの農家で既に二期作が始まっており、水管理組合が形成されつつあり、参加型水管理手法を習得しつつあることから、アウトプット2も達成されつつあるといえる。

他方、アウトプット1及び2共通で、パイロット郡以外のガイドライン／マニュアルの使用については、その作成自体がプロジェクトの4年次以降を予定していることから、現時点において達成は困難であると見込まれる。

アウトプット3については、パイロットコミュニティの普及員の50%、郡普及員を含むプロジェクト管理組織 (Project Management Unit : PMU) のメンバーが研修に参加し普及に関する理解を深めているが、パイロット郡以外の拡大のためのアクションプランの実行可能性については困難であると見込まれる。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性

妥当性は中程度である。

ベトナムは、「社会経済開発5カ年計画（2011～2015）」において工業国家をめざしつつ、農村経済と農業生産への投資を増加させ、コメ生産地方と農家を保護する政策を実施している。また、少数民族、山岳地等貧困地域の住民の生活安定を図っている。さらに、新開発国家目標プログラムにおいても貧困コミュニティを対象にさまざまな農村開発事業が展開されている。こうした政策や国家事業はプロジェクトの対象地域や趣旨と合致している。

実施機関である DBP-DARD の役割は、農家に対し適切な栽培方法を教え、農業インプットを削減し、省内の経済格差を農業を通じて是正していくことにある。コメ、トウモロコシ、ダイズといった主要作物の増産は最優先事項であり、プロジェクト目標との整合性は高い。また、ターゲットグループ（Target Group : T/G）である郡の行政官、コミュニティレベルの普及員の農業、灌漑に関する技術や知識は向上する必要がある、日本の技術に対するニーズは高い。

一方で、プロジェクトの現行プロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix : PDM）で示された T/G とプロジェクト目標との非整合、指標と各レベルの目標との不一致など計画内容が不明確であり、関係者のプロジェクトの意図の理解に大きく影響を及ぼしてきた。特に指標については、政府統計の信頼性は低い一方で生産量や販売量の数値による評価が想定され、かつ3郡の違い（DBD は販売も含められるがその他2郡は販売までは達成可能性が極めて低いなど）に関する現状が考慮されていない。こうした点から PDM の大幅な変更が必要と考えられる。

(2) 有効性

有効性は中程度である。

プロジェクト目標の各指標を定量的に測ることは、ベトナムの統計情報が不確かであるため困難であり、定性的な情報からの分析となった。パイロットコミュニティの農家からは対象作物の生産量の増加が確認され、今後ともプロジェクト活動を通じた増産は見込まれる。一方で、DBD は販売目的に農作物を栽培しているが、それ以外の対象2郡は未だ自給用に対象作物を栽培しており、プロジェクト終了まで、市場志向の農産物、販売量の増加は不透明である。

アウトプットのプロジェクト目標達成への貢献については、論理的に栽培手法や灌漑管理手法が改善され、地方政府職員の能力が向上すれば生産物の増産は見込めるものの、各アウトプットの指標の論理的な構成は不明確であり、指標の達成度からの判断は困難である。

(3) 効率性

効率性は中程度である。

各アウトプットの達成度については、上述のとおり統計上の問題から正確な数値による評価は困難である。インタビュー結果等、定性的にはパイロットコミュニティでの肥料の使用法方法は有機肥料導入により改善されつつあり、優良種子の試験栽培が実証圃場で行われている。また、灌漑施設管理については参加型水管理手法が紹介され各パイロットコミュニティにおいて水利組合（Water User Group : WUG）の設立が進んでいる。対象パイロ

トコミュニケーションの農業普及員の半数は研修に参加し、プロジェクトの進める普及方法や参加型水管理手法に関する理解度は深まっているが、まだ改善の余地は残されている。さらに、ガイドライン／マニュアルは3年次以降に作成が予定されており、アウトプット1及び2で目標とされる対象外パイロットコミュニケーションでの使用までは困難であり、アウトプット3のアクションプラン策定も4年次から5年次に向け予定されていることからパイロット郡以外で実行可能と評価される見通しは困難である。かかるアウトプットの達成への日本側、ベトナム側双方の専門家、C/P配置の遅れが活動の進捗に大きく影響を及ぼした。

(4) インパクト

上位目標であるアクションプランのパイロット郡以外での活用に向け、プロジェクトではガイドライン／マニュアルの作成を今後予定しており、パイロット郡全体の農産物生産量は今後も普及活動の強化を通じ、ある程度の見込みがある。また、プロジェクトで導入を図りつつある有機肥料作成は、化学肥料の使用量を抑え、パイロットコミュニケーションの農家の経済面、環境面、衛生面でのインパクトを既にもたらし、一部のターゲット郡では、肥料生産のプロセスで生じる木酢液を活用し家畜にも良い影響を与えている。

また、プロジェクトはモン族が大半を占める対象郡において灌漑用水を利用した水稻栽培技術の導入を進めており、かかる技術に対するパイロット農家の更なる認識の変化が観察された。

さらに、パイロットコミュニケーションの女性はプロジェクトの研修にも積極的に参加し、コメ等の作物栽培技術に関する知識を高める機会を得ている。

(5) 持続性

持続性はやや高い。

山岳地、少数民族の支援に重点を置くベトナムの政策は維持される見込みである。また、農業を促進する DBP-DARD の予算は堅調を維持し、日本のコメ等の栽培技術の維持、普及に前向きである。郡、コミュニケーションレベルの普及員の数は絶対的に不足し、普及体制は強化される必要があるが、貧困地域のコミュニケーションには多少の優遇措置が講じられている。また、研修教材など普及の質向上も持続性にかんがみつつ、プロジェクトで普及効果を示していくことにより継続的かつ拡大した地域での使用が期待される。農家については、少ない投資でコメ等の生産量を上げることに極めて敏感であり、プロジェクトにて導入されつつある栽培技術を継続していく明らかな意思表示が確認された。参加型灌漑管理についてはなお理解促進のための時間を要するとみられるものの、忍耐強い活動が持続性を担保するうえでも求められている。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

プロジェクト目標の指標とプロジェクト終了時の到達点が不整合であるものの、活動の内容や順列には大きな問題はなく、また、開始が遅れたものの現在は計画内容に沿って活動が実施されている。

(2) 実施プロセスに関すること

プロジェクト開始当初から10カ月間は、現状調査や準備ワークショップ(Workshop: W/S)が重点的に行われ、研修や試験栽培の開始は2011年6月以降となった。一方、綿密

な現状調査が行われたことで農家の課題が明確となり、それに沿った技術を移転するに至っているとみえる。

プロジェクト・ディレクターのリーダーシップ及び、途中交代したプロジェクト・マネージャーのプロジェクトへの理解、省 PMU の毎週及び月例会議、郡 PMU との月例会議を通じた C/P と日本人専門家間の密なコミュニケーションは活動を円滑に進めるうえで貢献している。

3-4 問題点及びその要因

(1) 計画内容に関すること

現行 PDM は、T/G とプロジェクト目標との関連があいまい、かつ、プロジェクト目標とアウトプットの指標と各レベル達成とのずれがあり、論理的にプロジェクトの到達点やアウトプットの達成状況を測ることが極めて困難である。こうした背景は関係者間のプロジェクトの方向性や内容の理解へ大きな障壁となったことは否めない。

(2) 実施プロセスに関すること

プロジェクトは、ベトナム北西部地域で初めての農村開発分野の JICA 技術協力プロジェクトであり、プロジェクトの意義や技術協力プロジェクトとしての実施方法を理解するために一定の時間を要した。

3-5 結論

本プロジェクトは、ベトナム北西部地域における最初の農村開発プロジェクトである。プロジェクト開始当初は、専門家派遣やベトナム側 C/P の配置の遅れ、先方が日本のプロジェクトを理解するまでに時間がかかったことなどさまざまな困難もあったが、双方の努力の結果、最近は良い成果が現れつつある。

PDM 上の上位目標、プロジェクト目標、アウトプットの表現と、その達成度を測る指標が不整合であったため、評価団は DARD スタッフや農家へのインタビューを通じて、主に定性的な観点から達成度を評価した。他方、目標やアウトプットの各表現と指標には不整合があるものの、プロジェクトは農家への栽培技術のさまざまなオプションを示すことなどにより、コメ、トウモロコシ、ダイズの生産量増加に貢献していることが確認できた。有機肥料の導入による衛生面での改善などの正のインパクトも既に一部では発現している。また、組織、財政、技術の主要な三本柱の持続性は、将来のプロジェクトにとって特に重要であるが、好調なベトナム経済も反映して比較的高いと判断される。

これらを踏まえて、以下に述べる提言に従って若干の活動の変更を行い、プロジェクトは残りの期間の活動を続けることとする。

3-6 提言

3-6-1 PDM の改訂

(1) プロジェクト目標

プロジェクト目標は変更しない。他方、指標については、プロジェクト期間にパイロット集落よりも広い地域に影響を及ぼすことは困難と予想されることから、測定する対象は、「パイロット郡」の代わりに「パイロット集落」とすべきである。また、農村開発が促進された状況を、農業粗利益や生産量などの個別指標で測ることは困難なことや、統計にやや正確さを欠くことも考慮すると、「営農状態の向上」という総合的指標に置き

換えるべきである。指標の入手については、営農状態は統計情報のみならず、インタビュー調査、アンケート調査及び試験栽培結果を基に評価すべきである。

(2) 上位目標

上位目標の達成時期や行動計画の利用者を指標の中で明確にし、プロジェクト目標の指標の部分と同様に、現在の指標を営農状態の向上という総合的指標に置き換えるべきである。

(3) アウトプット

アウトプット1については、パイロット集落で作成される改善計画は、各郡の状況に応じ内容を精査すべきである。また、アウトプット2については、重要なことは如何に灌漑施設を農民たちが管理していくかであり、指標は WUG への支援を通じた農民の能力向上へより焦点を絞るべきである。

3-6-2 灌漑施設維持管理

作物生産量を増加させるための重要な道具である灌漑施設は、農民によって適切に管理されなければならない。現時点では、すべての集落に水管理組合や灌漑管理の規則があるわけではない。これらがまだない集落においては、適切な設計や維持管理のためにも、各灌漑系統に早急に水管理組合の設立や規則を制定していくべきである。

3-6-3 技術交換

パイロット集落ではさまざまな試みがなされているが、農村開発の相乗効果を生み出すために、お互いが訪問しあうことにより、それぞれの良いところや自分の集落に応用すべきことを学ぶべきである。また、パイロット集落同士の視察以外にも、省内にいくつか存在する先進地区の視察も強く推奨される。

3-6-4 ベトナム人人材の活用

ベトナム国内の人材は、効果的・効率的なプロジェクトの実施のために必要に応じ活用されるべきである。彼らは言語や文化の面からもプロジェクト活動に優位に働くことが期待される。例として、日本人専門家の確保が難しいポストハーベストや販売の分野で、ベトナム人専門家が参加することによって日本人専門家をサポートすることができれば大きな助けになる。

評価調査結果要約票（英文）

I. Outline of the Project		
Country: Socialist Republic of Viet Nam		Project Title: The Northwest Region Rural Development (NORRD)
Issue/Sector: Agriculture / Rural Development		Cooperation Scheme: Technical Cooperation Project
Division in charge: Viet Nam Office		Total cost: 143,000,000 yen (as of March, 2013)
		Partner Country's Implementing Organization: Department of Agriculture and Rural Development (DARD)
Period of Cooperation:	August 1, 2010 – July 31, 2015 (Five (5) years)	Supporting Agencies on Japanese side: Ministry of Agriculture, Forestry and Fishery
	R/D signing: 23 rd June 2013	
<p>1-1. Background of the Project</p> <p>With the population of 87,840,000 (2011), GDP per capital of USD 1,300 (General Department of Statistics, 2011) and under the “Doi Moi” (renewal) Policy that leads to the vigorous economic growth with the application of market-economy mechanisms, the economic gap between urban and rural areas tends to be expanded. And the reduction of this gap has become as a major problem for the sustainable development of Vietnam. In the four provinces in the Northwest of Vietnam, including Lai Chau, Dien Bien (hereinafter ‘DBP’), Son La and Hoa Binh provinces, about 80% of local population is attributed to ethnic minority groups and the rate of poor household accounts to about 50% (2010). This is a focal area for hunger eradication and poverty reduction.</p> <p>In these four provinces, the agriculture sector of DBP, which is generating 37% of the provincial GDP and creating job opportunities for 79.9% of local people, is regarded as the key economic sector with the annual growth rate of about 5% (average rate 2000 - 2005). Major agriculture products are rice, maize and soy bean with the total production of 145,000 tons, 67,000 tons and 15,000 tons respectively in 2009. Rice, in particular, is not only consumed in Dien Bien Phu City, but also in Ha Noi and exported to Laos. As the brand of DB rice is famous and highly preferred by Vietnamese consumers for its prominent taste, its price is high. However, except DB District (hereinafter ‘DBD’) with favorable irrigation conditions, the productivity of rice cultivation in other districts in DB Province is lower than the mean productivity nation-wide. Due to the lack of irrigation facilities, the land available for double rice cropping per year is limited and rice productivity is low as compared with that of national scale. In addition, in the districts with the scarcity of flat land, the clearance of forest for shifting cultivation with maize and cassava as the major crops for self-consumption affects the environment. The role of local government authorities in supporting agricultural production is limited due to the shortage of state budget, human resource and capacity as well.</p> <p>In this context, the Government of Vietnam (‘hereinafter, ‘GoV’) has requested the Government of Japan technical cooperation project for strengthening of agriculture so that it could be a key sector of the Northwest region.</p>		
<p>1-2. Project Overview</p> <p>(1)Overall Goal: The rural development in DBP is promoted.</p> <p>(2)Project Purpose: The rural development in the pilot districts is promoted through strengthening the system, as district government being the core thrust force, to improve the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products</p>		

(3)Outputs:

1. The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize, etc. are improved in the Pilot District
2. Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot District
3. The capacity of rural development of local government such as provincial, district and commune people's committee and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises is improved through strengthening the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products

(4)Inputs up to Evaluation**Japanese side**

- Experts specialized in crop cultivation and irrigation areas have been dispatched to Viet Nam up to date.
- JY 143,331,500 was allocated as the total of project cost of dispatch of Japanese experts, provision of equipment, and local cost.
- 20 (participatory water management and rural development) of C/P were dispatched for training in Japan.

Viet Names side

- 23 officials from DARD including representatives from Commune People's Committee (herein after 'CPC') are appointed as main C/P.
- 2 Project offices in DARD have been provided for Japanese experts and project staff, as well as for project meetings.

II. Evaluation Team

Vietnamese side	<p>Mr. Tran Kim Long: Deputy Director General, International Cooperation Department, Ministry of Agriculture and Rural Development</p> <p>Mr. Nguyen Anh Minh: Director, Bilateral Cooperation Division, International Cooperation Department, Ministry of Agriculture and Rural Development</p>
Japanese side	<p>Mr. Takeaki SATO : Team Leader, Visiting Senior Advisor, JICA Headquarter</p> <p>Mr. Eiji YOKOI : Integrated Rural Development, Overseas Land Improvement Cooperation Office, Designing Division, Rural Infrastructure Department, Rural Development Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fishery, Japan</p> <p>Mr. Satoshi YAMAMOTO: Cooperation Planning, Project Formulation Advisor, JICA Vietnam</p> <p>Ms. Kazuko SHIRAI: Analysis and Review, VSOC Co., Ltd.</p>
Schedule of survey	March 4, 2013 to March 17 , 2013

III. Results of Evaluation**3-1. Project Performance****(1) Project Purpose**

It is very difficult to evaluate the achievement of the Project based on the Objectively Verifiable Indicators (hereinafter, 'OVI') described in the present PDM, since the OVI and achievement are not well matched. Therefore, the review team (hereinafter 'the team') decided to analyze the present level of achievement and prospects with the qualitative information collected from stakeholders.

Current Project Purpose: The rural development in the pilot districts is promoted through strengthening the system, as district government being the core thrust force, to improve the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products

Current OVI: See bellow table.

Indicator	Achievement result
1) Average gross profit of farmers in the pilot district increases by XX% in average	Some of farmers at the pilot communes explained their profit out of rice production has increased, and saved some money by producing organic fertilizers. With the activities planned in PDM, the farmers are expected to improve their farming in the latter part of project period through strengthened local government officers.
2) Production, amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy rice, maize and soy beans increase by more than XX% respectively in Pilot Districts	DBD has potential to increase sales, value of sales of market oriented agricultural production with more market- focused extension services. In two districts (Tuan Giao district (hereinafter 'TGD') and Muong Cha district (hereinafter 'MCD')), rice is produced for self-consumption because the people have scarce of rice. Also, livestock such as pig and buffalo is sold for cash. Therefore, the project goal for DBD, TGD and MCD may differ.

(2) Outputs

Output1 has been partly achieved. Through introduction of organic fertilizer composts, some of pilot farmers have improved their practices in using fertilizer, and high quality seeds are in a process of test cultivation. On the other hand, while sales volume is somewhat increasing in DBD, rice is still produced mainly for self-consumption in other two target districts. Also, some of OVIs are unclear to measure the achievement of Output 1.

Some pilot farmers already started double cropping and Water User Groups (hereinafter 'WUG's) have been formed to practice participatory water management, which describe that some parts of Output 2 have been achieved. The Project expects that the implementation plan will be executed only in the pilot villages, since the Project will establish guideline/manuals for dissemination in 4th to 5th project year.

With regard to Output 3, 50% of extension workers at commune level in pilot communes, Project Management Unit (hereinafter 'PMU') members including extension workers at district level participated to training on extension. However, practice of action plan in non-target districts in DBP is not evaluable at present, since the action plan will be formulated 4th to 5th project year.

3-2. Summary of Evaluation Results

(1) Relevancy: Moderate

The GoV states its economic goal in the Social and Economic Development Plan of 2011-2015 in which it will increase investment on rural economy and agriculture production while seeking for industrialization of the nation, as well as implement policies for promotion of rice cultivation. Also GoV implements the National Target Program for New Rural Development, which is focusing on poorest communes to facilitate variety of rural development. The Project objectives are consistent with these policies and programs of GoV

The role of DARD as the implementing organization of the Project is to introduce appropriate measures of crop cultivation to farmers, using less input and to narrow the development gap among districts in DBP. For DARD, increase of rice, maize and soy beans production is the highest priority, which proves high consistency with the Project purpose. Also, since it is necessary for extension workers at district and commune levels to improve their knowledge and skills in agriculture and participatory water management, Japanese technologies have been more than welcomed to introduce. With regard to the present PDM, however, OVI do not match with the project purpose or the target group. Such unclear contents of plan effected understanding of the project concept among stakeholders of both Japanese and Vietnamese sides. Especially OVI should be more clearly mentioned with clear target figure, and revision of the whole parts of OVI in the present PDM is strongly recommended so as to make the achievement of Project as measurable.

(2) Effectiveness: Moderate

Since it is difficult to evaluate the achievement of the Project Purpose quantitatively, the team decided to evaluate it qualitatively by analyzing collected information from stakeholders. The team identified that the pilot farmers already increased crop production and they will continue to increase with project supports. On the other hand, it is also clear that DBD where increase in sales of production is possibly foreseen, while farmers in other two pilot districts are still producing rice mainly for self-consumption. As for logicity of achievement of outputs and the project purpose, it is still true that if crop cultivation and irrigation measures improved through better services from local government staff, the crop production will also increase. The problem is illogical or unclear setting of OVI of outputs from which is difficult to verify the contribution of outputs to achievement of the Project Purpose.

(3) Efficiency: Moderate

As stated above, it is difficult to evaluate the achievement of three outputs quantitatively. With qualitative points of view, interviewed pilot farmers reported that they were aware of better usage of fertilizer, and high quality seeds are tested its applicability in demonstration farms. Participatory irrigation management system is introduced in the pilot communes mostly where the WUGs are already formed. About 50% of extension workers at district and commune level participated in training in order to understand and practice extension tools and styles as well as participatory irrigation system that the Project introduces. However, it is difficult to judge how much guideline/manuals will be used in non-target communes, since the materials will be formulated in 4th to 5th project year. It is also difficult to foresee that the action plan will be regarded as useful by stakeholders in non-target districts, since the plan will be made by the end of the Project. Delay of dispatch of Japanese experts and appointment of the C/P placement caused a delay of the progress of the activity, and those factors influenced to the achievement of the Outputs.

(4) Impact: Some positive impacts are already observed.

The Project plans to formulate guideline/manuals to disseminate action plan in non-target districts in DBP, it is expected that crop production will increase through strengthened government staff in the province in future. Also, organic fertilizer composts introduced by the Project have already positive impact to reduction of chemical fertilizer, cleaner environment and even better health of cattle of some pilot farmers. The Project introduces paddy rice cultivation technology using irrigation water in the target area where the ethnic group mostly live in, and the team observed that pilot farmers are gradually aware of new technology of rice cultivation for settlement. Women in the pilot communes actively participated in the training and obtain further knowledge of crop cultivation.

(5) Sustainability: Relatively high

The national policy which prioritizes to improve livelihood of farmers living in mountainous areas and ethnic groups will be sustained. Budget of DARD of DBP to promote agriculture also will steadily increase, and DARD positively expresses to sustain and disseminate crop cultivation technology that the Project transfers. With very much limited number of extension workers at both districts and commune levels, it is still necessary to improve the quality of extension services for better crop cultivation and irrigation management in future. In order to tackle variety of problems of farmers, DARD appoints additional workers in poorer communes.

The Project is collaborating with organizations such as Agriculture Center and Plant Protection Center in the target districts, and it is expected that staffs will sustain transferred extension tools and training styles for better extension services in future as well. Pilot farmers are extremely positive in adopting new technologies on crop cultivation, and expressed that they would continuously use it even after the Project ends. With regard to participatory irrigation management system, however, it would take some time for farmers and even District PMU members to understand its objectives clearly.

3-3. Contributing factors for achievement of the Project

(1) Factors concerning to Planning

Although the OVI of the Project Purpose and the achievement level are inconsistent, contents and the order of the activities are appropriately set, and the Project catches up the schedule described in PO at present.

(2) Factors concerning to Implementation process

The Project focused on baseline survey and preparatory workshops (hereinafter, 'W/S') in the first 10 months, and started training and testing cultivation after June 2011. Through such careful survey and preparation, the issues of the farmers were clearly identified, and the Project was able to transfer the knowledge and skills based on the findings and information to meet farmers' needs.

The leadership of the Project Director and understanding of the present Project Manager, close communication between Japanese experts and Provincial PMU and District PMU through weekly and monthly meeting gradually contribute to smooth implementation of the project activities.

3-4. Inhibiting factors for achievement of the Project

(1) Factors concerning to Planning

In the present PDM, relation between target group and the Project Purpose is unclear and there are gaps between OVI of the Project Purpose and Outputs, thus it is difficult to measure the achievement of the Project and contribution of the outputs logically. Such background largely affected the understanding of direction and the contents of the Project among the people concerned.

(2) Factors concerning to Implementation process

The Project was the first JICA technical cooperation project for rural development in northwestern part in Vietnam and it needed some time for the stakeholders to understand the objectives of the Project and how to implement it.

3-5. Conclusion

The Project was the first JICA technical cooperation project for rural development in northwestern part in Vietnam, and there was a difficulty in dispatching Japanese expert and the C/P appointment at the beginning of the Project. However, certain achievements of the Project are identified by both efforts at present. Since OVI set in PDM and the achievement to be measured are not corresponded, the team decided to analyze the achievement in qualitative viewpoint from information collected through interviews in pilot farmers and Provincial and District PMU.

The Project indeed contributed to increase of production of rice, maize and soybean up to date by transferring various farming techniques to pilot farmers. In addition, the impacts such as the hygiene improvement by the organic fertilizer production were confirmed as well. Sustainability was evaluated as relatively high in viewpoints of organizational, financial, and technical aspects. While the activity of the Project needs some changes based on the following recommendations, it is expected that the Project will implement them continuously.

3-6. Recommendations

3-6-1. Revision of PDM

(1) Project Purpose

The achievement of Project Purpose should be measured in pilot village instead of pilot district. As to the OVI, it is difficult to evaluate the situation where rural development was promoted by individual OVI such as gross agricultural profit and/or amount of products. Therefore, current OVI should be replaced with comprehensive OVI, namely farming status. For means of verification, farming status is assessed by questionnaire survey and results of experimental cultivation in addition to statistics information.

(2) Overall Goal

Specific date of achievement of overall goal and main user of action plan should be clarified in the OVI. Similarly as stated in the part of the OVI of project purpose, current OVI should be replaced with comprehensive indicator, namely farming status.

(3) Output

For Output 1, improvement plan described in OVI should be elaborated depending on districts condition. Regarding Output 2, OVI should be modified to focus on capacity development of farmers through support to WUG.

3-6-2. Operation and Maintenance of Irrigation Facilities

Irrigation facility, which is the major tool for increasing crop production, needs proper management by farmers. At present not all of the villages have their WUG and regulations on irrigation management. The village where WUG and regulations does not exist should establish and enact them at each irrigation scheme urgently for appropriate design and operation/maintenance.

3-6-3. Technical Exchange

Exchange views and opinions between the pilot village members should be carried out in order to learn advantage of each village and to generate synergetic effects of rural development.

3-6-4. Mobilization of National Resources

National human resources should be used for effective and efficient project implementation if need be. They often give the Project advantages for carrying out project activities from the view point of language and culture etc. For instance, Vietnamese experts' participation in the Project could be a great help to technology transfer of postharvest and marketing area as supporters to Japanese experts. Project could be a great help to technology transfer of postharvest and marketing area as supporters to Japanese experts.

第1章 中間レビューの概要

1-1 調査団派遣の目的

本中間レビュー調査の目的は以下のとおり。

- (1) プロジェクトの進捗を、現行プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM Version 1.0) と活動計画 (PO Version 1.0) を基にして確認する。PDM Version 1.0 と PO Version 1.0 については、付属資料4を参照のこと。
- (2) プロジェクト実施上の問題点や課題を明確にする。
- (3) PDM を見直し、必要であれば改定を行う。
- (4) 評価5項目 (妥当性、効果、効率性、インパクト、持続性) を用いてプロジェクトの達成の度合いを評価する。
- (5) プロジェクト目標を達成するために必要な協力期間終了時までの活動と対策について提言を行う。

1-2 調査団の構成

<日本側レビューメンバー>

氏名	担当業務	所属	現地調査期間
佐藤 武明	団長	JICA 客員専門員	3月10～17日
横井 英治	総合農村開発	農林水産省農村振興局整備部	3月10～17日
山本 聡	協力企画	JICA ベトナム事務所	3月10～17日
白井 和子	評価分析	株式会社 VSOC	3月04～17日

<ベトナム側レビューメンバー>

氏名	所属
Mr. Tran Kim Long	Deputy Director General, International Cooperation Department, Ministry of Agriculture and Rural Development (MARD)
Mr. Nguyen Anh Minh	Director, Bilateral Cooperation Division, International Cooperation Department, Ministry of Agriculture and Rural Development (MARD)

1-3 調査団派遣日程

本合同調査は、2013年3月4日から3月17日までの14日間、以下の日程のとおり実施された。

日 順	月 日	活 動	宿泊地
1	3/4 (月)	評価分析コンサルタント移動 (日本→ハノイ)、 JICA ベトナム事務所での団内協議	ハノイ
2	3/5 (火)	評価分析コンサルタント移動 (ハノイ→DB)、 プロジェクト日本人関係者との協議、インタビュー調査	ディエンビ エン (DB)
3	3/6 (水)	6カ所のパイロットサイト視察及び現地プロジェクト関 係者へのインタビュー調査、評価資料の取りまとめ	DB
4	3/7 (木)	同上	DB
5	3/8 (金)	同上	DB
6	3/9 (土)	同上	DB
7	3/10 (日)	総括、総合農村開発担当団員移動 (日本→ハノイ)、 JICA ベトナム事務所での団内協議	DB
8	3/11 (月)	総括、総合農村開発担当、協力企画移動 (ハノイ→DB)、 団内協議	DB
9	3/12 (火)	インタビュー調査結果、全収集資料の取りまとめ、分析、 及び中間レビュー報告書 (案) 作成	DB
10	3/13 (水)	午前：郡の C/P への中間レビュー結果 (案) の説明 午後：中間レビュー報告書 (案) 作成	DB
11	3/14 (木)	午前：中間レビュー報告書 (案) 作成 午後：プロジェクト・ディレクターとの協議	DB
12	3/15 (金)	午前：中間レビュー調査英文報告書最終化作業 午後：第 2 回合同調整委員会 (JCC)	DB
13	3/16 (土)	評価団員移動 (DB→ハノイ)、 本邦評価団員移動 (ハノイ→日本)	機内
14	3/17 (日)	本邦評価団員 日本到着	—

第2章 中間レビューの方法

2-1 評価の手法

日本側、ベトナム社会主義共和国（以下、「ベトナム」と記す）側レビューチームが合同で、「新 JICA 事業評価ガイドライン第1版」¹に基づき、現行 PDM（PDM Version 1.0）と評価5項目による評価手法を用い、①プロジェクトの達成、②実施プロセスの検証、③評価5項目の検証を行った。評価5項目を下表に示す。

妥当性	プロジェクトのターゲットグループ（Target Group：T/G）のニーズへの整合性、プロジェクト内容の先方政府と援助側の政策や優先順位との整合性、プロジェクトの戦略やアプローチの妥当性に関する視点。
有効性	プロジェクトの達成見込みと、その達成がアウトプットの達成によりもたらされるかに関する視点。
効率性	アウトプットの達成状況と投入がいかにアウトプットの達成に転換されているか（量的、質的観点）に関する視点。他のアプローチと比して最も効率的な方法を適用しているかも必要に応じ問う。
インパクト	上位目標の達成見込みと、プロジェクトの直接／間接的影響。また、正／負、予期した／予期していない影響も確認する。
持続性	プロジェクト終了後にプロジェクトがもたらす影響と持続性を問う視点。

2-2 評価の方針

2013年2月21日に実施された本調査の対処方針に基づき、以下の点を評価方針として設定した。

- ・プロジェクトの実績を現行版 PDM Version 1.0 に沿ってまとめ確認する。
- ・評価5項目の視点を用い、事実・根拠に基づく将来の見込みの結果としての各項目の評価を導くと同時に、これまでのプロジェクトの達成への成功要因／阻害要因を明らかにする。
- ・5項目のなかでも、プロジェクト目標の達成見込み（有効性）、アウトプットの達成状況と投入との関連（効率性）、各レベルの指標などに特に着目し注意深く考察する。
- ・PDM Version 1.0 の論理性、指標、活動を精査し、今後のプロジェクトの円滑な事業運営に生かすと同時に、より適切に終了時評価を行えるような PDM 改訂版作成をめざす。

2-3 主な調査項目と情報・データ収集方法

評価グリッドに基づき、評価5項目それぞれに調査項目を設置した。また、データ収集方法は5項目共通に適宜活用した。なお、調査項目、方法及び調査結果の詳細については、付属資料6「評価グリッド調査結果表」を参照のこと。

¹ 新 JICA 事業評価ガイドライン【実践編】第1版（執務要領）P70-73 表14「中間レビューの主な視点」（JICA 評価部、2010年10月）

2-3-1 調査項目

(1) 妥当性

ベトナムの政策、農村開発事業との整合性、カウンターパート（Counterpart：C/P）や T/G のニーズとの合致等

(2) 有効性

プロジェクト目標（農産物の生産から販売推進のための郡行政機関体制の強化を通じた農業開発促進）の達成度（見込）及び指標の適切性、3つのアウトプットのプロジェクト目標達成への論理的貢献、外部条件の現状等

(3) 効率性

各アウトプットの達成及び指標の適切性、インプット（人材、資機材、資金）の有効活用、他事業との連携等

(4) インパクト

上位目標の達成度及び指標の適切性、政策、T/G への影響等

(5) 持続性

政策の維持の見込み、財政面の将来的展望、体制と技術の維持普及等

2-3-2 データの内容と収集方法

情報収集方法には、プロジェクト報告書、政策文書等を用いた文献の分析、一連の議論、農業セクターの省、郡、コミュニケーションレベルの関係政府職員等へのインタビュー（個人、グループ）、プロジェクトサイト視察等が含まれる。

第3章 プロジェクトの達成状況

3-1 投入実績

投入実績については、日本側及びベトナム側より収集し、取りまとめた。付属資料3「投入実績一覧」を参照のこと。なお、以下に各投入実績の概要を示す。

3-1-1 日本側投入実績

(1) 専門家派遣

本プロジェクトには、①総括／農村開発、②灌漑／水資源管理／水管理組織、及び③業務調整／研修計画の長期専門家3名が派遣されている。

また、短期専門家は①作物栽培、②営農計画、③小規模灌漑施設整備、栽培技術普及の分野で派遣されているほか、作物栽培と普及分野に運営指導専門家が派遣されている。

(2) 研修（本邦研修）

これまで、13名のC/Pを小規模灌漑施設整備に関するC/P研修に派遣した。また、農民参加型水管理システム、農民参加による農業農村開発をテーマとした集団研修にも計8名が参加した。研修参加後は、省のプロジェクト管理組織（Project Management Unit : PMU）、郡のPMUにおいて経験と情報の共有を図った。

(3) 機材供与

これまで、車両2台、プロジェクト事務所PC等事務機器、測量機器等、約572万円相当の機材を供与した。また、一部の車両については、JICA北西部水源地域における持続可能な森林管理プロジェクトとの共同運用がなされている。

(4) ローカルコスト

ローカルコストとして、土壌調査、水稻栽培実態調査、流量調査等に係るローカルコンサルタント雇用費等のほか、2010年、2011年度のベトナム側プロジェクト運営費も会計上の理由から日本側が負担した。

3-1-2 ベトナム側投入実績

(1) プロジェクト要員

ベトナム政府は、本プロジェクトのC/Pとして、プロジェクト・ディレクターにディエンビエン省（Dien Bien Province : DBP）農業農村開発局（Department of Agriculture and Rural Development : DARD）局長、プロジェクト・マネジャーにDBP-DARD農業部長、パイロット3郡からPMUメンバーとして各7名（21名）の計23名を任命している。

(2) 施設・設備の提供

ベトナム政府はDBP-DARD内に、プロジェクトオフィスを2室専門家執務、会議等のため提供している。また、DARD内施設（会議室等）の利用もなされている。

(3) プロジェクト運営費

2012年度はPMU 給与ほか、電気光熱費、日当、備品購入、会議費等について76万4,900 VNDを負担した。

3-2 活動の達成状況

プロジェクトの詳細な活動については、1年目はベースライン調査、準備ワークショップ(Workshop: W/S)、日本人専門家派遣、C/Pの配置等に注力し、2年日以降現在に至るまでは、研修、実証圃場での栽培、灌漑のための水利組合(Water User Group: WUG)設立等、活動に応じて進捗している。付属資料2「活動実績」を参照のこと。

アウトプット1:パイロット3郡において、水稲、とうもろこし、大豆等の農産物の生産、加工、販売の手法が改善される。	
1-1 候補コミュニティにおいて、営農状況調査を行い、パイロットコミュニティ(パイロットコミュニティ)を選定する。	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトは情報収集とパイロットコミュニティ決定のための現地調査を実施した(2010/09-11)。 - 第1回JCC(2011/6/23)において、対象3郡及び郡内の6つのコミュニティを正式に決定した。
1-2 選定されたパイロットコミュニティにおいて、農産物の栽培、加工、販売状況、農村インフラ、灌漑システム、農業普及体制等についてのBL調査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトは農業計画・企画国立研究所(National Institute of Agricultural Planning and Projection: NIAPP)と契約を締結、ベースライン(BL)調査を実施した(2011/2-6)。第1次調査では、8カ所のパイロット集落を選定した。 - 第2次調査では、選定したパイロット集落における穀物栽培と灌漑に関する課題抽出のためのW/Sを開催した。 - プロジェクトは冬季/春季(2011/5-6)及び夏季/秋季(2011/10)の作物調査を実施し現状を把握した。
1-3 栽培、加工、販売に関するW/Sを実施し、その課題を抽出し農業と普及員の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトはパイロットコミュニティにおいて、プロジェクトの目的、活動、コミュニティの課題についての概要説明のためのW/Sを開催した(2011/7-8)。 - また、世帯調査も実施し、戸別農家の課題について詳細な情報を入手分析した(2012/9)。 - これらの調査を通じ、プロジェクトはコメ栽培に関し、種子の品質、病害虫対策、品種、肥料等の課題を抽出した。また、トウモロコシやダイズの情報も併せて収集した。
1-4 特定された課題を踏まえ、栽培、加工、販売に係る課題に対して、農業、普及員とともに改善計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> - コメ栽培のための実証圃場の十分な準備ができないまま季節を迎え、プロジェクトは試験を開始しなければならなかった。 - 農家のニーズに基づいて、プロジェクトは改善計画案を策定し、W/Sにおいて農家の合意を得た(2012/12)。
1-5 農家に対して栽培、加工、販売に関する研修を実施するとともに、研修内容が営農にいかに関用されているか確認する。	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトは選定した6つの集落で水稲、トウモロコシ栽培に関する研修を実施した。 - プロジェクトは乾期米栽培(2011/2012及び2012/2013)、雨季米栽培(2012)、及び春季/夏季のトウモロコシ、秋季/冬季のダイズ栽培に関する実証研修を開始した。 - プロジェクトはコメ、トウモロコシ、ダイズの栽培上発生する病害虫に関する研修を実施した。 - プロジェクトは今後、モデル農家が農薬希釈液の作成方法を適用し種子の準備を進めるか、次回の作付け期にモニタリングを行う予定。

	- プロジェクトは有機肥料生産に関する研修を実施し、バックマーにてリーダー研修を実施した（研修については付属資料3を参照のこと）。
1-6 パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング、検証するとともに、普及員が農家のニーズに根差した改善計画を策定し、実施するためのガイドライン／マニュアルを作成する。	- プロジェクトは PMU の会議を定期的開催し、プロジェクト活動のモニタリングを進めている。 - 改善計画はその基となる改善目標を既に設置している。ガイドライン／マニュアルは4年次に作成予定。
1-7 作成されたガイドライン／マニュアルに基づき郡内の他のコミュニティでの農業普及活動を普及員等が実践することを支援する OJT を実施する。	- プロジェクトは今後、パイロット郡以外の郡のコミュニティ用のガイドライン／マニュアルを使用したオンザジョブ・トレーニング（On-the-Job Training : OJT）の実施の有無、実施する場合の方法等について検討する。
アウトプット2：パイロット郡で水資源の配分が効率化するとともに、灌漑施設管理が改善される。	
2-1 水資源の利用等にかかわる課題について W/S を実施し、その課題を抽出し農家・灌漑施設管理者の理解を深める。	プロジェクトは以下の活動を実施してきた。 - ディエンビエン郡（Dien Bien District : DBD）政府職員向け小規模灌漑施設の計画、設計、及び灌漑の実施（2011/11）。 - DBD の、ソイルセメント水路の事前試験施工（2011/12）。 - 水利系統と灌漑地の測量調査による地図作成（2012/3）。 - パイロットサイトにおける水管理委員会（WMC） ² の設置と灌漑管理システムの構築（2012/5～6）。 - WMC を通じ灌漑とその管理に関する課題やニーズの特定（2012/8）及び農家との協議（2012/9～12）。
2-2 課題を踏まえ、すべての農家にとって効率的・効果的な水利用に関する改善計画を農家・灌漑施設管理者と共に策定し、実施する。	- 抽出した課題に基づき、プロジェクトは改善計画を策定し、WMC と共有を図った（2012/9～12）。 - プロジェクトは、農家の意見を設計に反映させることを念頭に置きつつ灌漑施設設計を外部業者へ委託した（2013/2～）。
2-3 農業施設管理者に対して水利用に関する研修を実施し、その実践状況を確認する。	- C/P は灌漑の管理システムについて農家に説明を行った。 - プロジェクトは河口取水施工や参加型水管理に関するセミナーを実施した。
2-4 パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング・検証するとともに灌漑施設管理者が農家のニーズに根差した改善計画を策定し、実施するためのガイドライン／マニュアルを作成する。	- プロジェクトは建設を開始したのち、モニタリングを開始する予定。 - ガイドライン／マニュアルは年間を通じた灌漑施設管理に関し記載するため、建設終了後に作成する（2014 年前後）。
2-5 作成されたガイドライン／マニュアルに基づき郡内の他のコミュニティで水質改善活動を灌漑施設管理者が実践することを支援する OJT を実施する。	- プロジェクトはガイドライン／マニュアルに基づいた水管理に関する OJT を5年次に実施する予定。

² Water Management Committee（WMC）はコミュニティ内の各集落に既に存在する水管理担当者により構成され、コミュニティ全体の水管理を行う委員会。

<p>2-6 農村水供給施設や道路等の農村インフラに関する課題を明確化し、農民と共に解決する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトはソイルセメント水路に関するプレテストを DBD スーンヘッドコミュニティで実施し、適用可能性検討と施工歩掛かり調査を行った (2011/12)。 - プロジェクトは地形地図作成用調査 (2012/2~3)、流量調査 (2012/2~3) も実施。 - 灌漑施設詳細設計書、入札書類、建設図面の作成に関する OJT (2013/1~) 実施中。
<p>アウトプット 3 : 地方政府 (省、郡、コミュニティ) 職員及び関係組織、大衆組織・農民組織や農業系企業の市場志向の農産物の生産、加工、販売体制強化を通じた農村開発に係る能力が向上する。</p>	
<p>3-1 普及員の知識・技術の向上及び意識の改善に必要な研修を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトは省・郡 PMU に対し以下の OJT を実施している。 - イネ収量調査法、トウモロコシ収量調査法、稲作水管理方法に関する OJT (2011/11) 及び研修 (2012/5) - 水稻実証栽培のモニタリング及び登熟度調査に関するセミナー (2012/7) - フェ・バックマーでの有機質肥料づくりリーダー育成研修 (2013/1) - 郡植物防疫センター職員向け OJT
<p>3-2 地方政府 (省、郡、コミュニティ) 職員及び関連組織、大衆組織・農民組織や農業系企業に対して、プロジェクト活動の FB セミナーや農村開発に関する研修を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトは郡 PMU (水管理担当の C/P) 向けスタディツアーをファンリー・ファンティエットで実施中の JICA 農業開発プロジェクトにて実施し、施工業者との契約業務や施工管理について学習する機会を提供した。(2012/7)。
<p>3-3 パイロット郡で構築した成果をパイロット郡以外のディエンビエン省内の郡へ普及するための道筋を示した活動計画等 (アクションプラン) を策定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトは活動計画書を 5 年次に作成予定。

3-3 アウトプットの達成状況

PDM Version 1.0 版で示された指標に基づくアウトプットの達成状況は以下のとおり。達成状況は各指標の下段に表記。肥料、優良種子の使用量を政府の統計を基に正確に示すことは極めて困難であり、研修結果の理解度の変化についてもインタビュー結果から定性的に測定した。

<p>アウトプット 1 パイロット 3 郡において、水稻、とうもろこし、大豆等の農産物の生産、加工、販売の手法が改善される。</p>	<p>指標 :</p> <p>1-1 パイロットコミュニティにおいて、肥料の使用量・使用方法が改善する。 プロジェクトにより導入された有機肥料はパイロット農家に適用されており、化学肥料の使用量が減少した。</p> <p>1-2 パイロットコミュニティにおいて、優良種子の使用量が増加する。 プロジェクトは高品質種子によるテスト栽培を試験圃場で実施中。</p> <p>1-3 パイロットコミュニティにおいて、水稻、とうもろこし、大豆の販売量が XX% 増加する。</p>
--	--

	DBD でインタビューした農家は、プロジェクトで導入した新しい栽培方法を適用したところ、コメの生産量が増え、販売量が増えたと指摘。一方、ムオンチャ郡 (Muong Cha District : MCD) とタンジャオ郡 (Tuan Giao District : TGD) では現在もコメ、トウモロコシ、ダイズは主に販売よりも自家用に栽培している。
	1-4 研修参加者の XX%以上が改善計画を実施する。 改善計画に示された内容は実証圃場で試行されつつある。
	1-5 パイロット郡の全 (47) コミューンのうち、XX%以上でガイドライン／マニュアルが使用される。 プロジェクトは4年次において、ガイドライン／マニュアルを作成予定。
	1-6 実施された改善計画の数。 プロジェクトはプロジェクト終了時まで (対象3郡以外で) 改善計画が実施されることは困難であろうととらえている。本指標は不明確であり、アウトプット1の達成状況を測るうえで不適切である。
	1-7 特定された課題と解決された課題の数。 本指標は不明確であり、アウトプット1の達成状況を測るうえで不適切である。

アウトプット2： パイロット郡で水資源の配分が効率化するとともに、灌漑施設管理が改善される。	指標： 2-1 パイロットコミュニティにおいて、水稻二期作・他作物との二毛作を行う面積が XX 以上増加する。 幾つかの対象郡の何人かの農家は二期作が可能となったと報告している。
	2-2 パイロット郡 XX コミューンのうち、YY%以上で灌漑施設の管理 (操作、機能維持、補修等) が改善されたと評価される。 プロジェクトは灌漑施設管理のための WUG の設立を開始し、農家は WUG が参加型による施設を管理のために有効である、と評価している。
	2-3 研修参加者の XX%以上が施設改善計画を実施する。 プロジェクトは改善計画を3年次に作成予定。
	2-4 パイロット郡の 47 コミューンのうち、XX%以上でガイドライン／マニュアルが使用される。 プロジェクトはガイドライン／マニュアルを4年次から5年次にかけて作成予定。
	2-5 実施された改善計画の数・内容。 プロジェクトは、改善計画はプロジェクト終了時までパイロット集落において、実施されると予想している。

アウトプット3： 地方政府 (省、郡、コミュニティ) 職員及び関係組織、大衆組織・農民組織や農業系企業の市場志向の農産物の生産、加工、販売体制強化を通じた農村開発に係る能力が向上する。	指標： 3-1 パイロット郡の農業普及員のうち XX%以上が研修に参加し、XX%以上の研修員が普及方法を習得したと回答する。 郡に所属する約 50%の普及員が研修に参加し、普及方法について理解したと考えられる。
	3-2 地方政府 (省、郡、コミュニティ) 職員及び関係組織、大衆組織・農民組織や農業系企業からのセミナー参加者の理解度が XX%以上である。 研修に参加した郡 PMU 及び農業振興センター職員は研修内容を理解したと考えられる。

	3-3 パイロット郡以外の郡指導者の XX%以上がアクションプランは実行可能であると評価する。
	アクションプランは 4 年次から 5 年次にかけて作成される予定であることから、現時点では本指標は測定不可能である。

3-4 プロジェクト目標の達成度

現行プロジェクト目標：パイロット郡において、市場志向の農産物の生産、加工、販売の推進のための郡行政機関を中核とした体制の強化を通じて、農村開発が促進される。

指標 1 パイロット郡における農家の農業粗利益が平均 XX%増加する。	パイロットコミュニティの農家は、プロジェクト活動開始後、農業利益は上がり、有機肥料の生産により幾ばくかの経費節約になったと報告している。PDM に記載された活動をそのまま実施し、行政機関の職員の能力強化を図ることで、農家は更に経営を改善していくことが期待される。
指標 2 パイロット郡において、水稲、とうもろこし、大豆等、市場志向の農作物生産量が XX%以上、販売量が XX%以上、販売額が XX%以上増える。	<ul style="list-style-type: none"> DBD のコメは DBD 内の市場では高く評価されており、ホーチミンにも出荷されるなどの情報も確認された。DBD では販売量、市場志向の農産物の生産増加の可能性がある一方で、他の 2 郡同様、自家消費が主たる栽培目的ととらえる関係者もある。DBD であっても販売量の増加はどこまで見込めるかは、今後の普及内容にもよると考えられる。 TGD と MCD では現在もコメは不足しており、自家用に生産している。また、現金収入はコメではなく、ブタや水牛等、家畜の販売によっている。したがって、DBD と TGD、MCD の具体的な目標数値は異なるであろうと考えられる。

3-5 上位目標の達成度

以下のとおり、現時点においてもプロジェクトの便益が DBP の対象郡以外の郡へ拡大する可能性が見込まれた。

現行上位目標：ディエンビエン省において、農村開発が促進される。

指標 1 本プロジェクトで策定された行動計画等（アクションプラン）がパイロット郡以外の郡で活用される。	プロジェクトは郡レベルの行政職員の能力向上を図っており、プロジェクト終了後、DBP の非対象郡においてアクションプランは活用されると見込まれる。
指標 2 ディエンビエン省において、水稲、とうもろこし、大豆等、市場志向の農作物生産量が XX%以上、販売量が XX%以上、販売額が XX%以上増える。	プロジェクト終了後も適切な農業投資と普及サービスが提供されるのであれば、DBP の非対象郡においてもコメ、トウモロコシ、ダイズ等、市場志向の農作物生産量や、販売量は増加するであろうと期待される。

第4章 プロジェクト実施体制

4-1 報告システム

プロジェクト（日本側）は、以下のとおり JICA ベトナム事務所に対し報告を行っている。

- (1) 半年ごとのプロジェクト管理概要表の提出
- (2) 総括による半年ごとの進捗報告書及び事業完了報告書提出
- (3) 長期専門家による業務完了報告書
- (4) 短期専門家による業務完了報告書提出。また、1年以上の専門家については業務完了報告書とともに、中間報告書の提出。

JICA ベトナム事務所は、これら報告書及び日本人専門家や C/P との議論を通じプロジェクトの進捗を把握し、必要に応じ支援を行っている。

4-2 合同調整委員会（JCC）

JCC（Joint Coordination Committee）は、プロジェクトの最高意思決定機関として 2011 年 6 月 23 日に第 1 回会合が開催され、①パイロット郡及びコミューンの選定、②プロジェクトの活動、③PDM Version 1.0 の第 2 回 JCC における改訂について承認された。

4-3 省及び郡のプロジェクト管理ユニット（PMU）会議

省レベルの PMU 会議は毎週及び毎月 DARD 事務所にて開催され、郡レベルの PMU 会議は各郡の PMU 事務所で毎月開催され、定期的なプロジェクトのモニタリングがなされている。プロジェクトはチームとして密なコミュニケーションを取り合い、いつ、どのような問題が生じても共に解決している。

第5章 評価5項目による評価

5-1 妥当性

以下の要因から妥当性は「中程度」と評価される。

(1) 政策の優先度

ベトナム政府は社会経済開発5カ年計画(2011~2015)³において、貧困状態にある辺境地、山岳地、少数民族地域等に暮らす国民の生活向上をめざしており、重点地域がプロジェクトの対象地域であるDBPも含まれている。新開発国家目標プログラム(2012~2015)においても貧困コミュニティを対象に、アクセス道路整備、灌漑施設整備、学校や医療施設の改善等、さまざまな農村開発事業が展開されている。

DBPは国内2位の貧困地域であるのみならず、DBP内の郡においてもDBDとそれ以外の経済格差が存在し、DARDは農業による地域格差是正をめざしている。DARDは2011年からコミュニティレベルの普及員の強化を進めており、特に、国境沿いや貧困地域のコミュニティにおける普及員を増員している。

さらに、ベトナム政府の方針でもWUG設置を進める⁴など農家の組織強化をめざす政策、タイ族やモン族などの少数民族への支援政策との整合性は高い。

日本国政府の援助方針については、ベトナム国内の貧困格差是正、農産物の技術向上、農民組織化等をめざす国別援助計画(2009)は保持され、事業展開計画(2011年)では、北西部山岳地域の地方開発生計向上に取り組む「北西部山岳地域開発プログラム」の一環としてプロジェクトは位置づけられている。

(2) T/Gのニーズ

郡やコミュニティの普及員は、農家の抱えるさまざまな問題に対処するため、幅広い知識と経験が必要であるが、ベトナムでは普及員制度は開始から間もなく、普及員の知識や技術を更に向上させる必要がある。

資金を掛けずにコメ、トウモロコシ、ダイズの生産量を上げたいとする農家のニーズに対しプロジェクトは実証圃場、有機肥料栽培、参加型水管理等を通じさまざまな方策の選択肢を示している。これらの要因から、プロジェクト目標とT/Gのニーズの整合性は高い。一方で、灌漑施設の建設や圃場の拡大など、農家や郡PMUからの設備投資等、物質的な要求も高く、組織強化や人材育成を主旨とするプロジェクトの意図の理解はまだ十分とはいえない。

(3) 計画の妥当性

政策やT/Gとプロジェクトとの整合性は比較的高い一方で、現行のPDMはプロジェクトの達成度を測るうえで、指標の内容や評価対象者、目標値等、論理性、かつ実現可能性の観点からも問題があった。不明確な計画内容はベトナム、日本側双方に、プロジェクトのコンセプトの理解に支障を来し、相互理解までに更に時間を要したことから、PDMは改善の余地

³ Social and Economic Development Plan (SEDP)

⁴ 灌漑施設の利用、管理、補修のためのWUGの設立、体制強化、発展に関するガイドライン

を大幅に残している。

5-2 有効性

以下の要因から有効性は「中程度」と評価される。

(1) プロジェクトの達成見込み

3-4節で示したとおり、現行 PDM の指標に基づいたプロジェクト目標の現時点での達成度を定性的に評価すると、これまでのプロジェクトは農家のコメ、ダイズ、トウモロコシの生産量を上げることに貢献してきたといえる。他方、プロジェクト目標の達成度と指標は合致していなかったこと、また、ベトナムでは生産量や販売量に関する政府の統計データの信頼性が低い⁵のために、定量的な評価は示すことができなかった。さらに、販売については、DBD のコメは DBD 内の市場では高く評価されており、ホーチミンにも出荷されるなど情報もある一方で、他の2郡同様自家消費が主たる栽培目的ととらえる関係者もいる。DBD と他の2郡の相違はもとより、DBD においても販売量の増加に関する達成見込みは今後のプロジェクトの DBD 向けの普及内容によると考えられる。

アウトプットの達成によるプロジェクト目標達成への貢献については、プロジェクトは農家の栽培手法の改善、灌漑管理手法の導入、普及員等行政組織の能力向上を通じ、農業を主体とした農村開発をめざしている。よって、アウトプットはプロジェクト目標の達成へ大きく貢献していると考えられる一方で、具体的な目標を示す各レベルの指標はその論理的な道筋を示しているとはいえない。

5-3 効率性

以下の要因から効率性は「中程度」と評価される。

(1) 各アウトプットの達成状況

各アウトプットはインタビュー結果から、おおむね達成されつつあるといえる。アウトプット1について、農家は実証栽培と研修を通じコメ、トウモロコシ、ダイズの適切な栽培方法を習得しつつあり、既に生産量が向上したとのモデル農家からの報告もある。

アウトプット2については、対象集落において WUG が設立されつつあるが、農家はもとより、郡の PMU レベルにおいても、参加型水管理の重要性について更に理解を深めるべく、プロジェクトの忍耐強いアプローチが求められている⁶。アウトプット1と2共通で「対象以外のコミュニティにおいてガイドライン/マニュアルの使用（指標 1-6、2-4）」や「改善計画の数（指標 1-6、2-5）」を対象外のコミュニティにおける目標と想定しても、その達成は困難な状況である。

アウトプット3については、プロジェクトは植防センターや農業振興センターの協力の下、病虫害対策や栽培等に関する研修を実施している。こうした活動を通じ、普及活動を担う郡

⁵ 生産量については、統計は存在するがデータを取るための測定方法が不適切である。また、開発計画に掲載されている目標数値は政治的に常に超える必要があり、その信頼性は低い（日本人専門家聞き取り）。調査団としても販売量の政府公式データは入手することができなかった。（DARD、2010年9月）

⁶ DARD 聞き取り

やコミュニケーションレベルの普及員の能力は向上しつつあるが、対象郡以外の DBP 内の郡へのプロジェクト効果拡大のためのアクションプラン策定は 4～5 年次に実施予定であり、「パイロット郡以外の郡指導者の XX%以上がアクションプランは実行可能であるとの評価（指標 3-3）」に対する達成度は限定的と予想されている。

（２）投入

日本側に関しては一部の専門家の派遣が大幅に遅れ、また、栽培上必要な時期に専門家が不在であったことなどの理由から、日本人専門家が適時に各アウトプット達成にすべからく活用されたとはいい難い。C/P 側も当初プロジェクト・マネジャーとして配置された人材が、農業の専門外の人材であったこと、省、郡レベルとも PMU の設立が遅れたことなどが活動の遅れを招き、アウトプット達成へ影響を及ぼした。他方、現在は C/P の交代などを通じ一定の成果を出しつつあり、改善している面もみられている。

また、厳選したモデル農家とコミュニケーション普及員に対し、集中的に有機肥料生産を学ぶ機会を提供し、モデル地域での拡大を狙っている点、これまで合計 20 名の C/P が本邦研修に参加し、日本の参加型水管理手法や参加型農村開発等を学び、プロジェクトの意図やこれら手法の意義の理解を深める機会を提供している点、車両、事務用品を他の JICA プロジェクトと共用することで予算を有効活用している点など、効率性を上げるさまざまな活動や工夫も確認することができた。

５－４ インパクト

既に幾つかのプラスのインパクトが発現している。

（１）上位目標の達成見通し

プロジェクト終了から数年後、本プロジェクトによりもたらされる便益は、DBP のパイロット郡から更に拡大していくことが期待されている。特に、本プロジェクトでは郡の行政職員の育成を行っており、今後作成するアクションプランは対象郡以外の郡でもある程度活用されると見込まれている。

（２）環境・社会的なインパクト

プロジェクトで導入を図りつつある有機肥料作製は、化学肥料の使用量や籾殻など生産に伴い発生するゴミの量を抑え、経済面、環境面でのプラスのインパクトを既にもたらしめている。また生産のプロセスで生じる木酢液を豚に飲ませると病気に強くなるとされ、一部のパイロット郡では家畜にも良い影響を与えている。また、有機肥料は家畜の糞を使用することから、衛生面での改善もモデル農家からの報告で確認できた。

モン族の暮らす集落では、ベトナムの政策に基づき、これまで割合は少ないが焼畑農業から水稲栽培を中心とした定地農業に移行しつつある。プロジェクトもモン族が大半を占める対象郡において灌漑用水を利用した水稲栽培技術の導入を進めており、係る技術に対するパイロット農家の更なる認識の変化が観察された。

さらに、女性は元来農業の主たる従事者であるが、プロジェクトの研修にも積極的に参加し、コメ等の作物栽培技術に関する知識を高める機会を得ている。

(3) ネガティブインパクト

本調査中にプロジェクトからのマイナスのインパクトは確認されなかった。

5-5 持続性

以下の要因から持続性は「やや高い」と評価される。

(1) 組織面

プロジェクトは研修を実施する機関に対し、通常業務の改善の一環として活動を実施できるように指導しており、プロジェクト終了後も彼らの継続的な活動が維持されていくことが期待される。郡やコミュニティレベルの普及員の数は極めて限られている⁷ものの、プロジェクトは農業振興センターや植防センターの協力を得つつ普及の質を上げる活動を行っており、広報用看板の設置などを通じてその普及効果は広がりつつある。また、プロジェクトでは普及活動を今後とも強化し、農業振興センターや植防センター等の組織面の強化を進める方向である。その一環として、ガイドライン／マニュアルの内容検討や作成も研修機関との協議を実施しながら進めていく予定であり、こうした活動は組織的能力を高める効果が期待できる。

(2) 財政面

DARD の予算（特に DBD の農業セクター向け）については堅調に伸びていると、人材及び施設等の持続的確保は期待できる。

一方で、パイロット 3 郡を含む北西部における農業・農村開発分野への農村農業開発省（Ministry of Agriculture and Rural Development : MARD）による予算配分の傾向と財源問題等から長期的な予算配分は不透明との見方もある。例えば、プロジェクトが行う方向にある普及指導のツールとして、文字が少なく視覚的に分かりやすい研修資料づくりをめざしているが、カラー印刷等、資金を必要とするツールを用いる際は長期的な持続性にもかんがみ工夫が必要である。

(3) T/G のオーナーシップ

パイロット 3 郡の各 PMU の意識として、特に灌漑施設整備への要望が強いが、参加型水管理の持続性をもたらす意義の理解を農家への指導的立場として高める必要がある。

栽培については、インタビューを行った対象コミュニティの農家は新しい技術が有効と分かるとすぐに自己の農地に反映させる柔軟性をもち合わせていることが確認された⁸。また、プロジェクトが終了しても習得した技術を維持していく意思是農家において極めて高く、オーナーシップは既に醸成されつつある。

(4) 知識と技術

プロジェクトが導入を図っているコメ、トウモロコシ、ダイズの栽培技術はどれも簡便で

⁷ 例えばDBDでは1名の郡レベルの普及員が担当する農家数は7～8,000世帯、コミュニティレベルの普及員は1,600世帯を担当。後者は農業、畜産、森林等さまざまな普及知識が求められる。

⁸ モン族が大半を占める MCD のパイロットコミュニティでは少し時間を要するとも観察された。

農家にとって分かりやすく、すぐに自らの水田や畑に取り入れやすいものであり、実際多くの農家は既に適用を開始している。

灌漑技術は、一部のパイロットコミュニティにおいては、施工以前に維持管理の WUG の設立を行い、農家が自主的にグループで管理できる仕組みづくりを行っている。また、設計及び施工は民間業者を雇用するものの、簡易な箇所については農家の参加による施工も予定している。参加型水管理手法は時間を要するものの、その意義は農家に少しずつ理解されつつある。

特に、有機肥料のモデル栽培は農家による環境に優しい方法による肥料づくりと化学肥料の使用を抑え、衛生的な農家の環境をつくることに役立っている。肥料づくりを継続する意思は各パイロット集落の農家で高く、経済性からも維持されていく見込みは高い。

5-6 効果発現に係る貢献・阻害要因

(1) 効果発現に貢献した要因

JICA の農村開発技術協力プロジェクトを実施することが初めてである DBP において、従来のベトナムや他ドナーが行ってきたハード面の支援を主とする開発事業と違い、組織強化や人材の育成といったソフト面の強化を図るプロジェクトは当初理解が困難であったことは想像に難くない。プロジェクトの粘り強いアプローチは DARD も認め、ソフト面強化に対する理解も進んでおり、今後も期待されている。

DARD のプロジェクト・ディレクターの課題認識と日本人専門家の課題認識は共通し、リーダーシップを発揮していること、プロジェクト・マネジャーのプロジェクトに対する理解が本邦研修や日々の日本人専門家との業務を通じて高まっている点は、活動を前進させる力となっている。

さらに、従来会場に集めて理論中心であった農民向け研修は、プロジェクトでは彼らのニーズに的確に応える柔軟なレベル設定や、試験圃場での実践と会場での理論を組み合わせた研修方法の工夫が農家にとって斬新であり、新しい栽培技術や知識の理解促進に寄与している。

(2) 効果発現に係る阻害要因

プロジェクトにとって最大の阻害要因は、現行 PDM の指標の内容や目標値の設定が、プロジェクト目標に照らし合わせた場合不整合であり、関係者間のプロジェクトの方向性に関する共通理解の醸成を深めることが困難であったことである。プロジェクト開始当初から、PDM 指標の不整合は関係者間で認識されていたものの、適時にその変更ができないプロジェクト実施状態が続き、当初の PDM のまま中間レビューを迎え、ほとんどのアウトプットを、現行 PDM の指標を基に定量的に測定できない状況を生み出した。他方、アウトプットの指標設定は不明瞭であったものの、活動の内容と順番に大きな問題はなく、単に達成度を測る「物差し」が不適切であったともいえるが、これまでの活動のさまざまな効果を適切に測定できない状況は、今後の見通しを立てるうえで影響を及ぼした。

さらに、日本側及び C/P 側双方の専門家の配置が遅れたことも、円滑かつ適切な活動を推進するうえで阻害要因となった。特に、日本側においては、詳細計画策定時に想定していた専門家の調達が、質・量ともに問題なく行われることを、ある程度めどをつけておく必要が

あった。本調査において提言される PDM の修正では、普及に関する専門家の継続的な投入が、今後のプロジェクト運営上のカギを握るため、最重要課題となる。

第6章 結 論

本プロジェクトは、ベトナム北西部地域における最初の JICA 農村開発技術協力プロジェクトである。プロジェクト開始当初は専門家派遣やベトナム側 C/P の配置の遅れや、先方が日本のプロジェクトを理解するのに時間がかかったことなどさまざまな困難もあったが、双方の努力の結果、最近は良い成果が現れつつある。

PDM 上の上位目標、プロジェクト目標、アウトプットの表現と、その達成度を測る指標が不整合であったため、評価団は DARD スタッフや農家へのインタビューを通じて、主に定性的な観点から達成度を評価した。他方、目標やアウトプットの各表現と指標には不整合があるものの、プロジェクトは農家への栽培技術のさまざまなオプションを示すことなどにより、コメ、トウモロコシ、ダイズの生産量増加に貢献していることが確認できた。有機肥料の導入による衛生面での改善などの正のインパクトも既に一部では発現している。また、組織、財政、技術の主要な三本柱の持続性は、将来のプロジェクトにとって特に重要であるが、好調なベトナム経済も反映して比較的高いと判断される。

これらを踏まえて、以下に述べる提言に従って若干の活動の変更を行い、プロジェクトは残りの期間の活動を続けることとする。

第7章 提 言

7-1 PDMの改訂

プロジェクト目標、上位目標、アウトプットの表現は変更しない。他方、プロジェクト目標の達成度は実現性にかんがみ、「パイロット郡」という表記から「パイロット集落」という具体的な標記に変更すべきである。なお、指標は農業粗利益や生産量といった個別の指標で農村開発の状況を測ることは困難であることから、総合的な指標すなわち、「営農状態の向上」で測る。営農状態の内容については、今後設定されるインタビューやアンケートの質問項目で具体的に示す。併せて実証圃場の試験結果も反映させるべきである。

上位目標の達成時期（＝事後評価時期）を2020年に設定し、対象郡以外の省内の郡での営農状態の改善状況を測るべきである。

アウトプット1、2共通で、測定対象を「パイロットコミュニティ」から「パイロット集落」に変更し限定する。アウトプット1は改善計画の問題解決、肥料や優良種子の使用方法的改善等の達成度を測り、アウトプット2はグループ活動の達成状況と、戸別の改善度合いを測る。アウトプット3は、「パイロット郡」から「パイロットコミュニティ」に変更・限定し、普及員、集落長の具体的な研修の目標値を設置するべきである。また、新たに研修実施機関を対象とした目標を設置する。アウトプット1～3共通で、指標の最後にパイロット郡以外の郡への拡大に関する指標をそれぞれ挿入し、上位目標達成への布石としての位置づけを明確化する必要がある。PDM改訂版のPDM Version 2.0は付属資料4を、PDM変更箇所と理由については付属資料5を参照のこと。

7-2 灌漑施設維持管理

作物生産量を増加させるための重要な道具である灌漑施設は、農民によって適切に管理されなければならない。現時点では、すべての集落に水管理組合や灌漑管理の規則があるわけではない。これらがまだない集落においては、適切な設計や維持管理のためにも、各灌漑システムに早急に水管理組合の設立や規則を制定していくべきである。

7-3 技術交換

パイロット集落ではさまざまな試みがなされているが、農村開発の相乗効果を生み出すために、集落がお互いに訪問しあうことにより、それぞれの良いところや自分の集落に応用すべきことを学ぶべきである。また、パイロット集落同士の視察以外にも、省内にいくつか存在する先進地区の視察も強く推奨される。

7-4 ベトナム人人材の活用

ベトナム国内の人材は、効果的・効率的なプロジェクトの実施のために必要に応じ活用されるべきである。彼らは言語や文化の面からもプロジェクト活動に優位に働くことが期待される。例えば、日本人専門家の確保が難しいポストハーベストや販売の分野へ、ベトナム人専門家が参加することによって日本人専門家をサポートすることができれば大きな助けになる。

第8章 教訓

8-1 事前調査段階で確認すべき事項

(1) 日本側リソースの確認

本プロジェクトでは、作物栽培、販売／マーケティング、商品企画、加工等の日本人短期専門家を投入することを想定していたが、プロジェクト開始後それらの分野の専門家が見つからず、あるいは見つかったとしても、候補者の所属先の都合や JICA の派遣形態（コンサルタント契約）に馴染まないことなどから派遣できなかった。現在は、栽培（農業）普及担当の専門家を日本の自治体職員 OB から確保することができ、当該専門家がそれらの分野を一手に引き受け、活動を実施していくこととなったため、プロジェクト運営にめどがたった。この点に関しては、プロジェクト開始前の事前調査段階で、日本側のリソースの確認（適材数、派遣可能性等）を十分に行うべきであるという教訓が得られた。

(2) プロジェクト目標の設定

現状の農民の営農状況を詳細に把握せず、高度なプロジェクト目標（市場志向型農業）の設定を行ったため、3郡あるパイロットサイトのうち、省都に近い1郡のみがその目標を達成し得るであろうと推測される。残り2郡は低次元の営農状況（自給自足農業）であるため、まずは現在の営農状況を充実させた後、プロジェクト目標に達することをめざすよう、本中間レビューで修正を行った。これにより、少なくともパイロット郡の1郡が、プロジェクト目標を達成する可能性があるため、プロジェクト目標の変更は行わなかった。この点に関しては、事前調査段階で現地状況を十分に把握したうえで、所定のプロジェクト期間で達成が可能なプロジェクト目標を慎重に設定すべきという教訓が得られた。

(3) PDM 上の各指標

事前調査時に設定したプロジェクト目標や成果を測る指標は、目標や成果を測るには十分でないものであり、プロジェクト開始当初、日本側及びベトナム側プロジェクト関係者がその設定された指標の理解に苦しみ、具体的なプロジェクト活動をなかなか開始できなかった。この点に関しては、PDM の各項目について、論理的な整合を事前調査段階で確認すべきという教訓が得られた。

8-2 相手国実施機関との間で事前及び実施中に確認すべき点

(1) C/P（プロジェクト・マネジャー）の人選

プロジェクト開始当初、農業分野の専門知識、業務経験をもたない C/P がプロジェクト・マネジャーに指名され、日本側とベトナム側のプロジェクト関係者の意思疎通に支障を来したこと、またその人物の交代手続きに時間を要し、プロジェクト運営上時間的な損失があった。これは、プロジェクト・マネジャーに限らず、他の C/P も同様に、各担当分野の経験と知識をもった人物を人選する必要があるという教訓が得られた。

(2) JICA 技術協力プロジェクトのコンセプト

本プロジェクトは、ベトナムの北西部地域で最初の技術協力プロジェクトであったこと、

当該地域は外国人の入出が国家によって厳しく管理されている辺境地であったこと、トップダウン方式で物事を実施していくベトナムの社会構造に対して、現地農民の意見を聞きつつプロジェクトを進めていく本プロジェクトの手法自体が C/P に理解されていなかったことが、プロジェクト運営に支障を来した。また、本プロジェクトの最終目標が施設整備ではなく、人材の能力開発であることも C/P は十分に理解していなかった。このため、初代チーフアドバイザーが、繰り返し技術協力プロジェクトの意義を C/P に説明する必要があり、時間的なロスもさることながら、日本人専門家の消耗度合いも大きかった。この点については、事前調査時及びそれ以前、以後において、JICA 事務所から技術協力プロジェクトのコンセプトを C/P に繰り返し説明し、理解させる必要があるという教訓を得た。

8-3 他スキーム、他ドナーとの連携

本プロジェクト開始後、約1年半が経過した時点で、JICA ベトナム事務所がその時期実施中であったすべての農業・農村開発技術協力プロジェクトを召集し、プロジェクト間の連携を模索した。結果として、プロジェクト内の各種活動においては、類似案件との連携は可能であり、また過去に実施された案件成果を活用することも可能であることが判明した。実際にそのような連携は、活動内容の相談から、セミナーの協働開催等、日々行われている。ただし、各プロジェクトのプロジェクト運営が軌道に乗って以降、他案件への支援や協働は可能であるものの、それ以前は、それぞれのプロジェクト内での活動に忙殺され、他案件への配慮を検討する余裕を見いだすことは容易ではない。一方、他スキームとの連携でも、技術協力プロジェクト間の連携と同じく、他スキームの進捗がある程度順調に進んだのち、単体スキームでは補うことが難しい点を、連携していくことは可能である。ただしこの際、技術協力プロジェクトの一般的な実施期間（3～5年）と他スキームの実施期間（数年～10年程度）や実施のスピード感に差異があるため、その調整は必要である。また、他ドナーとの連携については、適宜情報交換に基づく具体的な連携、協働に向けた具体策の検討が重要である。

8-4 ベトナムでの他案件を実施する際に留意すべき点

本プロジェクトを実施している北西部地域及び中部高原地域は、少数民族居住区であり、ベトナム国内で社会情勢が安定しない地域である。ベトナム政府も当該地域情勢の安定化には非常に敏感である。このため、外国人の入出が厳しく管理されており、派遣されている専門家のパイロットサイトへの訪問にも、書面での手続きが毎回必要であることは留意すべきである。これを怠った場合、公安（警察）に拘留されることもある。

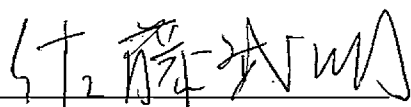
また、ベトナムで実施する ODA 案件では、ドナー側のプロジェクト予算の約 10%が C/P 予算として、C/P 機関が独自に準備する。このベトナム側の予算措置は、西暦の毎年 1 月に行われるが、その準備と承認は前年の 12 月までに完了しなければならない。この予算がない限り、C/P はプロジェクト活動を行いたくてもできないことから、プロジェクト開始前に、C/P が十分に活動できるよう JICA 側からプロジェクト予算を知らせるとともに、必要に応じてプロジェクト開始時期を調整する必要がある。

付 属 資 料

1. 合同中間レビュー調査報告書（英語）
2. 活動実績
3. 投入実績
4. PDM Version 1.0（英語）、PO Version 1.0（英語）、改訂 PDM Version 2.0（英語・日本語）
5. PDM 変更箇所と理由
6. 評価グリッド調査結果表
7. 面談者リスト
8. 現地収集資料リスト

Joint Midterm Review Report
For
Technical Cooperation for Northwest Rural
Development Project in Vietnam
(NORRD)

Hanoi
March 2013



Mr. Takeaki SATO
Visiting Senior Advisor
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Tran Kim Long
Deputy Director General
International Cooperation Department
Ministry of Agriculture and Rural
Development
The Socialist Republic of Vietnam

Table of Contents

ANNEX.....	1
PREFACE.....	2
LIST OF ABBREVIATIONS	3
CHAPTER 1. OUTLINE OF THE PROJECT.....	4
1-1. Background of the Project	4
1-2. Summary of the Project	4
CHAPTER 2. OUTLINE OF MIDTERM REVIEW	6
2-1. Background and Purpose of Midterm Review.....	6
2-2. Members of Midterm Review Team	6
2-3. Review Schedule.....	6
CHAPTER 3. METHODOLOGY OF REVIEW	8
3-1. Objectives	8
3-2. Methods	8
3-3. Methodology of Review	8
CHAPTER 4. ACHIEVEMENT OF THE PROJECT.....	9
4-1. Achievement of Activities	9
4-2. Achievement of Outputs	11
4-3. Achievement of the Project Purpose.....	12
4-4. Achievement of the Overall Goal	13
CHAPTER 5. IMPLEMENTATION PROCESS	13
5-1. Implementation of Activities.....	13
5-2. Methodology/Skill Transfer	13
5-3. Project Monitoring System	13
CHAPTER 6. REVIEW OF FIVE EVALUATION CRITERIA	14
6-1. Relevance.....	14
6-2. Effectiveness.....	14
6-3. Efficiency	15
6-4. Impact	15
6-5. Sustainability	16
CHAPTER 7. CONCLUSIONS.....	17
CHAPTER 8. RECOMMENDATIONS.....	17
8-1. Revision of the PDM	17
8-2. Operation and Maintenance of Irrigation Facility.....	17
8-3. Technical Exchange	18
8-4. Mobilization of National Resources	18

END

ANNEXES

1. PDM (Version 1.0)
2. PDM (Version 2.0): Revised Version
3. Revised points and reasons of PDM
4. Evaluation Grid
5. List of Equipment, Workshops, Seminars, Training Programs



LIST OF ABBREVIATIONS

C/P	Counterpart
DARD	Department of Agriculture and Rural Development
DAC	Development Assistance Committee
DPMU	District Project Management Unit
GDP	Gross Domestic Product
JCC	Joint Coordination Committee
JICA	Japan International Cooperation Agency
NIAPP	National Institute of Agricultural Planning and Projection
NORRD	Northwest Rural Development Project
OECD	Organization Economic Cooperation Development
OJT	On the Job Training
OVI	Objectively Verifiable Indicators
PDM	Project Design Matrix
PIM	Participatory Irrigation Management
PMU	Project Management Unit
PO	Plan of Operation
PPC	Provincial People's Committee
PPMU	Provincial Project Management Unit
SEDP	Social and Economic Development Plan
WS	Workshop
WMC	Water Management Committee
WUG	Water User Group

PREFACE

With the rapid economic growth, the gap between various economic sectors and between regions has been emerging as an urgent problem in Vietnam. In particular, the improvement of the vulnerable income from agriculture for many residents in rural areas which are home to over 70% of population and development of livelihood for the local people through rural development appear as the key to avoid social instability due to this gap and ensure sustainable development. The four provinces in the Northwest mountainous area, including Lai Chau, Dien Bien, Son La and Hoa Binh provinces, where some 80% of population is belonging to ethnic minority groups and the poverty rate stands at 50% (2010), remains as a major area for hunger eradication and poverty reduction.

In Dien Bien Province, agriculture represents the key economic sector with the annual growth rate of about 5% and major agriculture products are rice, maize and soybean. Rice, in particular, is not only consumed in Dien Bien Phu City, but also in Ha Noi and exported to Laos. The brand of Dien Bien rice is famous and highly preferred by Vietnamese consumers for its prominent taste. However, except Dien Bien District with favorable irrigation conditions, the productivity of rice cultivation in other districts in Dien Bien Province is lower than the mean productivity nation-wide. In addition, the capacity of local government authorities in supporting agricultural production is limited due to the shortage of state budget, human resource and capacity as well.

In this context, JICA has started the “Northwest Rural Development Project in Vietnam”. This project period is planned for 5 years from August, 2010.

With the objective of rural development in Dien Bien Province, based on the capacity development of local relevant authorities such as provincial, district and commune people’s committees, the Project has been supporting institutional capacity development through improvement of cultivation practice, post harvesting, sales approach and irrigation system and institutional management of irrigation facilities.

The purpose of the Midterm Review conducted in March 2013 (at mid-term of the Project Period) is to evaluate and revise project inputs, project achievements, its performance and identify pending issues. The midterm review was jointly conducted by Japanese side and relevant Vietnamese agencies with 5 evaluation criteria (Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impacts and Sustainability). It will also help to identify possible problems and provide recommendations for further project implementation in the remained Project Period. And this review prepares a joint review report with the consensus of all concerned parties based on the Project Design Matrix.

We sincerely thank Vietnamese and Japanese relevant organizations and individuals which have supported us to carry out this review and look forward to receiving your further cooperation in the future.

March, 2013

Mr. Motonori TSUNO
Chief Representative,
Vietnam Office,
Japan International Cooperation Agency



CHAPTER 1 OUTLINE OF THE PROJECT

1-1. Background of the Project

With the population of 87,840,000 (2011), GDP per capital of USD 1,300 (General Department of Statistics, 2011) and under the “Doi Moi” (renewal) Policy that leads to the vigorous economic growth with the application of market-economy mechanisms, the economical gap between urban and rural areas tends to be expanded. And the reduction of this gap has become as a major problem for the sustainable development of Vietnam. In the four provinces in the Northwest of Vietnam, including Lai Chau, Dien Bien, Son La and Hoa Binh provinces, about 80% of local population is attributed to ethnic minority groups and the rate of poor household accounts to about 50% (2010). This is a focal area for hunger eradication and poverty reduction.

In these four provinces, the agriculture sector of Dien Bien, which is generating 37% of the provincial GDP and creating job opportunities for 79.9% of local people, is regarded as the key economic sector with the annual growth rate of about 5% (average rate 2000 - 2005). Major agriculture products are rice, maize and soy bean with the total production of 145,000 tons, 67,000 tons and 15,000 tons respectively in 2009. Rice, in particular, is not only consumed in Dien Bien Phu City, but also in Ha Noi and exported to Laos. As the brand of Dien Bien rice is famous and highly preferred by Vietnamese consumers for its prominent taste, its price is high. However, except Dien Bien District with favorable irrigation conditions, the productivity of rice cultivation in other districts in Dien Bien Province is lower than the mean productivity nation-wide (For example, maize production in Dien Bien is 2.3 tons/ha against the national average of 3.9 tons/ha and soybean is 1.3 tons/ha against 1.5 tons/ha). Due to the lack of irrigation facilities, the land available for double rice cropping per year is limited and rice productivity is low as comparing with that of national scale. In addition, in the districts with the scarcity of flat land, the clearance of forest for shifting cultivation with maize and cassava as the major crops for self consumption affects the environment. The role of local government authorities in supporting agricultural production is limited due to the shortage of state budget, human resource and capacity as well.

In this context, the Government of Vietnam has requested the Government of Japanese technical cooperation project for strengthening of agriculture so that it could be a key sector of the Northwest region.

1-2. Summary of the Project

Following the request of Japanese technical cooperation project and with the agreement of the Government of Vietnam and JICA, the project on “Northwest Rural Development Project in Vietnam” (herein after the Project) aimed at institutional strengthening and facilitation of rural development through improved cultivation, post-harvesting, sales approach and improvement of irrigation system and institutional arrangements for management of irrigation structures, rural development capacity building for local authorities such as provincial, district and communal people’s committee and relevant local agencies, civil-society organizations and agro-related enterprises. The Project has 5 years project period from August 2010 to July 2015 and has been under implementation. The major counterpart (herein after C/P) of the Project is Agriculture and Rural Development Department (herein after DARD), Dien Bien Province while the collaborative bodies are the 3 district’s people’s committee of Dien Bien, Tuan Giao and Muong Cha districts, and project activities are being implemented in 6 pilot sites in the 3 districts.

The summary of the Project is shown in Table 1.1.

Table 1.1 Summary of the Project

Project Purpose	The rural development in the pilot districts is promoted through strengthening the system, as district government being the core thrust force, to improve the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products.
-----------------	---

Output 1	The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize etc. are improved in the Pilot Districts.
Output 2	Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot Districts.
Output 3	The capacity for rural development of local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises is improved through strengthening the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products.
Activity 1	<ol style="list-style-type: none"> 1-1. To Study farming situation of candidate pilot commune and select the pilot communes. 1-2. To conduct baseline survey at the selected pilot communes of agricultural products, cultivation, post-harvesting, marketing, rural infrastructure and irrigation system, existing extension system, etc. 1-3. To conduct workshops for cultivation, post harvesting and marketing and identify farmers needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and extension workers. 1-4. To make improvement plan for better cultivation, post harvesting and marketing based on the problems identified with farmers and extension staffs. 1-5. To conduct training to farmers on the issues related to cultivation, post harvesting and marketing, and monitor whether the content of the training is utilized. 1-6. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines/manuals which enable extension staffs to draw and implement the improvement plan according to the farmers' needs. 1-7. To conduct OJT (On the Job Training) using guidelines/manuals to support the extension staffs to promote their extension activity to other communes of the pilot district.
Activity 2	<ol style="list-style-type: none"> 2-1. To conduct workshops for water use and identify needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and irrigation management staffs. 2-2. To draft and implement the improvement plan with the farmers and irrigation management staff for efficient and effective water usage based on the problems identified above. 2-3. To conduct training to farmers and facility managers for water use, and identify whether the training is utilized. 2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines, manuals which enable irrigation management staff to draw and implement the improvement plan according to the farmer's needs. 2-5. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the irrigation management staffs to promote their water management activity to other communes of the pilot district. 2-6. To identify the problems related with the management of rural infrastructure such as rural water supply facility(s) and community road(s), and solve them with farmers.
Activity 3	<ol style="list-style-type: none"> 3-1. To implement trainings to extension staff for obtaining better knowledge, attitude and skill. 3-2. To implement trainings and feedback seminars for the officials of District People's Committee and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises. 3-3. To formulate the action plan for expanding the outcome of the Project in the pilot district to other districts of the province.
Input (Japanese Side)	<p>Long term experts (Chief advisor/maintenance rural infrastructure, Irrigation/Water resource management/Water management organization, Project Coordinator)</p> <p>Short term experts (Cultivation, Marketing, Other necessary experts)</p> <p>Training</p> <p>Necessary Equipment</p>

Input (Vietnamese Side)	Full time counterparts Office for the Project Information for the related the Project Local budget
----------------------------	---

CHAPTER 2. OUTLINE OF MIDTERM REVIEW

2-1. Background and Purpose of Midterm Review

The purpose of the Midterm Review conducted in March 2013 (at mid-term of the Project Period) is to evaluate and revise project inputs, project achievements, its performance, the level of plan achievement and identify pending issues. The midterm review was jointly conducted by Japanese side and relevant Vietnamese agencies with 5 evaluation criteria (Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impacts and Sustainability). It will also help to identify possible problems and provide recommendations for further project implementation in the remained Project Period. And the midterm review prepares a joint review report with the consensus of all concerned parties based on the Project Design Matrix (herein after PDM) and Plan of Operation (herein after PO).

2-2. Members of Midterm Review Team

The Japanese midterm review team consists of 4 members as shown in Table 2.1.

Table 2.1 Member of Japanese Midterm Review Team

Responsibility	Names	Positions
Team Leader	Mr. Takeaki SATO	Visiting Senior Advisor, JICA Headquarters
Integrated Rural Development	Mr. Eiji YOKOI	Overseas Land Improvement Cooperation Office, Designing Division, Rural Infrastructure Department, Rural Development Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fishery, Japan
Analysis and Review	Ms. Kazuko SHIRAI	VSOC Co., Ltd (Evaluation Consultant)
Cooperation Planning	Mr. Satoshi YAMAMOTO	Project Formulation Advisor, JICA Vietnam

2-3. Review Schedule

The Midterm Review was conducted as following below outline and details of the schedule are shown in Table 2.2.

Duration: 27th February -- 22nd March 2013.

(The 2nd JCC Meeting was held on 15th March)

27 th February	: The Evaluation consultant starts preparatory works in Japan
04 th March	: The Evaluation consultant starts site/field survey in Vietnam (until 16 th March).
10 th March	: Other team member starts review works in Vietnam (until 16 th March).
17 th March	: All members from Japan returns to Japan
22 nd March	: The consultant summarizes report in Japan

Table 2.2 Details of Midterm Review Mission Schedule

Date	Time	Events	Remarks	Hotel (Price)	Place	Rental Car	Interpreter
27th Feb	Wednesday	All day	Endorsement of contract with evaluation consultant. Preparation work in JP		JP	-	-
28th	Thursday	All day	Preparation work in JP		JP	-	-
1st Mar	Friday	All day	Preparation work in JP Internal Meeting with concerned personnel	JICA Regional Dep., Rural Development Dep. Vietnam Office, Mr. Sato, MAFF and Evaluation consultant will join TV meeting.	JP	-	1
2nd	Saturday	All day	-		JP	-	1
3rd	Sunday	All day	-		JP	-	1
4th	Monday	10:00(JP) ~ 14:30(VN)	Narita → Hanoi (VN311)	Evaluation consultant will arrive at Hanoi	Hanoi	JP → Hanoi	1-Inova
		PM	Meeting in JICA Vietnam Office	Mr. Yamamoto will have meeting with consultant.		Hanoi	-
5th	Tuesday	11:50 ~ 12:50	Hanoi → Dien Bien (VN1702)	Evaluation consultant and Interpreter 1 will move to Dien Bien	Dien Bien	Hanoi → Dien Bien	1-Inova
		13:00 ~ 13:30	Move to Hotel and check in.			Dien Bien	-
		13:30 ~ 14:30	Lunch with JP experts.			Dien Bien	1-4WD
		14:30 ~ 17:00	Courtesy call to DARD. Meeting with JP expert.	Evaluation consultant and Interpreter 1 will make presentation on Evaluation Method		Dien Bien	-
6th	Wednesday	All day	Site survey on 6 pilot project sites	Dien Bien	Dien Bien	1-4WD	
7th	Thursday	All day				1-4WD	
8th	Friday	All day				1-4WD	
9th	Saturday	All day				1-4WD	
10th	Sunday	10:00(JP) ~ 14:30(VN)				Narita → Hanoi (JL5001)	Mr. Sato (JICA HQ) and Mr. Yokoi will arrive at Hanoi
		PM	Meeting in JICA Vietnam Office	Mr. Yamamoto will have meeting with Mr. Sato (JICA HQ) and Mr. Yokoi		Hanoi	-
		All day	Collection and Analysis on documents.	Evaluation Consultant will prepare the evaluation sheet and deal with collection and analysis on documents.	Dien Bien	Dien Bien	1-4WD
11th	Monday	AM	Collection and Analysis on documents.	Evaluation Consultant will prepare the evaluation sheet and deal with collection and analysis on documents.	Dien Bien	Dien Bien	1-4WD
		11:50 ~ 12:50	Hanoi → Dien Bien (VN1702)	Mr. Sato (JICA HQ), Mr. Yokoi, Mr. Yamamoto and Interpreter 2 will move to Dien Bien	Dien Bien	Hanoi → Dien Bien	1-Inova
		13:00 ~ 13:30	Move to Hotel and check in.			Dien Bien	-
		13:30 ~ 14:30	Lunch with JP experts and Evaluation Consultant.	All mission member and JP experts will attend		Dien Bien	1-Inova
		14:30 ~ 17:00	Courtesy call to DARD. Meeting.	All mission member and JP experts will attend		Dien Bien	-
12th	Tuesday	All day	Meeting.	Dien Bien		Dien Bien	1-Inova & 1-4WD
13th	Wednesday	All day	Meeting.	Dien Bien	Dien Bien	1-Inova & 1-4WD	
14th	Thursday	All day	Meeting and Reporting	All mission member, JP experts and C/P will attend	Dien Bien	Dien Bien	1-Inova & 1-4WD
		13:20 ~ 14:20	Hanoi → Dien Bien (VN1704)	Mr. Okura (Jkyo) will move to Dien Bien.	Dien Bien	Hanoi → Dien Bien	Office Car
15th	Friday	AM	Dien Bien → Hanoi (VN1703)	Mr. Okura (Jkyo) will move back to Hanoi.	Dien Bien	Hanoi → Dien Bien	Office Car
		AM	Discussion and Meeting	Mission Member and JP experts will have meeting.	Dien Bien	Dien Bien	-
		14:00 ~ 17:00	2nd JCC	Mission will present result of evaluation mission in JCC	Dien Bien	Dien Bien	1-Inova & 1-4WD
16th	Saturday	AM	Discussion and Meeting	Mission Member and JP experts will have meeting.	-	Dien Bien	1-Inova & 1-4WD
		13:30 ~ 14:30	Dien Bien → Hanoi (VN1703)	Mr. Sato (JICA HQ), Mr. Yokoi, Mr. Yamamoto, Evaluation consultant, Interpreter 1 and Interpreter 2 will move to Hanoi.	-	Dien Bien → Hanoi	1-Inova & 1-4WD
		23:55 ~ 06:30(17th)	Hanoi → Narita (VN3310) & (JL752)	Mr. Sato (JICA HQ), Mr. Yokoi and Evaluation Consultant will go back to Narita.	-	Hanoi → Dien Bien	1-Inova & 1-4WD
17th	Sunday	6:40	Arrival at Narita	Dito	-	Narita	-
		PM	Completion of Report		-	JP	-
18th	Monday	All day	Completion of Report		-	JP	-
19th	Tuesday	All day	Completion of Report		-	JP	-
20th	Wednesday	All day	Completion of Report		-	JP	-
21st	Thursday	All day	Completion of Report		-	JP	-
22nd	Friday	All day	Report to JICA HQ		-	JP	-

CHAPTER 3. METHODOLOGY OF REVIEW

3-1. Objectives

The objectives of the Midterm Review are as follows:

- (1) To confirm the progress of the Project activities based on PO.
- (2) To identify problems and issues on any aspects of the Project implementation.
- (3) To review the Project Design Matrix (PDM Version 1.0).
- (4) To evaluate the degree of achievement of the Project as per the five evaluation criteria, namely Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact, and Sustainability.
- (5) To make recommendations for the necessary actions and measures in order to attain the Project Purpose by the end of the project cooperation period.

3-2. Methods

The Japanese and Vietnamese Midterm Review Team (the Team) jointly reviewed the Project using the five evaluation criteria. The activities included in the review are report analysis, field surveys, a series of discussions and interviews with relevant officials, the Project staff and the residents of the target areas.

3-3. Methodology of Evaluation

The Team reviewed related documents and information collected through questionnaires and interviews with Japanese experts, Vietnamese C/Ps, pilot farmers and relevant stakeholders. The Team analyzed the Project from the viewpoints of 1) achievements of the Project, 2) implementation process, and 3) the five evaluation criteria.

3-3-1. Achievements of the Project

Achievements of the Project were measured in terms of Inputs, Outputs, Project Purpose, and Overall Goal in the light of the Objectively Verifiable Indicators of the PDM 1.0 (see ANNEX 1).

3-3-2. Implementation Process

Implementation process of the Project was reviewed to see if the activities have been implemented according to the schedule shown in the PO, and to see if the Project has been managed properly, identifying contributing/hindering factors that have affected the implementation process.

3-3-3. Evaluation based on the Five Evaluation Criteria

The Project is evaluated against the Five Evaluation Criteria (see Table 3-1) of the OECD Development Assistance Committee (DAC), which is the standard measurement applied by JICA.

Table3-1 Five Evaluation Criteria

1. Relevance	Degree of compatibility between the development assistance and priority of policies of the target group, the recipient, and the donor.
2. Effectiveness	A measure of the extent to which an aid activity attains its objectives.
3. Efficiency	Efficiency measures the outputs – qualitative and quantitative – in relation to the inputs. It is an economic term which is used to assess the extent to which aid uses the least costly resources possible in order to achieve the desired results. This generally requires comparing alternative approaches to achieving the same outputs, to see whether the most efficient process has been adopted.
4. Impact	The positive and negative changes produced by a development intervention, directly or indirectly, intended or unintended. This involves the main impacts and effects resulting

	from the activity on the local, social, economic, environmental and other development indicators.
5. Sustainability	Sustainability is concerned with measuring whether the benefits of an activity are likely to continue after donor funding has been withdrawn. Projects need to be environmentally as well as financially sustainable.

Source: New JICA Guideline for Project Evaluation First edition (June, 2010) P.23

CHAPTER 4. ACHIEVEMENT OF THE PROJECT

4-1. Achievement of Activities

The Project focused on preparatory works such as the baseline survey, assigning C/Ps, introductory workshops and procurement of project equipment for first 10 months.

Activities for Output 1: The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize, etc. are improved in the Pilot District	
Activities at the commencement of the Project	<ul style="list-style-type: none"> - Director of DARD appointed a staff at DARD as Project Manager (2010/9), and the Manager was changed as present one.(2011/1) - Provincial PMU was organized (2011/3), and PPC approved NORRD (2011/5) - The 1st JCC was held to approve the Pilot districts and communes, as well as contents of the project activities (2011/6) - PPMU approved District PMU (2011/7).
1-1. To study farming situation of candidate pilot commune and select the pilot communes	<ul style="list-style-type: none"> - The Project conducted a field survey to collect information and selected the Pilot Communes (2010/09-11) - In the 1st JCC (2011/6/23) the selected 3District and 6 communes in the districts were officially approved.
1-2. To conduct baseline survey at the selected pilot communes of agricultural products, cultivation, post harvesting, marketing, rural infrastructure and irrigation system, existing extension system, etc.	<ul style="list-style-type: none"> - The Project contracted NIAPP to implement the Baseline Survey (2011/2-6) and conducted the 1st survey to select 8 project pilot sites (2011/6-12) - The 2nd survey was conducted (2011/4), and the Project conducted the WS for selected communes to identify issues on crop cultivation and irrigation. - The Project conducted winter/spring (2011/5-6) and summer/autumn season surveys (2011/10)
1-3. To conduct workshops for cultivation, post harvesting and marketing and identify farmers' needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and extension workers	<ul style="list-style-type: none"> - The Project guidance workshop was conducted to introduce project objectives, activities and issues in the pilot communes (2011/7-8). - The Project also conducted the House Hold Survey for collecting and analyze detail information of farmers.(2012/9) - Through those activities, the Project identified the main issues in rice cultivation such as seed's quality, pest & disease, inappropriate seed variety and fertilizers. These factors are same in the case of maize and soybeans.
1-4.To make improvement plan for better cultivation, post harvesting and marketing based on the problem identified with farmers and extension staff	<ul style="list-style-type: none"> - Without enough preparation of demonstration farm for rice cultivation, the Project had to start the test due to time constraint. - Based on the identified needs of farmers, the Project formulated an improvement plan, which was agreed by the farmers in the WS (2012/12).
1-5.To conduct training to farmers on the issues related to cultivation post harvesting and marketing, and monitor whether the content of the training is utilized	<ul style="list-style-type: none"> - The Project conducted WS to select model farmers for rice paddy and maize cultivation at 6 sites. - The Project started pilot rice cultivation of dry season (2011/2012 and 2012/2013), rainy season (2012), as well as maize at spring & summer seasons and soybeans at autumn & winter seasons. - The Project conducted training on pest & diseases for rice, maize and soy beans on rice and maize cultivation. - The Project plans to monitor if the model farmers would apply methods to make diluted pesticide and seed preparation in the next planting

	<p>season.</p> <ul style="list-style-type: none"> - The Project conducted training on organic fertilizer production, as well as site visits to Back Mar for leaders training, (see ANNEX 5).
1-6.To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines/manuals which enable extension staffs to draw and implementation the improvement plan according to the farmers' needs	<ul style="list-style-type: none"> - The Project conducted PMU meetings for monitoring the project activities.
1-7.To conduct OJT using guidelines/manuals to support the extension staffs to promote their extension activity to other communes of the pilot district	<ul style="list-style-type: none"> - The Project will discuss if and how they will conduct OJT using guideline/manuals to promote other communes of the pilot districts.
Activities for Output 2:Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot District	
2-1.To conduct workshops for water use and identify needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and irrigation management staffs	<p>The Project conducted the following activities:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Training on the Small scale irrigation facility for government staff of planning, designing, and implementation of irrigation in Dien Bien District (2011/11) - Pre-test construction of soil cement water canal in Diem Bien District (2011/12) - Mapping of irrigation scheme and irrigation land by measurement survey (2012/3) - The project established the Water Management Committee (WMC) to formulate an irrigation management system in the pilot sites (2012/5-6). - The Project identified issues and needs on irrigation and its management through the WMC. (2012/8), and discussed them with farmers (2012/9-12).
2-2. To draft and implement the improvement plan with the farmers and irrigation management staff for efficient and effective water usage based on the problems identified above	<ul style="list-style-type: none"> - Based on the issues, the Project made an improvement plan, and shared it with the WMC (2012/9-12). - The Project contracted out designing of irrigation facilities, holding WS to reflect farmers' voice to the design (2013/2-).
2-3.To conduct training to farmers and facility managers for water use, and identify whether the training is utilized	<ul style="list-style-type: none"> - C/P explained management system of irrigation. - The Project conducted seminars on river water intake construction and PIM.
2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines, manuals which enable irrigation management staff to draw and implement the improvement plan according to the farmers' needs	<ul style="list-style-type: none"> - The Project plans to start monitoring after the construction starts. - Manual/guideline will be formulated after the construction to cover a whole year management (around 2014).
2-5. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the irrigation management staffs to promote their water management activity to other communes of the pilot district	<p>The Project plans to conduct OJT to practice water management activities based on the guideline/manual in the 5th year of project period.</p>
2-6. To identify the problems related with the management of rural infrastructure such as rural water	<ul style="list-style-type: none"> - The Project conducted the pre-test of water canal in Noon Het commune of Dien Bien District and survey on application possibility and collection of labor productivity per unit. (2011/12)

supply facility(s) and community road(s), and solve them with farmers	- The Project conducted surveys for mapping and water flow. - Designing bidding OJT
Activities for Output 3: The capacity of rural development of local government such as provincial, district and commune people's committee and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises is improved through strengthening the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products	
3-1. To identify the problems related with the management of rural infrastructure such as rural water supply facility(s)	- The Project has conducted OJT for P/D-PMU and extension staff as follows; - Training on rice production survey - Seminar on monitoring of model cultivation of rice and ripening test - Leader training for selected comment extortionists and model farmers to lean organic bio fertilizers composts in Hue - OJT for the staff of Provincial Plant Protection Center
3-2. To implement training to extension staff for obtaining better knowledge, attitude and skill	- The Project conducted a study tour for Province staff of water management (C/P) to the Project for Agriculture Development in Phan Ri - Phan Thietto learn how to contract with company and manage construction(2012/7)
3-3. To formulate the action plan for expanding the outcome of the Project in the pilot district to other districts of the province	- The Project plans to formulate in the 5 th project period.

4-2. Achievement of Outputs

The following are the achievements of the three Outputs based on the Objectively Verifiable Indicators (herein after OVI) in the PDM1.0.

<u>Output1:</u> The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize, etc. are improved in the Pilot District	Indicators: 1-1) Method and amount of using fertilizer is improved ----- The organic fertilizer introduced by the Project is well applied among the pilot farmers and they explained the amount of using chemical fertilizer reduced.
	1-2) Amount of using high quality seeds is increased ----- The Project is testing technology of cultivation of high quality seeds in pilot farm.
	1-3) Amount of sales of paddy rice, maize and soy beans increase by XX% ----- Some farmers in Dien Bien district indicated amount of sales of rice increased after applying new technologies of cultivation that the Project introduced. Most farmers in Tuan Giao and Muong Cha districts cultivate rice, maize and soy beans for self-consumption, not for sale.
	1-4) More than XX% of the participant in the training implement the improvement plan ----- Improvement plan is implemented at the demonstration farm.
	1-5) More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts use guidelines/manual made by project ----- The Project plans to make the guideline/manual in the 4th project year.
	1-6) Number of improvement plan implemented ----- This indicator is unclear.
	1-7) Number of issues raised and solved ----- This indicator is unclear.
<u>Output2:</u> Water resource distribution and irrigation infrastructure	Indicators: 2-1) The area of two and three-term paddy/maize/soy beans is increased by more than XXha

management are improved in the Pilot District	Some pilot farmers in some pilot districts reported that double cropping paddy is increased.
	2-2) More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts evaluate the improvement of irrigation facility management (operation, maintenance, repairmen, etc.)
	The Project has started to formulate WUG for irrigation facility management and farmers evaluate such WUG would be useful for participatory irrigation management
	2-3) More than XX% of the participant in the training implement facility improvement plan
	The Project is making implement plans in the 3rd year.
	2-4) More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts use guideline/manual made by project
	The Project expects to make the guideline/manual in 4th to 5th year
2-5) Numbers and content of improvement plan implemented (ex. Establishment of regular meeting, Organizing rules, activities for operation and management, etc.)	
The Project expects that the improvement plans would be implemented by the end of the Project in the pilot villages.	

<u>Output 3:</u> The capacity of rural development of local government such as provincial, district and commune people's committee and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises is improved through strengthening the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products	Indicators:
	3-1) More than XX% of extension workers in the Pilot Communes are trained, and more than XX% of the participants understand the method of extension
	Approximately 50% of the extension workers participated in the training, and they understand the method of extension.
	3-2) Level of understanding is more than XX% for participants from local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises
Members of DPMU, staff of Extension Center who participated in training understand well.	
3-3) More than XX% of the leaders of the districts other than the pilot districts evaluation the action plan to be executable	
It's not evaluable since the action plan will be formulated in 4 th to 5 th project year.	

4-3. Achievement of the Project Purpose (prospect)

The Project Purpose:

The rural development in the pilot districts is promoted through strengthening the system, as district government being the core thrust force, to improve the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products

It is very difficult to evaluate the achievement of the Project based on the indicators described in the present PDM, since indicators and achievement are not well matched. Therefore, the review team decided to analyze the present level of achievement and prospects with the qualitative findings collected from stakeholders.

Indicator 1) Average gross profit of farmers in the pilot district increases by XX% in average	Some of farmers at the pilot communes explained their profit out of rice production has increased, and saved some money by producing organic fertilizers. With the activities planned in PDM, it is prospect that the farmers will improve their farming in the latter part of project period through strengthened government officers.
---	---

Indicator 2) Production, amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy rice, maize and soy beans increase by more than XX% respectively in Pilot Districts	Dien Bien district has potential to increase sales, value of sales of market oriented agricultural production with more market-focused extension services. In the two districts (Tuan Giao and Muong Cha), rice is produced for self-consumption because the people have scarce of rice. Also, livestock such as pig and buffalo is sold for cash. Therefore, the project goal for Dien Bien district and Tuan Giao and Muong Cha districts may differ.
--	---

4.4. Achievement of Overall Goal

Overall goal:

The rural development in Dien Bien Province is promoted

There is a positive prospect that the benefit of the Project will be expanded in other districts in Dien Bien Province after the Project ends in 2015.

Indicator1) Action plan formulated by the project is utilized in districts other than the pilot districts	It is expected the action plan will be utilized in non-targeted districts in Dien Bien province since the Project intends to improve capacity of government administration at district level.
Indicator2) Production, amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy, rice, maize and soybeans increase by more than XX% respectively in Dien Bien Province	It is expected that the amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy, rice, maize and soybeans will be increased in non-pilot districts in Dien Bien province if appropriate inputs and extension services are provided.

CHAPTER 5. IMPLEMENTATION PROCESS

5-1. Implementation of Activities

The Project focused on preparatory works such as the baseline survey, assigning counterparts, introductory workshops and procurement of project equipment for first 10 months.

Project activities were slightly affected due to the delay of dispatch of Japanese experts and appoints of C/P from Vietnamese side. The Project accelerated its activities in June 2011,

5-2. Methodology/Skill Transfer

The Project has strategically transferred new knowledge and skills in crop cultivation to C/P, DPMU, Commune extension workers and farmers in the pilot communes. They are expected to disseminate what they learned through project activities to other farmers in and around of their communes.

With regard to irrigation, the Project is promoting participatory irrigation management system for better and continuous maintenance of irrigation facilities. The Project supports farmers to establish Water Users Group and its regulation in each district for entire process from planning, simple construction, to regular maintenance of irrigation facilities.

5-3 Project Monitoring System

5-3-1 Reporting System

The Project is reported to JICA Vietnam Office as followed:

- 1) Semi-annual summary tables of project management were submitted to JICA Vietnam Office.
- 2) Chief Advisor prepared and submitted Progress Report semiannually and the Completion Report.
- 3) Long-term experts submit Completion Reports.
- 4) Short-term experts submit Completion Reports and those whose term are the longer than one year prepare and submit Interim Reports as well as Completion Report.

The JICA Vietnam Office monitors the Project through above reports, discussion with Japanese experts and C/P, and provides necessary support to the Project.

5-3-2 Joint Coordination Committee (JCC)

The 1st JCC as the highest decision making mechanism, was held in June 2011 to discuss and approve the following subjects of; 1) selected pilot districts and communes, 2) project activities, and 3) revision of PDM1.0 in the 2nd JCC.

5-3-3. Provincial and District Project Management Unit Meeting (P/DPMU meeting)

PPMU conducts weekly and monthly meeting in DARD office, and DPMU monthly meeting is conducted at each DPMU office at pilot districts as regular monitoring. The Project team has close communication with each other and they deal together with whenever/whatever issues arise.

CHAPTER 6. REVIEW BY FIVE EVALUATION CRITERIA

6-1. Relevance

Relevance of this project is moderate as evidenced by the following factors;

6-1-1. Policy priority

The Vietnamese government emphasizes in the Social and Economic Development Plan (SEDP) (2011-2015) to improve livelihood in remote areas, mountainous areas, islands, areas under serious poverty, and residential areas of minority groups. The Project also includes the area of Thai and Mong as the target districts.

There is economic gap between Dien Bien District and other districts in Dien Bien Province, and DARD anticipates decreasing such gap through agricultural development. DARD has strengthened services from commune extension workers since 2011 by increasing the number of extension workers at commune level. DARD also issued the circular to regulate establishment of Water User Group for participatory irrigation management at commune level.

6-1-2 Needs of Target Group

While district extension workers or those at commune level are required to provide wide range of extension services with farmers, it is still necessary for them to improve their knowledge and skills since extension service system has started functioning recently in Vietnam

Farmers desire to increase crop production with less inputs. The Project has met their needs to introduce variety choices of cultivation measures through experimental cultivation, organic fertilizer production and participatory irrigation management.

6-1-3 Relevance of the Project Plan

Even though relevance in policy and people's needs is relatively high, OVI described in the present PDM are not appropriate in its logicity as a measurement to judge achievement of the Project, which affected understanding of both Vietnamese and Japanese sides about the Project's concept.

6-2. Effectiveness

Effectiveness of this project is as moderate evidenced by the as following factors;

As mentioned above, the Project has contributed to increase of some profit out of crop production of such as rice, maize, and soybeans, On the other hand, as mentioned, the Team was not able to evaluate the Project quantitatively due to inappropriate OVI for the Project Purpose.

The Project is being implemented to promote rural development through improvement of crop cultivation, introduction of participatory irrigation management, and capacity development of government staff such as extension workers at district and commune levels. From the field observation and discussion with stakeholders, it is surely assumed that these achievements of outputs contribute to certain increase of agriculture profit. However, these output indicators are rather irrelevant or illogical as intermediate goals to achieve the Project purpose. Consequently, it is difficult to explain that the Project purpose will be achieved by achievement of three outputs at this point.

6-3. Efficiency

Efficiency of this project is moderate as evidenced by the following factors:

6-3-1. Achievement of Outputs

The Team found out that the Project achieved to each goal set in the PDM as such farmers are learning new and appropriate technologies on crop cultivation through variety of training (see ANNEX 5 for the list of training), and some farmers reported that they have improved some cash income by production.

The Water User Group is being established and even some groups are making the group regulations and they are gradually aware of the importance of participatory water management.

The Project is implementing training on crop cultivation, organic fertilizer composts production and pest & disease control with assistance from the Plant Protection Center and Agriculture Extension Center. Through these activities, capacity of extension workers and government staff at district and commune level is improving.

6-3-2. Inputs

In order to achieve each output, appropriate and timely inputs from both sides of Vietnamese and Japanese sides are indispensable. As for inputs from Japanese sides, some of Japanese expert were dispatched much later than planned, and sometimes they could not stay in the Project site when needed. It has to be mentioned that Japanese resources were not fully utilized for the achievement of output especially in the first project year.

The Vietnamese side also had some difficulties in appointment of appropriate staff as C/P, establishment of PMU at the beginning of the Project, which led delay in implementation of the project activities.

At the present, the both sides as a project team are catching up their schedule and achieving the outputs together with appropriate arrangement of C/P.

20 C/Ps so far participated in training in Japan to learn participatory water management and rural development in Japan. The experience of training in Japan facilitated them to understand better the Project objective and measures to be transferred to Vietnam, and information and experience were shared among stakeholders in 3 districts after the training.

It also should be noted that the Project makes efforts to save its budget by sharing vehicles and stationaries with other on-going JICA project in Dien Bien Province.

6-4. Impact

There identified already some positive impact

6-4-1. Prospect of Achievement of the Overall Goal

It is expected that the benefit of the Project will be widely expanded in non-target districts in Dien Bien province after several years the Project ends. The Project is strengthening capacity of government officers in the target districts, and the action plan which the project will formulate will be an effective tool to expand the outcomes of the project in non-target districts.

6-4-2. Impact to Environment and Society



Some farmers explained that they save some cash for fertilizers by producing the organic fertilizer composts and save the environment around their house by using animal manure and waste such as rice husk. It is said that feeding vinegar, which is produced from rice husk, to pigs make them healthy, and some pilot farmers in target district reported some positive change in pig's health condition.

The ethnic group such as the Mong, who traditionally rely on slash-and-burn to their farming, are now encouraged by the National policy to practice rice cultivation in paddy field. The pilot farmers of the Project also have opportunity to gain basic knowledge and skills in rice cultivation by controlling water by irrigation system through the Project activities.

As for women in Vietnam, they are originally main players in agriculture, and are very active in participating in training provided by the Project. They also gain opportunity to improve crop cultivation through the project activities.

6-4-3. Negative Impact

There was no negative impact identified in this review survey.

6-5. Sustainability

Sustainability of this project is relatively high as evidenced by the following factors:

6-5-1. Institution

The Project supports the training institutions to improve their training programs and activities and it is expected that the staff in the institutions will continue and maximize the benefit from the Project. For instance, the Project will have a close contact with the training institutions in the process to formulate guideline/manual. Through these activities, institutional capacity will be enhanced.

6-5-2. Finance

The budget of DARD is steadily increasing, and human resource and facilities will be possibly maintained. It should be noted however, when the Project produces manuals or handout as extension tools, some consideration will be needed for measures to make development of those tools sustainable.

6-5-3. Ownership of the Target Groups

It was observed that DPMU's needs for construction of irrigation facilities are strong as reflection of farmers' voice, it is necessary to be aware of importance of participatory water management in terms of sustainability.

As for crop cultivation, most farmers are very flexible to apply new knowledge and skill to their own farm, once they understand it will increase the production. Also, the Team confirmed that they are positive to share new knowledge and skill with their neighbors, which tells that possibility of expansion of the benefit of the Project is rather high.

6-5-4. Skills and Knowledge

All the skills and knowledge that the Project is introducing are basic and easy for farmers to understand and apply to their farm after attending training. Many of pilot farmers started practicing what they learned.

The Project is establishing a system in which farmers form a WUG for maintenance before construction starts, in order to take initiative in management irrigation system. Also, while designing and construction will be contracted out to private companies, some parts of construction are even planned to be conducted by farmers themselves. Such participatory approach is expected to enhance farmers' ownership for entire process of irrigation management, and farmers are gradually aware of its importance.

The newly introduced organic fertilizer is eco-friendly and contributes to decrease usage of chemical fertilizers and better sanitation. Since farmers showed their wish to keep producing it even after the project ends, it is highly expected this technology will be sustained as part of their farming process.

CHAPTER 7. CONCLUSIONS

The Project is the first technical cooperation project in the field of rural development in north-west region in Vietnam. There were some difficulties due to the delay of dispatch of Japanese experts and assignment of Vietnamese counterpart personnel etc. at the beginning of the Project. However, thanks to the efforts of both sides positive achievements have been observed recently.

The Team evaluated achievements mainly by qualitative point of view through questionnaire survey with DARD staff members and farmers in pilot districts because of the mismatch between indicators and measurement of the achievements in the PDM. In the meantime the Team confirmed that the project contributed to the increase of production of rice, maize and soybean by showing various options of agricultural technology to the farmers. Also some impacts to sanitary aspect have been seen by introducing organic fertilizer. For sustainability, one of the important points to the future of the Project, three main pillars e.g. institutional, financial and technical sustainability are evaluated as relatively high.

Based on the recommendation by the Team below, the Project activities shall be continuously carried out with slight modifications in the remaining period of the Project.

CHAPTER 8. RECOMMENDATIONS

8-1. Revision of the PDM

The following were discussed to clarify the contents of the PDM.

8-1-1. Project Purpose

Output should be measured in pilot village instead of pilot district. As to the OVI, it is difficult to evaluate the situation where rural development was promoted by individual indicator such as gross agricultural profit and/or amount of products. Therefore, current OVI should be replaced with comprehensive indicators, namely farming status. For means of verification, farming status is assessed by questionnaire survey and results of experimental cultivation in addition to statistics information.

8-1-2. Overall Goal

Specific date of achievement of overall goal and main user of action plan should be clarified in the OVI. Similarly as stated in the part of the OVI of project purpose, current indicator should be replaced with comprehensive indicator, namely farming status.

8-1-3. Output

For output 1, improvement plan described in OVI should be elaborated depending on districts condition. Regarding output 2, OVI should be modified to focus on capacity development of farmers through support to WUG.

Further details are shown in ANNEX 2 (PDM version 2.0).

8-2. Operation and Maintenance of Irrigation Facilities

Irrigation facility, which is the major tool for increasing crop production, needs proper management by farmers.



At present not all of the villages have their WUG and regulations on irrigation management. The village where WUG and regulations does not exist should establish and enact them at each irrigation scheme urgently for appropriate design and operation/maintenance.

8-3. Technical Exchange

Exchange views and opinions between the pilot village members should be carried out in order to learn advantage of each village and to generate synergetic effects of rural development.

8-4. Mobilization of National Resources

National human resources should be used for effective and efficient project implementation if need be. They often give the Project advantages for carrying out project activities from the viewpoint of language and culture etc. For instance, Vietnamese experts' participation in the Project could be a great help to technology transfer of postharvest and marketing area as supporters to Japanese experts.

END



Project Name: The Northwest Region Rural Development Project in Viet Nam

Project Period: 2010 to 2015 (in total 5 years)

Target Area: Dien Bien Province (Pilot Districts: Dien Bien District, Tuan Giao District, Muong Cha District)

Target Group: local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises

Approved by 1st JCC on 24th June 2011

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal			
The rural development in Dien Bien Province is promoted.	1. Action plan formulated by the project is utilized in districts other than the pilot districts. 2. Production, amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy rice, maize and soybeans increase by more than XX% respectively in Dien Bien Province.	Interview Statistics of agriculture and industry in the Dien Bien Province.	• Economic and social situation of Northwest region will not change drastically. • Price of agricultural products do not fall drastically. • Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which effects the agriculture production will not occur
Project Purpose			
The rural development in the pilot districts is promoted through strengthening the system, as district government being the core thrust force, to improve the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products.	1. Average gross profit of farmers in the pilot district increase by XX% in average. 2. Production, amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy rice, maize and soybeans increase by more than XX% respectively in Pilot Districts.	Statistics of Dien Bien province and Pilot Districts	• The promotion strategy to production, processing, sale, maintenance of agricultural infrastructure of Dien Bien Province do not change. • Price of agricultural products do not fall drastically. • Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which effects the agriculture production will not occur
Outputs			
1. The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize etc. are improved in the Pilot Districts.	At each pilot commune, 1. Method and amount of using fertilizer is improved 2. Amount of using high quality seeds is increased. 3. Amount of sales of paddy rice, maize and soy beans increase by XX% 4. More than XX% of the participant in the training implement the improvement plan 5. More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts use guideline/manual made by project 6. Number of improvement plan implemented 7. Number of issues arisen and solved	Statistics of pilot communes Interview, check of commune/ district development plan by experts	Pro agriculture policy of Pilot District and Communes do not change.
2. Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot Districts	At each pilot commune 1. The areas of two and three-term paddy/maize/soy beans is increased by more than XXha. 2. More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts evaluate the improvement of irrigation facility management (operation, maintenance, repairment, etc.) 3. More than XX% of the participant in the training implement facility improvement plan. 4. More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts use guideline/manual made by project 5. Number and content of improvement plan implemented (Eg. Establishment of regular meeting, Organizing rules, activities for operation and management, etc.)	Statistics of pilot communes Interview, check of commune/ district development plan by experts	
3. The capacity for rural development of local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises is improved through strengthening the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products.	1. More than XX% of extension workers in the Pilot Communes are trained, and more than XX% of the participants understood the method of extension. 2. Level of understanding is more than XX% for participants from local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises. 3. More than XX% of the leaders of the districts other than the pilot districts evaluation the action plan to be executable.	Statistics of pilot communes Interview, check of commune/ district development plan by experts	
Activities	Inputs		
1-1. To study farming situation of candidate pilot commune and select the pilot communes.	<i>Japanese Side</i>	<i>Vietnamese Side</i>	Preconditions
1-2. To conduct baseline survey at the selected pilot communes of agricultural products, cultivation, postharvesting, marketing, rural infrastructure and irrigation system, existing extension system, etc.	1. Experts	1. Full-time C/Ps	The Coordinating Committee for the Project is established.
1-3. To conduct workshops for cultivation, post harvesting and marketing and identify farmers needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and extension workers.	(1) Chief advisor/maintenance rural infrastructure	2. Office for the Project	
1-4. To make improvement plan for better cultivation, post harvesting and marketing based on the problems identified with farmers and extension staffs.	(2) Cultivation	3. Information for the related projects	
1-5. To conduct training to farmers on the issues related to cultivation, post harvesting and marketing, and monitor whether the content of the training is utilized.	(3) Irrigation/Water resource management/Water management organization	4. Local budget	
1-6. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines/manuals which enable extension staffs to draw and implement the improvement plan according to the farmers' needs.	(4) Marketing		
1-7. To conduct OJT (On the Job Training) using guidelines/manuals to support the extension staffs to promote their extension activity to other communes of the pilot district.	(5) Coordinator/Planning training		
2-1. To conduct workshops for water use and identify needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and irrigation management staffs.	(6) Other necessary experts		
2-2. To draft and implement the improvement plan with the farmers and irrigation management staff for efficient and effective water usage based on the problems identified above.	2. Training in Japan, third countries, in Vietnam		
2-3. To conduct training to farmers and facility managers for water use, and identify whether the training is utilized.	3. Necessary equipment		
2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines, manuals which enable irrigation management staff to draw and implement the improvement plan according to the farmer's needs.			
2-5. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the irrigation management staffs to promote their water management activity to other communes of the pilot district.			
2-6. To identify the problems related with the management of rural infrastructure such as rural water supply facility(s) and community road(s), and solve them with farmers.			
3-1. To implement trainings to extension staff for obtaining better knowledge, attitude and skill.			
3-2. To implement trainings and feedback seminars for the officials of District People's Committee and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises.			
3-3. To formulate the action plan for expanding the outcome of the Project in the pilot district to other districts of the province.			

PROJECT DESIGN MATRIX (PDM) Version 2.0

Project Name: The Northwest Region Rural Development Project in Viet Nam

Project Period: 2010 to 2015 (in total 5 years)

Target Area: Dien Bien Province (Pilot Districts: Dien Bien District, Tuan Giao District, Muong Cha District)

Target Group: Local government (Provincial, district, Commune people's committees etc.), some agencies under those committees etc.

Result from Midterm Review on 15th March 2013

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal			
The rural development in Dien Bien Province is promoted.	1. Approximately by 2020, action plan formulated by the project is utilized in districts of DB Province other than the pilot districts by the governmental authorities of DB Province and districts. 2. Approximately by 2020, agricultural management in DB Province improves through increasing farming status for paddy rice, maize and soybeans etc.	1. Interviews with governments, 2. Interviews with the farmers in the pilot districts (sample number), Statistics of agriculture and industry in the Dien Bien Province 1&2: Statistics of agriculture and industry in the Dien Bien Province.	
Project Purpose			
The rural development in the pilot districts is promoted through strengthening the system, as district government being the core thrust force, to improve the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products.	More than 60% out of the farmers in the Pilot village improves their farming status(*1).	Statistics of Dien Bien province and Pilot Districts	1. The promotion strategy to production, post harvesting, maintenance of agricultural infrastructure of Dien Bien Province do not change. 2. Price of agricultural products do not fall sharply. 3. Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which effects the agriculture production will not occur. 4. Trained government staff do not leave their work. 5. Number of DB Province staff members will not sharply get reduced. 6. DB Province budget for the agriculture sector will not sharply decrease.
Outputs			
1. The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize etc. are improved in the Pilot Districts.	1-1. At each pilot village(*2), 60% of the identified problems in the improvement plan are improved. 1-2. At each pilot village, method of using fertilizer is improved by trained knowledge. 1-3. At the pilot village, seed production and seeding techniques are improved through gaining the knowledge on seeds. 1-4. More than 60% out of 47 Communes in the Pilot Districts understand guideline/manual made by project.	1-1,2,3: Interviews with the pilot farmers and statistics of the pilot communes 1-4. Interviews with the commune leaders and statistics of the pilot communes	1. Policy of promotion of Agricultural product, Post harvesting, Marketing and Infrastructure of in Dien Bien Province does not change.
2. Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot Districts.	2-1. 60% of the improvement plan(*3) is implemented in the pilot village. 2-2. More than 60% out of the farmers in the Pilot village recognize that irrigation water management is improved. 2-3. More than 60% of CPC irrigation staff and Irrigation Management Corporation in the Pilot Districts understand guideline/manual made by project	2-1. Interviews with the water and irrigation management group of the pilot village 2-2. Interviews with the farmers in the pilot village 2-3. Interviews with the technical staff of the CPC irrigation staff and Irrigation Management Corporation	
3. The capacity for rural development of local government (provincial, district and commune people's committees) is improved.	3-1. More than 60% of trained extension workers and commune leaders etc. in the Pilot Communes understood the method of extension. 3-2. Improvement of training method of Training institutions (Plant Protection, Agriculture promotion center) is recognized. 3-3. 60% of the FB seminar participants from the local governments (Provincial, Districts, Communes) recognized the impacts of the project. 3-4. More than 60% of the leaders of the districts other than the pilot districts evaluated the action plan to be executable.	3-1. Interviews with extension workers and commune leaders etc. 3-2. Interview with Training institutions 3-3. Interview with local governments (Province, District, Commune) and concerned authorities 3-4. Interview with leaders of the districts other than the pilot district	
Activities	Inputs		
1-1. To study farming situation of candidate pilot commune and select the pilot communes.	<i>Japanese Side</i>	<i>Vietnamese Side</i>	1. Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which effects the agriculture production will not occur. 2. Trained staff do not leave their work. 3. Number of DB Province staff members will not sharply get reduced. 4. DB Province budget for the agriculture sector will not sharply decrease.
1-2. To conduct baseline survey at the selected pilot communes of agricultural products, cultivation, post harvesting, marketing, rural infrastructure and irrigation system, existing extension system, etc.	1. Experts	1. Full-time C/PS	
1-3. To conduct workshops for cultivation, post harvesting and marketing and identify farmers needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and extension workers.	(1) Chief advisor/maintenance rural infrastructure	2. Office for the Project	
1-4. To make improvement plan for better cultivation, post harvesting and marketing based on the problems identified with farmers and extension staffs.	(2) Cultivation	3. Information for the related projects	
1-5. To conduct training to farmers on the issues related to cultivation and post harvesting, and monitor whether the content of the training is utilized.	(3) Irrigation/Water resource management/Water management organization	4. Local budget	
1-6. To monitor and verify the above activities in the pilot communes and to formulate guidelines/manuals for drawing the improvement plan according to the farmer's needs, and then to distribute them to the local governments.	(4) Marketing		
2-1. To conduct workshops for water use and identify needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and irrigation management staffs..	(5) Coordinator/Planning training		
2-2. To draft and implement the improvement plan with the farmers and irrigation management staff for efficient and effective water usage based on the problems identified above.	(6) Other necessary experts		
2-3. To conduct training to farmers and facility managers for water use, and identify whether the training is utilized.	2. Training in Japan, third countries, in Vietnam		
2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes and to formulate guidelines/manuals for drawing the improvement plan according to the farmer's needs, and then to distribute them to the local governments.	3. Necessary equipment		
2-5. To identify the problems related with the management of the small-scale infrastructure associated with rural development and solve them with farmers.			
3-1. To implement trainings to extension staff for obtaining better knowledge, attitude and skill.			
3-2. To implement trainings and feedback seminars for the officials of Province, District and Commune People's Committee and some related agencies etc.			
3-3. To formulate the action plan for expanding the outcome of the Project in the pilot district to other districts of the province.			
			Preconditions
			The Coordinating Committee for the Project is established.

(*1) Definition of "Farming status" Example: Production increase, Cost reduction of inputs etc.

(*2) Village: Non-government entity of residents under commune

(*3) Activities: Set up regular meetings, Set up rules, Maintenance etc.

Revised Points and Reasons of PDM

ANNEX 3

Result of Midterm Review (15th March 2013)

Category	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	Reasons for amendment
Target group	Local governments such as provincial, district and commune people's committee and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises	Local government (Provincial, district, Commune people's committees etc.), some agencies under those committees etc.	Expression is simplified.
Overall Goal	The rural development in Dien Bien Province is promoted	No change	—
Indicators for the Overall Goal	1. Action plan formulated by the project is utilized in districts other than the pilot districts.	1. Approximately by 2020, action plan formulated by the project is utilized in districts of DB Province other than the pilot districts by the governmental authorities of DB Province and districts.	<ul style="list-style-type: none"> • Implementing bodies and areas of the action plan are clarified. • Due to the nature of the agriculture project, the target year is set around 2020 which is about 3 year later than the normal case for the ex-post evaluation timing.
	2. Production, amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy rice, maize and soybeans increase by more than XX% respectively in Dien Bien Province.	2. Approximately by 2020, agricultural management in DB Province improves through increasing farming status for paddy rice, maize and soybeans etc.	Emergence of each output cannot measure by the single figurer such as agricultural profit nor production amount. Thus these indicators are replaced by "farming status" which is more comprehensive indicator.
Means of Verification for the Overall Goal	1. Interview	1. Interviews with governments,	Clarifying interview targets
	2. Statistics of agriculture and industry in the Dien Bien Province	2. Interviews with the famers in the pilot districts (sample number), Statistics of agriculture and industry in the Dien Bien Province 1&2 : Statistics of agriculture and industry in the Dien Bien Province	<ul style="list-style-type: none"> • Clarifying interview targets • Conduct survey in the sample area most impacted by the project within DB Province

Revised Points and Reasons of PDM

ANNEX 3

Result of Midterm Review (15th March 2013)

Category	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	Reasons for amendment
Important assumption for the Overall Goal	<p>1. Economic and social situation of Northwest region will not change drastically.</p> <p>2. Price of agricultural products do not fall drastically.</p> <p>3. Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which effects the agriculture production will not occur</p>	Deleting	<ul style="list-style-type: none"> • These are assumption for the project purpose level. • Not necessary as no super goal is set.
Project Purpose	The rural development in the pilot districts is promoted through strengthening the system, as district government being the core thrust force, to improve the production, post harvesting and marketing of market oriented agricultural products.	No change	
Indicators for the Project Purpose	<p>1. Average gross profit of farmers in the pilot district increase by XX% in average</p> <p>2. Production, amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy rice, maize and soybeans increase by more than XX% respectively in Pilot Districts.</p>	<p>More than 60% out of the farmers in the Pilot village improves their farming status</p> <p>(*)Definition of "Farming status" Example : Production increase, Cost reduction of inputs etc.</p>	<p>1. Changing from "Pilot Districts" to "Pilot village" and clarify where project purpose will be identified.</p> <p>2. Emergence of each output cannot measure by the single figurer such as agricultural profit nor production amount. Thus these indicators are replaced by "farming status" which is more comprehensive indicator. It can be differentiated by 3 target districts.</p>

Handwritten mark

Category	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	Reasons for amendment
Means of Verification for the Project Purpose	<ol style="list-style-type: none"> 1. Statistics of Dien Bien province 2. Statistics of Pilot Districts 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Interviews with farmers in the pilot village 2. Results of the experimental cultivation 3. Statistics of Dien Bien province 4. Statistics of Pilot Districts 	In addition to statistical data, interviews and results of the experimental cultivation are added to assess the situation of the farming status.
Important assumption for the Project Purpose	<ol style="list-style-type: none"> 1. The promotion strategy to production, processing, sale, maintenance of agricultural infrastructure of Dien Bien Province do not change. 2. Price of agricultural products do not fall drastically. 3. Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which effects the agriculture production will not occur. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. The promotion strategy to production, post-harvesting, maintenance of agricultural infrastructure of Dien Bien Province do not change. 2. Price of agricultural products do not fall sharply. 3. Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which effects the agriculture production will not occur. 4. Trained government staff do not leave their work. 5. Number of DB Province staff members will not sharply get reduced. 6. DB Province budget for the agriculture sector will not sharply decrease. 	Clarifying 1, 2, 3 and Adding 4, 5, 6.
Output 1	The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural projects as paddy, soybean, maize etc. are improved in the Pilot Districts.	No change	—

Revised Points and Reasons of PDM

ANNEX 3

Result of Midterm Review (15th March 2013)

Category	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	Reasons for amendment
Indicators for Output 1	1-1. At each pilot commune, method and amount of using fertilizer is improved.	1-1. At each pilot village, 60% of the identified problems in the improvement plan are improved. (*village : Non-government entity of residents under commune	1-1 is about degree of problems to be improved. 1-2 & 1-3 are about details of tools to be improved.
	1-2. At each pilot commune, amount of using high quality seeds is increased.	1-2. At each pilot village, method of using fertilizer is improved by framed knowledge.	
	1-3. At each pilot commune, amount of sales of paddy rice, maize and soy beans increase by XX%.	1-3. At the pilot village, seed production and seeding techniques are improved through gaining the knowledge on seeds.	
	1-4. More than XX% of the participant in the training implement the improvement plan.	Deleting	Improvement plan is not directly relating to the Output.
	1-5. More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts use guideline/manual made by project.	1-4. More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts understand guideline/manual made by project.	1. Change from "Use" to "Understand" 2. Set the target figure to "60%"
	1-6. Number of improvement plan implemented	Deleting	It is not estimated to reach the implementation stage.
	1-7. Number of issues raised and solved	Deleting	Deleting due to unclear indicator.
Means of Verification for Output 1	Statistics of pilot communes Interview, check of commune/district development plan by experts.	1-1,2,3: Interviews with the pilot farmers and statistics of the pilot communes 1-4. Interviews with the commune leaders and statistics of the pilot communes	In addition to the statistical information, interviews will be conducted to assess the farming status

Category	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	Reasons for amendment
Output 2	Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot Districts.	No change	
Indicators for Output 2	2-1. The areas of two and three-term paddy/maize/soy bean is increased by more than XX ha.	2-1. 60% of the improvement plan is implemented in the pilot village. (The areas of two and three-term paddy/maize/soy bean is increased by more than XX ha.) (Remarks: Activities: Set up regular meetings, Set up rules, Maintenance etc.)	Set the 1st target to implement the organizational building activities
	2-2. More than XX % of 47 Communes in the Pilot Districts evaluate the improvement of irrigation facility management (operation, maintenance, repairment, etc.).	2-2. More than 60% out of the farmers in the Pilot village recognize that irrigation water management is improved.	Set the 2nd target to improve the irrigation water management at the farmer's level
	2-3. More than XX % of the participant in the training implement facility improvement plan.	Deleting	Improvement plan is not directly relating to the Output
	2-4. More than XX % of out of 47 communes in the Pilot Districts use guideline manual made by project.	2-3. More than 60% of CPC irrigation staff and Irrigation Management Corporation in the Pilot Districts understand guideline manual made by project.	1. Clarifying the target group 2. Set the target figure 60% 3. Change from "Use" to "Understand"
	2-5. Number and content of improvement plan implemented (Eg., Establishment of regular meeting organizing rules, activities for operation and management, etc.)	Deleting	Number and content of implementation of the improved plan are not directly relating to the Output

Revised Points and Reasons of PDM

ANNEX 3

Result of Midterm Review (15th March 2013)

Category	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	Reasons for amendment
Means of Verification for Output 2	Statistics of pilot communes Interview, check of commune/district development plan by experts.	2-1. Interviews with the water and irrigation management group of the pilot village 2-2. Interviews with the farmers in the pilot village 2-3. Interviews with the technical staff of the GR Irrigation staff and Irrigation Management Corporation	Due to difficulties in collecting statistical data, interviews will be conducted to assess the irrigation management situation.
Output 3	The capacity for rural development of local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises is improved through strengthening the production, post-harvesting and marketing of market-oriented agricultural products.	The capacity for rural development of local government (provincial, district and commune people's committees) is improved.	Expression is simplified.
Indicators for Output 3	3-1. More than XX% of extension workers in the Pilot communes are trained, and more than XX% of the participants understood the method of extension.	3-1. More than 60% of trained extension workers in the commune leadership in the Pilot communes understood the method of extension.	The target is added to Pilot Communes from the District.
	3-2. Level of understanding is more than XX% for participants from local government such as provincial, district and commune people's committees, and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises.	3-2. Improvement of training method of training institutions (Plant Protection, Agriculture promotion center) is recognized.	New target is set for the training institutions.

Revised Points and Reasons of PDM

ANNEX 3

Result of Midterm Review (15th March 2013)

Category	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	Reasons for amendment
Indicators for Output 1	3.34 More than XX% of the leaders of the districts other than the pilot districts evaluated the action plan to be executable.	3.3 60% of the FB seminar participants from the local governments (Provincial Districts, Communes) recognized the impacts of the project. 3.4 More than 60% of the leaders of the district other than the pilot districts evaluated the action plan to be executable.	1. Set the target figure to "60%" 2. Clarify the target group. Set the target figure to "60%".
Means of Verification for Output 3	Staffing of pilot committees; Interview check of community district development plan by expert.	3.1 Interviews with concerned staff, village leader, etc. 3.2 Interviews with training institutions. 3.3 Interviews with local governments (provincial, districts, communes). 3.4 Interviews with district leaders of the remaining districts.	Due to difficulties in collecting statistical data, interviews will be conducted to assess the execution situation.

Revised Points and Reasons of PDM

ANNEX 3

Result of Midterm Review (15th March 2013)

Category	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	Reasons for amendment
Activity 1	1-1. To study farming situation of candidate pilot commune and select the pilot communes.	No change	—
	1-2. To conduct baseline survey a the selected pilot communes of agricultural products, cultivation, post harvesting, marketing, rural infrastructure and irrigation system, existing extension system, etc.	No change	—
	1-3. To conduct workshops for cultivation, post harvesting and marketing and identify farmers needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and extension workers.	No change	—
	1-4. To make improvement plan for better cultivation based on the problems identified with farmers and extension staffs.	No change	—
	1-5. To conduct training to farmers on the issues related to cultivation, post harvesting and marketing, and monitor whether the content of the training is utilized.	1-5. To conduct training to farmers on the issues related to cultivation and post harvesting, and monitor whether the content of the training is utilized.	Expression is simplified by including "marketing" to "post harvesting"
	1-6. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines/manuals which enable extension staffs to draw and implement the improvement plan according to the farmers' needs.	1-6. To monitor and verify the above activities in the pilot communes and to formulate guidelines/manuals for drawing the improvement plan according to the farmer's needs, and then to distribute them to the local governments.	Expressing is simplified and "Distribution of guidelines/manuals" is included.

Revised Points and Reasons of PDM

ANNEX 3

Result of Midterm Review (15th March 2013)

Category	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	Reasons for amendment
Activity 1	1-7. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the extension staffs to promote their extension activity to other communes of the pilot districts.	Deleting	Output is not relating to the OJT of the other communes
Activity 2	2-1. To conduct workshops for water use and identify needs and major challenges, thus deepening the understanding farmers and irrigation management staffs.	No change	—
	2-2. To draft and implement the improvement plan with the farmers and irrigation management staff for efficient and effective water usage based on the problems identified above.	No change	—
	2-3. To conduct training to farmers and facility managers for water use, and identify whether the training is utilized.	No change	—
	2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines, manuals which enable irrigation management staff to draw and implement the improvement plan according to the farmer's needs.	2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes and to formulate guidelines/manuals for drawing the improvement plan according to the farmer's needs, and then to distribute them to the local governments.	Expressing is simplified and "Distribution of guidelines/manuals" is included.

Revised Points and Reasons of PDM

ANNEX 3

Result of Midterm Review (15th March 2013)

Category	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	Reasons for amendment
Activity 2	2-5. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the irrigation management staffs to promote their water management activity to other communes of the pilot district.	Deleting	Output is not relating to the OJT of the other communes
	2-6. To identify the problems related with the management of rural infrastructure such as rural water supply facility(s) and community road(s), and solve them with farmers.	2-5. To identify the problems related with the management of the small-scale infrastructure associated with rural development and solve them with farmers.	Project purpose is on rural development and therefore clarifying in the PDM that it is associated with the infrastructure.
Activity 3	3-1. To implement trainings to extension staff for obtaining better knowledge, attitude and skill.	No change	—
	3-2. To implement trainings and feedback seminars for the officials of District People's Committee and some agencies under those committees, as well as mass organizations and agricultural enterprises.	3-2. To implement trainings and feedback seminars for the officials of Province, District and Commune People's Committee and some related agencies etc.	Expression is simplified.
	3-3. To formulate the action plan for expanding the outcome of the Project in the pilot district to other districts of the province.	No change	—
Precondition	The Coordinating Committee for the Project is established.	No change	—

**Evaluation Grid for Mid-term Review
Verification of Performance**

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey Results
Main Questions	Sub-Questions			
Were the Inputs allocated as planned?	Have Japanese experts been dispatched as planned?	Comparison of plans and results	Project documents Japanese experts	# 2 long term experts (Chief advisor) and 2 coordinators, one expert in irrigation have been dispatched so far. # Dispatch of some short term Experts in agriculture delayed. # Japanese Expert in marketing has not dispatched yet.
	Have necessary equipment been installed / provided as planned?	Comparison of plans and results	Project documents Japanese Experts	# the Project has purchased the following items as planned: 2 vehicles, PC, Bicycle, Safe , A/C, Photocopy machine, UPS, Printer, Shredder, projector, generator, grain moisture meter, portable scale, digital camera, laser distance meter, digital water velocity meter, electromagnetic current meter, Schmidt hammer, refrigerator.
	Have the installed/ provided equipment been properly used and maintained?	Comments from experts Observation	Project documents Japanese Experts	# The equipment have been appropriately used by the Project and C/P so far.
	Were the C/P Trainings conducted as planned?	Comparison of plans and results	Project documents Japanese Experts	# the Project has dispatched 20 C/Ps to Japan for learning irrigation management and agriculture in rural area
	How much of budget for project activities was covered by the Japanese side?	Comparison of plans and results	Project documents Japanese Experts	Total 143,331,500JPY has provided as the project cost from Japanese side.
	For what and how much were local costs paid by the Japanese side?	Comparison of plans and results	Performance table	# 24,160, 000JPY has been provided as the total of local cost including contract fee for field surveys on soil, paddy, maize, soy beans, etc. # Japanese side has covered travel allowance of C/P since the beginning of the project.
	Has the adequate budget been allocated for project management by the Vietnamese side? Has the allocated budget been efficiently executed?	Comparison of plans and results	Project documents Stakeholders	# Although the project cost boned by the Japanese side for the first project period for the fiscal system of the Vietnamese government, the budget has been allocated appropriately since then.
	Were the C/P and management staff appointed as planned?	Comparison of plans and results	Project documents Japanese Experts Stakeholders	# Appointment of PM (as planned in R/D) completed in Feb. 2011 (4 months delay) # Appointment of DARD C/P completed in March 2011, and D-PMU was officially formed in late March 2011.
	Were the Project office, furniture, telecommunication network, and facilities equipped as planned?	Observations	Project documents Japanese Experts Stakeholders	# There were no obstacles observed.
Comparing with indicators in PDM, have the Outputs been produced as planned?	Output1 : The method and approach for production, processing and sales of agricultural products such as paddy, soybean and maize are improved in the Pilot Districts	Comparison of targets and results	Project documents Japanese Experts Stakeholders	<Indicators> 1-1.Method and amount of using fertilizer are improved in the pilot communes (PCs) # The organic fertilizer introduced by the Project is well applied among the pilot farmers and they explained the amount of using chemical fertilizer reduced. 1-2.Amount of high quality seeds grown in the PC is increased # The Project is testing technology of cultivation of high quality seeds in pilot farm. 1-3.Amount of sales of paddy rice, maize and soy beans are increased by XX% # Some farmers in DB district indicated amount of sales of rice increased after applying new technologies of cultivation that the Project introduced. Most farmers in TG and MC districts cultivate rice, maize and soy beans for self-consumption, not for sale. 1-4.More than XX% of training participants implements the improvement plans #Improvement plan is implemented at the demonstration farm. 1-5.More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts uses the guideline/manual made by the Project # The Project plans to make the guideline/manual in the 4th project year. 1-6.Number of improvement plans implemented # This indicator is unclear. 1-7.Number of issues raised and solved # This indicator is unclear.

Evaluation Grid for Mid-term Review Verification of Performance

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey Results
Main Questions	Sub-Questions			
Comparing with indicators in PDM, have the Outputs been produced as planned?	Output2: Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot District	Comparison of targets and results	Project documents Japanese experts Stakeholders	<p>2-1. Double-cropping of paddy rice or two different crops are applied in more than XX% of crop fields in the PC</p> <p>Some pilot farmers in some pilot districts reported that double cropping paddy is increased.</p> <p>2-2. More than YY% out of DARD Communes in the Pilot Districts evaluates the improvement of irrigation facility management (operation, function maintenance, repair etc.)</p> <p>The Project has started to formulate WUG for irrigation facility management and farmers evaluate such WUG would be useful for participatory irrigation management</p> <p>2-3. More than XX% of the participant in the training implement facility improvement plan.</p> <p>The Project is making implement plans in the 3rd year.</p> <p>2-4. More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts uses the guideline/manual made by the Project</p> <p>The Project expects to make the guideline/manual in 4th to 5th year</p> <p>2-5. Number of improvement plans implemented and content of the plans</p> <p>The Project expects that the improvement plans would be implemented by the end of the Project in the pilot villages.</p>
	Output3: Local government (provincial, district and commune people's committee), related agencies, mass organizations, farmer's union and agricultural enterprises improve capacity for rural development through strengthening the production, processing and sales of market-oriented agricultural products	Comparison of targets and results	Project documents Japanese experts Stakeholders	<p>3-1. More than XX% of extension workers in the Pilot Districts joined the training, and more than XX% of the participants understands the extension methods</p> <p>Approximately 50% of the extension workers participated in the training, and they understand the method of extension.</p> <p>3-2. More than XX% of participants from local government (provincial, district and commune people's committees), related agencies, mass organizations, farmers' union and agricultural enterprises understood the content of the seminar.</p> <p># Members of DPMU, staff of Extension Center who participated in training understand well.</p> <p>3-3. More than XX% of the leaders of the districts other than the Pilot Districts evaluate that the action plans can be applicable</p> <p># It's not evaluable since the action plan will be formulated in 4th to 5th project year.</p>
Comparing with the indicators in PDM, will objectives of the Project be achieved? -Objectives of the Project: [Agricultural development is enhanced through strengthening the institution of administration offices at district level that promote production, processing and sales of market oriented agricultural products in the Pilot Districts]	Indicator1: Gross profit of farmers in the Pilot Districts increases by XX% on average	Targeted value Comparison of targets and results	Project documents Japanese Experts Stakeholders	Some of farmers at the pilot communes explained their profit out of rice production has increased, and saved some money by producing organic fertilizers. With the activities planned in PDM, it is expected that the farmers will improve their farming in the latter part of project period through strengthened government officers.
	Indicator2 : Production and the amount of sales of market oriented agricultural products such as paddy rice, maize and soy beans increase by more than XX% respectively in the Pilot Districts	Targeted value Comparison of targets and results	Project documents Japanese Experts Stakeholders	Dien Bien district has potential to increase sales, value of sales of market oriented agricultural production with more market-focused extension services. In the two districts (TG and MC), rice is produced for self-consumption because the people have scarce of rice. Also, livestock such as pig and buffalo is sold for cash. Therefore, the project goal for Dien Bien district and TG and MC districts may differ.

*Project documents: Report of detailed planning survey, MM, documents from the first JCC meeting, summary table, project completion report and others

**Evaluation Grid for Midterm Review
Verification of Implementation Process**

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Survey result
Main Questions	Sub-Questions		
Were activities implemented as planned?	Have the Project activities been implemented in line with the PO?	Comparison of plans and results PO	# The Project has conducted variety of survey to identify the agriculture situation in the Pilot Communes, and conducted many trainings/seminars based on the needs of farmers. Total participants of the training/seminar is 2,844 up to date. # Some of agriculture related activities started later than planned due to delay of the Japanese expert # Marketing related activities have been delayed due to delay of the Japanese expert has delayed. # It took about one year till implementation of the Project was officially approved, and C/P was appointed in August 2011.
Is there any problem in the measures to transfer skill/knowledge/techniques?	Measures to transfer skill/knowledge/techniques	Training contents Methods Comments from Japanese experts and target groups such as DARD on the level of transferred techniques	# The Project has actively implemented pilot cultivation of paddy, maize and soybeans with model farmers # The Project has conduct variety of training and workshops on cultivation skills, pest control, fertilizers, water management, as well as field trip to other projects. # The Project has introduced Participatory Irrigation Management system, which is basically regarded as appropriate measures, but some farmers think the whole process of participation is time consuming.
Is there any problem in the project management system (monitoring system, decision-making process, functioning of JICA Vietnam office, communication mechanisms among project staff)?	Does JICA Vietnam Office promptly adjust project activities, provide advice, and communicate with related agencies based on the monitoring result? How is the Project monitored and what is improved as a result of the monitoring? Issues of the monitoring and actions to be taken to deal with the issues	Opinions from Japanese experts Comments from the staff in charge of the project in JICA Vietnam Office Comments from Japanese experts Comments from stakeholders such as DARD	# Semi-annual summary tables of project management were submitted to JICA Vietnam Office #Chief Advisor prepared and submitted Progress Report semiannually and the Completion Report. #Long-term experts submit Completion Reports only. (Irrigation Expert has not completed his term therefore not submitted the report yet.) #Short-term experts submit Completion Reports and those whose term are the longer than one year prepare and submit Interim Reports as well as Completion Report. # Monthly Meetings are regularly held with Provincial and District PMU at each DPMU office. In the meeting, activities in the month and the plan for the next month are shared, and issues related to project activities are discussed together with the Project. # Not only regular meeting, Provincial PMU and District PMU have close contact with the Project whenever unexpected issue raised and look for the measures to tackle together.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Verification of Implementation Process**

Evaluation Questions		Information needed	Survey result
Main Questions	Sub-Questions		
Do the implementing agency and C/P well understand/actively participate in the project?	How does DARD recognize the Project activities well?	Opinions from the C/P in DARD	# It took some time for DARD to understand the Project's objectives and how to implement the activities since it was first experience for DARD to implement JICA project. DARD recognizes its role and how to deal with the Project now.
	Does T/G actively participate in the activities?	DPC in 3 targeted districts (DARD, agriculture station) CPC, extension workers (D/P-PMU) Farmers in the targeted communes	# C/Ps at DARD also have participated some training such as training in Japan for Participatory Irrigation System, and provide daily support to the Project. # extension workers of District Agriculture center and or staff from Plant Protection Center provide direct supports to the Project for implementation of activities. # Commune extension workers actively support farmers and the Project to conduct training and workshops at field level. # Farmers in the target commune are very much active to participate in the activities such as training on crop cultivation, pest& disease control, establishment of Water User's Group for participatory irrigation management, and organic fertilizer composts production. # Some DPMU feel difficult to keep attention from farmers without construction of irrigation and larger paddy field for pilot cultivation.
Are appropriate personnel assigned as C/P?	Are the C/P (DARD staff) appointed as planned?	Staff allocation	# PM from DARD started its duty as C/P since March 2011, and finished to set up DPMU in June 2011. Due to the Vietnamese fiscal system, C/P actually has been appointed since January 2012.
	Are the number of C/P, their roles, positions, capacity and assignment relevant?	Opinions from stakeholders	# C/P with appropriate TOR have been appointed step by step and all the C/P are appointed appropriately at present.
	In comparison with the plan, is there any change at current stage in direct beneficiaries: DARD, agriculture station, CPC, CPC extension workers?	Role of each T/G in the project	#DARD, DPC Agriculture Station, CPC extension workers are mostly direct beneficiaries.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Verification of Implementation Process**

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Survey result
Main Questions	Sub-Questions		
Are appropriate personnel assigned as C/P?	Which organizations are involved in this project other than the direct beneficiaries? How deeply are these organizations involved?	Name of organizations and their activities deeply involved in the project other than direct beneficiaries	# Farmers' organization is only functioning to deliver seeds. # Farmers tend to sell products not collectively, but individually due to timing and pricing. # The Plant Protection Center and Agriculture Promotion Center are the main training institutions with experience of training for farmers, however, the handouts and training contents need to be improved. NORRD needs collaboration with these institutions, and promote more collaboration through JCC and other human network. # The Project conducted training participatory irrigation management with VAWR.
Is there any other problem occurred during the implementation phase? What are the causes?	1. Processing and sales activities are especially behind the schedule (comparing DB district and other 2 districts)	Needs of DARD and T/G Market information Activities of farmer's union Information on intermediary agencies Input from the Japanese side	# Experts for these activities are insufficient. Agricultural products in the targeted areas are mainly for the residents' consumption. In particular, amount of agricultural products are less sufficient in 2 districts. The targeted areas are not easily accessed. # Needs for sales activities are differed from areas.
	2. The Project cannot actively collaborate with Yen loan projects	Present status of the Yen roan project	Since construction of a processing factory was cancelled, making the collaboration difficult

**Evaluation Grid for Midterm Review
Relevance**

Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey Results
Main Questions	Sub-Questions			
Needs	Are objectives of the Project appropriate as a measure to solve issues of agricultural and rural development in Vietnam at present? Objectives: [Agricultural development is enhanced through strengthening the institution of administration offices at district level that promote production, processing and sales of market oriented agricultural products in the Pilot Districts]	Agricultural production in the Pilot Districts; Current situation of processing and sales of agricultural products in particular	General Statistics Office of Vietnam Latest version of Statistic Yearbook Project documents Mission Japanese experts Stakeholders such as DARD Market	# DB District, located in the Northwestern Region, is the second poorest areas of Vietnam with the poverty rate of 39.3% in 2008 and development need is still high. # Among its population (490,000 in 2009)of the district, 80 % is living in rural area, and people are dependent mainly on agriculture. Also, 80 % of the population consists of ethnic groups in the district. # The land in DB district is occupied with steep slopes where people are obliged to cultivate crops (mainly rice, maize and soybeans) in harsh and limited land. # In order to improve livelihood of the people in the district, increase of rice production is regarded as the highest need, and capacity development for local government officials to tackle issues on agriculture is particularly important to empower farmers in the district.
	Is the Project still in line with the needs of DARD?	Needs analysis of DARD	Project documents Missions DARD	# DARD would like to increase livelihood of people living in mountainous area through better production of rice, maize and soybean.
	Is the Project still in line with the needs of T/G?	Changes in the needs of T/G other than DARD	Project documents DPI, DOF, DTI, DONRE, DPC, CPC, Agricultural extension workers PPMU, DPMU Japanese Experts	# District Agriculture Center wants to introduce new skills and technology for farmers, but it has been difficult due to lack of budget and human resource. # Forestry is decreasing and water scarcity is getting sevier. In such situation, rice production is difficult to increase. Farmers are very keen to learn and apply new skills and technology of rice cultivation for better production but with less production cost. # While promotion of marketing is possible only in DB District, it is difficult for the Project to seek for new market or providing advice for government officers. Marketing can be a part of contents of extension to meet the needs of farmers who want to sell their products if they can. # Most farmers intend to gain cash from selling cattle, not rice, soybeans, nor maize. They sell rice too, but only for small amount. # Farmers produce vegetables for market, even though it is small amount of production. # In DB district, farmers want to improve quality of crop and livestock. Still, rice is the most important crop for farmers, therefore, they are very much interested in pest& disease control. # Irrigation projects in Vietnam was plan equally in any area, and implemented by contractors without taking consideration of effects and efficiency. On the other hand, the Project's objectives is not just to construct irrigation facility but to promote participatory irrigation management by involving farmers from planning stage. Some C/P and farmers get used to the Vietnamese way, it takes time for them to understand the Project intention, and people tend to think that PIM is time consuming and waiting for construction. # Some DPMU understand the meaning of PIM and want to promote it even it will take time. Not only PIM, the Project has introduce variety of advanced technique to make organic fertilizer, decrease chemical fertilizer, density of rice, and control of water level. # DPMU and farmers want the Project to expand demonstration farm to improve its demonstrative function.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Relevance**

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey Results
Main Questions	Sub-Questions			
Needs	Is the Project still in line with the needs of farmers in the Pilot Communes?	Changes in the needs of Agricultural cooperatives, mass organizations and farmers	Project documents Agricultural cooperatives Mass organizations Targeted farmers	[When it is planned] Needs by 3 Districts were different [After starting the Project] Farmers request diverse information such as technology for agricultural production, pest control and methods of stockbreeding. Farmers are strongly eager to improve agricultural productivity and livelihood. Farmers continuously received easy-to-understand instructions together with photos and tables for raising and maintaining paddy rice. Many of participants requested more detailed information, while they also pointed out the lack of instruction for agricultural extension and information insufficiency.
Priority	Is the Project in line with the direction of agricultural and rural development under the development policies of Vietnam?	Differences in related policies such as SEDS (2001-2010), SEDP (2006-2010), and SEDP (2011-2015) Views of government officials on development policies	Strategy documents MPI	[Social and Economic Development Strategy (2001-2010)] Reducing the number of families under poverty [Social and Economic Development Plan SEDP) (2006- 2010)] Aiming at reducing the poverty rate by 10% [Social and Economic Development Plan (SEDP) (2011-2015)] Continuously aiming at industrialization (by 2020) as well as emerging from low income country (by 2010). Strongly promoting the establishment of new model of rural areas by increasing investment in rural economy and agricultural production. Assuring 3,812,000ha for paddy field, and executing special regulations and policies to protect rice producing areas and its farmers so that Vietnam could secure food for the country. Improving livelihood in remote areas, mountainous areas, islands, areas under serious poverty, and residential areas of minority groups. Formulating plans to stabilize life of minority groups, mountainous areas, border areas and islands. Strengthening the system of decentralization from the central Government to local government, and setting an experimental model of city authority as early as possible. Revising the regulations on decentralization of the power.
		Differences between Agricultural and Rural Development Plan (2006-2010) and the latest one Views of government officials	Planning documents MARD DARD	# Agricultural and Rural Development Plan (2006-2010) prioritizes decrease of poor house hold in rural area through income generation by agricultural development.
		Contents and relevancy of the National Target Programme (NTP) on New Rural Areas for 2010-2020	Program document MARD DARD	NTP was set for operationalizing the Resolution 26-NQ/TW (2008) on agriculture, farmers, and rural areas which focuses on development and modernization of agriculture to ensure food security, training of rural human resources, increase income for rural people, and on development of the rural socio-economic infrastructure.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Relevance**

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey Results
Main Questions	Sub-Questions			
Priority	Is the Project in line with the direction of agricultural and rural development under the development policies of Vietnam?	Agriculture Policy in DB Province	DARD	# DANIDA has supported Provincial Government to establish the Master Development Plan of DB province, which covers till 2020. The agricultural sector plan will be formulated on the base of the master plan. # DARD has strengthened services from commune extension workers since 2011, and it increases the number of extension workers at commune level. Based on this policy, 2 extension workers are appointed at the commune with more difficulties. # DARD issued the circular to regulate establishment of Water User Group for participatory irrigation management at commune level.
	Is the project in line with Japan's country assistance policy and JICA's implementation strategy?	Japan's country assistance policy and priority areas Role of this project in the rolling plan	Country Assistance Policy (July 2009)	[Country Assistance Policy for Vietnam] While the country has been developed, income of the citizens is still low. A certain number of the poor still exist especially among minority groups in remote areas. Furthermore, income gap among citizens, income gap between urban and rural areas, and environmental pollution are expanding. Under such circumstances, Japan strengthens further economic growth and international competitiveness, improves living and social conditions and corrects disparities, supports environmental conservation, and strengthens governance (as a pillar of above three areas). In order to reduce the gap between rural and urban areas as well as the gaps among ethnic groups, Japan prioritizes sustainable social and economic development. It also focuses on the development of poor areas such as northern mountainous areas to establish an equitable society. Japan supports the improvement of policies and institutions that pay due attention to the poor in rural areas. It also strengthens the safety of foods and agricultural and fishery products by improving quarantine system. Japan focuses on improvement in technology, strengthening of the bio-diversity protection system, and organizing farmers. Moreover, Japan supports the diversification of livelihood in rural areas including the development of local industry such as processing of agricultural and fishery products. When Japan provides the assistance, it aims at achieving greater impact through effective collaboration of the improvement of accessibility to social services, quality control of the services, and infrastructure development (water supply, irrigation etc.). Japan also pays special attention to the establishment of a sustainable system that adequately involves central and local governments and local communities.
			Rolling Plan (November 2011)	[Rolling Plan] As part of a Program 'Development of the Northwest Mountainous Region' that aims at regional development and improvement of livelihood of Northwest Mountainous Area, this program was established to support the development of 'Development Triangle'.
Adequacy as a measure	Is strategy of the Project appropriate to tackle development issues in the area of agricultural and rural development?	Changes of relevance in the selection of targeted areas	Project documents Mission Japanese experts Report of the first JCC meeting	[Criteria for selecting the Pilot Communes and changes of relevance at present] Based on the selection criteria below, Pilot Communes were declined from 9 to 6 communes after the first baseline survey and discussion among stakeholders. 1. Good access from district DPCs (vehicles can reach the communes even in the rainy season) 2. The communes have irrigation systems 3. Issues in the communes can be solved by receiving the support from JICA experts 4. Commune People's Committee (CPC) and farmers positively participate in the Project 5. CPC and farmers can implement the Project 6. Farmers' network is functioning in the communes

**Evaluation Grid for Midterm Review
Relevance**

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey Results
Main Questions	Sub-Questions			
				<p>[Criteria for selecting the project pilot areas (in each commune) and changes of relevance at present]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Good access from CPCs to the pilot areas (distance, road condition) 2. Pilot areas locates in the same place 3. Pilot areas can include crop fields at slopes, but the ramp-rate should be less than 10% 4. One farming land area should be 10ha. In the case of slopes, the size of the land can be less than 10ha if waterways are available at flatlands 5. At least one of the pilot areas should be a paddy field for double-cropping, or productivity can be increased by improving water management 6. Farmers' union actively participate in the Project
		Comparing planned approaches and current situation	Project documents Mission Japanese experts	<p>[Changes in relevance of approaches from the planning phase to the present]</p> <p>In addition to the support for crop production such as rice, soy beans and maize, the Vietnamese side requested further support for livestock breeding (when the project was planned). As a result, it was decided that the Project supports the production of rice, soy beans and maize for the first 2 years, then the possibility to include the support for stockbreeding will be considered after examining the current situation and issues.</p> <p># At the present, the project has recognized that it would not be realistic to expand its activities for livestock breeding due to time and human resource constraints.</p> <p># The Project has taken an approach to select more active model farmers and commune extension officers among those of all the pilot communes first for learning new technology to produce organic fertilizer. Through such activities, the selected model farmers and commune extension officers are expected to expand their knowledge and skill to other farmers in and outside of the pilot communes.</p> <p># The training that the Project provides consists of lecture and field practice, which are easy to understand for farmers.</p> <p># Current objectives of the technical transfer focus on the systematic extension method of the agricultural knowledge & information. Therefore, on the sites, Plant Protection Division and Agricultural Promotion Center which conduct extension of knowledge & information to the farmers, are involved in the discussion and conducting technical transfer of the extension methods.</p>
Adequacy as a measure	Is there any mutual benefit from coordinating with other development agencies?	Latest programs of other donors and detailed collaboration examples	Project documents Documents of other donors (ADB, EU etc.) Japanese experts Stakeholders	The national integrated rural development program which has been implemented with donors' assistance, covers some part of the Project target communes. In the National program, access road is improved, which improved the target commune's access to town significantly. The project has increased productivity of rice, so these two project are delivering impact to farmers from infrastructure side and productivity side at the same time.
	Is the selection of C/P organizations (DARD) appropriate?	Process of determining DARD as the C/P and relevancy of the C/P at present situation	Project documents Japanese Experts Mission	DARD is responsible for improvement of livelihood of rural people through agriculture development. Therefore, DARD is appropriate to be a C/P organization to cope with the Project at present as well.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Relevance**

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey Results
Main Questions	Sub-Questions			
	Is the selection of the target groups (DARD, DPI, DOF, DTI, DONRE) appropriate? (target, size, gender balance etc.)	TOR of appointed staff in each target group Roles in the Project	Project documents Mission Japanese Experts T/G of each agency	The main target groups for the Project are now recognized as DARD, DPC, CPC, Agriculture Center and Plant Protection station in District.
	Are Japanese technologies effective? (is the know-how of the necessary technology accumulated? Can Japanese experiences be effectively utilized?)	Utilization of experiences accumulated from relevant projects, utilization of the know-how	Project documents JICA Website Japanese experts	# JICA has implemented many agricultural projects in Vietnam, accumulating its experiences to transfer Japanese technology to government officials and farmers. # Related JICA projects are; 1)Project for Strengthening of Tay Back Univ. for Sustainable Rural Development of the Northwest Region (2011-2014), 2)Project for Sustainable Forest management in the Northwest Watershed Area(2010-2015), 3) Improvement of Extension System for Applying Better Farming System and Cultivation Techniques for Poor Farmers in the Mekong Delta, etc. # In DB, main irrigation source are from mountain stream, however, water source facilities are not equipped and fragile facing issues of rehabilitation and accumulation of mud. Mountain stream in-taking technology developed in Japan is adequate for the project sites due to their geographical similarities.
Other points	Is there any significant change in Japan's development policy for Vietnam?	Change in policy/strategy for Vietnam	Project documents MOFA HP, JICA HQs, Vietnam office	There is no significant change in Japan's development policy for Vietnam.
	Is there any significant change in policies for agricultural and rural development in Vietnam?	Influence of the regulation on the rice market (November 2010) that the government purchases rice at flooring price and applying release price	Project documents Mission Japanese experts DARD	# Vietnamese policies for agriculture is to enhance productivity of rice for the food security, which is no change recently. # Rubber cultivation under new policy started in the Northwest mountainous area including the Project target district such as TG district.
	Is there any significant social / economic change in Vietnam?	Present social/economic situation	Project documents Japanese experts DARD District extension officers	# Economic growth in DB district is significant. # Land slide and soil erosion is occurring and it decrease rice paddy field.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Effectiveness**

ANNEX 4

Evaluation Grid for Midterm Review (Effectiveness)				
	Evaluation Questions			
Main Questions	Sub-Questions	Information needed	Information source	Survey Results
Achievement forecast for the Project Purpose	Is there a prospect to achieve the Project purpose? Project purpose: [Agricultural development is enhanced through strengthening the institution of administration offices at district level that promote production, processing and sales of market oriented agricultural products in the Pilot Districts]	Relevance of the project purpose and targeted value Gross agricultural profit in targeted District Amount of production and sales of rice, soy beans and maize	Project documents Mission Japanese Experts	Refer to 'Verification of Performance'
Causality	How much of the Outputs has been achieved (will be achieved)?	Content of the Outputs Setting target value for each indicator and the result from the achievement	Project documents (monitoring results) Mission Japanese experts	Refer to 'Verification of Performance' and 'Efficiency'
	How each output contribute or limit the achievement of Project Purpose?	Examining the logics of the project purpose and outputs Contributing and constraint factors	Project documents Mission Japanese Experts	Refer to 'Verification of Performance'
	What are contributing & constraint factors for achieving the Project Purpose other than outputs?	Influence of programs of Vietnam and projects of other donors	Project documents Stakeholders	There are some communes which are categorized as the poorest communes by the Vietnamese government and those communes are targeted for the National integrated rural development program. some target commune of the Project project has benefitted from the program and access road to town was improved which lead farmers to have market opportunity.
	Is there a prospect to fulfill the important assumptions to achieve the Project Purpose by attaining the Outputs?	Policies to promote infrastructure development for production, processing, and sales of agricultural products in Dien Bien Province Value of agricultural products Climate	Project documents Stakeholders	1. Policies to promote infrastructure development for production, processing and sales of agricultural products in Dien Bien Province do not change. 2. Value of agricultural products is not depreciated significantly. 3. Abnormal weather such as pests, flood or drought (that influence agricultural production) do not occur.
Utilization of Lessons from other projects	How are lessons learnt from similar projects and results of related research utilized?	Lessons learnt from similar projects such as the project for Capacity Development of Participatory Irrigation Management System through the Vietnam Institute for Water Resource Research (VIWRR) for Improvement of Agricultural Productivity in Vietnam	Project documents Japanese Experts	# The Project has contact with the Improvement of Extension System for Applying Better Farming System and Cultivation Techniques for Poor Farmers in the Mekong Delta(2009-2014) for consulting extension methods, marketing, and farmers group establishment # The Project has dispatched selected model farmers and commune extension workers to the Project for Agriculture Development in Phan Ri - Phan Thiet to learn participatory irrigation management system.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Efficiency**

Efficiency				
Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey Results
Main Questions	Sub-Questions			
Achievement level of the Outputs	Has the Project been achieving the 3 Outputs?	Check logical relation between outputs and project purpose Check the achievement level of targeted value for each indicator	Project documents Japanese experts Stakeholders	Refer to 'Performance' # The planning report mentions "In DB, elevation differences make the production possible in the preharvest months. It is highly advantageous in terms of the marketing strategy to develop the sales channel by coordinating shipment timing with the major production site of the Mid-south area of Vietnam." However, at the project site, there is no concept of "preharvesting months" since the given climate condition, double cropping has been applied. Thus it is not clear the reasoning of the mentioned idea indicated in the planning report. #It is also mentioned "Rice from DB is transported to DB Phu etc. and some portions are exported to Laos. And rice from DB is popular and its price is high." However, some study shows that it is losing its brand due to some rice problems, insufficient improvement of transportation to Hanoi, lack of producers' understanding of potentiality of rice as profitable crops, as well as their strong understanding of rice as self consuming crops. These factors resulted in not being able to have a concrete improvement plan.
Causality	Were the activities sufficient to achieve 3 Outputs?	Project documents Comments from stakeholders	Project documents Japanese experts Stakeholders	Refer to 'Implementation Process'
	Have the Japanese Experts been dispatched appropriately for achieving outputs in terms of its number, expertise, and timing?	Comments from stakeholders on expertise of Japanese experts	Project documents Japanese experts Stakeholders JICA Vietnam Office	# 2 long term experts (Chief advisor) and 2 coordinators, one expert in irrigation have been dispatched so far. # Dispatch of some short term Experts in agriculture delayed. # The Project expects the Japanese Expert in extension will include marketing in his advice.
	Are C/P training appropriate in terms of the number of participants, target, field/sector, content, period, and timing?	Review trainings already conducted Learnings from the trainings and application of the earnings	Project documents Japanese Experts Trainees	# the Project has dispatched 20 C/Ps to Japan for learning irrigation management and agriculture in rural area. The participants' level of understanding objectives of irrigation management and rural agriculture improved. # Participants of training in Japan learned the Japanese attitude for work, and communication between Japanese experts and C/P improved after the training. # The results of training were shared among stakeholders. #There is no English speaking C/P, and therefore Group training is limited to the courses conducted by Vietnamese. # There were some differences in selection criteria of trainee candidates. Japanese side prefers to select trainees from those who can involve actively in the project activities. Vietnamese side prefers to give training opportunities to many people as possible. Japanese side explained about the purposes and intentions of the training in Japan. If the trainee candidates selected by C/P are not suitable for the specific training course, Japanese side requested to reconsider and reselct another candidate by discussing how trainees involve in the project activities after coming back from Japan. # As for Agricultural training for C/P, training topics/themes have not been clarified for C/P yet to conduct training in Japan as well as not being able to identify the implementing agencies in Japan side.
Causality	Have the C/P and staff for operation and management been allocated appropriately? Have the workload for other works, capacity and timing of appointment been appropriate?	TOR of extension workers Extension workers' TOR and population of the communes Relationship of DARD, agricultural station, CPC, and extension workers	Project documents Stakeholders	# The planned Project Manager was appointed in February 2011, after 4 months of commencement of the Project. # C/P of DARD was appointed in March 2011, and C/P at District level was appointed in late March, 2011, which caused 9 months delay of the project # C/P in TG District were not active to participate in project activities in the beginning, but they gradually have improved their performance.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Efficiency**

ANNEX 4

Efficiency				
Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey Results
Main Questions	Sub-Questions			
	Has the Important Assumptions been fulfilled to achieve the outputs by implementing project activities?	Comments from stakeholders Agricultural policies in districts and communes	Project documents Stakeholders	# no important assumption of activity level was set in the present PDM
Contributing/Hindering factors to achievements of the Outputs	Are there contributing factors related to inputs and activities for the achievement of the Outputs?	Comments from stakeholders	Project documents Stakeholders Japanese experts	# Vietnamese national program for the poor communes improves access road to town which increases market potential in the Pilot District # Vietnamese policy encourages farmers in the Pilot Districts to establish WUG for participatory irrigation management with proper understanding its necessity.
	Are there contributing factors other than project inputs for the achievement of the Outputs?	Contribution of farmers' union	Project documents Japanese experts Stakeholders	# The Project has tried to keep close communication among Japanese experts and C/P in DARD not only regularly, but whenever they needed.
	Is there any hindering factor for the achievement of Outputs?	Comments from stakeholders	Project documents Mission Japanese experts Stakeholders	# Delay in dispatching some Japanese experts # Appointment of non expert in agriculture as the project manager from Vietnams side
Cost	Have the Outputs been appropriately achieved in comparison to the cost?	Spending of the Project up to now Spending of similar projects Comments from stakeholders	Project documents Japanese experts	# The Project has shared official car with the Project for Sustainable Forest Management in the Northwest Watershed Area, which increases efficiency of project input.
	Are the human resources, outcomes, and equipment of former/ other on-going projects utilized?	1. Small-scale Pro-poor Infrastructure Development Project (SPL6) (Loan) 2. Capacity Development of Participatory Irrigation Management System through the Vietnam Institute for Water Resource Research (VIWRR) for Improvement of Agricultural Productivity in Vietnam Phase 2, etc.	Project documents Japanese experts	1. "Project for the Development of Crop Genotypes for the Midlands and Mountain Areas of North Vietnam(DCG)" is to develop varieties of crops appropriate to the northern mountainous areas in cooperation with the Hanoi University of Agriculture, new variety of rice is currently under development. By visiting the project office, information was shared and future collaboration was agreed. 2. The Project conducted a site visit to the model sites of the project for participatory rural development for poverty reduction in central high land. The participants were introduced how to make organic fertilizers composts.
Cost	Was there any duplication with projects implemented by other donors? Was there any collaboration with other projects? Was the collaboration cost effective?	Latest information about assistance strategies and programs of other donors Demarcation of T/G of the trainings and other donors	Project documents Japanese experts ADB, EU etc.	<National Target Program on New Rural Areas for 2010-2020 of the New Rural Development (NTP-NRD) supported by FAO> # NTP, targeting at Government Leaders at Central, Province, District and Commune levels has training components of marketing and 'The New Agriculture'. # The Project expects to have closer collaboration with the Agriculture Promotion Center, Extension Station, and Plant Protection Centers in the latter half of the Project period. # The Agriculture and Rural Development Sector Programme Support (2007-2012) supported by DANIDA includes DB district as its target area, and there was component of irrigation development. There is not a plan to utilize the output of ARDSPS in the Project yet.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Impact**

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey Results
Main Questions	Sub Questions			
Achievement forecast for the overall goal	Will the Overall goal, 'The rural development in Dien Bien Province is promoted' be achieved three years after the completion of the Project?	Comments from stakeholders Statistics on agriculture and industry in Dien Bien Province	Project documents Japanese experts Stakeholders	<Planning Phase> Unit crop of rice, maize and soy beans in Northern mountainous area is 4.3, 1.0 and 3.3ton/ha respectively (lower than national average) <Present situation> #It is expected the action plan will be utilized in non-targeted districts in DB province since the Project intends to improve capacity of government administration at district level. # It is expected that the amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy, rice, maize and soybeans will be increased in non-pilot districts in Dien Bien province if appropriate inputs and extension services are provided.
	Are important assumptions appropriate to achieve overall goal by fulfilling the project purpose? Is there a high probability that important assumptions are fulfilled?	Confirm logical relations Present situation of three important assumptions and prospects of fulfilling the assumptions	Project documents Japanese experts	Present important assumptions: 1. Changes in social and economic situation of Northwest Mountainous Area 2. Value of agricultural products 3. Abnormal weather that can affect agricultural production) #The following assumption will be added in the revised PDM 4. Trained government staff do not leave their work. 5. Number of DB Province staff members will not sharply get reduced. 6. DB Province budget for the agriculture sector will not sharply decrease.
Forecast for the continuation of overall goal	Are important assumptions fulfilled with high possibility to continue the achievement of overall goal?.	Confirm logical relations Present status and future prospects of three important assumptions	Project documents Japanese experts	Future prospect of; 1. Changes in strategy of DB District for maintaining crop production, marketing and agricultural infrastructure 2. Value of agricultural products 3. Abnormal draught, pest& disease, flood that can affect agricultural production) Above mentioned important assumption will be deleted since there will be no super goal.
Ripple effects	Is there any influence of the Project other than overall goal? - Effects on policy making, legal and judicial institution and regulations - Effects on social and cultural aspects such as gender, human rights and poverty - Economic influence on environment, technology, society, stakeholders and beneficiaries	Influence on policy, law, institution and regulations Influence on environment Changes in women and the poor Influence on traditional institutions	Project documents Japanese experts Stakeholders	1. The Project has given impact to the Mon ethnic group to be aware of agriculture in rice/paddy field. 2. No gender issue observed. Women are originally very active in crop cultivation are women in the pilot communes actively participate in the training/seminars conducted by the Project 3. The organic fertilizer that the Project has introduced is not only economically but ecologically friendly, which the farmers in the Pilot Communes appreciate very much. Also, they would try feed vinegar extracted from production of fertilizer to pigs for health improvement.
	If there is any negative impact, has the Project dealt with it?	Possibility of causing income gap in the region due to the Project Detailed examples of solving the problems	Japanese experts Stakeholders	no negative impact found

**Evaluation Grid for Midterm Review
Sustainability**

ANNEX 4

Sustainability (Prospects)				
Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey results
Main Questions	Sub-Questions			
Policies and Institutions	Will policy support continue after JICA's cooperation is finished?	Present and future continuation of Social and Economic Development Plan (2011-2015)	Project documents Japanese experts MARD, DARD	no change in SEPD
	Have the relevant regulations and legal institutions been developed? Is there a plan for developing such institutions?	Relevant regulations and legal systems Opinions from MARD and DARD	Project documents MARD, DARD	# The relation between the guideline/manual that Project will formulate and district development plan is under the survey.
	How does the Project transfer technologies inside of a district?	Comments from DARD, DPC, agricultural station, CPC, and agricultural extension workers	Project documents Japanese experts Stakeholders	# The Project plans to formulate guideline/manual which is supposed to be used by non-target districts. # DARD well recognizes importance of extension system, however, there is lack of budget to promote it.
Organization and Finance	In order to continue project activities to achieve positive impacts after the completion of the Project, is capacity of the implementing agency sufficient? Can implementing agency allocate sufficient human resource, maintain decision-making process, and coordinate with other organizations?	Opinions from DARD, Japanese experts	Project documents Japanese experts DPC, CPC	# At the district level, the Plant Protection Center has experience in conducting training at field level and they have potential to continuously transfer the new skills and technology that the Project has introduced. # DARD has strengthened services from commune level extension workers since 2011 and it is prospected DARD will keep its policy.
	Is the ownership of T/G sufficiently confirmed for future?	Level of participation of the T/G to the project activities Comments from DARD	Project documents Japanese Experts T/G	# The irrigation management committee was established at the every pilot site consisting of CPC irrigation staff, village leaders, farmers' representatives. Among them, positive opinions such as willingness to participate in the planning stage of the facility rehabilitation construction were raised.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Sustainability**

ANNEX 4

Sustainability (Prospects)				
Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey results
Main Questions	Sub-Questions			
Organization and Finance	Are there measures to secure future budget to sustain overall goal of the Project?	Procedure of budget provision to DARD, DPC and CPC and long-term forecasts	Project documents Stakeholders	#The budget of DARD is steadily increasing, and human resource and facilities will be possibly maintained. # When the Project produces manuals or handout as extension tools, some consideration will be needed for measures to make development of those tools sustainable.
Technology	Will the know-how transferred from the Project be shared after the completion of the Project?	Future possibilities to strengthen the cooperation between DPC extension workers and farmers' union Current situation of producing the Guideline/Manual and action plans	Project documents Japanese Experts Stakeholders	# With Japanese experts, extension officers keep records of cultivation and in 2.5 years after completion of the project, they are able to continue maintaining the technology and conduct extension work for other regions. # Major activities of the technical transfer is extension work; however, while extension techniques of the MARD is known to be at the high level, they cannot outreach due to budget constraints and insufficient number of staff. Major issue is allocation of the budget. # Farmers are willing to continue utilizing techniques gained through the project.
	Will the equipment of the Project be maintained appropriately after the Project is ended?	Opinions of organization which will take over the equipment provided by the Project	Stakeholders	# Project vehicle will be taken over by NORRD. Other agricultural equipment are also used without any problem.
Society, culture and environment	Is there any possibility that effects of the Project are not sustainable due to the lack of attention to women, the poor, the socially vulnerable and traditional organizations?	Economic gap between pilot communes and other communes Issues related to ethnicity	Project documents Japanese experts Stakeholders	no findings
	is there any possibility that effects of the Project are not sustainable due to the lack of attention to the environment?	Long-term effect on soil Effect on land use for ensuring agricultural land (deforestation etc.)	Project documents Japanese Experts Stakeholders	no findings

**Evaluation Grid for Midterm Review
Necessity of Adjustment**

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey results
Main questions	Sub-questions			
Discussion points based on the survey results	Does the project design need to be revised?	Direction of implementing agency Logical relation Feasibility (especially processing and sales)	Project documents Japanese experts Stakeholders	# In the PMU meeting in Jan and Feb 2012, revision of PDM including revise of indicators was discussed among members. Especially, there were some comments over unclearness of project direction. # After discussion with Japanese experts and the team, they decided not to change the design, but simplify the target group.
	Do C/P, T/G, and pilot areas need to be revised?	Direction of DARD, implementing capacity of the districts Reconfirm the number of appointed staff in T/G Considering the necessity to minimize the pilot areas	Project documents Japanese experts Stakeholders	· The draft PDM indicates commune extension workers as target group which C/P has agreed upon. # Current PDM indicates district authorities as the center of the rural development, but the activity plan include activities by farmers and extension officers in identifying the problems and planning of the improvements. Based on the plan, project conducts necessary training and create manuals and extend to other commune. In the PDM, pilot commune and other commune are indicated separately while project team think that all commune can be the target group of the extension activities. # It is difficult to set any target group in the Vietnamese extension system in which various stakeholders such as district/commune extension sit, staff at the Plant Protection center, etc. Strengthening the network of these stakeholders are more important than empower a particular group of people or organization.
	Does the content of overall goal need to be revised?	Confirm the relevance by considering logical relation between the overall goal and project purposes and feasibility	Project documents Japanese experts Stakeholders	no need
Discussion points based on the survey results	Do the indicators of the overall goal need to be revised?	Confirm the relevance by considering logical relation between the overall goal and project purposes and possibility of data collection	Project documents Japanese experts Stakeholders	1. Action plan formulated by the project is utilized in districts other than the pilot districts. →1. Approximately by 2020, action plan formulated by the project is utilized in districts of DB Province other than the pilot districts by the governmental authorities of DB Province and districts. · Implementing bodies and areas of the action plan are clarified. · Due to the nature of the agriculture project, the target year is set around 2020 which is about 3 year later than the normal case for the ex-post evaluation timing. 2. Production, amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy rice, maize and soybeans increase by more than XX% respectively in Dien Bien Province. →2. Approximately by 2020, agricultural management in DB Province improves through increasing farming status for paddy rice, maize and soybeans etc. · Emergence of each output cannot measure by the single figurer such as agricultural profit nor production amount. Thus these indicators are replaced by "farming status" which is more comprehensive indicator.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Necessity of Adjustment**

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey results
Main questions	Sub-questions			
	Are important assumptions required to keep placing next to the overall goal?	Discussion result on the necessity of three important assumptions	Law on Agricultural and Rural Development Japanese experts Stakeholders	1. Economic and social situation in Northwest areas does not change drastically. 2. Value of agricultural products is not seriously depreciated. 3. Abnormal weather such as pests, flood and drought that can affect agricultural production does not occur
	Do the project purpose need to be revised?	Results of field survey on processing and distribution in particular	Project documents Japanese experts Stakeholders	# It is not necessary to revise the Project Purpose because it expresses all the level of achievement of 3 districts.
	Do the indicators of project purpose need to be revised?	Results of field research	Project documents Japanese experts Stakeholders	1. Average gross profit of farmers in the pilot district increase by XX% in average 2. Production, amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy rice, maize and soybeans increase by more than XX% respectively in Pilot Districts. →More than 60% out of the farmers in the Pilot village improves their farming status.
Discussion points based on the survey results	Do the outputs need to be revised?	Discussion results on the relevance such as expression, structure, activities and causality	Project documents Japanese experts Stakeholders	# Agriculture promotion center is existing as the training facilities for the province and province extension officers belong to the province agriculture station. Agriculture promotion center works on establishing the extension model but does not conduct extension work as Japanese extension officers do. On the other hand, Province Plant Protection office and their district stations conduct direct extension work to the farmers. For the Project, "Capacity building of the human resources and organization providing guidance directly to the farmers" is important. # Irrigation facilities are small scale covering about 20ha. Therefore, it is managed by residents of the commune and Province and District Irrigation groups are in the position of the managing organization. Many of the existing facilities are fragile. At the communes, farmers clean the facilities whenever water does not go through due to mud accumulation. Project prepared the guideline for organization & maintenance so that irrigation staff at the commune level can understand the irrigation infrastructure management. Future goals can be set-up and development of Irrigation Group and conducting of training at the commune level with facilitation of irrigation office under governmental policy. # Irrigation management corporation is structured half public and half private. It is not clear how to differentiate with the structure of the agricultural firms. In the PDM, indication will be simplified. →Outputs will be revised to the expressions described in the correlation list .
	Do the indicators of the outputs need to be revised?	Discussion results on the necessity of revising the indicators based on the achievement level of each output	Project documents Japanese experts Stakeholders	Refer to the correlation list.

**Evaluation Grid for Midterm Review
Necessity of Adjustment**

ANNEX 4

Evaluation Questions		Information needed	Information source	Survey results
Main questions	Sub-questions			
	Following the changes in the outputs and indicators, do any of activities need to be added or deleted?	Reflection of the influence of the progress on the activities Result of discussions	Project documents Japanese experts Stakeholders	Refer to the correlation list.
	Following the changes in activities, do any of inputs need to be revised?	Opinions from stakeholders Opinions from Japanese supporting agencies	Project documents Japanese experts Stakeholders	no need to change
New important assumptions influential to the Project	Actions taken by the Project to deal with problems, issues and risks which were pointed out in the ex-ante evaluation	Collaboration with SPL6 Collaboration with similar TCPs	Report of detail planning survey Japanese Experts Stakeholders JICA Vietnam Office	1. Has the collaboration with small-scale pro-poor infrastructure development (SPL6) been progressed? # SPL 6 was not implemented as planned, and the construction of a processing factory was cancelled. Therefore, collaboration with SPL6 has not been progressed. 2. Is the method of the Project for Capacity Development of Participatory Irrigation Management System through the Vietnam Institute for Water Resource Research (VIWRR) for Improvement of Agricultural Productivity in Vietnam (TCP) applied to this Project? # PIM training was conducted to introduce the method of participatory water management to the T/G.
Further recommendation	Suggestions to DARD, JCC, Project and etc.	Discussion results on changes of PDM etc.	Project documents Japanese experts Stakeholders	# Recommendation to establish WUG and and regulations urgently # Recommendation to exchange views and opinion between the pilot village members # National human resources to be utilized for effective and efficient project implementation such as in postharvest and marketing

The record of all the training in NORRD

Training contents	Trainees	Area	Date	Number of trainees
1) Torrent intake works	Irrigation engineers including local consultants	-	Nov. 2011	29
2) Technique of lowland rice seed treatment	Model farmers	5 communes	Nov.-Dec. 2011	50
3) Method for making diluted solution of Pesticide	Model farmers	1 commune (1 district)	Mar. 2012	4
4) (OJT)Seed treatment technique	P-PMU, D-PMU	-	Nov.-Dec. 2011	6
5) (OJT) Method of yield survey of lowland rice	P-PMU, D-PMU, MC district staff	-	May-Jun. 2011, Sep.-Oct. 2011	7
6) (OJT) Method of yield survey of maize	P-PMU, D-PMU	1 district	Dec. 2011	2
7) (OJT) Method of measurement for paddy field area	P-PMU, D-PMU	2 districts	Dec. 2011	2
8) (OJT) Basic method of lowland rice cultivation management	P-PMU, D-PMU	1 commune (1 district)	Nov. 2011-Feb. 2012	3
9) Lowland rice cultivation and peste control technique in dry season (1)	Farmers	6 communes (2 communes x 3 districts)	Mar. 2012	260
10) Lowland rice cultivation and peste control technique in dry season (2)			Apr. 2012	278
11) Lowland rice cultivation and peste control technique in dry season (3)			Apr.-May 2012	242
12) Lowland rice cultivation process	Farmers	2 commune (1 district)	Jun. 2012	90
13) Lowland rice cultivation and peste control technique in rainy season (1)	Farmers	6 communes (2 communes x 3 districts)	Jul. 2012	279
14) Lowland rice cultivation and peste control technique in rainy season (2)			Aug.-Sep. 2012	266
15) Organic fertilizer (1)	Farmers	6 communes (2 communes x 3 districts)	Aug. 2012	296
16) Organic fertilizer (2)			Aug. 2012	199
17) Organic fertilizer (3)			Oct. 2012	186
18) Lowland rice cultivation and peste control technique in dry season (1)	Farmers	5 communes (2 communes x 2 districts, 1 commune x 1 district)	Dec. 2012	202
19) Lowland rice cultivation and peste control technique in dry season (2)			Jan. 2013	192

The record of all the training in NORRD

Training contents	Trainees	Area	Date	Number of trainees
20) Maize cultivation technique	Farmers	3 communes (1 commune x 1 district, 2 communes x 1 district)	Mar. 2012	143
21) Soy bean cultivation technique	Farmers	1 commune (1 district)	Sep. 2012	47
22) Participatory Irrigation Management (PIM)	PMU irrigation staff in Province and Districts	-	Mar. 2012	5
23) Yield survey for lowland rice experimental cultivation	P-PMU, related staff in district and commune	-	May. 2012	10
24) Monitoring and survey of ripening ratio for lowland rice experimental cultivation	P-PMU, related staff in district and commune	-	Jul. 2012	9
25) Monitoring for lowland rice demonstration field in dry season	P-PMU, related staff in district and commune	-	Jan. 2013	10
26) Leadership training for Organic fertilizer in Hue	Farmers, commune staff, related staff in TG district, D-PMU	-	Jan. 2013	7
27) Small-scale irrigation facility construction (1)	DARD, DPC	-	Sep.-Oct. 2011	5
28) Small-scale irrigation facility construction (2)	DARD, DPC	-	Sep.-Oct. 2012	8
29) Participatory irrigation management system for paddies for Asian countries (C) (Viet Nam)	P-PMU, D-PMU	-	Jun.-Jul. 2012	2
30) Integrated agriculture and rural development through the participation of local farmers (A)	P-PMU	-	Aug.-Sep. 2011	2
31) Participatory irrigation management system for paddies for Asian countries (C) (Viet Nam)	DARD	-	Jun.-Jul. 2012	1
32) Integrated agriculture and rural development through the participation of local farmers (A)	P-PMU, D-PMU	-	Sep.-Oct. 2012	2
			合計	2,844

List of Equipment

ANNEX 5

#	Item	Model number, Specification	Unit price	Number	Amount paid (VND)	Purchase date	Location	Remark	Amount paid (JPY)
1	Bicycle		1,000,000	1	1,000,000	2010/08/16	Project office		3,924
2	Safe		1,050,000	1	1,050,000	2010/08/17	Project office		4,120
3	Air conditioner	LG18000	14,700,000	1	14,700,000	2010/08/30	Project office		57,683
4	Photo copy machine	Sharp AR-5520D	28,300,000	1	28,300,000	2010/08/30	Project office		111,049
5	UPS	Son Tax 500VA	850,000	1	850,000	2010/08/30	Project office		3,335
6	UPS	Son Tax 500VA	850,000	1	850,000	2010/08/30	Project office		3,335
7	Laser Jet Printer	Canon NF-4320D	6,300,000	1	6,300,000	2010/08/30	Project office		24,721
8	Desktop	ORIENT	10,320,000	1	10,320,000	2010/08/30	Project office		40,496
9	Automatic sheet feeder	Sharp AR-RP	11,650,000	1	11,650,000	2010/09/17	Project office		45,715
10	Desktop		7,490,000	1	7,490,000	2010/09/29	Project office		29,391
11	Printer	PixMA iP4760	2,780,000	1	2,780,000	2010/09/29	Project office		10,909
12	Air conditioner	LG9000BTU	7,500,000	1	7,500,000	2011/01/05	Project office		29,430
13	Shredder	Aurora AS660C	1,950,000	1	1,950,000	2011/01/24	Project office	2012/12 broken beyond repair	7,652
14	Laptop	Acer 4733Z	11,800,000	1	11,800,000	2011/05/10	Project office		46,303
15	Projector	Mitsubishi XD221U	14,850,000	1	14,850,000	2011/05/12	Project office		58,271
16	Generator	HY2500LE	14,550,000	1	14,550,000	2011/05/12	Project office		57,094
17	Desktop	ViCOM	7,690,000	1	7,690,000	2011/05/12	Project office		30,176
18	UPS	Son Tax 500VA	990,000	1	990,000	2011/05/25	Project office		3,885
19	Grain Moisture meter	GMK-303 S/N: KD0848	7,250,000	1	7,250,000	2011/07/15	Project office		28,449
20	Portable scale	OHAUS CL2000T	1,750,000	1	1,750,000	2011/07/18	Project office		6,867
21	Desktop	ViCOM	12,700,000	1	12,700,000	2011/09/23	Project office		49,835
22	Digital camera (1) Pink	SONY DSC-S3000/P S/N: 5430527	2,300,000	1	2,300,000	2011/09/23	TG D-PMU		9,025
23	Digital camera (2) Pink	SONY DSC-S3000/P S/N: 5430529	2,300,000	1	2,300,000	2011/09/23	DB D-PMU		9,025
24	Digital camera (3) Black	SONY DSC-S3000/P S/N: 5448715	2,300,000	1	2,300,000	2011/09/23	P-PMU		9,025
25	Digital camera (4) Silver	SONY DSC-S3000/P S/N: 5447734	2,300,000	1	2,300,000	2011/09/23	-	2012/12 broken beyond repair	9,025
26	Digital camera (5) Silver	SONY DSC-S3000/P S/N: 5447778	2,300,000	1	2,300,000	2011/09/23	MC D-PMU		9,025
27	Digital camera (6) Black	SONY DSC-S3000/P S/N: 5448634	2,300,000	1	2,300,000	2011/09/23	-	2012/10 broken beyond repair	9,025

List of Equipment

ANNEX 5

28	Digital camera (7) Black	SONY DSC-S3000/P S/N: 5448635	2,300,000	1	2,300,000	2011/09/23	-	2012/12 broken beyond repair	9,025
29	Laser distance meter	Leica DISTO D8 S/N: 512920484	25,190,000	1	25,190,000	2011/12/30	Project office		98,846
30	Digital water velocity meter	Model FP211 S/N: 1145163095	37,023,360	1	37,023,360	2011/01/13	Project office		145,280
31	Electromagnetic current meter for river	Model AEMI-D S/N: 758	128,289,100	1	128,289,100	2011/01/19	Project office		503,406
32	Projector (2)	Mitsubishi ED200U S/N: 0018838	14,300,000	1	14,300,000	2012/03/19	Project office		56,113
33	Digital HD Video Camera	SONY Handycam HDR-CX190E S/N: 1580873	9,890,000	1	9,890,000	2012/03/19	Project office		38,808
34	Portable scale	OHAUS CL2000T SN111007	1,081,670	1	1,081,670	2012/05/09	Project office		4,244
35	Portable scale	OHAUS CL2000T SN111008	1,081,670	1	1,081,670	2012/05/09	Project office		4,244
36	Portable scale	OHAUS CL2000T SN110931	1,081,670	1	1,081,670	2012/05/09	Project office		4,244
37	Schmidt hammer	Silver Schmidt BL	45,399,200	1	45,399,200	2012/05/09	Project office		178,146
38	Grain Moisture meter (2)	GMK-303 S/N: KD1920	6,050,000	1	6,050,000	2012/05/29	Project office		23,740
39	Grain Moisture meter (3)	GMK-303 S/N: KD1945	6,050,000	1	6,050,000	2012/05/29	Project office		23,740
40	Grain Moisture meter (4)	GMK-303 S/N: KD1918	6,050,000	1	6,050,000	2012/05/29	Project office		23,740
41	Refrigerator	SHARP SJ-245S-SL S/N: 120510649	6,600,000	1	6,600,000	2012/12/03	Project office		25,898
42	Digital camera (1)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2TS27426	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	TG D-PMU		6,353
43	Digital camera (2)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2SM75013	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	CPC-Extension staff		6,353
44	Digital camera (3)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2TS27596	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	CPC-Extension staff		6,353
45	Digital camera (4)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2TS27527	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	CPC-Extension staff		6,353
46	Digital camera (5)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2SM76310	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	CPC-Extension staff		6,353
47	Digital camera (6)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2SM75091	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	TG D-PMU		6,353
48	Digital camera (7)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2TS27421	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	Project office		6,353
49	Digital camera (8)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2TS27446	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	Project office		6,353
50	Shredder	BALiON NH-8800C S/N: 12082100300	3,200,000	1	3,200,000	2013/01/05	Project office		12,557

List of Equipment

ANNEX 5

#	Item	Model number, Specification	Unit price	Number	Amount paid (VND)	Pay day	Location	Remark	Amount paid (JPY)
1	Microsoft Office Basic 2007 (Word, Excel, Outlook)	00132-302-808-610	3,494,000	1	3,494,000	2010/08/30	Project office		13,710
2	Windows 7	Product ID: 00346-OEM-8925047-33648 Product key: MVG73-JQWK8-VW6HX-	1,920,000	1	1,920,000	2010/08/30	Project office	Installed to PC ORIENT (8)	7,534
3	Lac Viet Tu Dien (Dictionary VN-EN)	No. Seri. 512186	250,000	1	250,000	2010/08/30	Project office	Installed to PC ORIENT (8)	981
4	Windows 7		1,900,000	1	1,900,000	2010/09/29	Project office	Installed to PC (10)	7,456
5	Microsoft Office Basic 2007 (Word, Excel, Outlook)	00132-301-455-356 Key: MPCB8-YKY92-BPFT2-42GPD-QT343	3,470,000	1	3,470,000	2010/09/29	Project office		13,616
6	Lac Viet Tu Dien (Dictionary VN-EN)	No. Seri. 153589	190,000	1	190,000	2010/09/29	Project office		746
7	Windows 7 Home Basic 32 bit	COA: 00178250863480	2,100,000	1	2,100,000	2011/05/10	Project office	Installed to PC (17)	8,240
8	Microsoft Office 2010 Basic (Word, Excel, PowerPoint)	SKU- 79G02123	3,200,000	1	3,200,000	2011/05/10	Project office	Installed to PC (17)	12,557
9	Windows 7	COA: 00178250491753	2,150,000	1	2,150,000	2011/05/12	Project office	Installed to PC (14)	8,437
10	Microsoft Office 2010 Basic (Word, Excel, PowerPoint)	SKU- 79G02543	3,200,000	1	3,200,000	2011/05/12	Project office	Installed to PC (14)	12,557
11	Lac Viet Tu Dien (Dictionary VN-EN)	No. Seri. 55060	190,000	1	190,000	2011/05/12	Project office	Installed to PC (14)	746
12	Windows 7	Product key: GKWKHM-8CR9C-FB4QC-JFWCW-RCRBD	2,300,000	1	2,300,000	2011/09/23	Project office	Installed to PC (21)	9,025
13	Microsoft Office 2010 Basic (Word, Excel, PowerPoint)	Product key: 7WRXX-XQTWJ-3TYCF-8MHRK-9WYBQ	3,100,000	1	3,100,000	2011/09/23	Project office	Installed to PC (21)	12,164
14	AutoCad LT2012	S/N: 361-03230349 Product key: 057D1	26,200,000	1	26,200,000	2011/09/23	Project office	Installed to PC (21)	102,809

		プロジェクト1年目		
		全体	栽培・収穫後処理・販売	水管理
2010/8/1	内山チーフ、藤田専門家ベトナム赴任(8/1) 秘書雇用・オフィス環境整備等			
9月		JICAベトナム事務所に対して、業務調整員、作物栽培専門家早期派遣について継続的に要請	基礎情報収集	DARD水利支局Su副支局長ヒアリング
10月		パイロットサイト候補地現地調査(15サイト)		
11月	DB省DARDに対して、プロジェクト承認手続き、PMUの設立、C/Pの配置の早期実施について継続的に要請		ベースライン調査TOR作成	
12月			ベースライン調査発注手続き	DARD水利支局Hinh部長ヒアリング
2011/1/1		パイロットサイト候補地現地調査	ベースライン調査契約	徳永短期専門家派遣(1/4~1/29)
2月	大隅業務調整員赴任(2/14)			遠藤短期専門家赴任(2/14)
3月	C/Pメンバー仮指名 PMU設立会議(3/13)		ベースライン調査業務	ハノイ農業大学との打合せ
4月		各郡パイロットサイト選定協議	●パイロットサイト選定 ●パイロットサイトW/S開催 ●農民世帯調査	ベトナム国立水利研究所との打合せ PIM先進地区(ハズン省)現地視察
5月	DB省によるプロジェクト承認(5/20)	各郡PO作成に関する協議		水稲収量調査
6月	DB省による省PMU設立承認(6/15) 第1回ICC(6/24)	パイロットサイト選定及び各郡POの承認		本邦研修「農民参加型用水管理システム」C/P2名派遣(6/7-7/29)
7月	MC郡(7/6) TG郡(7/7) DB郡(7/8)	郡PMUメンバー決定&郡PMU定例会議の設置	各パイロットサイトにおけるW/S開催	Dr.Nhanによるパイロットサイト水稲慣行栽培現地調査(第1次)(7/13-8/12)

プロジェクト2年目

	全体	栽培・収穫後処理・販売	水管理
2011/8/1	DB郡 (8/31) 各パイロットサイトにおけるW/S開催		
9月	TG郡 (9/14) MC郡 (9/20) ファシテーションスキル研修会 (Hanoi) C/P3名派遣 (9/7)	各パイロットサイト実証水田の実施農家選定	Dr.Nhanによるパイロットサイト水稲慣行栽培現地調査 (第1次) (7/13-8/12)
10月	TG郡 (10/25) MC郡 (10/27) DB郡 (10/31) 本邦研修報告会 (10/28)	水稲収量調査	Dr.Nhanによるパイロットサイト水稲慣行栽培現地調査 (第2次) (9/19-9/30)
11月	TG郡 (11/23) MC郡 (11/29) DB郡 (11/30)	水田土壌調査用サンプル採取 (11/18~)	Dr.Nhanによるパイロットサイト水稲慣行栽培現地調査 (第3次) (10/17-10/28)
12月			第1回灌漑担当者会議 (11/11) 北出短期専門家 (溪流取水工) 派遣 (10/23-11/19) 本邦研修報告会 (10/28) 溪流取水工技術セミナー (11/15)
2012/1/1	第2回全PMU会議 (1/16) ●2011年活動実績報告 ●プロジェクト実施上の課題 ●プロジェクト概念の再確認		ソイルセメント試験施工 (12/5) P-PIMS御前・細川専門家 現地視察 & VAWRIによるPIM研修要請 (1/11-1/13)
2月	第3回全PMU会議 (2/9) ●各郡のプロジェクト目標 ●2012年投入計画 ●水稲収量調査結果報告	水稲冬春作実証栽培試験6パイロットサイト	Dr.Sonらによるパイロットサイトメイズ慣行栽培現地調査 (1/3-1/7)
3月	DB郡 (2/28) MC郡 (3/1) 白石運営指導調査団員派遣 (2/25~3/25)	遠藤専門家離任 (2/14) パイロットサイトメイズ実証栽培圃場の実施農家選定	第2回灌漑担当者会議 (12/8)
4月	DB郡 (4/3) TG郡 (4/4) MC郡 (4/5) TG郡 (4/23) MC郡 (5/7) DB郡 (5/10) 内山チーフ離任 (3/30) 瀬田チーフ赴任 (4/17)	植物防疫センターによる水稲病虫害農家研修 (3/6-15) 植物防疫センターによる水稲病虫害農家研修 (4/12-15) 植物防疫センターによる水稲病虫害農家研修 (4/24-27)	第3回灌漑担当者会議 (2/21) パイロットサイト地形図作成業務 (2/1-3/9) ファンリーファンテ(エト)石島・宇野専門家 現地視察 (2/26-2/28) VAWRIによる「参加型水管理及び維持管理」研修C/P5名派遣 (3/19-3/24)
5月	白石運営指導調査団員派遣 (4/7~5/21)	農業振興センターによるメイズ栽培技術農家研修 (3/11-3/19)	DARD Son副局長、Dinh水利支局長打合せ (4/6) ●2012年度活動計画
6月	MC郡 (6/7) TG郡 (6/20) DB郡 (6/21) 白石運営指導調査団員派遣 (6/2~7/9)	水稲収量調査手法研修 (5/12) 水稲収量調査	第4回灌漑担当者会議 (4/13) 第5回灌漑担当者会議 (5/15) パイロットサイト区長との打合せ (4/24-5/9) パイロットサイト水管理W/S 農家代表選出 (5-19-6/6)
7月	DB省Nhan副委員長への実施状況報告 (7/4) 沖浦次長ら現地視察 (7/23-7/25)	水稲夏秋作実証栽培試験6パイロットサイト 水稲生育調査手法セミナー (7/3) 植物防疫センターによる水稲病虫害農家研修 (7/16-27)	SRISTアテンダー (5/19) 有機質肥料づくり研修のための現地調査 (5/22-5/30) メイズ実証栽培試験3パイロットサイト メイズ収量調査 メイズ傾斜地及び土壌保全スタディアー (7/19-21) 第6回灌漑担当者会議 (7/6) 本邦研修「農民参加型水管理システム」C/P1名派遣 (6/5-7/27) ベトナム国立水利研究所との打合せ (7/18)

プロジェクト3年目

	全体	栽培・収穫後処理・販売	水管理
2012/8/1	<p>MC郡(8/7) DB郡(8/8) TG郡(8/9) ●PDM見直しに向けた協議</p> <p>TG郡(8/27) DB郡(8/29) ●PDM見直しに向けた協議</p> <p>MC郡(9/5)</p>	<p>水稻夏秋作実証栽培試験6パイロットサイト</p>	<p>パイロットサイト水管理委員会:問題点抽出+優先順位付け</p> <p>ファミリーファンディエント農業開発プロジェクト建設現場視察出張(7/31-8/2)</p>
9月	<p>JICA新人OJT及びインターン受入れ(9/4-8)</p> <p>パイロットサイト農家世帯調査32世帯(9/6-17)</p> <p>戸来運営指導調査団員派遣(9/4~22)</p>	<p>植物防疫センターによる水稻病虫害農家研修(8/31-9/6)</p> <p>大豆実証栽培1パイロットサイト</p> <p>有機質肥料づくり農家研修(8/9-21)</p> <p>TG郡種子ステーションによる大豆栽培技術農家研修(9/10-9/11)</p>	<p>パイロットサイト別の問題点整理及び活動方針(案)の作成</p> <p>ベトナム国立水利研究所専門家現地視察及び連携協議(9/6-8)</p> <p>本邦研修「小規模灌漑施設(水路及び末端水管理)JC/P8名派遣(9/25-10/6)</p>
10月	<p>DB郡(10/2)</p> <p>DB郡(10/31) ●農家世帯調査結果報告 ●PDM見直しに向けた協議</p> <p>MC郡(11/2) JICAベトナム事務所 築野所長現地視察(11/5)</p> <p>TG郡(11/12)</p>	<p>水稻収量調査</p> <p>白石短期専門家赴任(10/7)</p> <p>本邦研修「農民参加による農業農村開発JC/P2名派遣(9/3-10/4)</p>	<p>DARD Hien局長への活動方針(案)説明(10/16)</p> <p>各郡との活動方針(案)協議(10/31-11/12)</p> <p>本邦研修報告会(11/16)</p>
11月	<p>本邦研修報告会(11/16)</p>	<p>パイロットサイト農家聞き取り調査(11/13-23)</p>	<p>パイロットサイト水管理委員会:活動方針協議(11/27-12/4)</p>
12月	<p>JICAベトナム事務所山本企画調整員打合せ(12/19)</p> <p>パイロットサイトW/S(12/4-17)</p>	<p>農家選定</p> <p>植物防疫センターによる水稻栽培技術農家研修(/ -)</p>	<p>パイロットサイト現地調査(12/27-1/3)</p>
2013/1/1	<p>JICAベトナム事務所山本企画調整員打合せ(1/22-23)</p> <p>MC郡(1/24) DB郡(1/28) TG郡(1/29) 大隅業務調整員離任(2/1)</p> <p>緒方業務調整員赴任(1/14)</p> <p>江藤短期専門家派遣(1/9~2/1)</p>	<p>植物防疫センターによる水稻栽培技術農家研修(/ -)</p> <p>水稻モニタリングセミナー(1/4)</p> <p>水稻モニタリングセミナー(1/24)</p>	<p>MARD演習専門家パイロットサイト現地視察打合せ(12/5-6)</p> <p>有機質肥料製造・利用フェスティバル(1/28-30)</p> <p>Mr.Hoangによる有機質肥料研修・指導(2/25-3/1)</p>
2月	<p>DARD局長PDM見直し説明(2/18)</p> <p>MC郡(2/21) TG郡(2/27) DB郡(2/28)</p>	<p>植物防疫センターによる水稻栽培技術農家研修(/ -)</p>	<p>施設設計PMU灌漑担当合同検討会議(2/20、2/22)</p> <p>パイロットサイト水管理委員会:概略設計(2/28-</p> <p>施設設計業務発注・実施</p>
3月	<p>中間評価</p> <p>第2回JCC(3/15)</p>	<p>水稻冬春作実証展示農場6パイロットサイト</p>	
4月			
5月			
6月			
7月			

Plan of Operation (PO)
 The Northwest Region Rural Development Project in Vietnam
 2010 to 2015 (in total 5 years)

As of 5th March 2013

	Year	1st year		2nd year		3rd year		4th year		5th year	
		Quarter		Quarter		Quarter		Quarter		Quarter	
		Year		Year		Year		Year		Year	
		Quarter		Quarter		Quarter		Quarter		Quarter	
		2010	2011	2012	2013	2014	2015				
		III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
1-1. To Study farming situation of candidate pilot commune and select the pilot communes.	Plan	←→									
	Actual	←→									
1-2. To conduct baseline survey at the selected pilot communes of agricultural products, cultivation, postharvesting, marketing, rural infrastructure and irrigation system, existing extension system, etc.	Plan	←→									
	Actual	←→									
1-3. To conduct workshops for cultivation, post harvesting and marketing and identify farmers needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and extension workers.	Plan			◆	◆	◆	◆	◆			
	Actual			◆	◆	◆	◆	◆			
1-4. To make improvement plan for better cultivation, post harvesting and marketing based on the problems identified by farmers and extension staffs.	Plan			◆	◆	◆	◆	◆			
	Actual			◆	◆	◆	◆	◆			
1-5. To conduct training to farmers on the issues related to cultivation, post harvesting and marketing, and monitor whether the content of the training is utilized.	Plan			←→							
	Actual			←→							
1-6. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines/ manuals which enable extension staffs to draw and implement the improvement plan according to the farmers' needs.	Plan			←→							
	Actual			←→							
1-7. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the extension staffs to promote their extension activity to other communes of the pilot district.	Plan					←→					
	Actual					←→					
<Output 1> The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize etc. are improved in the Pilot districts.	Plan										
	Actual										
2-1. To conduct workshops for water use and identify needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and irrigation management staffs.	Plan			◆	◆	◆	◆	◆			
	Actual			◆	◆	◆	◆	◆			
2-2. To draft and implement the improvement plan with the farmers and irrigation management staff for efficient and effective water usage based on the problems identified above.	Plan			◆	◆	◆	◆	◆			
	Actual			◆	◆	◆	◆	◆			
2-3. To conduct training to farmers and facility managers for water use, and identify whether the training is utilized.	Plan			←→							
	Actual			←→							
2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines, manuals which enable irrigation management staff to draw and implement the improvement plan according to the farmer's needs.	Plan			←→							
	Actual			←→							
2-5. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the irrigation management staffs to promote their water management activity to other communes of the pilot district.	Plan					←→					
	Actual					←→					
2-6. To identify the problems related with the management of rural infrastructure such as rural water supply facility(s) and community road(s), and solve them with farmers.	Plan			←→							
	Actual			←→							
<Output 2> Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot districts.	Plan										
	Actual										
3-1. To implement trainings to extension staff for obtaining better knowledge, attitude and skills.	Plan			←→							
	Actual			←→							
3-2. To implement trainings and feed back seminars for the officials of District People's Committees and Provincial People's Committee and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises.	Plan			←→							
	Actual			←→							
3-3. To formulate the exit strategy of the Project with action plan for expanding the outcome of the Project to other districts of the province	Plan					←→					
	Actual					←→					
<Output 3> The capacity for rural development of local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises is improved.	Plan										■ Action Plan
	Actual										■ Action Plan
Evaluation Schedule	Plan					■ Mid-term Eva					■ Terminal Eva
	Actual					■ Mid-term Eva					■ Terminal Eva

■ Reports submitted to JICA Office from the Project
 ■ Reports made by Evaluation Team
 ▲ Short Term Experts

Plan: ←→ Version 1.1

Year	1st year				2nd year				3rd year				4th year				5th year			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
1-1. To Study farming situation of candidate pilot commune and select the pilot communes.	◆																			
1-2. To conduct baseline survey at the selected pilot communes of agricultural products, cultivation, postharvesting, marketing, rural infrastructure and irrigation system, existing extension system, etc.	↔																			
1-3. To conduct workshops for cultivation, post harvesting and marketing and identify farmers needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and extension workers.	↔																			
1-4. To make improvement plan for better cultivation, post harvesting and marketing based on the problems identified by farmers and extension staffs.					↔															
1-5. To conduct training to farmers on the issues related to cultivation, post harvesting and marketing, and monitor whether the content of the training is utilized.									↔											
1-6. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines/ manuals which enable extension staffs to draw and implement the improvement plan according to the farmers' needs.									↔											
1-7. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the extension staffs to promote their extension activity to other communes of the pilot district.													↔							
<Output 1> The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize etc. are improved in the Pilot districts.																				
2-1. To conduct workshops for water use and identify needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and irrigation management staffs.	↔																			
2-2. To draft and implement the improvement plan with the farmers and irrigation management staff for efficient and effective water usage based on the problems identified above.					↔															
2-3. To conduct training to farmers and facility managers for water use, and identify whether the training is utilized.									↔											
2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines, manuals which enable irrigation management staff to draw and implement the improvement plan according to the farmer's needs..									↔											
2-5. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the irrigation management staffs to promote their water management activity to other communes of the pilot district.													↔							
2-6 To identify the problems related with the management of rural infrastructure such as rural water supply facility(s) and community road(s), and solve them with farmers.	↔																			
<Output 2> Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot districts.																				
3-1. To implement trainings to extension staff for obtaining better knowledge, attitude and skills.									↔											
3-2. To implement trainings and feed back seminars for the officials of District People's Committees and Provincial People's Committee and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises.													↔							
3-3. To formulate the exit strategy of the Project with action plan for expanding the outcome of the Project to other districts of the province																	↔			
<Output 3> The capacity for rural development of local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises is improved.																				
Evaluation Schedule																				

- Reports submitted to JICA Office from the Project
- Reports made by Evaluation Team
- ▲ Short Term Experts

1. 日本側投入

(1) 専門家

ア. 長期専門家

	氏名	指導科目	ベトナム着任日	ベトナム離任日
1	内山 直治	チーフアドバイザー/農村開発	2010/8/1	2012/3/31
2	藤田 覚	灌漑/水資源管理/水管理組織	2010/8/1	2013/8/1
3	大隅 悦子	業務調整/研修計画	2011/2/8	2013/2/6
4	瀬田 文治	チーフアドバイザー/農村開発	2012/4/16	2014/4/15
5	緒方 治子	業務調整/研修計画	2013/1/12	2013/1/11

イ. 短期専門家

	氏名	指導科目	ベトナム着任日	ベトナム離任日
1	徳永 豊	営農計画	2011/1/4	2011/1/29
2	遠藤 洋*	作物栽培(ベトナム国内:193日+174日)	2011/2/8	2012/2/16
3	北出 幸也	小規模灌漑施設整備(溪流取水工)	2011/10/23	2011/11/19
4	白石 正明*	作物栽培	2012/10/7	2013/9/11
5	江藤 清剛	普及	2013/1/8	2013/2/2

* 業務実施契約簡易型

ウ. 運営指導

	氏名	指導科目	ベトナム着任日	ベトナム離任日
1	白石 正明	運営指導1次(作物栽培)	2012/2/25	2012/3/25
2	白石 正明	運営指導2次(作物栽培)	2012/4/7	2012/5/21
3	白石 正明	運営指導3次(作物栽培)	2012/6/2	2012/7/9
4	戸來 昭夫	運営指導(普及)	2012/9/4	2012/9/22

(2) 研修員受入

ア. 集団研修

	コースタイトル	研修期間		研修員指名	所属
1	地域別研修「アジア地域 農民参加型 用水管理システム(c)(ベトナム) Participatory Irrigation Management System For Paddies For Asian Countries(C) (Viet Nam)	2011/06/07～ 2011/07/29	1	Ms. Vu Thi Yen	水利支局技術・計画課(省PMU水利担当)
			2	Mr. Pham Ngoc Thinh	Dien Bien郡農業農村開発部副部長 (Dien Bien郡PMU水利担当)
2	集団研修 「農民参加による農業農村開発(A)」 Integrated agriculture and rural development through the participation of local farmers (A)	2011/08/09～ 2011/09/23	1	Mr. Trinh Quoc Cuong	Dien Bien省農業農村開発局栽培部長 (省PMU、プロジェクトマネージャー)
			2	Ms. Pham Thi Hoa	Dien Bien省農業農村開発局栽培幹部 (省PMU Muong Cha郡栽培担当)
3	地域別研修「アジア地域 農民参加型 用水管理システム(c)(ベトナム) Participatory Irrigation Management System For Paddies For Asian Countries(C) (Viet Nam)	2012/06/05～ 2012/07/27	1	Mr. Mai The Su	Dien Bien省水利支局副局長
4	集団研修 「農民参加による農業農村開発(A)」 Integrated agriculture and rural development through the participation of local farmers (A)	2012/09/03～ 2012/10/04	1	Mr. Tran Van Phuong	Dien Bien省農業農村開発局栽培幹部 (省PMU Dien Bien郡栽培担当)
			2	Ms. Nguyen Thi Van Anh	Dien Bien郡農業振興センター幹部 (Dien Bien郡PMU栽培担当)

イ. カウンターパート研修

	コースタイトル	研修期間		研修員指名	所属
1	小規模灌漑施設整備(溪流取水工) Small scale irrigation facilities (Water Intake Works on the Torrent Streams)	2011/09/25～ 2012/10/08	1	Mr. Tran Ha Son	DARD副局長(灌漑担当)
			2	Mr. Dang Duc Hinh	Dien Bien省水利支局計画・技術部部長
			3	Mr. Pham Van Bach	Dien Bien郡人民委員会副委員長 (Dien Bien郡PMUダイレクター)
			4	Mr. Nguyen Van Tuy	Tuan Giao郡人民委員会農業農村開発部 (Tuan Giao郡PMU水利担当)
			5	Ms. Vu Thi Thu Nhung	Muong Cha郡人民委員会農業農村開発部 (Muong Cha郡PMU水利担当)
2	小規模灌漑施設整備(水路・圃場)および 末端水管理 Development of Small scale irrigation facilities and Water management	2012/09/24～ 2012/10/06	1	Mr. Nguyen Van Dinh	Dien Bien省水利支局長
			2	Mr. Nguyen Duc Dang	Dien Bien省農業農村開発局 農業農村開発プロジェクト管理ユニット長
			3	Mr. Pham Ngoc Thinh	Dien Bien郡農業農村開発部副部長 (Dien Bien郡PMU水利担当)
			4	Mr. Nguyen Thanh Ha	Dien Bien省灌漑サービスおよび建設有限会社 代表
			5	Mr. Nguyen Van Duyen	Dien Bien省農業灌漑管理会社 技術・計画部部長
			6	Mr. Hoang Van Binh	Tuan Giao郡農業農村開発部水利技術者
			7	Mr. Dinh Xuan Tien	Muong Cha郡人民委員会副委員長 (Muong Cha郡PMUダイレクター)
			8	Mr. Bui Tuan Thanh	Muong Cha郡農業農村開発部部長

(3) 機材

ア. 供与機材（現地調達）

#	Item	Model number, Specification	Unit price	Number	Amount paid (VND)	Purchase date	Location	Remark
1	Vehicle	TOYOTA PRADO	3,179,423	1	3,179,423	2012/2/2	DARD	1USD=76.61Yen
2	Vehicle	TOYOTA Pickup	2,145,153	1	2,145,153	2012/2/2	DARD	1USD=76.61Yen
		合計		YEN	5,324,576			

イ. 携行機材

①短期専門家携行機材（本邦調達）

#	Item	Model number, Specification	Unit price	Number	Amount paid (YEN)	Purchase date	Location	Remark
1	成苗育苗箱	みのる産業 共立ポットナエドコ ポット(穴)数448/個、水稻用	540	270	145,800	2012/10/8	Project office	Partially used in the pilot sites during the 2012 dry paddy season.
2	試料均分器	不二金属、小型最大使用量2kg	121000	1	121,000	2012/10/8	Project office	
3	湿度記録計	オンドリトリRH T&D TU72Ui 温度及び湿度の測定、 記録容量：8,000データx2チャンネル	25330	5	126,650	2012/10/8	Project office	Installed in the pilot sites during the 2012 dry paddy season.
		合計		YEN	393,450			

ウ. 現地業務費で調達した主要機材（現地調達）

* 換算レートはJICAベトナム2012/12月次レート：VND 1=JPY 0.003924

①ハード

#	Item	Model number, Specification	Unit price	Number	Amount paid (VND)	Purchase date	Location	Remark	Amount paid (JPY)
1	Bicycle		1,000,000	1	1,000,000	2010/8/16	Project office		3,924
2	Safe		1,050,000	1	1,050,000	2010/8/17	Project office		4,120
3	Air conditioner	LG18000	14,700,000	1	14,700,000	2010/8/30	Project office		57,683
4	Photo copy machine	Sharp AR-5520D	28,300,000	1	28,300,000	2010/8/30	Project office		111,049
5	UPS	Son Tax 500VA	850,000	1	850,000	2010/8/30	Project office		3,335
6	UPS	Son Tax 500VA	850,000	1	850,000	2010/8/30	Project office		3,335
7	Laser Jet Printer	Canon NF-4320D	6,300,000	1	6,300,000	2010/8/30	Project office		24,721

#	Item	Model number, Specification	Unit price	Number	Amount paid (VND)	Purchase date	Location	Remark	Amount paid (JPY)
8	Desktop	ORIENT	10,320,000	1	10,320,000	2010/8/30	Project office		40,496
9	Automatic sheet feeder	Sharp AR-RP	11,650,000	1	11,650,000	2010/9/17	Project office		45,715
10	Desktop		7,490,000	1	7,490,000	2010/9/29	Project office		29,391
11	Printer	PixMA iP4760	2,780,000	1	2,780,000	2010/9/29	Project office		10,909
12	Air conditioner	LG9000BTU	7,500,000	1	7,500,000	2011/1/5	Project office		29,430
13	Shredder	Aurora AS660C	1,950,000	1	1,950,000	2011/1/24	Project office	2012/12 broken beyond repair	7,652
14	Laptop	Acer 4733Z	11,800,000	1	11,800,000	2011/5/10	Project office		46,303
15	Projector	Mitsubishi XD221U	14,850,000	1	14,850,000	2011/5/12	Project office		58,271
16	Generator	HY2500LE	14,550,000	1	14,550,000	2011/5/12	Project office		57,094
17	Desktop	ViCOM	7,690,000	1	7,690,000	2011/5/12	Project office		30,176
18	UPS	Son Tax 500VA	990,000	1	990,000	2011/5/25	Project office		3,885
19	Grain Moisture meter	GMK-303 S/N: KD0848	7,250,000	1	7,250,000	2011/7/15	Project office		28,449
20	Portable scale	OHAUS CL2000T	1,750,000	1	1,750,000	2011/7/18	Project office		6,867
21	Desktop	ViCOM	12,700,000	1	12,700,000	2011/9/23	Project office		49,835
22	Digital camera (1) Pink	SONY DSC-S3000/P S/N: 5430527	2,300,000	1	2,300,000	2011/9/23	TG D-PMU		9,025
23	Digital camera (2) Pink	SONY DSC-S3000/P S/N: 5430529	2,300,000	1	2,300,000	2011/9/23	DB D-PMU		9,025
24	Digital camera (3) Black	SONY DSC-S3000/P S/N: 5448715	2,300,000	1	2,300,000	2011/9/23	P-PMU		9,025
25	Digital camera (4) Silver	SONY DSC-S3000/P S/N: 5447734	2,300,000	1	2,300,000	2011/9/23	-	2012/12 broken beyond repair	9,025
26	Digital camera (5) Silver	SONY DSC-S3000/P S/N: 5447778	2,300,000	1	2,300,000	2011/9/23	MC D-PMU		9,025
27	Digital camera (6) Black	SONY DSC-S3000/P S/N: 5448634	2,300,000	1	2,300,000	2011/9/23	-	2012/10 broken beyond repair	9,025
28	Digital camera (7) Black	SONY DSC-S3000/P S/N: 5448635	2,300,000	1	2,300,000	2011/9/23	-	2012/12 broken beyond repair	9,025
29	Laser distance meter	Leica DISTO D8 S/N: 512920484	25,190,000	1	25,190,000	2011/12/30	Project office		98,846
30	Digital water velocity meter	Model FP211 S/N: 1145163095	37,023,360	1	37,023,360	2011/1/13	Project office		145,280
31	Electromagnetic current meter for river	Model AEMI-D S/N: 758	128,289,100	1	128,289,100	2011/1/19	Project office		503,406
32	Projector (2)	Mitsubishi ED200U S/N: 0018838	14,300,000	1	14,300,000	2012/3/19	Project office		56,113
33	Digital HD Video Camera	SONY Handycam HDR-CX190E S/N: 1580873	9,890,000	1	9,890,000	2012/3/19	Project office		38,808

#	Item	Model number, Specification	Unit price	Number	Amount paid (VND)	Purchase date	Location	Remark	Amount paid (JPY)
34	Portable scale	OHAUS CL2000T SN111007	1,081,670	1	1,081,670	2012/5/9	Project office		4,244
35	Portable scale	OHAUS CL2000T SN111008	1,081,670	1	1,081,670	2012/5/9	Project office		4,244
36	Portable scale	OHAUS CL2000T SN110931	1,081,670	1	1,081,670	2012/5/9	Project office		4,244
37	Schmidt hammer	Silver Schmidt BL	45,399,200	1	45,399,200	2012/5/9	Project office		178,146
38	Grain Moisture meter (2)	GMK-303 S/N: KD1920	6,050,000	1	6,050,000	2012/5/29	Project office		23,740
39	Grain Moisture meter (3)	GMK-303 S/N: KD1945	6,050,000	1	6,050,000	2012/5/29	Project office		23,740
40	Grain Moisture meter (4)	GMK-303 S/N: KD1918	6,050,000	1	6,050,000	2012/5/29	Project office		23,740
41	Refrigerator	SHARP SJ-245S-SL S/N: 120510649	6,600,000	1	6,600,000	2012/12/3	Project office		25,898
42	Digital camera (1)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2TS27426	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	TG D-PMU		6,353
43	Digital camera (2)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2SM75013	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	CPC- Extension staff		6,353
44	Digital camera (3)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2TS27596	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	CPC- Extension staff		6,353
45	Digital camera (4)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2TS27527	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	CPC- Extension staff		6,353
46	Digital camera (5)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2SM75310	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	CPC- Extension staff		6,353
47	Digital camera (6)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2SM75091	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	TG D-PMU		6,353
48	Digital camera (7)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2TS27421	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	Project office		6,353
49	Digital camera (8)	Fujifilm Finepix JX520 S/N:2TS27446	1,619,000	1	1,619,000	2012/12/28	Project office		6,353
50	Shredder	BALiON NH-8800C S/N: 12082100300	3,200,000	1	3,200,000	2013/1/5	Project office		12,557
		合計		VND	298,984,210			YEN	1,173,214

②ソフト

#	Item	Model number, Specification	Unit price	Number	Amount paid (VND)	Pay day	Location	Remark	Amount paid (JPY)
1	Microsoft Office Basic 2007 (Word, Excel, Outlook)	00132-302-808-610	3,494,000	1	3,494,000	2010/8/30	Project office		13,710
2	Windows 7	Product ID: 00346-OEM-8925047-33648 Product key: MVG73-JOWK8-VW6HX-	1,920,000	1	1,920,000	2010/8/30	Project office	Installed to PC ORIENT (8)	7,534
3	Lac Viet Tu Dien (Dictionary VN-EN)	No. Seri. 512186	250,000	1	250,000	2010/8/30	Project office	Installed to PC ORIENT (8)	981
4	Windows 7		1,900,000	1	1,900,000	2010/9/29	Project office	Installed to PC (10)	7,456
5	Microsoft Office Basic 2007 (Word, Excel, Outlook)	00132-301-455-356 Key: MPCB8-YKY92- BPFT2-42GPD-OT343	3,470,000	1	3,470,000	2010/9/29	Project office		13,616

#	Item	Model number, Specification	Unit price	Number	Amount paid (VND)	Pay day	Location	Remark	Amount paid (JPY)
6	Lac Viet Tu Dien (Dictionary VN-EN)	No. Seri. 153589	190,000	1	190,000	2010/9/29	Project office		746
7	Windows 7 Home Basic 32 bit	COA: 00178250863480	2,100,000	1	2,100,000	2011/5/10	Project office	Installed to PC (17)	8,240
8	Microsoft Office 2010 Basic (Word, Excel, PowerPoint)	SKU- 79G02123	3,200,000	1	3,200,000	2011/5/10	Project office	Installed to PC (17)	12,557
9	Windows 7	COA: 00178250491753	2,150,000	1	2,150,000	2011/5/12	Project office	Installed to PC (14)	8,437
10	Microsoft Office 2010 Basic (Word, Excel, PowerPoint)	SKU- 79G02543	3,200,000	1	3,200,000	2011/5/12	Project office	Installed to PC (14)	12,557
11	Lac Viet Tu Dien (Dictionary VN-EN)	No. Seri. 55060	190,000	1	190,000	2011/5/12	Project office	Installed to PC (14)	746
12	Windows 7	Product key: GKWKHM-8CR9C-FB4QC- JFWCW-RCRBD	2,300,000	1	2,300,000	2011/9/23	Project office	Installed to PC (21)	9,025
13	Microsoft Office 2010 Basic (Word, Excel, PowerPoint)	Product key: 7WRXX-XQTWJ-3TYCF- 8MHRK-9WYBQ	3,100,000	1	3,100,000	2011/9/23	Project office	Installed to PC (21)	12,164
14	AutoCad LT2012	S/N: 361-03230349 Product key: 057D1	26,200,000	1	26,200,000	2011/9/23	Project office	Installed to PC (21)	102,809
合計				VND	51,494,040			YEN	202,063
合計				VND	350,478,250			YEN	1,375,277

(4) 日本側プロジェクト費用支出実績 (年度別)

thousand VND	thousand JPY
--------------	--------------

①2010年度(8月より)

* 換算レートはJICAベトナム2010年度平均：VND 1 = JPY 0.004257

2010	専門家派遣	3,632,000	15,460
	供与機材	0	0
	在外事業強化費 計	520,000	3,860
	一般業務費	175,500	750
	出張旅費 (航空賃)	15,000	60
	出張旅費 (その他)	67,000	290
	謝金・報酬	256,000	1,090
	会議費	6,000	30
	ローカルコンサルタント契約	500	1,640
	工事費	0	0
計	4,152,000	19,320	

②2011年度

* 換算レートはJICAベトナム2011年度平均：VND 1 = JPY 0.003799

2011	専門家派遣	15,324,000	58,220
	供与機材 公用車	1,401,500	5,330
	C/P研修	2,370,000	9,000
	在外事業強化費 計	4,015,000	15,250
	一般業務費	1,237,500	4,700
	出張旅費 (航空賃)	87,500	330
	出張旅費 (その他)	298,000	1,130
	謝金・報酬	518,000	1,970
	会議費	0	0
	ローカルコンサルタント契約	1,874,000	7,120
工事費	0	0	
計	23,110,500	87,800	

③2012年度(12月末まで)

* 換算レートはJICAベトナム2012年度平均：VND 1 = JPY 0.003869

2012 (12月末)	専門家派遣	10,252,000	39,670
	供与機材 栽培関係機材	102,000	390
	C/P研修	747,000	2,890
	在外事業強化費 計	2,113,500	8,160
	一般業務費	608,000	2,350
	出張旅費 (航空賃)	140,500	540
	出張旅費 (その他)	338,000	1,300
	謝金・報酬	1,027,000	3,970
	会議費	0	0
	ローカルコンサルタント契約	0	0
工事費	0	0	
計	13,214,500	51,110	

④総合計 (2010/8/01～2012/12/31)

計	専門家派遣	29,208,000	113,350
	供与機材	1,503,500	5,720
	C/P研修	3,117,000	15,750
	在外事業強化費 計	6,648,500	24,160
	一般業務費	2,021,000	7,800
	出張旅費 (航空賃)	243,000	930
	出張旅費 (その他)	703,000	2,720
	謝金・報酬	1,801,000	7,030
	会議費	6,000	30
	ローカルコンサルタント契約	1,874,500	8,760
工事費	0	0	
計	40,477,000	158,980	

(5) その他(ベトナム国内での活動)

ア. 研修(ベトナム国内)

	タイトル	実施機関	実施日	対象地	参加人数	内容	備考
1	水稲乾季作病害虫予防技術研修会(第1回)	省植物防疫支局	2012/03/06～07	Dien Bien/Thanh Hung	38	・水稲乾季作初期に発生する病虫害とその管理方法、 ・分げつ期の稲の生理、 ・ほ場の生態系と観察方法、 ・気候変動と農業生産活動の適応方法	・研修資料(VN) ・研修報告(VN)
			2012/03/09～10	Dien Bien/Noong Het	46		
			2012/03/12～13	Tuan Giao/Muong Mun	50		
			2012/04/11～15	Tuan Giao/Quai Cang	40		
			2012/03/09～10	Muong Cha/Ma Thi Ho	37		
			2012/03/11～12	Muong Cha/Muong Tung	49		
2	メイズ栽培技術研修会	省振興センター	2012/03/11～12	Dien Bien/Noong Het	37	メイズ栽培技術全般	・研修資料(VN) ・研修報告(VN)
			2012/03/16～17	Tuan Giao/Quai Cang	54		
			2012/03/18～19	Tuan Giao/Muong Mun	52		
3	PIM研修	国立水利研究所(VAWR)	2012/3/19～24	水利担当PMU	5	事例を通じたPIMモデル理解、参加型水利組合の役割、かんがい技術、ほ場かんがいについてテーマでPIMを理解し、現場での活用方法を検討する。	
4	水稲乾季作病害虫予防技術研修会(第2回)	省植物防疫支局	2012/04/12～13	Dien Bien/Thanh Hung	41	・水稲乾季作幼穂形成期に発生する病虫害とその管理方法 ・ほ場の生態系観察 ・幼穂形成期の稲の形態 ・農薬の基本とその使用方法	・研修資料(VN) ・研修報告(VN)
			2012/04/14～15	Dien Bien/Noong Het	44		
			2012/04/12～13	Tuan Giao/Quai Cang	50		
			2012/04/14～15	Tuan Giao/Muong Mun	45		
			2012/04/12～13	Muong Cha/Ma Thi Ho	48		
			2012/04/14～15	Muong Cha/Muong Tung	50		
5	水稲乾季作病害虫予防技術研修会(第3回)	省植物防疫支局	2012/04/24～25	Dien Bien/Thanh Hung	40	・水稲乾季作開花・登熟期に発生する病虫害とその管理方法 ・ほ場の生態系観察 ・開花・登熟期の稲の生理 ・有機肥料づくりの紹介 ・栽培技術SRIの紹介	・研修資料(VN) ・研修報告(VN)
			2012/05/02～03	Dien Bien/Noong Het	42		
			2012/04/26～27	Tuan Giao/Quai Cang	54		
			2012/04/24～25	Tuan Giao/Muong Mun	20		
			2012/04/24～25	Muong Cha/Ma Thi Ho	43		
			2012/04/26～27	Muong Cha/Muong Tung	43		
6	水稲実証栽培の収量調査技術研修	白石正明短期専門家	2012/5/12	栽培担当PMUおよび普及員	10	水稲収量調査手法の講義と実習	

	タイトル	実施機関	実施日	対象地	参加人数	内容	備考
7	稲作栽培プロセスに関する研修会	TG郡植物防疫支局	2012/6/21	Tuan Giao/Quai Cang	40	水稻栽培技術全般	・研修資料 (VN) ・研修報告 (VN)
			2012/6/22	Tuan Giao/Muong Mun	50		
8	水稻実証栽培のモニタリングおよび登熟度調査に関するセミナー	白石正明短期専門家	2012/7/3	栽培担当PMUおよび普及員	9	水稻収量調査手法(登熟度)と乾季作水稻モニタリング方法について	
9	水稻雨季作病害虫予防技術研修会(第1回)	省植物防疫支局	2012/07/24～25	Dien Bien/Thanh Hung	45	・水稻雨季作前期に発生する病害とその管理方法 ・分げつ期から幼穂形成期の稲の生理 ・ほ場の生態系観察	・研修資料 (VN) ・研修報告 (VN)
			2012/07/17～18	Dien Bien/Noong Het	40		
			2012/07/16～17	Tuan Giao/Quai Cang	45		
			2012/07/18～19	Tuan Giao/Muong Mun	50		
			2012/07/24～25	Muong Cha/Ma Thi Ho	49		
			2012/07/26～27	Muong Cha/Muong Tung	50		
10	有機肥料づくり研修会(第1回)	地域開発研究センター(ハノイ) (Centre for regional research and development)	2012/05/22～30	9 sites	-	研修準備調査	・報告書 (VN)
			2012/8/9	Dien Bien/Thanh Hung/T9	54	有機肥料に関する理論と実践	・研修資料 (VN) ・研修報告 (VN)
			2012/8/7	Dien Bien/Thanh Hung/T10	22		
			2012/8/8	Dien Bien/Noong Het/T18	27		
			2012/8/10	Dien Bien/Noong Het/T19	30		
			2012/8/11	Tuan Giao/Quai Cang/Sang	27		
			2012/8/12	Tuan Giao/Quai Cang/Cuong	35		
			2012/8/13	Tuan Giao/Muong Mun	35		
			2012/8/15	Muong Cha/Ma Thi Ho	21		
			2012/8/14	Muong Cha/Muong Tung	45		
11	有機肥料づくり研修会(第2回)	地域開発研究センター(ハノイ) (Centre for regional research and development)	2012/8/17	Dien Bien/Thanh Hung/T9	28	有機肥料の状態チェック	
			2012/8/16	Dien Bien/Thanh Hung/T10	22		
			2012/8/16	Dien Bien/Noong Het/T18	20		
			2012/8/21	Dien Bien/Noong Het/T19	17		
			2012/8/19	Tuan Giao/Quai Cang/Sang	20		
			2012/8/18	Tuan Giao/Quai Cang/Cuong	12		
			2012/8/19	Tuan Giao/Muong Mun	25		
			2012/8/20	Muong Cha/Ma Thi Ho	21		
2012/8/20	Muong Cha/Muong Tung	34					

	タイトル	実施機関	実施日	対象地	参加人数	内容	備考
12	水稲雨季作病害虫予防技術研修会(第2回)	省植物防疫支局	2012/8/31	Dien Bien/Thanh Hung	70	・水稲雨季作後期に発生する病虫害とその管理方法 ・幼穂形成・開花・登熟期の稲の生理 ・ほ場の生態系観察	・研修資料(VN) ・研修報告(VN)
			2012/8/31	Dien Bien/Noong Het	55		
			2012/9/5	Tuan Giao/Quai Cang	35		
			2012/9/6	Tuan Giao/Muong Mun	34		
			2012/9/5	Muong Cha/Ma Thi Ho	36		
			2012/9/4	Muong Cha/Muong Tung	36		
13	大豆栽培技術研修会	農作物種子生産Tuan Giao支店(Tuan Giao Branch of Agricultural Variety Farm)	2012/09/10~11	Tuan Giao/Quai Cang/Cuong	47	大豆の栽培技術全般および病虫害とその対策について講義とフィールドで学ぶ。	・研修資料(VN) ・研修報告(VN)
14	有機肥料づくり研修会(第3回)	地域開発研究センター(ハノイ)(Centre for regional research and development)	2012/10/17	Dien Bien/Thanh Hung/T9	14	作成した有機肥料および学習者の理解度の評価	・研修資料(VN) ・研修報告(VN)
			2012/10/17	Dien Bien/Thanh Hung/T10	17		
			2012/10/16	Dien Bien/Noong Het/T18	13		
			2012/10/16	Dien Bien/Noong Het/T19	9		
			2012/10/18	Tuan Giao/Quai Cang/Sang	40		
			2012/10/18	Tuan Giao/Quai Cang/Cuong	40		
			2012/10/19	Tuan Giao/Muong Mun	20		
			2012/10/20	Muong Cha/Ma Thi Ho	9		
			2012/10/20	Muong Cha/Muong Tung	24		
15	水稲乾季作栽培技術研修会(第1回)	省植物防疫支局	2012/12/18	Dien Bien/Noong Het	52	(1) 圃場準備技術 (2) 元肥技術 (3) 種子処理 (4) ジャンボタニシ、雑草、ネズミ管理	・研修資料(VN) ・研修報告(VN)
			2012/12/18	Tuan Giao/Quai Cang	30		
			2012/12/14	Tuan Giao/Muong Mun	56		
			2012/12/18	Muong Cha/Ma Thi Ho	23		
			2012/12/14	Muong Cha/Muong Tung	41		
16	乾季作水稲実証栽培のモニタリングのためのセミナー(第1回)	白石正明短期専門家(作物栽培)	2013/1/4	栽培担当PMUおよび普及員	10	実証栽培、モニタリング手法について説明する。	
17	水稲乾季作栽培技術研修会(第2回)	省植物防疫支局	2013/1/9	Dien Bien/Thanh Hung	25	(1) 間引き技術 (2) 一回目施肥の技術 (3) 水稲の低温対策 (4) 病虫害管理	・研修資料(VN) ・研修報告(VN)
			2013/1/24	Dien Bien/Noong Het	43		
			2013/1/9	Tuan Giao/Quai Cang	33		
			2013/1/10	Tuan Giao/Muong Mun	48		
			2013/01/	Muong Cha/Ma Thi Ho	-		
			2013/1/10	Muong Cha/Muong Tung	43		

	タイトル	実施機関	実施日	対象地	参加人数	内容	備考
18	乾季作水稲実証栽培のモニタリングのためのセミナー(第2回)	白石正明短期専門家(作物栽培) 江藤清剛短期専門家(農業技術普及)	2013/1/25	栽培担当PMUおよび普及員	10	・モニタリング方法:水管理、病虫害管理、施肥について技術的に説明する。 ・普及手法:日本の普及の歴史やツール(虫見版や看板)の紹介	
19	フエ・バックマーでの有機質肥料づくりリーダー育成研修	JICA草の根技術協力事業、「ベトナム 農民参加型 木炭多用途利用技術 普及計画(略称「バックマー・チャコールプロジェクト(Bach Ma Charcoal Project / Dự án Than Bạch Mã)」)」	2013/01/27～30	農家および普及員の各郡代表、省PMU代表	7	研修後に地域リーダーとなるべく以下について学ぶ: ・もみ殻燻炭・木酢液の作り方、 ・ボカシの作り方、 ・施肥方法	

イ. ワークショップ

	タイトル	実施日	対象地	参加人数	内容	備考
1	プロジェクトガイダンスワークショップ	2011/7/28	Dien Bien/Thanh Hung/T9	61	(1)パイロットサイトへのプロジェクトの概要、活動方針の説明 (2)パイロットサイトにおける問題把握	
		2011/7/29	Dien Bien/Thanh Hung/T10			
		2011/7/30	Dien Bien/Noong Het/T18			
		2011/7/31	Dien Bien/Noong Het/T19			
		2011/7/26	Tuan Giao/Quai Cang	138		
		2011/7/27	Tuan Giao/Muong Mun	87		
		2011/8/2	Muong Cha/Ma Thi Ho	70		
		2011/8/1	Muong Cha/Muong Tung	40		
2	水稲栽培モデル農家選定ワークショップ	2011/09/13,17	Dien Bien/Thanh Hung		2011/2012乾季作水稲実証栽培の活動説明およびモデル農家選定: (1)実証栽培内容の説明 (2)モデル農家選定条件および作業内容の説明 (3)モデル農家の選定	
		2011/9/15	Dien Bien/Noong Het	66		
			Tuan Giao/Quai Cang			
		2011/9/29	Tuan Giao/Muong Mun	40		
		2011/8/24	Muong Cha/Ma Thi Ho	74		
		2011/8/23	Muong Cha/Muong Tung	40		
3	メイズ栽培モデル農家選定ワークショップ	2012/1/10	Dien Bien/Noong Het	34	メイズ実証栽培の活動説明およびメイズ栽培モデル農家選定	1,015,000
4	水管理活動のためのワークショップ	2012/5/8	Dien Bien/Thanh Hung	8	水管理活動に関する打合せ(今後のプロジェクト活動の進め方の説明及び水管理の現状の聞き取り)	
		2012/5/9	Dien Bien/Noong Het	11		
		2012/5/3	Tuan Giao/Quai Cang	7		
		2012/5/4	Tuan Giao/Muong Mun	7		
		2012/4/25	Muong Cha/Ma Thi Ho	4		
		2012/4/24	Muong Cha/Muong Tung	5		

	タイトル	実施日	対象地	参加人数	内容	備考
5	2012年水稲夏秋作における活動実施農家選定のためのワークショップ	2012/5/28	Dien Bien/ Thanh Hung	41	(1)2012年水稲夏秋作における活動の概要説明 (2)実証栽培農家(6名)および栽培記録農家(5名)の選定 (3)選定農家の圃場面積等確認	950,000
		2012/05/	Dien Bien/Noong Het			
		2012/5/31	Tuan Giao/Quai Cang			
		2012/6/1	Tuan Giao/Muong Mun			
		2012/05/	Muong Cha/Ma Thi Ho			
		2012/6/8	Muong Cha/Muong Tung			
6	水管活動のためのワークショップ	2012/5/31	Tuan Giao/Quai Cang	69	水利組合農民代表選定	1,610,000
		2012/6/1	Tuan Giao/Muong Mun	36		950,000
		2012/5/19	Dien Bien/Noong Het	45		2,105,200
		2012/5/22	Muong Cha/Muong Tung	53		1,130,000
		2012/5/22	Muong Cha/Ma Thi Ho/HC1	53		1,190,000
		2012/5/23	Muong Cha/Ma Thi Ho/HC2	23		590,000
7	水管理委員会ワークショップ	2012/8/14	Dien Bien/Thanh Hung	16	(1)委員会名簿作成 (2)委員長および副委員長選出 (3)かんがい設備および水管理体制の現状に関する協議 (4)次回検討事項	420,000
		2012/8/14	Dien Bien/Noong Het	13		360,000
		2012/8/9	Tuan Giao/Quai Cang	8		260,000
		2012/8/10	Tuan Giao/Muong Mun	9		280,000
		2012/8/17	Muong Cha/Ma Thi Ho	9		280,000
		2012/8/16	Muong Cha/Muong Tung	7		240,000
8	水管理委員会ワークショップ	2012/9/6	Dien Bien/Thanh Hung	17	VAWRによる先進事例を含めたベトナムでのPIMの紹介	440,000
		2012/9/7	Tuan Giao/Muong Mun	10		300,000

	タイトル	実施日	対象地	参加人数	内容	備考
9	水管理委員会ワークショップ	2012/11/27	Dien Bien/Thanh Hung	17	今後のパイロットサイトでの灌漑活動決定のための打合せ	440,000
		2012/11/27	Dien Bien/Noong Het	9		280,000
		2012/12/3	Tuan Giao/Quai Cang	9		280,000
		2012/12/4	Tuan Giao/Muong Mun	8		260,000
		2012/11/29	Muong Cha/Ma Thi Ho	9		280,000
		2012/11/28	Muong Cha/Muong Tung	5		200,000
10	農家とのワークショップ	2012/12/13	Dien Bien/Thanh Hung	24	(1)パイロットサイトの課題と今後のプロジェクト活動方針 (2)2012/2013水稲乾季作の活動	610,000
		2012/12/17	Dien Bien/Noong Het	66		1,450,000
		2012/12/8	Tuan Giao/Quai Cang	61		1,350,000
		2012/12/11	Tuan Giao/Muong Mun	35		830,000
		2012/12/4	Muong Cha/Ma Thi Ho	40		930,000
		2012/12/12	Muong Cha/Muong Tung	49		1,110,000

証栽培活動

	作物	タイトル	実施期間	対象地	モデル農家数	内容	備考
1	水稲	2011/2012乾季作水稲実証栽培	2011/11/21～2012/06/30	水稲栽培に関連する6サイト: Dien Bien郡Noong Het村9・10区, Dien Bien郡Thanh Hung村18・19区, Tuan Giao郡Quai Cang村Sang, Tuan Giao郡Muong Mun村Muong 1, Muong Cha郡Ma Thi Ho村Ho Chim 2, Muong Cha郡Muong Tung村Pom Cai	56	(1) 栽植密度 (2) 施肥 (3) 品種 (4) 種子処理	
2	メイズ	2012春夏作メイズ実証栽培	2012/04/10～2012/07/30	以下3サイト: Dien Bien郡Noong Het村19区 Tuan Giao郡Quai Cang村Cuong, Tuan Giao郡Muong Mun村Muong 1	21	(1) 栽植密度 (2) 施肥 (3) 品種	
3	水稲	2012雨季作水稲実証栽培	2012/06/08～2012/10/11	水稲栽培に関連する6サイト: Dien Bien郡Noong Het村10区, Dien Bien郡Thanh Hung村18区, Tuan Giao郡Quai Cang村Sang, Tuan Giao郡Muong Mun村Muong 1, Muong Cha郡Ma Thi Ho村Ho Chim 2, Muong Cha郡Muong Tung村Pom Cai	26	(1) 条蒔き (2) 水管理 (3) 施肥	
4	大豆	2012秋冬作大豆実証栽培	2012/08/初旬～2012/11初旬	以下1サイト: Tuan Giao郡Quai Cang村Cuong	2	(1) 栽植密度 (2) 施肥	
5	水稲	2012/2013乾季作水稲実証栽培	2012/12/14～	水稲栽培に関連する6サイト: Dien Bien郡Noong Het村10区, Dien Bien郡Thanh Hung村18区, Tuan Giao郡Quai Cang村Sang, Tuan Giao郡Muong Mun村Muong 1, Muong Cha郡Ma Thi Ho村Ho Chim 2, Muong Cha郡Muong Tung村Pom Cai	15	(1) 総合展示(IPM・水管理) (2) 低温対策 (3) 品種	

エ. 視察旅行

	タイトル	受入機関	実施日	対象者	参加人数	内容	備考
1	水稲栽培モデル見学旅行	植物防疫支局 (Tuan Giao郡 植物防疫ステーション)	2012/5/18	栽培担当PM、 Tuan Giao郡モデル農家等	21	Tuan Giao/Quai To/Chieng SinhのSRIモデル視察	2,959,000
2	メイズ栽培モデル見学旅行	北部山岳地域農林科学研究所 Son La省Mai Sonセンター	2012/07/19～21	栽培担当PMU、 メイズモデル農家等	25	メイズモデル圃場見学： ・浸食防止のための保全農業 ・被覆作物や耐寒性稲等の栽培 ・傾斜地栽培	31,548,000
3	ファンリーファンティエット 農業開発プロジェクト視察	JICAファンリーファンティエット 農業開発プロジェクト	2012/07/30～08/03	省PMU水利担当、水利担当日 本人専門家、 業務調整、 アシスタント	4	灌漑設備工事にかかる事例を学ぶ(発 注、実施管理業務等)	

オ. 会議・セミナー

	タイトル	実施機関・講師等	実施日	参加人数	内容	備考
1	第1回合同調整委員会(JCC)開催		2011/6/23	45	(1) プロジェクト概要 (2) これまでの活動報告 (3) パイロット郡・コミュニティの選定 (4) 活動計画 (5) 承認(PDM, PO, パイロット郡およびコミュニティ)	5,110,000
2	本邦研修報告会ならびにコンサルタント調査報告		2011/10/18	24	本邦研修(「農民参加による農業農村開発」および「小規模灌漑施設整備(溪流取水工)」)報告会ならびにコンサルタントによるパイロットサイト稲作の現状にかかる調査報告	5,227,000
3	溪流取水工に関する技術セミナー	北出幸也短期専門家	2011/11/15	29	(1) 溪流取水工の計画 (2) 溪流取水工 施工の留意点 (3) パイロットサイト現地調査報告および改善提案	7,180,000
4	PMU全体会議		2012/1/16	30	(1) 2011年活動実績報告 (2) プロジェクト実施上の課題 (3) プロジェクト概念の再確認等	9,242,000
5	PMU全体会議		2012/2/9	31	(1) 水稲・メイズ収量調査結果報告 (2) 遠藤短期専門家(栽培)活動報告 (3) 各郡のプロジェクト目標及び対象とPDM指標設定に向けて (4) 2012年の投入計画	15,285,000
6	本邦研修報告会		2012/11/16	30	報告対象本邦研修: ・ 農民参加による農業農村開発 ・ 農民参加型水管理システム ・ 小規模灌漑施設整備および末端水管理	10,820,000

カ. 調査

	タイトル	実施機関	実施日	対象地	内容
1	ベースラインサーベイ	NIAPP	2011/02/14～2011/07/15	9つのパイロットコミュニティ候補	6パイロットコミュニティ選定のための基礎情報収集および選定後の必要情報収集。
2	土壌調査	Soils and fertilizer research institute	2012/12/10～02/14	水稲、メイズ、大豆栽培に関連する9サイトの農家圃場	対象圃場から採取した計225サンプルに関する分析 (pH, リン酸, 有効態リン酸, カリウム, 置換性カリウム, 有効態窒素、窒素)
3	水稲栽培実態調査	Dr. DANG QUY NHAN (Thai Nguyen Univ.)	(1) 2011/07/12～07/29 (2) 2011/07/31～08/13 (3) 2011/09/30～11/31	水稲栽培に関連する6サイト	パイロットサイト農家の水稲慣行栽培実態調査
4	メイズ・大豆栽培実態調査	Dr. Duong Van Son, Mr. Nguyen Huu Giang (Thai Nguyen Univ.)	2012/01/02～02/14	メイズ・大豆栽培に関連する3サイト	パイロットサイトのメイズ・大豆栽培実態調査
5	地形図作成用調査 (1)	Dien Bien province irrigation construction consultancy company	2012/02/02～03/09	Dien Bien/Thanh Hung	第9&10灌漑地区水田灌漑地区地形図作成業務
6	地形図作成用調査 (2)	Nam Hong ha consultant joint stock company	2012/02/02～03/09	Dien Bien/Noong Het	第18灌漑地区水田灌漑地区地形図作成業務
7	地形図作成用調査 (3)	Anh Khanh construction consultant limited company	2012/02/02～03/09	Tuan Giao/Quai Cang	Sang区水田灌漑地区地形図作成業務
8	地形図作成用調査 (4)	Dai An technical consultant and service joint stock company	2012/02/02～03/09	Tuan Giao/Muong Mun	Muong 1区水田灌漑地区地形図作成業務
9	地形図作成用調査 (5)	Dai An technical consultant and service joint stock company	2012/02/02～03/09	Muong Cha/Ma Thi Ho	Ho Chim 1&2区水田灌漑地区地形図作成業務
10	地形図作成用調査 (6)	Dai An technical consultant and service joint stock company	2012/02/02～03/09	Muong Cha/Muong Tung	Pom Cai区水田灌漑地区地形図作成業務
11	流量調査(1)	Dien Bien province irrigation construction consultancy company	2012/02/04～03/09	Dien Bien/Thanh Hung	灌漑施設取水口における流量計測業務
12	流量調査(2)	Dai An technical consultant and service joint stock company	2012/02/04～03/09	Tuan Giao/Muong Mun	灌漑施設取水口における流量計測業務
13	流量調査(3)	Dai An technical consultant and service joint stock company	2012/02/04～03/09	Muong Cha/Muong Tung	灌漑施設取水口における流量計測業務
14	パイロットサイト課題確認世帯調査	日本人専門家チーム	2012/09/06～17	水稲、メイズ、大豆栽培に関連する9サイト (計36世帯)	パイロットサイト代表農家から営農、栽培方法、問題について聞き取りを行う。
15	水稲栽培篤農家調査	白石正明短期専門家	2012/11/13～23	水稲栽培に関連する6サイト (計12世帯)	地域篤農家の栽培方法について聞き取りを行う。

	タイトル	実施機関	実施日	対象地	内容
16	土壌侵食状況調査	Dr. Dao Chau Thu (Hanoi Univ.)	2012/11/27～29	Tuan Giao/Quai Cang/Cuong	傾斜地の土壌侵食状況を視察し、状況を判断した上で対処方法を提案する。
17	かんがい施設詳細設計書、 入札書類、建設図面の作成 業務 (1)	XUAN HOANG CO., LTD.	2013/01/24～ (納品期日：2013/03/18)	Ho Chim 1&2, Ma Thi Ho, Muong Cha district	管路にかかる詳細設計書、入札書類、建設図面の作成
18	かんがい施設詳細設計書、 入札書類、建設図面の作成 業務 (2)	Dien Bien province irrigation construction consultancy company	2013/01/24～ (納品期日：2013/03/18)	Pom Cai, Muong Tung commune, Muong Cha district	溪流取水工にかかる詳細設計書、入札書類、建設図面の作成
19	かんがい施設詳細設計書、 入札書類、建設図面の作成 業務 (3)	Dien Bien province irrigation construction consultancy company	2013/01/24～ (納品期日：2013/03/18)	Team 18, Noong Het commune, Dien Bien district	排水路整備にかかる詳細設計書、入札書類、建設図面の作成
20	かんがい施設詳細設計書、 入札書類、建設図面の作成 業務 (4)	Dai An technical consultant and service joint stock company	2013/01/24～ (納品期日：2013/03/18)	Team 9, Thanh Hung commune, Dien Bien district	幹線用水路整備にかかる詳細設計書、入札書類、建設図面の作成
21	かんがい施設詳細設計書、 入札書類、建設図面の作成 業務 (5)	Dai An technical consultant and service joint stock company	2013/01/24～ (納品期日：2013/03/18)	Muong Mot, Muong Mun commune, Tuan Giao district	取水工にかかる詳細設計書、入札書類、建設図面の作成
22	かんがい施設詳細設計書、 入札書類、建設図面の作成 業務 (6)	Dai An technical consultant and service joint stock company	2013/01/24～ (納品期日：2013/03/18)	Sang, Quai Cang commune, Tuan Giao district	取水工にかかる詳細設計書、入札書類、建設図面の作成

2. 先方政府投入

(1) カウンターパート

#	氏名	所属機関	職位	PMU担当	プロジェクト従事期間
I. 省管理委員会 (PMU)					
1	Mr. Pham Duc Hien	省農業農村開発局(DARD)	局長	ディレクター	2011/6/15～
2	Mr. Trinh Quoc Cuong	省農業農村開発局(DARD)栽培部	部長	マネージャー	2011/6/15～
3	Mr. Nguyen Dinh Dung	省農業農村開発局(DARD)	主任	総務	2011/6/15～
	Mr. Dang Duc Hinh	水利支局計画技術部	部長	水利	2011/6/15～2011/7/22
	Mr. Bui Ngoc Son	省農業農村開発局(DARD)栽培部	主任	農業	2011/6/15～2011/10/21
4	Ms. Duong Thuy Huong	省農業農村開発局(DARD)	会計	会計	2011/6/15～
5	Ms. Pham Thi Hoa	省農業農村開発局(DARD)栽培部	幹部	農業	2011/6/15～
6	Ms. Vu Thi Yen	水利支局計画技術部	幹部	水利	2011/7/22～
7	Mr. Tran Van Phuong	省農業農村開発局(DARD)栽培部	幹部	農業	2011/10/21～
II. Tuan Giao郡管理委員会 (PMU)					
	Mr. Lo Van Hoan	Tuan Giao郡人民委員会(DPC)	委員長	ディレクター	2011/07/07～2012/3/28
1	Mr. Vu Van Duc	Tuan Giao郡人民委員会(DPC)	副委員長	ディレクター	2012/3/28～
2	Ms. Pham Thi Tuyen	DPC農業農村開発部	副部長	業務調整	2011/07/07～
	Ms. Quang Thi Nhu Quynh	DPC農業農村開発部	幹部	農業	2011/07/07～2012/3/28
	Mr. Hoang Van Hien	DPC農業農村開発部	幹部	農業	2011/07/07～2012/3/28
	Ms. Nguyen Thi Hien Luong	DPC農業農村開発部	幹部	会計	2011/07/07～2012/3/28
3	Mr. Nguyen Van Tuy	DPC農業農村開発部	幹部	水利	2012/3/28～
4	Ms. Vu Thi Van	植物防疫ステーション	ディレクター	農業	2012/3/28～
5	Ms. Hoang Thi Hong	植物防疫ステーション	幹部	農業	2012/3/28～
	Mr. Lo Van Sim	植物防疫ステーション	幹部	農業	2012/3/28～2012/4/30
6	Mr. Lo Van Van	Muong Mun村人民委員会(CPC)	副委員長	CPC代表	2011/07/07～
7	Mr. Lo Van Tam	Quai Cang村人民委員会(CPC)	副委員長	CPC代表	2011/07/07～
III. Muong Cha郡管理委員会 (PMU)					
	Mr. Lo Van Loi	Muong Cha郡人民委員会(DPC)	副委員長	ディレクター	2011/7/05～2012/6/25
1	Mr. Dinh Xun Tien	Muong Cha郡人民委員会(DPC)	副委員長	ディレクター	2012/6/25～
2	Mr. Dao Trong Hai	DPC農業農村開発部	部長	業務調整	2011/7/05～
	Ms. Vu Thi Xuyen	DPC農業農村開発部	幹部	農業	2011/7/05～2012/8/24
3	Ms. Vu Thi Nhung	DPC農業農村開発部	幹部	水利	2011/7/05～
	Ms. ham Thuy Duong	DPC農業農村開発部	幹部	会計	2011/7/05～2012/6/25
4	Mr. Tran Duc Doi	農産業振興ステーション	幹部	農業	2012/6/25～
5	Mr. Ho A Cau	DPC農業農村開発部	幹部	農業	2012/8/24～
6	Mr. Lu Van Van	Muong Tung村人民委員会(CPC)	委員長	CPC代表	2011/7/05～
7	Mr. Hang A Nanh	Ma Thi Ho村人民委員会(CPC)	委員長	CPC代表	2011/7/05～
IV. Dien Bien郡管理委員会 (PMU)					
1	Mr. Pham Van Bach	Dien Bien郡人民委員会(DPC)	副委員長	ディレクター	2011/7/22～
2	Ms. Dang Thi Hong	農産業振興ステーション	ディレクター	業務調整	2011/7/22～
3	Mr. Pham Ngoc Thinh	DPC農業農村開発部	幹部	水利	2011/7/22～
4	Ms. Nguyen Thi Van Anh	農産業振興ステーション	ディレクター	農業	2011/7/22～
5	Ms. Hoang Thi Thu	DPC農業農村開発部	会計	会計	2011/7/22～
6	Mr. Tran Cong Ngu	Noong Het村人民委員会(CPC)	副委員長	CPC代表	2011/7/22～
7	Mr. Nguyen Ngoc Ngan	Thanh Hung村人民委員会(CPC)	副委員長	CPC代表	2011/7/22～

(2) 土地や建物、執務室等の提供状況

#	項目	内容
1	人員配置	"(1) カウンターパート" 参照
2	プロジェクト予算	"(3) カウンターパート予算" 参照
3	プロジェクト執務室	DARD内2室をプロジェクト執務室として提供し、棚、机、イス等の備品を配置した。
4	施設設備	DARD内施設設備(会議室等)の利用。
5	その他ローカルコスト	その他、DARDはプロジェクト執務室にかかる水道光熱費、電話代、プロジェクト公用車の登録料・保険料・維持管理費を負担している。

(3) カウンターパート予算(年度別)

①2010年度(2010/08/01～2010/12/31):0 VND

②2011年度(2011/01/01～2010/12/31):0 VND

* プロジェクト承認が2011年6月であったことから、2011年にプロジェクト予算は承認されず、年度中に発生した費用は全て2012年度予算で処理された。

③2010年度(2012/01/01～2012/12/31):

2012年の経費明細報告書(1～12月)																	
種類	項目	費用グループ	費用項目	小項目	内容	当期予算				決算が必要な支出済み予算		当期費用減額		次期繰越金	備考		
						前期繰越金	実際の受取額		当期予算計	当期	年度累計	当期	年度累計			当期	年度累計
							当期	年度累計									
A	B	C	D	E	F	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
10	14				農業サービス活動	0	763,003,300	763,003,300	763,003,300	764,640,900	764,640,900			(1,637,600)			
		I			個人への支出	0	600,422,300	600,422,300	600,422,300	600,422,300	600,422,300						
			6050		契約書に基づく従業員への報酬	0	23,440,000	23,440,000	23,440,000	23,440,000	23,440,000				書類管理者、運転手、経理等		
			6100		給料手当て(PMUプロジェクト給与)	0	576,982,300	576,982,300	576,982,300	576,982,300	576,982,300				PMUプロジェクト給与		
		II			専門業務のための支出	0	64,239,500	64,239,500	64,239,500	65,877,100	65,877,100			(1,637,600)			
			6500		公共サービス使用料	0	9,672,700	9,672,700	9,672,700	9,672,700	9,672,700				電気光熱費		
			6550		事務所用資機材	0	4,874,000	4,874,000	4,874,000	4,874,000	4,874,000				文房具等消耗品		
			6600		通信費	0	14,800,800	14,800,800	14,800,800	14,907,400	14,907,400			(106,600)			
			6700		日当	0	15,482,000	15,482,000	15,482,000	15,482,000	15,482,000				本邦研修等DBP～Hanoi出張分		
			6900		専門業務のための資機材修理等	0	19,410,000	19,410,000	19,410,000	20,941,000	20,941,000			(1,531,000)	プロジェクト車輛修理代、プロジェクト執務室設備投資		
		III			購入・修理のための支出	0	24,140,000	24,140,000	24,140,000	24,140,000	24,140,000						
			9050		専門業務のための資産購入	0	24,140,000	24,140,000	24,140,000	24,140,000	24,140,000				他の資産(プロジェクト執務室デスク、イス、棚等)		
		IV			その他支出	0	74,201,500	74,201,500	74,201,500	74,201,500	74,201,500						
			7750		その他支出	0	74,201,500	74,201,500	74,201,500	74,201,500	74,201,500				プロジェクト車輛登録料・保険料、会議費		
					計	0	763,003,300	763,003,300	763,003,300	764,640,900	764,640,900			(1,637,600)			

4. PDM Version 1.0 (英語)、PO Version 1.0 (英語)、改訂 PDM Version 2.0 (英語・日本語)

PROJECT DESIGN MATRIX (PDM) Version 1.0

Project Name: The Northwest Region Rural Development Project in Viet Nam

Project Period: 2010 to 2015 (in total 5 years)

Target Area: Dien Bien Province (Pilot Districts: Dien Bien District, Tuan Giao District, Muong Cha District)

Target Group: local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises

Approved by 1st JCC on 24th June 2011

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal			
The rural development in Dien Bien Province is promoted.	1. Action plan formulated by the project is utilized in districts other than the pilot districts. 2. Production, amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy rice, maize and soybeans increase by more than XX% respectively in Dien Bien Province.	Interview Statistics of agriculture and industry in the Dien Bien Province.	<ul style="list-style-type: none"> Economic and social situation of Northwest region will not change drastically. Price of agricultural products do not fall drastically. Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which affects the agriculture production will not occur
Project Purpose			
The rural development in the pilot districts is promoted through strengthening the system, as district government being the core thrust force, to improve the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products.	1. Average gross profit of farmers in the pilot district increase by XX% in average. 2. Production, amount of sales, value of sales of market oriented agricultural products such as paddy rice, maize and soybeans increase by more than XX% respectively in Pilot Districts.	Statistics of Dien Bien province and Pilot Districts	<ul style="list-style-type: none"> The promotion strategy to production, processing, sale, maintenance of agricultural infrastructure of Dien Bien Province do not change. Price of agricultural products do not fall drastically. Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which affects the agriculture production will not occur
Outputs			
1. The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize etc. are improved in the Pilot Districts. 2. Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot Districts.	At each pilot commune, 1. Method and amount of using fertilizer is improved 2. Amount of using high quality seeds is increased. 3. Amount of sales of paddy rice, maize and soy beans increase by XX%. 4. More than XX% of the participant in the training implement the improvement plan 5. More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts use guideline/manual made by project 6. Number of improvement plan implemented 7. Number of issues arisen and solved At each pilot commune 1. The areas of two and three-term paddy/maize/soy beans is increased by more than XX% 2. More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts evaluate the improvement of irrigation facility management (operation, maintenance, repairment, etc.) 3. More than XX% of the participant in the training implement facility improvement plan. 4. More than XX% out of 47 Communes in the Pilot Districts use guideline/manual made by project 5. Number and content of improvement plan implemented (E.g. Establishment of regular meeting, Organizing rules, activities for operation and management, etc.)	Statistics of pilot communes Interview, check of commune/ district development plan by experts Statistics of pilot communes Interview, check of commune/ district development plan by experts	Pro agriculture policy of Pilot District and Communes do not change.
3. The capacity for rural development of local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises is improved through strengthening the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products.	1. More than XX% of extension workers in the Pilot Communes are trained, and more than XX% of the participants understood the method of extension. 2. Level of understanding is more than XX% for participants from local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises. 3. More than XX% of the leaders of the districts other than the pilot districts evaluation the action plan to be executable.	Statistics of pilot communes Interview, check of commune/ district development plan by experts	
Activities	Inputs		
1-1. To study farming situation of candidate pilot commune and select the pilot communes. 1-2. To conduct baseline survey at the selected pilot communes of agricultural products, cultivation, postharvesting, marketing, rural infrastructure and irrigation system, existing extension system, etc. 1-3. To conduct workshops for cultivation, post harvesting and marketing and identify farmers needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and extension workers. 1-4. To make improvement plan for better cultivation, post harvesting and marketing based on the problems identified with farmers and extension staffs. 1-5. To conduct training to farmers on the issues related to cultivation, post harvesting and marketing, and monitor whether the content of the training is utilized. 1-6. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines/manuals which enable extension staffs to draw and implement the improvement plan according to the farmers' needs. 1-7. To conduct OJT (On the Job Training) using guidelines/manuals to support the extension staffs to promote their extension activity to other communes of the pilot district. 2-1. To conduct workshops for water use and identify needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and irrigation management staffs. 2-2. To draft and implement the improvement plan with the farmers and irrigation management staff for efficient and effective water usage based on the problems identified above. 2-3. To conduct training to farmers and facility managers for water use, and identify whether the training is utilized. 2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines, manuals which enable irrigation management staff to draw and implement the improvement plan according to the farmer's needs. 2-5. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the irrigation management staffs to promote their water management activity to other communes of the pilot district. 2-6. To identify the problems related with the management of rural infrastructure such as rural water supply facility(s) and community road(s), and solve them with farmers. 3-1. To implement trainings to extension staff for obtaining better knowledge, attitude and skill. 3-2. To implement trainings and feedback seminars for the officials of District People's Committee and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises. 3-3. To formulate the action plan for expanding the outcome of the Project in the pilot district to other districts of the province.	<p><i>Japanese Side</i></p> <p>1. Experts</p> <p>(1) Chief advisor/maintenance rural infrastructure</p> <p>(2) Cultivation</p> <p>(3) Irrigation/Water resource management/Water management organization</p> <p>(4) Marketing</p> <p>(5) Coordinator/Planning training</p> <p>(6) Other necessary experts</p> <p>2. Training in Japan, third countries, in Vietnam</p> <p>3. Necessary equipment</p>	<p><i>Vietnamese Side</i></p> <p>1. Full-time C/PS</p> <p>2. Office for the Project</p> <p>3. Information for the related projects</p> <p>4. Local budget</p>	Preconditions The Coordinating Committee for the Project is established.

Plan of Operation (PO) Version 1.0
 The Northwest Region Rural Development Project in Vietnam
 2010 to 2015 (in total 5 years)

Approved by 1st JCC on 24th June 2011

Year	1st year				2nd year				3rd year				4th year				5th year			
	1	II	III	IV	1	II	III	IV	1	II	III	IV	1	II	III	IV	1	II	III	IV
1-1. To Study farming situation of candidate pilot commune and select the pilot communes.	▲																			
1-2. To conduct baseline survey at the selected pilot communes of agricultural products, cultivation, postharvesting, marketing, rural infrastructure and irrigation system, existing extension system, etc.	◄																			
1-3. To conduct workshops for cultivation, post harvesting and marketing and identify farmers needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and extension workers.	◄																			
1-4. To make improvement plan for better cultivation, post harvesting and marketing based on the problems identified by farmers and extension staffs.	◄																			
1-5. To conduct training to farmers on the issues related to cultivation, post harvesting and marketing, and monitor whether the content of the training is utilized.	◄																			
1-6. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines/manuals which enable extension staffs to draw and implement the improvement plan according to the farmers' needs.	◄																			
1-7. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the extension staffs to promote their extension activity to other communes of the pilot district.	◄																			
<Output 1> The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize etc. are improved in the Pilot districts.																				
2-1. To conduct workshops for water use and identify needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and irrigation management staffs.	◄																			
2-2. To draft and implement the improvement plan with the farmers and irrigation management staff for efficient and effective water usage based on the problems identified above.	◄																			
2-3. To conduct training to farmers and facility managers for water use, and identify whether the training is utilized.	◄																			
2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes, and to formulate guidelines, manuals which enable irrigation management staff to draw and implement the improvement plan according to the farmer's needs.	◄																			
2-5. To conduct OJT using guidelines/manuals to support the irrigation management staffs to promote their water management activity to other communes of the pilot district.	◄																			
2-6 To identify the problems related with the management of rural infrastructure such as rural water supply facility(s) and community road(s), and solve them with farmers.	◄																			
<Output 2> Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot districts.																				
3-1. To implement trainings to extension staff for obtaining better knowledge, attitude and skills.	◄																			
3-2. To implement trainings and feed back seminars for the officials of District People's Committees and Provincial People's Committee and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises.	◄																			
3-3. To formulate the exit strategy of the Project with action plan for expanding the outcome of the Project to other districts of the province	◄																			
<Output 3> The capacity for rural development of local government such as provincial, district and commune people's committees and some agencies under those committees as well as mass organizations and agricultural enterprises is improved.																				
Evaluation Schedule																				

- Reports submitted to JICA Office from the Project
- Reports made by Evaluation Team
- ▲ Short Term Experts

PROJECT DESIGN MATRIX (PDM) Version 2.0

Project Name: The Northwest Region Rural Development Project in Viet Nam

Project Period: 2010 to 2015 (in total 5 years)

Target Area: Dien Bien Province (Pilot Districts: Dien Bien District, Tuan Giao District, Muong Cha District)

Target Group: Local government (Provincial, district, Commune people's committees etc.), some agencies under those committees etc.

Result from Midterm Review on 15th March 2013

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal</p> <p>The rural development in Dien Bien Province is promoted.</p>	<p>1. Approximately by 2020, action plan formulated by the project is utilized in districts of DB Province other than the pilot districts by the governmental authorities of DB Province and districts.</p> <p>2. Approximately by 2020, agricultural management in DB Province improves through increasing farming status for paddy rice, maize and soybeans etc.</p>	<p>1. Interviews with governments.</p> <p>2. Interviews with the farmers in the pilot districts (sample number). Statistics of agriculture and industry in the Dien Bien Province</p> <p>1&2: Statistics of agriculture and industry in the Dien Bien Province.</p>	
<p>Project Purpose</p> <p>The rural development in the pilot districts is promoted through strengthening the system, as district government being the core thrust force, to improve the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products.</p>	<p>More than 60% out of the farmers in the Pilot village improves their farming status(*1).</p>	<p>Statistics of Dien Bien province and Pilot Districts</p>	<p>1. The promotion strategy to production, post harvesting, maintenance of agricultural infrastructure of Dien Bien Province do not change.</p> <p>2. Price of agricultural products do not fall sharply.</p> <p>3. Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which effects the agriculture production will not occur.</p> <p>4. Trained government staff do not leave their work.</p> <p>5. Number of DB Province staff members will not sharply get reduced.</p> <p>6. DB Province budget for the agriculture sector will not sharply decrease.</p>
<p>Outputs</p> <p>1. The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize etc. are improved in the Pilot Districts.</p> <p>2. Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot Districts.</p> <p>3. The capacity for rural development of local government (provincial, district and commune people's committees) is improved.</p>	<p>1-1. At each pilot village(*2), 60% of the identified problems in the improvement plan are improved.</p> <p>1-2. At each pilot village, method of using fertilizer is improved by trained knowledge.</p> <p>1-3. At the pilot village, seed production and seeding techniques are improved through gaining the knowledge on seeds.</p> <p>1-4. More than 60% out of 47 Communes in the Pilot Districts understand guideline/manual made by project.</p> <p>2-1. 60% of the improvement plan(*3) is implemented in the pilot village.</p> <p>2-2. More than 60% out of the farmers in the Pilot village recognize that irrigation water management is improved.</p> <p>2-3. More than 60% of CPC irrigation staff and Irrigation Management Corporation in the Pilot Districts understand guideline/manual made by project</p> <p>3-1. More than 60% of trained extension workers and commune leaders etc. in the Pilot Communes understood the method of extension.</p> <p>3-2. Improvement of training method of Training institutions (Plant Protection, Agriculture promotion center) is recognized.</p> <p>3-3. 60% of the FB seminar participants from the local governments (Provincial, Districts, Communes) recognized the impacts of the project.</p> <p>3-4. More than 60% of the leaders of the districts other than the pilot districts evaluated the action plan to be executable.</p>	<p>1-1,2,3. Interviews with the pilot farmers and statistics of the pilot communes</p> <p>1-4. Interviews with the commune leaders and statistics of the pilot communes</p> <p>2-1. Interviews with the water and irrigation management group of the pilot village</p> <p>2-2. Interviews with the farmers in the pilot village</p> <p>2-3. Interviews with the technical staff of the CPC irrigation staff and Irrigation Management Corporation</p> <p>3-1. Interviews with extension workers and commune leaders etc.</p> <p>3-2. Interview with Training institutions</p> <p>3-3. Interview with local governments (Province, District, Commune) and concerned authorities</p> <p>3-4. Interview with leaders of the districts other than the pilot district</p>	<p>1. Policy of promotion of Agricultural product, Post harvesting, Marketing and Infrastructure of in Dien Bien Province does not change.</p>
<p>Activities</p>	<p>Inputs</p>		
<p>1-1. To Study farming situation of candidate pilot commune and select the pilot communes.</p> <p>1-2. To conduct baseline survey at the selected pilot communes of agricultural products, cultivation, post harvesting, marketing, rural infrastructure and irrigation system, existing extension system, etc.</p> <p>1-3. To conduct workshops for cultivation, post harvesting and marketing and identify farmers needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and extension workers.</p> <p>1-4. To make improvement plan for better cultivation, post harvesting and marketing based on the problems identified with farmers and extension staffs.</p> <p>1-5. To conduct training to farmers on the issues related to cultivation and post harvesting, and monitor whether the content of the training is utilized.</p> <p>1-6. To monitor and verify the above activities in the pilot communes and to formulate guidelines/manuals for drawing the improvement plan according to the farmer's needs, and then to distribute them to the local governments.</p> <p>2-1. To conduct workshops for water use and identify needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and irrigation management staffs.</p> <p>2-2. To draft and implement the improvement plan with the farmers and irrigation management staff for efficient and effective water usage based on the problems identified above.</p> <p>2-3. To conduct training to farmers and facility managers for water use, and identify whether the training is utilized.</p> <p>2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes and to formulate guidelines/manuals for drawing the improvement plan according to the farmer's needs, and then to distribute them to the local governments.</p> <p>2-5. To identify the problems related with the management of the small-scale infrastructure associated with rural development and solve them with farmers.</p> <p>3-1. To implement trainings to extension staff for obtaining better knowledge, attitude and skill.</p> <p>3-2. To implement trainings and feedback seminars for the officials of Province, District and Commune People's Committee and some related agencies etc.</p> <p>3-3. To formulate the action plan for expanding the outcome of the Project in the pilot district to other districts of the province.</p>	<p><i>Japanese Side</i></p> <p>1. Experts</p> <p>(1) Chief advisor/maintenance rural infrastructure</p> <p>(2) Cultivation</p> <p>(3) Irrigation/Water resource management/Water management organization</p> <p>(4) Marketing</p> <p>(5) Coordinator: Planning training</p> <p>(6) Other necessary experts</p> <p>2. Training in Japan, third countries, in Vietnam</p> <p>3. Necessary equipment</p>	<p><i>Vietnamese Side</i></p> <p>1. Full-time C/Ps</p> <p>2. Office for the Project</p> <p>3. Information for the related projects</p> <p>4. Local budget</p>	<p>1. Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which effects the agriculture production will not occur.</p> <p>2. Trained staff do not leave their work.</p> <p>3. Number of DB Province staff members will not sharply get reduced.</p> <p>4. DB Province budget for the agriculture sector will not sharply decrease.</p> <p>Preconditions</p> <p>The Coordinating Committee for the Project is established.</p>

(*1) Definition of "farming status" Example: Production increase, Cost reduction of inputs etc.

(*2) Village: Non-government entity of residents under commune

(*3) Activities: Set up regular meetings, Set up rules, Maintenance etc.

PROJECT DESIGN MATRIX (PDM) Version 2.0

Project Name: The Northwest Region Rural Development Project in Viet Nam

Project Period: 2010 to 2015 (in total 5 years)

Target Area: Dien Bien Province (Pilot Districts: Dien Bien District, Tuan Giao District, Muong Cha District)

Target Group: Local government (Provincial, district, Commune people's committees etc.), some agencies under those committees etc.

Approved by 2nd JCC on 15th March 2013

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal</p> <p>The rural development in Dien Bien Province is promoted.</p>	<p>1. Approximately by 2020, action plan formulated by the project is utilized in districts of DB Province other than the pilot districts by the governmental authorities of DB Province and districts.</p> <p>2. Approximately by 2020, agricultural management in DB Province improves through increasing farming status for paddy rice, maize and soybeans etc.</p>	<p>1. Interviews with governments.</p> <p>2. Interviews with the farmers in the pilot districts (sample number), Statistics of agriculture and industry in the Dien Bien Province</p> <p>1&2: Statistics of agriculture and industry in the Dien Bien Province.</p>	
<p>Project Purpose</p> <p>The rural development in the pilot districts is promoted through strengthening the system, as district government being the core thrust force, to improve the production, post harvesting and marketing of market-oriented agricultural products.</p>	<p>More than 60% out of the farmers in the Pilot village improves their farming status(*1).</p>	<p>Statistics of Dien Bien province and Pilot Districts</p>	<p>1. The promotion strategy to production, post harvesting, maintenance of agricultural infrastructure of Dien Bien Province do not change.</p> <p>2. Price of agricultural products do not fall sharply.</p> <p>3. Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which effects the agriculture production will not occur.</p> <p>4. Trained government staff do not leave their work.</p> <p>5. Number of DB Province staff members will not sharply get reduced.</p> <p>6. DB Province budget for the agriculture sector will not sharply decrease.</p>
<p>Outputs</p> <p>1. The method and approach for cultivation, post harvesting and marketing of agricultural products as paddy, soybean, maize etc. are improved in the Pilot Districts.</p> <p>2. Water resource distribution and irrigation infrastructure management are improved in the Pilot Districts.</p> <p>3. The capacity for rural development of local government (provincial, district and commune people's committees) is improved.</p>	<p>1-1. At each pilot village(*2), 60% of the identified problems in the improvement plan are improved.</p> <p>1-2. At each pilot village, method of using fertilizer is improved by trained knowledge.</p> <p>1-3. At the pilot village, seed production and seeding techniques are improved through gaining the knowledge on seeds.</p> <p>1-4. More than 60% out of 47 Communes in the Pilot Districts understand guideline manual made by project.</p> <p>2-1. 60% of the improvement plan(*3) is implemented in the pilot village.</p> <p>2-2. More than 60% out of the farmers in the Pilot village recognize that irrigation water management is improved.</p> <p>2-3. More than 75 % of CPC irrigation staff and Irrigation Management Corporation in the Pilot Districts understand guideline manual made by project</p> <p>3-1. More than 60% of trained extension workers and commune leaders etc. in the Pilot Communes understood the method of extension.</p> <p>3-2. Improvement of training method of Training institutions (Plant Protection, Agriculture promotion center) is recognized.</p> <p>3-3. 75% of the FB seminar participants from the local governments (Provincial, Districts, Communes) recognized the impacts of the project.</p> <p>3-4. More than 60% of the leaders of the districts other than the pilot districts evaluated the action plan to be executable.</p>	<p>1-1.2.3: Interviews with the pilot farmers and statistics of the pilot communes</p> <p>1-4. Interviews with the commune leaders and statistics of the pilot communes</p> <p>2-1. Interviews with the water and irrigation management group of the pilot village</p> <p>2-2. Interviews with the farmers in the pilot village</p> <p>2-3 Interviews with the technical staff of the CPC irrigation staff and Irrigation Management Corporation</p> <p>3-1. Interviews with extension workers and commune leaders etc.</p> <p>3-2. Interview with Training institutions</p> <p>3-3. Interview with local governments (Province, District, Commune) and concerned authorities</p> <p>3-4. Interview with leaders of the districts other than the pilot district</p>	<p>1. Policy of promotion of Agricultural product, Post harvesting, Marketing and Infrastructure of in Dien Bien Province does not change.</p>
<p>Activities</p> <p>1-1. To Study farming situation of candidate pilot commune and select the pilot communes.</p> <p>1-2. To conduct baseline survey at the selected pilot communes of agricultural products, cultivation, post harvesting, marketing, rural infrastructure and irrigation system, existing extension system, etc.</p> <p>1-3. To conduct workshops for cultivation, post harvesting and marketing and identify farmers needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and extension workers.</p> <p>1-4. To make improvement plan for better cultivation, post harvesting and marketing based on the problems identified with farmers and extension staffs.</p> <p>1-5. To conduct training to farmers on the issues related to cultivation and post harvesting, and monitor whether the content of the training is utilized.</p> <p>1-6. To monitor and verify the above activities in the pilot communes and to formulate guidelines/manuals for drawing the improvement plan according to the farmer's needs, and then to distribute them to the local governments.</p> <p>2-1. To conduct workshops for water use and identify needs and major challenges, thus deepening the understanding of farmers and irrigation management staffs.</p> <p>2-2. To draft and implement the improvement plan with the farmers and irrigation management staff for efficient and effective water usage based on the problems identified above.</p> <p>2-3. To conduct training to farmers and facility managers for water use, and identify whether the training is utilized.</p> <p>2-4. To monitor and verify the above activities in the pilot communes and to formulate guidelines/manuals for drawing the improvement plan according to the farmer's needs, and then to distribute them to the local governments.</p> <p>2-5. To identify the problems related with the management of the small-scale infrastructure associated with rural development and solve them with farmers.</p> <p>3-1. To implement trainings to extension staff for obtaining better knowledge, attitude and skill.</p> <p>3-2. To implement trainings and feedback seminars for the officials of Province, District and Commune People's Committee and some related agencies etc.</p> <p>3-3. To formulate the action plan for expanding the outcome of the Project in the pilot district to other districts of the province.</p>	<p style="text-align: center;">Inputs</p> <p><i>Japanese Side</i></p> <p>1. Experts</p> <p>(1) Chief advisor/maintenance rural infrastructure</p> <p>(2) Cultivation</p> <p>(3) Irrigation/Water resource management/Water management organization</p> <p>(4) Marketing</p> <p>(5) Coordinator/Planning training</p> <p>(6) Other necessary experts</p> <p>2. Training in Japan, third countries, in Vietnam</p> <p>3. Necessary equipment</p>	<p><i>Vietnamese Side</i></p> <p>1. Full-time C/Ps</p> <p>2. Office for the Project</p> <p>3. Information for the related projects</p> <p>4. Local budget</p>	<p>1. Abnormal weather such as agricultural pests, flood, drought which effects the agriculture production will not occur.</p> <p>2. Trained staff do not leave their work.</p> <p>3. Number of DB Province staff members will not sharply get reduced.</p> <p>4. DB Province budget for the agriculture sector will not sharply decrease.</p> <p>Preconditions</p> <p>The Coordinating Committee for the Project is established.</p>

(*1) Definition of "Farming status" Example: Production increase, Cost reduction of inputs etc.

(*2) Village: Non-government entity of residents under commune

(*3) Activities: Set up regular meetings, Set up rules, Maintenance etc.

- プロジェクト名：ベトナム同北西部山岳地域農村開発プロジェクト
- 協力期間：2010年8月～2015年7月（5年間）
- 対象地域：ディエンビエン省（Điện Biên 郡、Tuan Giao 郡、Muong Cho 郡）
- ターゲットグループ：地方政府（省、郡、コミューン人民委員会等）、地方政府の下にある各種団体等
- ベトナム側実施機関：ディエンビエン省人民委員会

Ver.2.0
2018年3月15日中間レビュー結果

プロジェクトの要約	指標	入手手段	外部条件
上位目標			
ディエンビエン省において、農村開発が促進される	<ol style="list-style-type: none"> 2020年頃までに、本プロジェクトで策定された行動計画（アクションプラン）がパイロット郡以外のディエンビエン省内の郡でディエンビエン省と同等の行政機関により活用される 2020年頃までに、ディエンビエン省において、水稻、とうもろこし、大豆等の農業栽培技術が理解されることにより、営農状態が向上する 	<ol style="list-style-type: none"> 行政機関向けインタビュー パイロット郡内外のディエンビエン省の農家向けインタビュー（9サンプル） 2共通：ディエンビエン省の各種統計資料 	
プロジェクト目標			
パイロット郡において、市場志向の農産物の生産、ホストハーベスト、販売の推進のための郡行政機関を中核とした体制の強化を通じて、農村開発が促進される	パイロット集落における60%以上の農家の営農状態が向上する（※1）	<ol style="list-style-type: none"> パイロット集落（※2）の農家向けインタビュー 試験耕作の結果 ディエンビエン省の統計 パイロット郡の統計 	<ol style="list-style-type: none"> 生産、ホストハーベスト、農業インフラ維持へのディエンビエン省の戦略が変更しない 農産物の価格が大幅に下落しない （作物の生産に及ぼす）病害虫や洪水、干ばつ等の著しい異常気象が起らない 能力開発された職員が居る ディエンビエン省の大幅な人口削減がなされない ディエンビエン省の農業関連予算が大幅に削減されない
アウトプット			
1.パイロット郡において、水稻、とうもろこし、大豆等の農産物の生産、ホストハーベスト、販売の手法が改善される	<p>各パイロット集落において、</p> <ol style="list-style-type: none"> 改善計画で指摘された問題点のうち60%以上が改善される 肥料にかかわる知識習得により施肥の手法が改善される 種子にかかわる知識習得により優良種子の生産手法、播種技術が改善される 	<ol style="list-style-type: none"> 1, 2, 3.パイロット農家向けインタビュー 4.コミューンの指導者向けインタビュー <p>共通：パイロットコミュニティの統計</p>	①ディエンビエン省の生産、ホストハーベスト、販売、農業インフラ整備促進の政策が変化しない
2.パイロット郡で水資源の配分が効率化するとともに、灌漑施設管理が改善される	<ol style="list-style-type: none"> パイロット集落で策定された改善計画に示された活動（※3）のうち60%以上が実施される パイロット集落の60%以上の農家の水管理が改善される パイロット郡内コミュニティ人民委員会水利担当者及び灌漑管理公社の技術者の75%以上にガイドライン/マニュアルが理解される 	<ol style="list-style-type: none"> パイロット集落の農業水管理組織へのインタビュー パイロット集落の農家インタビュー コミュニティ人民委員会水利担当者及び灌漑管理公社の技術者へのインタビュー 	
3. 地方政府（省、郡、コミューン）職員および関係組織の農村開発に係る能力が向上する	<ol style="list-style-type: none"> パイロットコミュニティの農業普及員・集落長等のうち、研修に参加した、60%以上の研修員が普及方法を習得する 研修実施機関（補助支局、農業振興センター等）において、研修手法が改善されたと評価する 地方政府（省、郡、コミューン）及び関係組織等からのプロジェクト成果発表セミナー参加者の75%以上がプロジェクトの成果を理解する パイロット郡以外の郡指導者の60%以上がアクションプランは実行可能であると評価する 	<ol style="list-style-type: none"> 農業普及員・集落長等へのインタビュー 研修実施機関へのインタビュー 地方政府（省、郡、コミューン）及び関係組織等へのインタビュー パイロット郡以外の郡指導者へのインタビュー 	
活動	投入		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 候補コミュニティにおいて、営農状況調査を行い、パイロットコミュニティを選定する 2. 選定されたパイロットコミュニティにおいて、農産物の栽培、ホストハーベスト、販売状況、農村インフラ、灌漑システム、農業普及体制等についてのベースライン調査を実施する 3. 栽培、ホストハーベスト、販売に関するWSを実施し、その課題を抽出し農業と普及員の理解を深める 4. 特定された課題を踏まえ、栽培、ホストハーベストに係る課題に対して、農業、普及員とともに改善計画を策定する 5. 農家に対して栽培、ホストハーベストに関する研修を実施すると共に、研修内容が営農にいかに関与されているか確認する 6. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング・検証すると共に、ニーズに根拠した改善計画の作り方をガイドライン/マニュアルを作成し、行政機関に配布する 	日本側	ベトナム側	
	<ol style="list-style-type: none"> 長期専門家3名 <ol style="list-style-type: none"> チーフアドバイザー・農村開発 灌漑・水資源管理・水管理組織 業務調査・研修計画 短期専門家 <ol style="list-style-type: none"> 作物栽培 普及（ホストハーベスト・販売含む） 他（必要に応じて） 機材 フロジェクトに必要な機材 プロジェクト活動費 研修 <ol style="list-style-type: none"> 本邦研修、第三回研修、回内研修 	<ol style="list-style-type: none"> 人件 <ol style="list-style-type: none"> プロジェクトディレクター プロジェクトマネージャー カウンターパート 資機材、施設 <ol style="list-style-type: none"> 日本人専門家事務所および家具 プロジェクト運営費 	<ol style="list-style-type: none"> （作物の生産に及ぼす）病害虫や洪水、干ばつ等の著しい異常気象が起らない 能力開発された職員が居る ディエンビエン省の大幅な人口削減がなされない ディエンビエン省の農業関連予算が大幅に削減されない
<ol style="list-style-type: none"> 1. 水資源の利用等に関する課題についてWSを実施し、その課題を抽出し農業・灌漑施設管理者の理解を深める 2. 課題を踏まえ、全ての農家にとって効率的・効果的な水利用に関する改善計画を農業・灌漑施設管理者と共に策定し、実施する 3. 農業施設管理者に対して水利用に関する研修を実施し、その実践状況を確認する 4. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング・検証すると共に、ニーズに根拠した改善計画の作り方をガイドライン/マニュアルを作成し、行政機関に配布する 5. 農村開発に付随する小規模インフラに関する課題を明確化し、農民と共に解決する 6. 普及員の知識・技術の向上および意識の改善に必要な研修を行う 7. 地方政府（省、郡、コミューン）職員および関係組織に対して、プロジェクト活動のフィードバックセミナー/農村開発に関する研修を実施する 8. パイロット郡で構築した成果をパイロット郡以外のディエンビエン省内の郡へ普及するための道筋を示した活動計画等（アクションプラン）を策定する 			前提条件
			調整委員会が設立される

- ※1： 営農の改善 の内容例：生産量増加、コスト削減等
 ※2： 集落 ：コミュニティより下部の行政機能を持たない住民の集合体
 ※3： 活動例：定例会の設置、ルール作り、維持管理活動等

- プロジェクト名：ベトナム同北西部山岳地域農村開発プロジェクト
- 協力期間：2010年8月～2015年7月（5年間）
- 対象地域：ディエンビエン省（Điện Biên 郡、Tuan Giao 郡、Muong Cha 郡）
- ターゲットグループ：地方政府（省、郡、コミューン人民委員会等）、地方政府の下にある各種団体等
- ベトナム国実施機関：ディエンビエン省人民委員会

Ver.2.0
2013年3月15日第2版（改正）

プロジェクトの要約	指標	入手手段	外部条件
上位目標 ディエンビエン省において、農村開発が促進される	1. 2020年頃までに、本プロジェクトで策定された行動計画（アクションプラン）がパイロット郡以外のディエンビエン省内の郡でディエンビエン省と同等の行政機関により活用される 2. 2020年頃までに、ディエンビエン省において、水稲、とうもろこし、大豆等の農業栽培技術が理解されることにより、営農状態が向上する	1. 行政機関向けインタビュー 2. パイロット郡内外のディエンビエン省の農家向けインタビュー（サマナラ） 1. 2共通：ディエンビエン省の各種統計資料	
プロジェクト目標 パイロット郡において、市場志向の農産物の生産、ホストハーベスト、販売の推進のための郡行政機関を中核とした体制の強化を通じて、農村開発が促進される	パイロット集落における60%以上の農家の営農状態が向上する（※1）	1. パイロット集落（※2）の農家向けインタビュー 2. 試験操作の結果 3. ディエンビエン省の統計 4. パイロット郡の統計	①生産、ホストハーベスト、農業インフラ維持へのディエンビエン省の戦略が変更しない ②農産物の価格が大幅に下落しない ③（作物の生産に及びず）病害虫や洪水、干ばつ等の著しい異常気象が起こらない ④能力開発された職員が辞めない ⑤ディエンビエン省の大幅な人口削減がなされない ⑥ディエンビエン省の農業関連予算が大幅に減額されない
アウトプット 1. パイロット郡において、水稲、とうもろこし、大豆等の農産物の生産、ホストハーベスト、販売の方法が改善される	各パイロット集落において、 1. 改善計画で指摘された問題点のうち60%以上が改善される 1. 2. 肥料に関する知識習得により施肥の手法が改善される 1. 3. 種子に関する知識習得により優良種子の生産手法、播種技術が改善される	1. 1, 2, 3. パイロット農家向けインタビュー 1. 4. コミュニティの指導者向けインタビュー 4共通：パイロットコミュニティの統計	①ディエンビエン省の生産、ホストハーベスト、販売、農業インフラ整備促進の政策が変化しない
2. パイロット郡で水資源の配分が効率的になるとともに、灌漑施設管理が改善される	2. 1. パイロット集落で策定された改善計画に示された活動（※3）のうち60%以上が実施される 2. 2. パイロット集落の60%以上の農家の水管理が改善される 2. 3. パイロット郡内コミュニティ人民委員会水利担当者及び灌漑管理会社の技術者の75%以上にガイドラインマニュアルが理解される	2. 1. パイロット集落の農民水管理組織へのインタビュー 2. 2. パイロット集落の農家インタビュー 3. コミュニティ人民委員会水利担当者及び灌漑管理会社の技術者へのインタビュー	
3. 地方政府（省、郡、コミュニティ）職員および関係組織の農村開発に係る能力が向上する	3. 1. パイロットコミュニティの農業普及員・集落長等のうち、研修に参加した、60%以上の研修員が普及方法を習得する 3. 2. 研修実施機関（植付支局、農業振興センター等）において、研修手法が改善されたことを評価する 3. 3. 地方政府（省、郡、コミュニティ）及び関係組織等からのプロジェクト成果発表セミナー参加者の75%以上がプロジェクトの成果を理解する 3. 4. パイロット郡以外の郡指導者の60%以上がアクションプランは実行可能であると評価する	3. 1. 農業普及員・集落長等へのインタビュー 3. 2. 研修実施機関へのインタビュー 3. 3. 地方政府（省、郡、コミュニティ）及び関係組織等へのインタビュー 3. 4. パイロット郡以外の郡指導者へのインタビュー	
活動	投入		①（作物の生産に及びず）病害虫や洪水、干ばつ等の著しい異常気象が起こらない ②能力開発された職員が辞めない ③ディエンビエン省の大幅な人口削減がなされない ④ディエンビエン省の農業関連予算が大幅に減額されない
1. 候補コミュニティにおいて、営農状況調査を行い、パイロットコミュニティを選定する	日本側	ベトナム側	
1. 2. 策定されたパイロットコミュニティにおいて、農産物の栽培、ホストハーベスト、販売状況、農村インフラ、灌漑システム、農業普及体制等についてのベースライン調査を実施する	1. 長期専門家3名 ①チーフアドバイザー・農村開発 ②灌漑・水資源管理/水管理組織 ③業務調整・研修計画	1. 人件費 ①プロジェクトディレクター ②プロジェクトマネージャー ③カウンセラー 2. 資機材、施設 日本人専門家報酬および家具 3. プロジェクト運営費	
1. 3. 栽培、ホストハーベスト、販売に関するWSを実施し、その課題を抽出し農業と普及の理解を深める	2. 短期専門家 ①作物栽培 ②普及（ホストハーベスト・販売含む） 他（必要に応じて）		
1. 4. 特定された課題を踏まえ、栽培、ホストハーベストに関する課題に対して、農業、普及員とともに改善計画を策定する	3. 機材 プロジェクトに必要な機材		
1. 5. 農家に対して栽培、ホストハーベストに関する研修を実施すると共に、研修内容が営農に活用されているか確認する	4. プロジェクト活動費		
1. 6. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング・検証すると共に、ニーズに根拠した改善計画の作り方をガイドラインマニュアルを作成し、行政機関に配布する	5. 研修 本邦研修、第三回研修、1回内研修		
2. 1. 水資源の利用等に関する課題についてWSを実施し、その課題を抽出し農家・灌漑施設管理者の理解を深める			
2. 2. 課題を踏まえ、全ての農家にとって効率的・効果的な水利用に関する改善計画を農家・灌漑施設管理者と共に策定し、実施する			
2. 3. 農業施設管理者に対して水利用に関する研修を実施し、その実践状況を確認する			
2. 4. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング・検証すると共に、ニーズに根拠した改善計画の作り方をガイドラインマニュアルを作成し、行政機関に配布する			
2. 5. 農村開発に付随する小規模インフラに関する課題を明確化し、農民と共に解決する			
3. 1. 普及員の知識・技術の向上および意識の改善に必要な研修を行う			
3. 2. 地方政府（省、郡、コミュニティ）職員および関係組織に対して、プロジェクト活動のフィードバックセミナーを農村開発に関する研修を実施する			
3. 3. パイロット郡で構築した成果をパイロット郡以外のディエンビエン省内の郡へ普及するための道筋を示した活動計画等（アクションプラン）を策定する			

- ※1： 営農の改善 の内容例：生産量増加、コスト削減等
 ※2： 集落 ：コミュニティより下部の行政機能を持たない住民の集合体
 ※3： 活動例：定例会の設置、ルール作り、維持管理活動等

前提条件

調整社会が設立される

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
ターゲットグループ	省、郡、コミューン人民委員会等の地方政府および、人民委員会所属の大衆組織や農業系企業等	地方政府（省、郡、コミューン人民委員会等）、地方政府の下にある各種団体等	文章を簡素にした。
上位目標	ディエンビエン省において、農村開発が促進される	変更なし	—
上位目標の指標	1. 本プロジェクトで策定された行動計画等（アクションプラン）がパイロット郡以外の郡で活用される 2. ディエンビエン省において、水稻、とうもろこし、大豆等、市場志向の農作物生産量がXX%以上、販売量がXX%以上増える	1. 2020年頃までに、本プロジェクトで策定された行動計画（アクションプラン）がパイロット郡以外のディエンビエン省内の郡でディエンビエン省と郡等の行政機関により活用される 2. 2020年頃までに、ディエンビエン省において、水稻、とうもろこし、大豆等の農業栽培技術が理解されることにより、営農状態が向上する	・行動計画を活用する主体者と活用先を明確にした。 ・本件は農業案件であり、事後評価の時期を「2020年頃まで」と通常の3年程度から長めに設定した。 個々の成果が発現され、農村開発が促進された状況を、農業粗利益や生産量などの個別指標では測れないため、営農状態という統合的指標に置き換えた。
上位目標の指標の入手手段	1. インタビュー 2. ディエンビエン省の農業、工業統計資料	1. 行政機関向けインタビュー、 2. パイロット郡内外のディエンビエン省の農家向けインタビュー（サンプル） 1&2共通：ディエンビエン省の各種統計資料	インタビュー先を明確にした。 ・インタビュー先を明確にした。 ・全省の中でもインパクトが発現していると考えられる地域でのサンプリング調査とする
上位目標維持への外部条件	①北西部の社会・経済状況が大幅に変化しない ②農産物の価格が暴落しない ③病虫害、洪水、干ばつなど農業生産に影響のある異常気象が起きない	削除	当該条件より以前に、外部条件として明記されているため削除。 ・スーパーゴールが設定されていないことから設置せず。
プロジェクト目標	パイロット郡において、市場志向の農産物の生産、ポストハーベスト、販売の推進のための郡行政機関を中核とした体制の強化を通じて、農村開発が促進される	変更なし	—

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
プロジェクト目標の指標	<p>1.パイロット郡における農家の農業粗利益が平均XX%増加する</p> <p>2.パイロット郡において、水稻、とうもろこし、大豆等、市場志向の農作物生産量がXX%以上、販売量がXX%以上増える</p>	<p>パイロット集落における60%以上の農家の営農状態が向上する (注)「営農の改善」の内容例：生産量増加、コスト削減等をPDM欄外に記入 (注)「集落」はコミュニティより下部の行政機能を持たない集まり。</p>	<p>①パイロット郡からパイロット集落に変更し、プロジェクト目標の発現場所を明確にした。</p> <p>②個々の成果が発現され、農村開発が促進された状況を、農業粗利益や生産量などの個別指標では測れないため、営農状態という統合的指標に置き換えた。また、パイロット集落の3郡の営農状況に差異をつけることとする。</p>
プロジェクト目標の指標の入手手段	<p>1. ディエンビエン省の統計</p> <p>2. パイロット郡の統計</p>	<p>1. パイロット集落の農家向けインタビュー</p> <p>2. 試験耕作の結果</p> <p>3. ディエンビエン省の統計</p> <p>4. パイロット郡の統計</p>	<p>統計情報に加え、インタビュー調査、試験耕作結果で農家の営農状況を把握することとした。</p>
プロジェクト目標達成への外部条件	<p>①生産量、加工、販売、農業インフラの維持に関するディエンビエン郡の戦略が変わらない</p> <p>②農産物の価格が暴落しない</p> <p>③病虫害、洪水、干ばつなど農業生産に影響のある異常気象が起きない</p>	<p>①生産、ポストハーベスト、農業インフラ維持へのディエンビエン省の戦略が変更しない</p> <p>②農産物の価格が大幅に下落しない</p> <p>③（作物の生産に及ぼす）病虫害や洪水、干ばつ等の著しい異常気象が起らない</p> <p>④能力開発された職員が辞めない</p> <p>⑤ディエンビエン省の大幅な人員削減がなされない</p> <p>⑥ディエンビエン省の農業関連予算が大幅に減額されない</p>	<p>①②③を判りやすく補足修正し、④⑤⑥を追加した。</p>
成果1	<p>パイロット郡において、水稻、とうもろこし、大豆等の農産物の生産、ポストハーベスト、販売の手法が改善される</p>	<p>変更なし</p>	<p>—</p>
	<p>1-1. パイロットコミュニティにおいて、肥料の使用量・使用方法が改善する</p>	<p>1-1. 各パイロット集落において、改善計画で指摘された問題点のうち60%以上が改善される。 (注)集落：コミュニティよりも下の住民の集合体だが、行政機関ではない</p>	

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
成果1の指標	1-2. パイロットコミュニティにおいて、優良種子の使用量が増加する	1-2. 各パイロット集落において、肥料にかかる知識習得により施肥の手法が改善される。 (注)集落：コミュニティよりも下の住民の集合体だが、行政機関ではない	1-1. 1-2. 1-3. 共通で、パイロットコミュニティをパイロット集落に変更し、プロジェクト成果の発現場を明確にした。
	1-3. パイロットコミュニティにおいて、水稻、とうもろこし、大豆の販売量がXX%増加する	1-3. 各パイロット集落において、種子にかかる知識習得により優良種子の生産手法、播種技術が改善される。 (注)集落：コミュニティよりも下の住民の集合体だが、行政機関ではない	1-1. は改善されたと捉える問題点の割合、1-2. と1-3. は改善される手法の内容について具体的に明記。
	1-4. 研修参加者のXX%以上が改善計画を実施する	削除	・改善計画の実施は成果に直接関連が薄いため
	1-5. パイロット郡の全(47)コミュニティのうち、XX%以上でガイドライン/マニュアルが使用される	1-4. パイロット郡内全47コミュニティの60%以上の指導者がガイドライン/マニュアルの内容について理解を示す	①使用される→理解を示すとし、実現可能な目標とした ②60%という具体的目標値を設定
	1-6. 実施された改善計画の数	削除	改善計画の実施までプロジェクトは到達しないとの予測により削除
	1-7. 特定された課題と解決された課題の数	削除	指標の意図が不明確なので削除
	成果1の指標の入手手段	1. パイロットコミュニティの統計 2. インタビュー 3. 専門家によるコミュニティ/郡開発計画のチェック	1-1. 1-2. 1-3. パイロット農家向けインタビュー、パイロットコミュニティの統計 1-4. コミュニティの指導者向けインタビュー、パイロットコミュニティの統計
成果2	パイロット郡で水資源の配分が効率化するとともに、灌漑施設管理が改善される	変更なし	—

項 目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
成果2の指標	2-1.パイロットコミュニティにおいて、 水稲2期作・他作物との2毛作を行う面積 がXX以上増加する	2-1.パイロット集落で策定された改 善計画に示された活動のうち60%以上 が実施される。 (注)活動：定例会の設置、ルール作り、維持 管理活動等	先ず、組織強化に関する活動が実 施されることを最初の目標として 設置
	2-2.パイロット郡XXコミュニティのう ち、YY%以上で灌漑施設の管理（操作、 機能維持、補修等）が改善されたと評価 される	2-2.パイロット集落の60%以上の農 家の水管理が改善される。	次の目標として個々の農家の水管 理の改善を目標とする
	2-3. 研修参加者のXX%以上が施設 改善計画を実施する	削除	・改善計画の実施は成果に直接関 連が薄いため
	2-4. パイロット郡の47コミュニティ のうち、XX%以上でガイドライン/マ ニュアルが使用される	2-3.パイロット郡内コミュニティ人民 委員会水利担当者及び灌漑管理公社の 技術者の75%以上にガイドライン/マ ニュアルが理解される。	①対象者を明確にした ②XX%から75%に具体的な数値目 標を設置した ③「使用される」→「理解され る」に留めた
	2-5. 実施された改善計画の数・内容	削除	改善計画の実施数や内容は成果と 直接関連が薄い
成果2の指標の入手手 段	1.パイロットコミュニティの統計 2.インタビュー 3. 専門家によるコミュニティ/郡開発計画 のチェック	2-1.パイロット集落の農民水管理組 織へのインタビュー 2-2.パイロット集落の農家インタ ビュー 2-3. コミュニティ人民委員会水利担当 者及び灌漑管理公社の技術者へのイン タビュー	統計情報の入手が困難なため、イン タビュー調査で水管理状況を把 握することとした。
成果3	地方政府（省、郡、コミュニティ）職員お よび関係組織、大衆組織・農民組織や農 業系企業の市場志向の農産物の生産、加 工、販売体制強化を通じた農村開発に係 る能力が向上する	地方政府（省、郡、コミュニティ）職員 および関係組織の農村開発に係る能力 が向上する	文章を簡素にした。
	3-1.パイロット郡の農業普及員のうち XX%以上が研修に参加し、XX%以上の研 修員が普及方法を習得したと回答する	3-1.パイロットコミュニティの農業普 及員・集落長等のうち、研修に参加し た、60%以上の研修員が普及方法を習 得する	研修参加者をパイロット郡からパ イロットコミュニティに限定した

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
成果3の指標	3-2. 地方政府（省、郡、コミュニティ）職員および関係組織、大衆組織・農民組織や農業系企業からのセミナー参加者の理解度がXX%以上である。	3-2. 研修実施機関（植防支局、農業振興センター等）において、研修手法が改善されたと評価する	研修実施機関を対象とした目標を新たに設置した
	3-3. パイロット郡以外の郡指導者のXX%以上がアクションプランは実行可能であると評価する	3-3. 地方政府（省、郡、コミュニティ）及び関連組織等からのプロジェクト成果フィードバックセミナー参加者の75%以上がプロジェクトの成果を理解する	①XX%から75%に具体的な数値目標を設置した ②対象者を明確にした
		3-4. パイロット郡以外の郡指導者の60%以上がアクションプランは実行可能であると評価する	XX%から60%に具体的な数値目標を設置した
成果3の指標の入手手段	1. パイロットコミュニティの統計 2. インタビュー 3. 専門家によるコミュニティ/郡開発計画のチェック	3-1. 農業普及員・集落長等へのインタビュー 3-2. 研修実施機関へのインタビュー 3-3. 地方政府（省、郡、コミュニティ）及び関連組織等へのインタビュー 3-4. パイロット郡以外の郡指導者へのインタビュー	統計情報の入手が困難なため、インタビュー調査で普及状況を把握することとした。
成果達成への外部条件	①パイロット郡とコミュニティの農業を重視した政策に変更がない	①（作物の生産に及ぼす）病害虫や洪水、干ばつ等の著しい異常気象が起こらない ②能力開発された職員が辞めない ③ディエンピエン省の大幅な人員削減がなされない ④ディエンピエン省の農業関連予算が大幅に減額されない	成果を達成するために必要な条件を追加した
	1-1. 候補コミュニティにおいて、営農状況調査を行い、パイロットコミュニティを選定する	変更なし	—
	1-2. 選定されたパイロットコミュニティにおいて、農産物の栽培、ポストハーベスト、販売状況、農村インフラ、灌漑システム、農業普及体制等についてのベースライン調査を実施する	変更なし	—

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
活動1	1-3. 栽培、ポストハーベスト、販売に関するワークショップを実施し、その課題を抽出し農業と普及員の理解を深める	変更なし	—
	1-4. 特定された課題を踏まえ、栽培、ポストハーベスト、販売に係る課題に対して、農業、普及員とともに改善計画を策定する	変更なし	—
	1-5. 農家に対して栽培、ポストハーベスト、販売に関する研修を実施すると共に、研修内容が営農にいかに関活用されているか確認する	1-5. 農家に対して栽培、ポストハーベストに関する研修を実施すると共に、研修内容が営農にいかに関活用されているか確認する	ポストハーベストに販売を含め、簡素にした。
活動1	1-6. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング、検証すると共に、普及員が農家のニーズに根差した改善計画を策定し、実施するためのガイドライン/マニュアルを作成する	1-6. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング、検証すると共に、ニーズに根差した、改善計画の作り方を示すガイドライン/マニュアルを作成し、行政機関に配布する	文章を簡素にし、配布まで含めた。
	1-7. 作成されたガイドライン/マニュアルに基づき郡内の他のコミュニティでの農業普及活動を普及員等が実践することを支援するOJTを実施する	削除	他のコミュニティでのOJT活動までは、プロジェクト成果に関連しないため。
活動2	2-1. 水資源の利用等に関わる課題についてワークショップを実施し、その課題を抽出し農家・灌漑施設管理者の理解を深める	変更なし	—
	2-2. 課題を踏まえ、全ての農家にとって効率的・効果的な水利用に関する改善計画を農家・灌漑施設管理者と共に策定し、実施する	変更なし	—
	2-3. 農業施設管理者に対して水利用に関する研修を実施し、その実践状況を確認する	変更なし	—
	2-4. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング・検証するとともに灌漑施設管理者が農家のニーズに根差した改善計画を策定し、実施するためのガイドライン/マニュアルを作成する	2-4. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング・検証するとともにニーズに根差した改善計画の作り方を示すガイドライン/マニュアルを作成し、行政機関に配布する	文章を簡素にし、配布まで含めた。

項 目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
	2-5. 作成されたガイドライン／マニュアルに基づき郡内の他のコミューンで水質改善活動を灌漑施設管理者が実践することを支援するOJTを実施する	削除	他のコミューンでのOJT活動までは、プロジェクト成果に関連しないため。
活動2	2-6. 農村水供給施設や道路等の農村インフラに関する課題を明確化し、農民と共に解決する	2-5. 農村開発に付随する小規模インフラに関する課題を明確化し、農民と共に解決する	プロジェクト目標が農村開発であるため、それに資するインフラという表記に変更し、PDM上での位置づけを明確にした。
活動3	3-1. 普及員の知識・技術の向上および意識の改善に必要な研修を行う	変更なし	—
	3-2. 地方政府（省、郡、コミューン）職員および関連組織、大衆組織・農民組織や農業系企業に対して、プロジェクト活動のフィードバックセミナーや農村開発に関する研修を実施する	3-2. 地方政府（省、郡、コミューン）職員および関連組織に対して、プロジェクト活動のフィードバックセミナーや農村開発に関する研修を実施する	関連組織の表記を簡素にした。
	3-3. パイロット郡で構築した成果をパイロット郡以外のディエンビエン省内の郡へ普及するための道筋を示した活動計画等（アクションプラン）を策定する	変更なし	—
前提条件	調整委員会が設立される	変更なし	—

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
ターゲットグループ	省、郡、コミューン人民委員会等の地方政府および、人民委員会所属の大衆組織や農業系企業等	地方政府（省、郡、コミューン人民委員会等）、地方政府の下にある各種団体等	文章を簡素にした。
上位目標	ディエンビエン省において、農村開発が促進される	変更なし	—
上位目標の指標	<p>1. 本プロジェクトで策定された行動計画等（アクションプラン）がパイロット郡以外の郡で活用される</p> <p>2. ディエンビエン省において、水稻、とうもろこし、大豆等、市場志向の農作物生産量がXX%以上、販売量がXX%以上増える</p>	<p>1. 2020年頃までに、本プロジェクトで策定された行動計画（アクションプラン）がパイロット郡以外のディエンビエン省内の郡でディエンビエン省と郡等の行政機関により活用される</p> <p>2. 2020年頃までに、ディエンビエン省において、水稻、とうもろこし、大豆等の農業栽培技術が理解されることにより、営農状態が向上する</p>	<p>・行動計画を活用する主体者と活用先を明確にした。</p> <p>・本件は農業案件であり、事後評価の時期を「2020年頃まで」と通常の3年程度から長めに設定した。</p> <p>個々の成果が発現され、農村開発が促進された状況を、農業粗利益や生産量などの個別指標では測れないため、営農状態という統合的指標に置き換えた。</p>
上位目標の指標の入手手段	<p>1. インタビュー</p> <p>2. ディエンビエン省の農業、工業統計資料</p>	<p>1. 行政機関向けインタビュー、</p> <p>2. パイロット郡内外のディエンビエン省の農家向けインタビュー（サンプル）</p> <p>1&2共通：ディエンビエン省の各種統計資料</p>	<p>インタビュー先を明確にした。</p> <p>・インタビュー先を明確にした。</p> <p>・全省の中でもインパクトが発現していると考えられる地域でのサンプリング調査とする</p>
上位目標維持への外部条件	<p>①北西部の社会・経済状況が大幅に変化しない</p> <p>②農産物の価格が暴落しない</p> <p>③病虫害、洪水、干ばつなど農業生産に影響のある異常気象が起きない</p>	削除	<p>当該条件より以前に、外部条件として明記されているため削除。</p> <p>・スーパーゴールが設定されていないことから設置せず。</p>
プロジェクト目標	パイロット郡において、市場志向の農産物の生産、ポストハーベスト、販売の推進のための郡行政機関を中核とした体制の強化を通じて、農村開発が促進される	変更なし	—

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
プロジェクト目標の指標	<p>1.パイロット郡における農家の農業粗利益が平均XX%増加する</p> <p>2.パイロット郡において、水稻、とうもろこし、大豆等、市場志向の農作物生産量がXX%以上、販売量がXX%以上増える</p>	<p>パイロット集落における60%以上の農家の営農状態が向上する (注)「営農の改善」の内容例：生産量増加、コスト削減等をPDM欄外に記入 (注)「集落」はコミュニティより下部の行政機能を持たない集まり。</p>	<p>①パイロット郡からパイロット集落に変更し、プロジェクト目標の発現場所を明確にした。</p> <p>②個々の成果が発現され、農村開発が促進された状況を、農業粗利益や生産量などの個別指標では測れないため、営農状態という統合的指標に置き換えた。また、パイロット集落の3郡の営農状況に差異をつけることとする。</p>
プロジェクト目標の指標の入手手段	<p>1. ディエンビエン省の統計</p> <p>2. パイロット郡の統計</p>	<p>1.パイロット集落の農家向けインタビュー</p> <p>2. 試験耕作の結果</p> <p>3. ディエンビエン省の統計</p> <p>4. パイロット郡の統計</p>	<p>統計情報に加え、インタビュー調査、試験耕作結果で農家の営農状況を把握することとした。</p>
プロジェクト目標達成への外部条件	<p>①生産量、加工、販売、農業インフラの維持に関するディエンビエン郡の戦略が変わらない</p> <p>②農産物の価格が暴落しない</p> <p>③病虫害、洪水、干ばつなど農業生産に影響のある異常気象が起きない</p>	<p>①生産、ポストハーベスト、農業インフラ維持へのディエンビエン省の戦略が変更しない</p> <p>②農産物の価格が大幅に下落しない</p> <p>③（作物の生産に及ぼす）病虫害や洪水、干ばつ等の著しい異常気象が起らない</p> <p>④能力開発された職員が辞めない</p> <p>⑤ディエンビエン省の大幅な人員削減がなされない</p> <p>⑥ディエンビエン省の農業関連予算が大幅に減額されない</p>	<p>①②③を判りやすく補足修正し、④⑤⑥を追加した。</p>
成果1	<p>パイロット郡において、水稻、とうもろこし、大豆等の農産物の生産、ポストハーベスト、販売の手法が改善される</p>	<p>変更なし</p>	<p>—</p>
	<p>1-1. パイロットコミュニティにおいて、肥料の使用法・使用量が改善する</p>	<p>1-1. 各パイロット集落において、改善計画で指摘された問題点のうち60%以上が改善される。 (注)集落：コミュニティよりも下の住民の集合体だが、行政機関ではない</p>	

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
成果1の指標	1-2. パイロットコミュニティにおいて、優良種子の使用量が増加する	1-2. 各パイロット集落において、肥料にかかる知識習得により施肥の手法が改善される。 (注)集落：コミュニティよりも下の住民の集合体だが、行政機関ではない	1-1. 1-2. 1-3. 共通で、パイロットコミュニティをパイロット集落に変更し、プロジェクト成果の発現場を明確にした。
	1-3. パイロットコミュニティにおいて、水稻、とうもろこし、大豆の販売量がXX%増加する	1-3. 各パイロット集落において、種子にかかる知識習得により優良種子の生産手法、播種技術が改善される。 (注)集落：コミュニティよりも下の住民の集合体だが、行政機関ではない	1-1. は改善されたと捉える問題点の割合、1-2. と1-3. は改善される手法の内容について具体的に明記。
	1-4. 研修参加者のXX%以上が改善計画を実施する	削除	・改善計画の実施は成果に直接関連が薄いため
	1-5. パイロット郡の全(47)コミュニティのうち、XX%以上でガイドライン/マニュアルが使用される	1-4. パイロット郡内全47コミュニティの60%以上の指導者がガイドライン/マニュアルの内容について理解を示す	①使用される→理解を示すとし、実現可能な目標とした ②60%という具体的目標値を設定
	1-6. 実施された改善計画の数	削除	改善計画の実施までプロジェクトは到達しないとの予測により削除
	1-7. 特定された課題と解決された課題の数	削除	指標の意図が不明確なので削除
	成果1の指標の入手手段	1. パイロットコミュニティの統計 2. インタビュー 3. 専門家によるコミュニティ/郡開発計画のチェック	1-1. 1-2. 1-3. パイロット農家向けインタビュー、パイロットコミュニティの統計 1-4. コミュニティの指導者向けインタビュー、パイロットコミュニティの統計
成果2	パイロット郡で水資源の配分が効率化するとともに、灌漑施設管理が改善される	変更なし	—

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
成果2の指標	2-1.パイロットコミュニティにおいて、 水稲2期作・他作物との2毛作を行う面積 がXX以上増加する	2-1.パイロット集落で策定された改 善計画に示された活動のうち60%以上 が実施される。 (注)活動：定例会の設置、ルール作り、維持 管理活動等	先ず、組織強化に関する活動が実 施されることを最初の目標として 設置
	2-2.パイロット郡XXコミュニティのう ち、YY%以上で灌漑施設の管理（操作、 機能維持、補修等）が改善されたと評価 される	2-2.パイロット集落の60%以上の農 家の水管理が改善される。	次の目標として個々の農家の水管 理の改善を目標とする
	2-3. 研修参加者のXX%以上が施設 改善計画を実施する	削除	・改善計画の実施は成果に直接関 連が薄いため
	2-4. パイロット郡の47コミュニティ のうち、XX%以上でガイドライン/マ ニュアルが使用される	2-3.パイロット郡内コミュニティ人民 委員会水利担当者及び灌漑管理公社の 技術者の60%以上にガイドライン/マ ニュアルが理解される。	①対象者を明確にした ②XX%から60%に具体的な数値目 標を設置した ③「使用される」→「理解され る」に留めた
	2-5. 実施された改善計画の数・内容	削除	改善計画の実施数や内容は成果と 直接関連が薄い
成果2の指標の入手手 段	1.パイロットコミュニティの統計 2.インタビュー 3. 専門家によるコミュニティ/郡開発計画 のチェック	2-1.パイロット集落の農民水管理組 織へのインタビュー 2-2.パイロット集落の農家インタ ビュー 2-3. コミュニティ人民委員会水利担当 者及び灌漑管理公社の技術者へのインタ ビュー	統計情報の入手が困難なため、イン タビュー調査で水管理状況を把握 することとした。
成果3	地方政府（省、郡、コミュニティ）職員お よび関係組織、大衆組織・農民組織や農 業系企業の市場志向の農産物の生産、加 工、販売体制強化を通じた農村開発に係 る能力が向上する	地方政府（省、郡、コミュニティ）職員 および関係組織の農村開発に係る能力 が向上する	文章を簡素にした。
	3-1.パイロット郡の農業普及員のうち XX%以上が研修に参加し、XX%以上の研 修員が普及方法を習得したと回答する	3-1.パイロットコミュニティの農業普 及員・集落長等のうち、研修に参加し た、60%以上の研修員が普及方法を習 得する	研修参加者をパイロット郡からパ イロットコミュニティに限定した

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
成果3の指標	3-2. 地方政府（省、郡、コミュニティ）職員および関係組織、大衆組織・農民組織や農業系企業からのセミナー参加者の理解度がXX%以上である。	3-2. 研修実施機関（植防支局、農業振興センター等）において、研修手法が改善されたと評価する	研修実施機関を対象とした目標を新たに設置した
	3-3. パイロット郡以外の郡指導者のXX%以上がアクションプランは実行可能であると評価する	3-3. 地方政府（省、郡、コミュニティ）及び関連組織等からのプロジェクト成果フィードバックセミナー参加者の60%以上がプロジェクトの成果を理解する	①XX%から60%に具体的な数値目標を設置した ②対象者を明確にした
		3-4. パイロット郡以外の郡指導者の60%以上がアクションプランは実行可能であると評価する	XX%から60%に具体的な数値目標を設置した
成果3の指標の入手手段	1. パイロットコミュニティの統計 2. インタビュー 3. 専門家によるコミュニティ/郡開発計画のチェック	3-1. 農業普及員・集落長等へのインタビュー 3-2. 研修実施機関へのインタビュー 3-3. 地方政府（省、郡、コミュニティ）及び関連組織等へのインタビュー 3-4. パイロット郡以外の郡指導者へのインタビュー	統計情報の入手が困難なため、インタビュー調査で普及状況を把握することとした。
成果達成への外部条件	①パイロット郡とコミュニティの農業を重視した政策に変更がない	①（作物の生産に及ぼす）病害虫や洪水、干ばつ等の著しい異常気象が起らない ②能力開発された職員が辞めない ③ディエンビエン省の大幅な人員削減がなされない ④ディエンビエン省の農業関連予算が大幅に減額されない	成果を達成するために必要な条件を追加した
	1-1. 候補コミュニティにおいて、営農状況調査を行い、パイロットコミュニティを選定する	変更なし	—
	1-2. 選定されたパイロットコミュニティにおいて、農産物の栽培、ポストハーベスト、販売状況、農村インフラ、灌漑システム、農業普及体制等についてのベースライン調査を実施する	変更なし	—

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
活動1	1-3. 栽培、ポストハーベスト、販売に関するワークショップを実施し、その課題を抽出し農業と普及員の理解を深める	変更なし	—
	1-4. 特定された課題を踏まえ、栽培、ポストハーベスト、販売に係る課題に対して、農業、普及員とともに改善計画を策定する	変更なし	—
	1-5. 農家に対して栽培、ポストハーベスト、販売に関する研修を実施すると共に、研修内容が営農にいかに関活用されているか確認する	1-5. 農家に対して栽培、ポストハーベストに関する研修を実施すると共に、研修内容が営農にいかに関活用されているか確認する	ポストハーベストに販売を含め、簡素にした。
活動1	1-6. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング、検証すると共に、普及員が農家のニーズに根差した改善計画を策定し、実施するためのガイドライン/マニュアルを作成する	1-6. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング、検証すると共に、ニーズに根差した、改善計画の作り方を示すガイドライン/マニュアルを作成し、行政機関に配布する	文章を簡素にし、配布まで含めた。
	1-7. 作成されたガイドライン/マニュアルに基づき郡内の他のコミュニティでの農業普及活動を普及員等が実践することを支援するOJTを実施する	削除	他のコミュニティでのOJT活動までは、プロジェクト成果に関連しないため。
活動2	2-1. 水資源の利用等に関わる課題についてワークショップを実施し、その課題を抽出し農家・灌漑施設管理者の理解を深める	変更なし	—
	2-2. 課題を踏まえ、全ての農家にとって効率的・効果的な水利用に関する改善計画を農家・灌漑施設管理者と共に策定し、実施する	変更なし	—
	2-3. 農業施設管理者に対して水利用に関する研修を実施し、その実践状況を確認する	変更なし	—
	2-4. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング・検証するとともに灌漑施設管理者が農家のニーズに根差した改善計画を策定し、実施するためのガイドライン/マニュアルを作成する	2-4. パイロットコミュニティにおける上記の活動をモニタリング・検証するとともにニーズに根差した改善計画の作り方を示すガイドライン/マニュアルを作成し、行政機関に配布する	文章を簡素にし、配布まで含めた。

項目	PDM Version 1.0	PDM Version 2.0	変更理由
	2-5. 作成されたガイドライン／マニュアルに基づき郡内の他のコミューンで水質改善活動を灌漑施設管理者が実践することを支援するOJTを実施する	削除	他のコミューンでのOJT活動までは、プロジェクト成果に関連しないため。
活動2	2-6. 農村水供給施設や道路等の農村インフラに関する課題を明確化し、農民と共に解決する	2-5. 農村開発に付随する小規模インフラに関する課題を明確化し、農民と共に解決する	プロジェクト目標が農村開発であるため、それに資するインフラという表記に変更し、PDM上での位置づけを明確にした。
活動3	3-1. 普及員の知識・技術の向上および意識の改善に必要な研修を行う	変更なし	—
	3-2. 地方政府（省、郡、コミューン）職員および関連組織、大衆組織・農民組織や農業系企業に対して、プロジェクト活動のフィードバックセミナーや農村開発に関する研修を実施する	3-2. 地方政府（省、郡、コミューン）職員および関連組織に対して、プロジェクト活動のフィードバックセミナーや農村開発に関する研修を実施する	関連組織の表記を簡素にした。
	3-3. パイロット郡で構築した成果をパイロット郡以外のディエンビエン省内の郡へ普及するための道筋を示した活動計画等（アクションプラン）を策定する	変更なし	—
前提条件	調整委員会が設立される	変更なし	—

評価項目：実績の検証				
評価設問		必要なデータ	情報源	調査結果
大項目	小項目			
投入は計画どおりか。	日本人専門家は予定どおり派遣されているか	実績と計画との比較結果	プロジェクト資料* 日本人専門家	実績表参照
	予定どおりプロジェクトに必要な機材が供与されているか。	実績と計画との比較結果	日本人専門家	実績表参照
	機材の利用状況、管理体制に問題ないか	専門家コメント 観察結果	プロジェクト資料 日本人専門家	供与された機材類は日本人専門家とC/Pにより適切に利用管理されている。
	C/P研修は予定通り実施されたか。	実績と計画との比較結果	プロジェクト資料 日本人専門家	実績表参照
	日本側からの活動費	実績と計画との比較結果	プロジェクト資料 日本人専門家	実績表参照
	日本側からのローカルコスト負担はどの程度何に対して行われているか？	実績と計画との比較結果	実績取り纏め表	実績表参照 ・活動にかかるC/Pへの日当などの旅費は開始当初から2013年2月時点までペ国側予算不足により日本側予算でカバーしている。
	プロジェクト運営に必要な予算が「べ」国側から配分されているか？また効率的に執行されているか？	・実績と計画との比較結果	プロジェクト資料 プロジェクト関係者	実績表参照
	C/P、運営管理スタッフは「べ」国側から予定通り配置されているか	実績と計画との比較結果	プロジェクト資料 日本人専門家 プロジェクト関係者	実績表参照
	事務所、家具、通信手段および業務用機材等は予定通り配置されているか	観察結果	プロジェクト資料 日本人専門家 プロジェクト関係者	実績表参照
	「べ」国側からのローカルコスト負担はどの程度何に対して行われているか？	実績と計画との比較結果	プロジェクト資料 プロジェクト関係者	実績表参照
PDMの指標から見て、アウトプットは計画どおり産出されているか。	アウトプット1：パイロット郡において、水稻、とうもろこし、大豆等の農産物の生産、加工、販売の手法が改善される	実績と目標値との比較結果	プロジェクト資料 日本人専門家 DARD、普及員、対象農家	<p>1-1：パイロットコミュニティ（PC）において、肥料の使用量・使用量が改善する プロジェクトにより導入された有機肥料はパイロット農家に適用されており、化学肥料の使用量が減少した。</p> <p>1-2：PCにおいて、優良種子の使用量が増加する プロジェクトは高品質種子によるテスト栽培を試験農場で実施中。</p> <p>1-3：PCにおいて、水稻、とうもろこし、大豆の販売量がXX%増加する DB郡のインタビューした農家は、プロジェクトで導入した新しい栽培方法を適用したところ、米の生産量が増え、販売量が増えたと指摘。一方、MC郡とTG郡は現在も米、トウモロコシ、大豆は主に販売よりも自家用に栽培している。</p> <p>1-4：研修参加者のXX%以上が改善計画を実施する 改善計画に示された内容は実証農場で試行されつつある。</p> <p>1-5：パイロット郡の全（47）コミュニティのうち、XX%以上でガイドライン／マニュアルが使用される プロジェクトは4年次において、ガイドライン／マニュアルを作成予定。</p> <p>1-6：実施された改善計画の数 プロジェクトはプロジェクト終了時までに（対象3郡以外で？）改善計画が実施されることは困難であろうと捉えている。本指標は不明確であり、アウトプット1の達成状況を測る上で不適切である。</p> <p>1-7：特定された課題と解決された課題の数 本指標は不明確であり、アウトプット1の達成状況を測ることは困難。</p>

評価項目：実績の検証

<p>PDMの指標から見て、アウトプットは計画どおり産出されているか。</p>	<p>アウトプット2：パイロット郡で水資源の配分が効率化するとともに、灌漑施設管理が改善される</p>	<p>実績と目標値との比較結果</p>	<p>プロジェクト資料 日本人専門家 DARD, 普及員、対象農家</p>	<p>2-1：PCにおいて、水稻2期作・他作物との2毛作を行う面積がXX以上増加する 幾つかの対象郡の何人かの農家は2期作が可能となったと報告している。 2-2：パイロット郡DARDコミュニティのうち、YY%以上で灌漑施設の管理（操作、機能維持、補修等）が改善されたと評価される プロジェクトは灌漑施設管理のためのWUGの設立を開始し、農家はWUGは参加型による施設を管理のために有効である、と評価している。 2-3：研修参加者のXX%以上が施設改善計画を実施する プロジェクトは改善計画を3年次に作成予定。 2-4：パイロット郡の47コミュニティのうち、XX%以上でガイドライン／マニュアルが使用される プロジェクトはガイドライン／マニュアルを4年次から5年次にかけて作成予定。 2-5：実施された改善計画の数・内容 プロジェクトは、改善計画はプロジェクト終了時までにパイロット集落において、実施されると予想している</p>
	<p>アウトプット3：地方政府（省、郡、コミュニティ）職員および関係組織、大衆組織・農民組織や農業系企業の市場志向の農産物の生産、加工、販売体制強化を通じた農村開発に係る能力が向上する</p>	<p>実績と目標値との比較結果</p>	<p>プロジェクト資料 日本人専門家 DARD, 普及員、農民組織、企業、郡指導者</p>	<p>3-1：パイロット郡の農業農業普及員のうちXX%以上が研修に参加し、XX%以上の研修員が普及方法を習得したと回答する 郡に所属する約50%の普及員が研修に参加し、普及方法について理解したと考えられる。 3-2：地方政府（省、郡、コミュニティ）職員および関係組織、大衆組織・農民組織や農業系企業からのセミナー参加者の理解度がXX%以上である。 研修に参加した郡PMUおよび農業振興センター職員は研修内容を理解したと考えられる。 3-3：パイロット郡以外の郡指導者のXX%以上がアクションプランは実行可能であると評価する アクションプランは4年次から5年次にかけて作成される予定であることから、現時点では本指標は測定困難である。</p>

評価項目：実績の検証

PDMの指標から見て、プロジェクト目標【パイロット郡において、市場志向の農産物の生産、加工、販売の推進のための郡行政機関を中核とした体制の強化を通じて、農村開発が促進される】の達成見込みはあるか	指標1：パイロット郡における農家の農業粗利益が平均XX%増加する	・設定された目標値 ・実績と目標値との比較結果	プロジェクト資料 日本人専門家 DARD, 普及員、対象農家	・パイロットコミュニティの農家は、プロジェクト活動開始後、農業利益は上がり、有機肥料の生産により幾ばくかの経費節約になったと報告している。PDMに記載された活動をそのまま実施し、行政機関の職員の能力強化を図ることで、農家は更に経営を改善していくことが期待される。
	指標2：パイロット郡において、水稲、とうもろこし、大豆等、市場志向の農作物生産量がXX%以上、販売量がXX%以上、販売量がXX%以上増える	・設定された目標値 ・実績と目標値との比較結果	プロジェクト資料 日本人専門家 DARD, 普及員、対象農家	・DB郡は販売量、市場志向の農産物の生産増加の可能性はある。一方、TG郡とMC郡は米は不足しており、自家用に生産している。また、現金収入は米ではなく、ブタや水牛等、家畜の販売に拠っている。従って、DB郡とTG, MC郡のプロジェクト目標は異なるであろうと考えられる。 ・DB郡の米はDB郡内の市場では高く評価されており、ホーチミンにも出荷される等情報もある一方で、他の2郡同様、自家消費が主たる栽培目的と捉える関係者もあり、DB郡であっても販売量の増加はどこまで見込めるか若干不透明ともいえ、今後の普及活動の内容にも拠ると考えられる。

*プロジェクト資料：詳細計画策定調査報告書、MM、第1回JCC資料、総括表、業務完了報告書等

評価項目：実施プロセスの検証

評価設問		必要なデータ	情報源	調査結果
大項目	小項目			
活動は計画どおりに実施されているか。	POに従った形で活動が実施されているか？	・実績と計画との比較結果 ・PO	日本人専門家、プロジェクト関係者	実績表参照 ・2010年8月のチーフアドバイザー、水利担当長期専門家派遣以来、DPCからのプロジェクト承認を得るまでに時間を要し、最終的に2011年5月にプロジェクトは承認され、同年8月に対象郡を含む全C/Pが正式に任命された（1年の遅れ）。日本側の専門家派遣の遅れもベ国の対応の遅れに影響。 ・その一方、1年目は農業の現状把握、ベースライン調査、に注力し、2011年6月の体制が確定した後は農家のニーズに基づいた様々な研修やセミナーを実施。現在まで研修参加人数は2,844名となった。
技術移転の方法に問題はないか。	・技術移転の方法は適切か ・技術移転の対象者は適切か	研修内容、方法、移転技術レベルに関する： ・日本人専門家意見 ・DARD等T/G意見	プロジェクト資料 日本人専門家、DART、D/P-PMU、普及員、対象地域農家等	・モデル農家を対象に水稲、ダイズの実証栽培を実施しつつ技術移転を行っている。 ・栽培技術、病虫害、肥料、水管理等に関する研修、ワークショップ、他プロジェクトへの視察等を行っている ・プロジェクトは参加型灌漑管理手法を導入している。基本的には受け入れられているが、農民の中には時間が掛かり過ぎとの意見もあり十分な理解がなされるまで時間を要す模様。 ・普及員（特にコミュニケーションレベル）への更なる研修の必要性あり。
プロジェクトのマネジメント体制（モニタリングの仕組み、意思決定過程、JICAベトナム事務所の機能、プロジェクト内のコミュニケーションの仕組みなど）に問題はないか。	・実施中のモニタリングによる軌道修正へJICAベトナム事務所が迅速に対応、助言しているか、コミュニケーションを充分取れているか	・日本人専門家意見 ・JICAベトナム事務所担当者意見	プロジェクト資料 日本人専門家、JICAベトナム事務所 プロジェクト関係者	・直営の長期専門家であるチーフアドバイザーは、進捗報告書を半期に1回、および業務完了報告書を提出する。各分野の長期専門家は業務完了報告書のみ（灌漑専門家は未だ任期を完了していないので、報告書を提出していない）。 ・短期専門家任期終了時に提出し、1年近く任期のあるコンサルタントの場合は、途中で中間報告書、契約終了時に完了報告書提出する
	・プロジェクトの各活動のモニタリングをプロジェクトはどのように行い、その結果として何が改善されているか ・モニタリングの課題と今後の対応	・日本人専門家意見 ・DARD等関係者意見	プロジェクト資料 日本人専門家 プロジェクト関係者 ・モニタリング関連記録 ・事業完了報告書	・省と郡PMUそれぞれと定期ミーティングを実施、定着した。郡PMUの月例ミーティングでは郡からの当月活動と次月の活動計画についての報告とプロジェクト活動推進上の問題点を話し合っている。 ・省と対象3郡のPMUメンバー全員が集まるPMU全体会議を開催し、プロジェクト方針の決定や年次活動報告、専門家報告会などを行った。 ・トップダウンのベ国では会議・報告は実務者レベルが具体的に自由に意見交換できる機会ではないことから意識的に日本側がそうした機会を設置すべき、との指摘も。
実施機関やC/Pのプロジェクトに対する認識/参加度は高いか。	DARDはプロジェクトに対しどのように認識しているか。	・DARDのC/P意見	プロジェクト資料 DARD関係者	DB省のDARDにとってJICA技術協力プロジェクトの実施は初めてであり、開始当初はプロジェクトの意図や進め方など理解に時間を要した。現在は自らの役割とプロジェクトの進め方について良く認識している。
	T/Gの参加の度合いは高いか	・DPI、DOF、DTI、DONREの役割 ・対象3郡のDPC（DARD、農業ステーション） ・CPC、農業農業普及員（D/P-PMU） ・対象コミュニケーションの農民	プロジェクト報告書 日本人専門家 T/G	・TG郡PMUは当初栽培担当のプロジェクトに対する意識が低かったこと、作期に栽培分野の活動が増大したため、現場での活動管理が上手く行われていなかったが、現場活動経験の多い植物防疫ステーションスタッフ2名を栽培担当のPMUメンバーに任命した（2012/3/28）ことで栽培分野の活動実施体制が改善された ・モデル農家数：2010-11 乾季作（56）、2012 雨季作（26）、2012-13 乾季作（19） ・栽培について現状を把握するには最低1年間の経験が必要であり、今までの試験栽培は、当地における栽培の実態及び問題点の把握が中心であった。併せて農家要望に沿ったものを課題として実施した。残念ながら、現地の状況把握が不十分であったり、実施体制が不十分なものもあり、専門家の意図する結果とならないケースもあった。現在は、地区の状況に合わせて普及活動の一環として実施することとしており、知識・情報の伝達保存のための手段として活用することとしている。 ・対象となるモデル農家はC/Pの意見により毎作WSを行って実施希望の農家の中から選択しており、連続性は考慮されていない。 ・試験栽培と合わせて実施している病虫害や有機肥料などの研修については多数の農家が参加しており、能力向上に有効であったとの評価を得ている。 ・C/Pも本邦研修等に参加し、日常のプロジェクト活動を支援している。 ・農業振興センターの普及員や植防センター職員はプロジェクト活動に直接的に協力している。 ・幾人かのDPMUのメンバーからは灌漑施設の建設やより大きな試験圃場での栽培無しに農家の注目を得ることは難しい、とのコメントも。

評価項目：実施プロセスの検証

適切なC/Pが配置されているか。	C/P (DARD職員) は計画どおり配置されているか？	・配置状況	プロジェクト資料 日本人専門家 DARD	・DARDからのPMは2011年3月に交代し、DPMUの設置は2011年6月であった。また、ベトナム政府会計システムによりC/Pが実質的に配置されたのは2012年1月であった。
	C/Pの人数、位置づけ、肩書き、能力および配属先は妥当か？	関係者意見	プロジェクト資料 日本人専門家、 DARD	・現在まで、プロジェクトの趣旨に見合った職務内容の職員が次第にC/Pとして配置されつつある。
	計画時では直接的裨益者は「DARD、DPI、DTI、DONRE、DPC、農業ステーション、CPC、CPC普及員」としたが、現時点でも認識は変わらないか	・各T/Gのプロジェクトでの位置づけ	プロジェクト資料 日本人専門家 DARD他T/G	DARD、郡農業振興センター、コミュニケーションレベルの普及員は直接的な裨益者である。 ・一方、・D P I (プロジェクト実施の妥当性のチェック)、D O F (ベトナム側予算の割り当て)、D T I (販売を行う場合の流通部門のチェック)、D O N R E (プロジェクト実施が自然環境に及ぼす影響のチェック) との関連については年次報告書などの送付による情報の共有が中心的な活動である。
	直接的裨益者以外の組織の巻き込み状況はどの組織にどの程度あるか？	・T/G以外の組織でプロジェクトに大きく関わっている組織と活動内容 ・留意点	・植物防疫支局、農業振興センター ・合作社、農民(青年、女性、ベテラン) 同盟 ・農業系会社	・農家組織は種子の提供窓口として機能している。 ・農家は集団ではなく、個人で農作物を販売する傾向にある。売るタイミングや価格の付け方が様々であることによる。 ・植物防疫支局、農業振興センターは現場の主要研修機関で、対農家研修の経験と実績を有するも、配布資料や研修内容に改善の余地あり。プロジェクトの研修の手法、内容改善に協力を依頼できる有力機関だがC/Pではないので、プロジェクトダイレクター、JCCなどの機会を利用し促進していくことが必要。 ・参加型水管理の主要研修実施機関である国立水利研究所 (VAWR) により研修、講義を実施。更なる協力の在り方を要検討。
その他、プロジェクトの実施過程で生じている問題はあるか。その原因は何か。	①加工、販売部分の活動が特に進まない状況 (DB郡とそれ以外の2郡との比較)	・DARD、T/Gニーズ ・市場情報 ・農民組織の活動状況、仲介業者、市場情報 ・日本側投入状況	プロジェクト資料 日本人専門家 DARD、農家、普及員、市場	・加工販売の日本人専門家の派遣が困難である。 ・そもそも自給のための農業が大半な地域で2郡は自給もままならない。また、対象地のアクセスが悪い。 ・販売に関するニーズが高い地域と低い地域が混在。 ・販売に関する情報が農民に届いていない ・価格を仲買人に買いたたかわれている ・市場では、売値と買値に大きな差は確認できず。
	②円借款事業との連携が進まない		プロジェクト資料 日本人専門家	加工工場設立がキャンセルとなり、連携が困難に。

評価設問		必要なデータ	情報源	調査結果
大項目	小項目			
必要性	「パイロット郡の市場志向の農産物の生産、加工、販売の推進のための郡行政機関を中核とした体制の強化を通じた農村開発の促進」(プロ目標)は、「ベ」国社会の農業・農村開発の課題を解決する方策として現在も整合性があるか?	・パイロット郡(P郡)の農業現状 ・特に、加工・販売に関する現状	・ベトナム統計総局 ・Statistic Year book最新版 ・プロジェクト報告書 ・調査団 ・日本人専門家、 ・DARD等関係者 ・市場	・ベトナム北西地域に属するDB省は貧困率は39.3% (2008年) と、ベ国内で2番目であり、未だ開発ニーズが高い地域である。 ・DB省の人口49万人 (2009年) のうち、80%は農村地域に暮らし、主に農業に従事している。また、省の人口の80%は少数民族である。 ・DB省の土地は急峻な丘陵地で厳しく限られた土地で人々は作物 (主に米、トウモロコシ、大豆) を栽培している。 ・この地域の人々の生活を向上させるべく、米の生産量の増加が最も優先順位が高く、かかる課題に対処する地方行政職員の能力向上がDB省の農家の能力強化のため特に重要視されている。
	プロジェクトは現在もDARDのニーズに合致しているか?	・DARDのニーズ確認	プロジェクト報告書 調査団 DARD	・DARDは米、大豆、トウモロコシの生産量増加を通じて山岳地域の住民の生活向上を図りたい。 ・DB省の中でも郡ごとの格差があり、DB郡は米の生産量は全国でも引けをとらず、価格の割に高品質であると好評である。一方、それ以外の郡はコメの自給もままならない状況。更に、DB郡も農薬使用量が多すぎ、MC郡は使わないといった課題もある。
	プロジェクトは現在も関係機関のニーズに合致しているか?	DARD以外のT/G、のニーズの変化	・プロジェクト報告書 ・DPI, DOF, DTI, DONRE, DPC, CPC, 農業普及員	・農業振興センターは新しい技術や知識を農家に伝えたいが予算と人員不足の課題がある ・森林の減少が進み、水不足は深刻化している。かかる状況下で米生産量を上げることは困難となっている。農家は非常に熱心に新しい技術や知識を習得し、少ない投資で多くの米を栽培しようとしている。 ・販売促進が可能なのはDB郡に限られる中で、プロジェクトにとっては新規の市場開拓や行政官への指導は困難である。販売は普及内容の一部として扱い、販売したい農家のニーズに応える方向で検討中。 ・販売目的で野菜を生産している農家も数は少ないが存在する。 ・DB郡では穀物と家畜の質向上を農家は目指している。中でも米は最も重要な作物であり、よって、病虫害対策にも強い興味を示している。 ・ベトナムでは灌漑事業はどの地域にも平等に計画され、効果効率を考慮せずに契約した施工業者によって行われてきた。他方、プロジェクトの目的は単に灌漑施設を設置するのではなく、sん加賀田灌漑管理を計画段階から農家を巻き込みつつ推進していくことにある。C/Pや農家は従来のベトナム型の事業の進め方に慣れており、プロジェクトの意図を理解するのに時間を要している。彼らにとっては参加型灌漑管理手法 (PIM) は時間がかかり、早く灌漑施設を建設してほしいとの要望が強い。 ・逆に、PIMの意義を理解し進めたいと考えるC/Pもいる。また、プロジェクトではPIMのみならず、有機肥料生産による化学肥料使用の減量、米の植栽密度、水位管理等様々な進んだ技術の導入を図っている。 ・郡PMUと農家は展示効果を上げるために展示圃場の規模を拡大してほしいとの要望があるが、試験的な栽培であり、現在も管理が不十分である中、プロジェクトには拡大の意向は現時点ではない。
	プロジェクトは現在も対象コミュニティの農家のニーズに合致しているか?	農協、大衆組織、農家のニーズの変化	・プロジェクト報告書 ・農協、大衆組織、対象農家	【計画時】 ・3郡によってニーズの違いあり 【開始後】 ・農家は農作物栽培に関する技術や病虫害防除対策、家畜飼育など多様な情報を求め、農業生産量向上と所得向上を強く望んでいる。 ・農家からは稲作の栽培管理について写真や図を用いた判りやすい指導を継続的に受け、詳細に知りたいとの要望が多く、普及指導活動の不足、情報量の不足が指摘されている。 ・質は価格に反映されにくいことから、生産量向上による所得向上を目指している ・WS (2011年4月頃実施) での参加農家の割合は10-20%と低かったのは、コンサルタントが実施したWSであり、プロジェクト実施も確定していなかったことから住民の関心が低かったことが原因と考えている。 ・2012年9月に実施した世帯調査から、技術的問題やニーズに加え、農家が技術や知識を獲得する情報伝達が殆ど存在しないことが明らかとなり、普及手法の改善がプロジェクトの活動テーマと再認識された。 ・プロジェクトでは、農家聞き取り調査やPMUとの打ち合わせなどで対象作物を決めている。また、研修についても日本側の指導により農家レベルを考慮した研修を行う予定。

<p>必要性</p>	<p>プロジェクトは、「ベ」国の開発政策における農業・農村開発の方針に合致しているか？</p>	<p>・社会経済開発戦略 (SEDS2001～2010)、社会経済開発10か年戦略 (2011～2020)、社会経済開発5か年計画 (2006～2011)、社会経済開発5か年計画 (2011年～2015年) など関連政策の変移 ・政府関係者の各種政策に関する認識</p>	<p>・戦略文書 ・計画投資省</p>	<p>【社会経済開発戦略 (SEDS) (2001～2010)】 ・貧困世帯数を減らす 【社会経済開発10か年戦略 (SEDS) 2011～2020】 ・2020年までに工業国への仲間入りを果たすための基盤作りを第一の目標に掲げている。 【社会経済開発5か年計画SEDP (2006～2011)】 ・SEDPはSEDSに沿った具体的な計画を定めるもの。 ・貧困率10%を目指す。 【社会経済開発5か年計画 (SEDP) (2011～2015)】 ・引き続き低所得国からの脱却 (2010年) を経た工業国化 (2020年) を目指す。 ・農村経済及び農業生産への投資を増加させ、新しい農村モデルの構築を強力に推進。 ・381万2千ヘクタールの稲作面積を確保し、同時にコメ生産地方・農家を保護する特別規定・政策を実施して国家食糧の安定確保を目指す。 ・僻地、山岳地、離島、特別貧困地域、少数民族地域での生活向上を図る。少数民族、山岳地、国境地域、離島の住民を安定させる計画を立案する。 ・政府と各地方政権のシステムを強化し、早い段階で都市権限モデルを実験的に行う。中央と地方の分権 (地方分権) に関する規定を再検討して改定する。</p>
		<p>・農業農村開発セクター5か年計画 (2006～2010) と新計画の違い ・政府関係者の認識</p>	<p>・計画文書 ・MARD ・DARD</p>	<p>・農業農村開発セクター5か年計画 (2006～2010) では、農業農村開発を通じた農民の生計向上による農村地域の貧困世帯の削減を重要課題として位置付けている。</p>
		<p>灌漑施設の利用、管理に関するガイドラインの内容</p>	<p>DB省DARD決議文書 (2010年9月)</p>	<p>DB省における灌漑施設の利用・管理・補修のための水利組合の設立、体制強化、発展に対するガイドライン (2010年9月) において、水利組合の設置及び活動について規定が設置された。</p>
		<p>農村作りに関する国家プログラム (NTP) (2010年から2020年) の内容</p>	<p>・プログラム文書 ・MARD ・DARD</p>	<p>National Target Program (NTP=National Program on Sustainable Poverty Reduction) は政府決議26-NQ/TW(2008) を具現化すべく、農業、農家、農村に纏わる開発と近代化、食の安全、農村の人材育成、所得向上、農村インフラ整備のために設置された。 ・NTPの対象地域にプロジェクトの対象コミュニティが含まれており既にアクセス道路の改善、種子の配布などが同プログラムにおいて実施されている。</p>
	<p>プロジェクトは日本の援助政策・JICAの援助実施方針との整合性はあるか？</p>	<p>・わが国の支援基本方針と重点分野 ・事業展開計画におけるプロジェクトの位置づけ</p>	<p>国別援助計画 (2009年7月) 事業展開計画 (2011年11月)</p>	<p>【対ベ国国別援助計画】 ・開発が順調に進んでいる一方で、国民の所得水準は依然低く、地方の少数民族を中心に貧困層は依然として存在し、国内の所得格差、都市・農村間格差、環境汚染も拡大しつつある、との認識の下、経済成長促進・国際競争力強化、社会・生活面の向上と格差是正、環境保全、(これら3分野の基盤となる) ガバナンスの強化を支援。 ・地方部-都市部間、民族間の格差の是正等の観点から、持続的な社会経済開発、公正な社会作りのために、北部山岳地域等を含む貧困地域を重視。 ・地方部貧困層に配慮した政策・制度面の改善、検疫体制の強化など農水産物・食品の安全性確保、技術の向上、植物品種保護制度の強化及び農民組織化を支援するとともに、農林水産物加工業等の農村部の地場産業育成等、農村部の生計手段の多様化も支援する。支援にあたっては、基礎社会サービスのアクセス・質の改善や地方インフラ整備 (給水、灌漑等) も有機的に連携させるとともに、中央・地方政府、地域コミュニティを巻き込んだ適切な普及システム構築にも配慮し、より大きなインパクトを目指す。 【事業展開計画】 ・「開発の三角地帯」への協力の観点から設置されている、北西部山岳地域の地方開発・生計向上に取り組む「北西部山岳地域開発プログラム」の一環。</p>

手段としての適切性	プロジェクトは農業・農村開発分野の開発課題に対する戦略として適切か？	・対象地域の選択の妥当性の変化	プロジェクト報告書 調査団 日本人専門家 第1回JCC記録	<p>【パイロットコミュニティ（村）の選定基準と現時点での妥当性の変化】</p> <p>以下の選定基準に基づいて、第1回BL調査後、関係者と協議の上、9コミュニティから6コミュニティに絞り込まれた。</p> <p>①各郡のDPCからのアクセスが良い（雨期でも車両が通行可能） ②灌漑システムが存在する ③IICA専門家の支援により解決可能な課題である ④コミュニティ委員会（CPC）と農民がプロジェクト参加に意欲的である ⑤CPCと農民はプロジェクトを実施できる ⑥コミュニティの中で農家同士のネットワークが存在する</p> <p>【（選択された各コミュニティ内の）対象区選択基準と現時点での妥当性の変化】</p> <p>①対象地域はCPCから雨期でもアクセス可能（距離、道路状況） ②各地域は原則的に1つの地域に集中している ③対象地域は斜面の農地も含められるが、10%以下の傾斜である ④1つの農地が10ha、もしくは傾斜地は10ha以下でも平地での水路があること ⑤少なくとも1か所の水田で水稲/二毛作の導入ができる、もしくは水管理の改善を通じ生産高を上げることが可能であること ⑥プロジェクトに農民組織が積極的に参加すること ★現在まで対象地が不適切と判断される根拠はない。</p>
		対象コミュニティ（村）、区選定までの手順	日本人専門家 DARD	①各郡PMUメンバーに対しプロジェクト活動の進め方、対象村と区の選定を行う趣旨説明、②DARD、日本人専門家、郡PMUメンバーと共に村訪問し趣旨と条件を説明、村が推薦する対象区候補地視察、③対象区では圃場の位置、栽培状況、灌漑施設、水源、取水施設確認。④CPCと協議⑤決定（独自性、自主性を持たせるため、試験圃場最終決定は各郡PMUに委ねた）→右プロセスを経て、盆地のDB郡、山岳地のTG、MC郡が選定された(2011.4)
		・設定されたアプローチと現状の比較	プロジェクト報告書 調査団 日本人専門家	<p>【アプローチの計画時と現時点での妥当性の変化】</p> <p>・（計画時）米、大豆、トウモロコシの穀物生産支援に加え、「ベ」国側からは畜産支援への要望も出ていた。当初2年は米、大豆、トウモロコシ支援を行うが、畜産分野も現状と課題を把握し、主要な活動も含めることも検討することとなった</p> <p>【現在】</p> <p>・現在はプロジェクトでは家畜分野への支援は時間的、人的制約から困難と認識している。 ・プロジェクトはモデル農家の中でも更に積極的な農家とコミュニティレベルの普及員を対象に、先行的に有機肥料の生産に関する研修を行っている。こうした活動を通じ、選定された農家とコミュニティの普及員が他のパイロットコミュニティに知識や経験を拡大していくことが期待されている。 ・現在目的としている技術移転は、農業に関する知識情報を体系的に普及する手法を対象としている。このため、当地において農民への知識情報の普及を行っている植物防疫支局や農業振興センターに研修と中心とした普及活動について協議を行いながら普及手法の技術移転を行っている。</p>
	他機関との援助協調による相乗効果はあったか	他ドナープログラムの最新状況と具体的な連携事例	プロジェクト計画書 ドナー（ADB, EU等） 資料 日本人専門家 プロジェクト関係者	National Target Program (NTP) は複数のドナーの資金支援を受け実施されており、プロジェクトの対象コミュニティも含まれている。
C/P機関（DARD）の選択は適切か？	・DARDに決定した経緯と現状での適切性	プロジェクト資料 日本人専門家 調査団	<p>・DARDは農業開発を通じて農村に暮らす人々の生活を向上させることを役割としている。よって、DARDは現在でもプロジェクトのC/Pとして適切である。</p> <p>・一方、プロジェクト開始時にDARDにはプロジェクトの詳細は伝わっていなかった。</p>	
T/G (DARD, DPI, DOF, DTI, DONRE) の選定は適切か？（対象、規模、男女比等）	・各機関の対象者のTOR ・プロジェクトにおける役割	・プロジェクト資料 ・調査団 ・日本人専門家 ・各機関のT/G	プロジェクトの主たるT/Gは、DARD、DPC、CPC、農業振興センター、植防センターである。	

手段としての適切性	日本の技術の優位性はあるか？ (対象技術のノウハウが蓄積されているか、日本の経験を活用できるか？)	関連案件を通じた経験、ノウハウの活用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト資料 ・JICAWebサイト ・日本人専門家 	<ul style="list-style-type: none"> ・JICAはこれまでベトナムで数多くの農業案件を実施し、日本の技術を行政官や農家に移転させる経験を積んでいる。 ・関連JICA案件は1] 農業生産性向上のための参加型水管理推進計画プロジェクト(2005-2010)、2) 持続可能な農村開発のためのタイバック大学機能強化プロジェクト(2011-2014)、3) 北西部水源地域における持続可能な森林管理プロジェクト(2010-2015)、4) メコンデルタ地域における効果的農業手法・普及システム改善プロジェクト(2009-2014)等がある。 ・DB省では灌漑用水の多くを溪流河川を水源としているが、水源施設は未整備かつ脆弱で修復や土砂堆積の課題がある。地形的に類似した条件にある日本の溪流取水工技術は現地のニーズに適している。
その他	日本の対「ベ」国政策に大きな変化が生じていないか？	対「ベ」国政策の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト資料 ・外務省HP ・JICA本部、JICAベトナム事務所 	日本の対ベ国への援助方針に大きな変化はない。
	「ベ」国の農業・農村開発分野政策に大きな変化は生じていないか？	<ul style="list-style-type: none"> ・コメ市場での最低買付制度と放出価格制度の設置(2010年11月)による影響 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト資料 ・調査団 ・日本人専門家 	<ul style="list-style-type: none"> ベトナムの農業分野の政策は食の安全保障のための米の増産であり、近年変更はない。 ・ゴム栽培がTG郡を含む北西部山間地域に始まっているが、プロジェクトへの直接的影響は確認されなかった。
	「ベ」国の経済・社会状況に伴う大きな変化が生じていないか？	<ul style="list-style-type: none"> ・若年労働力の他地域への出稼ぎ状況 ・コメ増産による輸出増→外貨獲得、所得向上は起きているか等 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト資料 ・日本人専門家、調査団 	<ul style="list-style-type: none"> ・DB郡の経済成長は著しい。 ・対象郡の中には、地すべりや土壌の質の低下により水田地の減少を指摘する農家もあった。

評価項目：有効性（予測）

評価設問		必要なデータ	情報源	調査結果
大項目	小項目			
プロジェクト目標の達成予測	「パイロット郡の市場志向の農産物の生産、加工、販売の推進のための郡行政機関を中核とした体制の強化を通じた農村開発促進」（プロ目）の見込みはあるか？	<ul style="list-style-type: none"> ・目標内容と値の妥当性 ・P郡の農業粗利益率 ・イネ、ダイズ、トウモロコシの生産量、販売量 	プロジェクト資料 調査団 日本人専門家 市場	<ul style="list-style-type: none"> ・「実績の検証」参照 ・詳細計画報告書では、「DB省では標高差を利用した端境期の生産が可能、ベトナム中南部の主要産地との出荷調整による販路開拓もマーケティング戦略上優位性が高い」と報告されているが、現在活動対象となっている地域は二期作を実施しており、気象条件から端境期（新しい収穫時期の直前）という概念がない。報告書の根拠は不明。 ・「DB郡のコメの多くは販売用としてディエンビエンフー市等へ輸送され、一部はラオスへ輸出されている。また、DB郡産のコメはブランド米として人気があり価格も高い。」とある。もち米を中心として人気があるのは事実のようであるが、混米問題などから、ブランド力に陰りが出ているという調査結果もあること、ハノイまでの運搬手段が改善されていないこと、生産者には高く売れるという意識がないこと、また、DB郡でも米は自家消費という意識が強いことなどから改善方向は見いだせない。 ・市場では、DB郡の米はホーチミンなどにも販売されており、他地域の同種の米よりも人気がある、との声も聞こえた。
因果関係	アウトプットはそれぞれの程度達成されているか（される見込みがあるか）	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトプットの内容、 ・各指標の目標数値の設定とそれに対する実績 	プロジェクト資料（活動モニタリング結果） 調査団 日本人専門家	「実績の検証」、「効率性」参照
	各アウトプットがどのようにプロ目達成に貢献/阻害しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・プロ目とアウトプットのロジック確認 ・貢献、阻害要因 	プロジェクト資料 調査団 日本人専門家	「実績の検証」参照
	アウトプット以外のプロ目達成への貢献/阻害要因は？	<ul style="list-style-type: none"> ・ベ国プログラムや他ドナープロジェクトの影響 	プロジェクト資料 プロジェクト関係者、パイロット農家	<ul style="list-style-type: none"> ・National Program on Sustainable Poverty Reduction 2012-2015 (=National target Program) の下、全国の貧困指定を受けたコミュニティを対象に農村インフラ整備が進められている。プロジェクト対象郡の中に同事業の対象コミュニティが含まれており、アクセス道路の改善がなされ、プロジェクトで増産した米を街道沿いで売ることが可能となったと証言する農家もあった。
	アウトプット→プロ目への外部条件が満たされる見込みは高いか	<ul style="list-style-type: none"> ・パイロット郡とコミュニティの農業を重視した政策に関する変更の有無 	プロジェクト資料 プロジェクト関係者、DARD	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点においてもDB省は郡とコミュニティの農業の発展を最重要課題として位置付けている。
過去の教訓の活用	類似案件、関連調査結果からの教訓をどのように活用しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産性向上のための参加型管理推進計画プロジェクト等類似案件の教訓 	プロジェクト資料 日本人専門家	<ul style="list-style-type: none"> ・メコンデルタ地域における効果的農業手法・普及システム改善プロジェクト（2009-2014）からは普及方法、販売、農民の組織化等に関する情報交換を行ってきた。 ・ファンリーファンティエット農業開発プロジェクト（2011-2014）では参加型灌漑管理手法に関する技術移転で活用がなされた。 ・農村地域における社会経済開発のための地場産業振興にかかる能力向上プロジェクト（2008-2011）では、本来の行政官育成というプロジェクト目標がモデル事業の成功になってしまったという経験もあるので、本来の目的を明確に確認すべき。

評価項目：効率性

評価設問		必要なデータ	情報源	調査結果
大項目	小項目			
アウト 達成ブ ツツの	3つのアウトプットはそれぞれ達成しつつあるか。	・アウトプットの内容、プロ目とのロジック確認と、各指標の目標数値の設定結果	プロジェクト資料 日本人専門家 プロジェクト関係者	「実績の検証」に記載。 ・有機肥料の生産により化学肥料の使用が減少した（アウトプット1） ・幾つかのモデル農家で2期作が可能となったが、（アウトプット2） ・郡やコミュニティレベルの普及員も積極的に研修に参加している（アウトプット3） ・改善計画、ガイドライン/マニュアルの策定はプロジェクト後半（アウトプット1, 2, 3共通）。 ・上記達成状況は確認されたものの、DB郡を除くパイロット2郡での米販売の可能性は低く（アウトプット1）、詳細計画調査結果には疑問が残る。
因果関係	3つのアウトプットを産出するために十分な活動が行われているか。	・プロジェクト資料参照 ・関係者意見	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	「実施プロセス」参照
	日本人専門家の派遣人数、専門分野、派遣タイミングはアウトプット達成のため適切になされ、活用されているか	・日本人専門家の専門分野の活用に関する関係者意見	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者 JICAベトナム事務所	・これまで長期専門家としてチーフアドバイザー延べ2名、業務調整/研修延べ2名、1名の灌漑専門家が派遣されている。 ・農業分野は長期的視点に立った方向性や目標を明確にできないまま栽培短期専門家を中心に目前の活動が開始した。 ・プロジェクトにとって農業分野の専門家は極めて重要であるにもかかわらず短期専門家等の派遣での対応となり、チーフアドバイザーを含め日本側で目標、活動の具体化が困難という状況が続いた。 ・プロジェクトは普及専門家の業務に販売も含まれることを期待している。
	研修員受入人数、対象者、分野、研修内容、研修期間、受入時期は適切であったか	・研修の実施状況 ・研修の学びと活用状況	プロジェクト資料 日本人専門家、研修受講者	・これまでプロジェクトからは合計20名のC/Pを参加型灌漑管理や農村開発分野の本邦研修に派遣している。参加者のこれらの分野に関する理解は深まった。 ・本邦研修参加者は日本人の仕事に対する姿勢を学び、帰国後は日本人専門家とのコミュニケーションは向上した。 ・研修結果は各職場で共有されている。 ・C/Pに英語を話す人材は皆無のため、集団研修はベトナム語対応コースのみが参加可能であり非常に限られる ・参加者の人選に関する考え方が相違（日本側はプロジェクト活動に役立つ人材、ベ国側は出来るだけ多くの者に研修機会を提供したい）していることから研修の意図や目的を事前に十分説明してきた。C/Pが選出した人材が望ましい人材でなかった場合、参加後の連携について事前に理解を促した/人選の再考を願った。 ・農業分野のC/P研修については日本で学ぶに適した明確なテーマが絞り切れていない、相談・受け入れ機関がないといった課題あり。
	C/P、運営管理スタッフは適切に配置されているか。他業務との兼任状況、資質、配置のタイミングはプロジェクト実施にあまり適切か	・農業普及員のTOR ・農業普及員の担当地域と農村人口 ・DARD、農業ステーション、CPC、農業普及員の関係	プロジェクト資料 プロジェクト関係者	・専門知識を有する人材がPMとして配置されたのは2011年2月で、プロジェクト開始後4か月が経過していた。 ・DARDのC/Pが配置されたのは2011年3月、郡レベルのC/Pは3月下旬で合計9か月間の遅れた。 ・C/PはJICA技プロへの参画が初めてであり進め方や慣合せに時間と労力を要した
	活動→アウトプットへの外部条件は満たされているか？	・関係者意見 ・郡、コミュニティの農業政策	プロジェクト資料 プロジェクト関係者	現PDMでは活動からアウトプットへ向かうための外部条件は設置されていない。
貢献 ・阻 害 して 達 成 る に 要 因	投入、活動において、アウトプット達成に特に貢献要因となっている点は？	関係者意見	プロジェクト資料 プロジェクト関係者 日本人専門家	・プロジェクトでは詳細な現状調査に基づき、農家のニーズに合った栽培技術を移転しようとしていることから、農家にとっては受け入れられやすく、かつ自らの土地で直ぐに適用することが可能となっている。 ・研修内容がこれまでの会場に集めた理論中心なものから実証圃場で具体的にやられるものと、理論を組み合わせることで農家の理解が深まっている。
	プロジェクトの投入以外のアウトプット達成の貢献要因は？	農民組織の貢献状況	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	・ベ国のNational Programによりアクセス道路が改善され、一部の対象郡のマーケット力を上げた。 ・ベ国政府も灌漑の利用管理に関する水利組合設立を推奨しており、プロジェクトの活動促進要因となっている。 ・日本人専門家による打合せを頻繁に行い意見交換を行うとともに、DARDの担当者との打ち合わせを毎週定期的に行い、更に必要に応じて随時打合せを行うなど情報の伝達共有を図っている。

評価項目：効率性				
成アウトプット達成を阻害している要因	アウトプット達成を阻害している要因はあるか。	関係者意見	プロジェクト資料 調査団 日本人専門家、プロジェクト関係者	<ul style="list-style-type: none"> 日本人専門家派遣の遅れ ベトナム側の非専門家のPMの設置
コスト	アウトプットは投入しているコストに見合っているか	<ul style="list-style-type: none"> これまでのプロジェクト費用 類似案件費用 関係者意見 	プロジェクト資料 日本人専門家	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト公用車の一部は別プロジェクト（北西部水源地域における持続可能な森林管理プロジェクト）との共同運用が合意されており、効率的な投入がなされている
	先行実施した/実施中の各種プロジェクトで育成した人材、成果、資機材は活用されているか	<ul style="list-style-type: none"> ①貧困地域小規模インフラ事業（SPL6）（円借） ②農業生産性向上のための参加型水管理推進計画プロジェクトフェーズ2 等 	プロジェクト資料 日本人専門家	<ul style="list-style-type: none"> ①「北部山間地域に適応した作物品種開発プロジェクト」はハノイ農業大学で北部山岳部に適したイネの品種開発中。日本人専門家は同プロジェクト事務所を訪問し、情報交換と今後の連携協力が確認された ②「参加型水管理推進計画プロジェクト」モデルサイトを視察、事業の進め方、農民グループ活動等の情報交換。 ③「中部高原地域における貧困削減のための参加型農業農村開発能力向上計画プロジェクト」主催の「参加型農村開発におけるファシリテーション技術セミナー」（にプロジェクトから3名（各D-PMU1名） ④SPL6：2011年9月13日にSPL6と技プロの現状と今後のあり方について、JICAベトナム事務所、当プロジェクト、DPI、DPL6-PPMU、DARD、TG郡人民委員会、SPL6-DPMUの間で協議した結果、現段階においてSPL6のサイトを当プロジェクトに組み込むことは困難との結論に至っており、現在のところSPL6のサイトに対する直接的な支援は行っていない。なお、SPL6の担当であるTG郡人民委員会のDuc副委員長は、当プロジェクトのTG郡PMUのディレクターでもある。 ⑤持続可能な農村開発のためのタイバック大学機能強化プロジェクト（円借款付帯プロ、実施中）：2012年6月28～29日にJICAベトナム事務所主催による「JICA農業分野事業関係者意見交換会」において、タイバック大学機能強化プロジェクトを含む農業関係プロジェクトについての情報共有が行われているが、現在のところ当プロジェクトとタイバック大学機能強化プロジェクトの間で具体的な連携は行っていない。 ⑥北西部水資源地域における持続可能な森林管理プロジェクト（技プロ、実施中）：自動車、事務機械の共同管理利用を実施している。また、情報共有を行っている。 ⑦農業生産性向上のための参加型管理推進計画プロジェクト（技プロ、終了）：ハノイの国立水利研究所で開催された「参加型水管理及び維持管理」研修に省及び郡PMUの水利担当者を参加させた。国立水利研究所の参加型水管理手法の本プロジェクトへの導入に関し、水管理委員会WSにて先進事例を含めPIMを紹介し、研修を行った（活動2-1、活動2-3）。 ⑧農村地域における社会経済開発のための地場産業振興にかかる能力向上プロジェクト（技プロ、終了）：現段階では連携を図るものは見当たらない。 ⑨JICA草の根技術協力事業、「ベトナム農民参加型木炭多用途利用技術普及計画（略称「バックマー・チャコールプロジェクト(Bach Ma Charcoal Project / Dự án Than Bạch Mã)」）」：バックマー・チャコールプロジェクトで導入している靱殻燻炭を利用した有機質肥料製造技術を学ぶため、フエ・バックマーにパイロットサイトの普及推進員及び農家代表を連れて行き、研修を行なった。また、参加した農家が学んだ技術をパイロットサイトで実践するため、バックマー・チャコールプロジェクトのスタッフを招聘してパイロットサイトでの現地研修を実施した。
	<ul style="list-style-type: none"> 他ドナープロジェクトとの重複はないか？ 連携の内容及コスト面での協力効果は？ ベ国関連機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 他ドナー援助方針とプログラムの最新状況 研修のT/Gと内容面での棲み分け 	プロジェクト資料 日本人専門家 ADB、EU等	<ul style="list-style-type: none"> National Target Program (FAO支援) では、販売に関する研修も含まれている。 農業振興センター、普及ステーション、植物防疫ステーション等、「ベ」国農業関連機関は本来的プロジェクト対象者であるが、現在は研修の実施など橋を行っているところである。今後さらに密接な連携を取っていく予定。 DANIDAプロジェクト「Agriculture and Rural Development Sector Programme Support 2007-2012」の対象地にDB省が含まれ灌漑部門などでも実施されていたが、その成果は連携活用する状況にない。

評価項目：インパクト（予測）

評価項目		必要なデータ	情報源	調査結果
大項目	小項目			
上位目標の達成予測	プロジェクト終了後3年程度の時点で、「ダイエンビエン省の農村開発は促進される（上位目標）」見込みか？	・関係者意見 ・ダイエンビエン省の農業、工業統計	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	【詳細計画時】 ・北部山岳地の稲、トウモロコシ、大豆の単収はそれぞれ、4.3、1.0、3.31ton/ha程度（全国平均より低い） 【現在】 ・プロジェクト終了後3年程度（2018年度）に、プロジェクトが作成する行動計画（アクションプラン）がパイロット3郡以外のDB省で活用される現時点での見通しは、郡の行政機関の改善を目標として実施しており、当然、省の指導などにより活用されると期待。 ・DB省において市場志向の農作物生産量や、販売量が増える見通しは、郡の行政機関がこれからどう判断して農家を指導するかにかかっているが、自家消費が主な地区では、市場志向型農産物などについては見通しが立たない。
	プロジェクト目標→上位目標の外部条件は現在でも正しいか？外部条件が満たされる可能性は高いか？	・ロジックの適切性確認 ・3つの外部条件の現状・満たされる見込み	プロジェクト資料 日本人専門家	【現PDM】 ①北西部山岳地域の経済・社会状況 ②農産品の価格が大幅に下落しない ③病害虫や洪水、干ばつ等の著しい異常気象 ・上記に、④訓練した職員が離職しない、⑤DB省職員の数が大幅に減少しない、⑥DB省の農業関連予算が大幅に減額されない、を加えることとした。
上位目標の継続予測	上位目標が継続するための外部条件は満たされる可能性は高いか？	・ロジックの適切性確認 ・3つの外部条件の現状・満たされる見込み	プロジェクト資料 日本人専門家	【現PDM】 ①北西部山岳地域の経済・社会状況が大きく変化しない、 ②農産品の価格が大幅に下落しない、 ③（作物の生産に及ぼす）病害虫や洪水、干ばつ等の著しい異常気象が起こらない ・スーパーゴールが設定されていないことから上記外部条件は外すこととした。
波及効果	上位目標以外の効果・影響は想定されるか？ ・政策策定、法律・制度、基準等への影響 ・ジェンダー、人権、貧富等社会・文化的側面への影響 ・環境、技術、社会、プロジェクト関係者、受益者等への経済的影響	・政策、法律、制度、基準への影響 ・環境への影響の有無 ・女性、貧困層の変化 ・伝統的組織への影響	プロジェクト資料 日本人専門家 プロジェクト関係者	・プロジェクトサイトのモン族にとって、ベトナムの定住政策に加え、プロジェクトも水稻栽培への認識を深めている。 ・ジェンダーの問題は確認されず。女性は元々農業の主たる担い手であり、プロジェクトに参加し更に農業への理解を深めている。 ・有機肥料の導入により、経済面のみならず、環境面でも向上したと農家から評価を得ている。木酢液を豚に飲ませたら健康になる、との副次効果も一部のモデル農家から報告された。 ・すでに見られる正/負のインパクト（政策面、組織面、環境面、社会面等）は、現在までの活動は現状認識がメインであり、どちらのインパクトもないと考えられる。パイロットサイトの活動については評価されている。
	マイナスの影響がある場合、それを軽減するための対策は取られているか？	・プロジェクトにより地域の経済格差を生み出していないか ・具体的解決事例	日本人専門家、プロジェクト関係者	特にマイナスのインパクトは確認されていない。

評価項目：持続性（見込み）

評価設問		必要なデータ	情報源	調査結果
大項目	小項目			
政策・制度面	現在の政策支援は協力後も継続するか？	・社会経済開発5カ年計画（SEPD2011～2015）と農業農村開発セクター5カ年計画最新版の動向	プロジェクト資料 日本人専門家 MARD, DARD	・SEPDに変更は確認されず。 ・DARDは2011年よりコミュニケーションレベルの普及員の強化を進めており、そうした方針は維持される見込み。
	関連規制、法制度は整備されているか。整備される予定か。	・関連規制、法制度 ・MARD, DARD意見	プロジェクト資料 MARD, DARD	・プロジェクトが策定するガイドライン／マニュアルと郡の開発計画との関連は現在調査中
	郡以下の階層へのプロジェクトで移転している技術の普及はどのようになされるべきか	DARD、DPC、農業ステーション、CPC、農業普及員の意見	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	・プロジェクトはガイドライン／マニュアルを作成し、非対象郡でも使用されることが期待されている。 ・プロジェクトは普及用のカラーコピーを使用した教材を作成し、これまでの教材との違いを明確化しようとしている。 ・DARDは普及の重要性を認識しているが、推進する予算が不足している。
組織・財政面	協力終了後も、効果を上げていくための活動を実施するに足る人材配置、意思決定プロセス、他組織との連絡調整など実施機関としての組織能力はあるか？（人材配置、意思決定プロセス等）	DARD意見 DPC、CPC意見	プロジェクト資料 日本人専門家 DARD	・郡レベルでは植防が元々現場での研修経験を豊富に有しており、今後もプロジェクトが紹介している新しい知識を普及していく可能性はある。 ・コミュニケーションレベルの普及員は今後も強化対象として配置されていく見込み。 ・移転技術の中心は普及活動度考えているが、MARDを中心として普及技術は高いといわれている。 ・DARD等の主要組織では普及体制の重要性は認識されているが、一部予算不足もあり、予算を確保した上での体制整備が必要である。
	T/G（DARD、DPI、DOF、DTI、DONRE）の将来に向けてのオーナーシップは十分に確保されているか	・T/Gのプロジェクト活動への参加度合 ・DARD、DPI、DOF、DTI、DONRE意見	プロジェクト資料 日本人専門家 T/G	・プロジェクトでは、現地における水管理改善、灌漑施設改善、農民水管理組織の設立等の検討を行うため、各パイロットサイトにCPC水利担当者や集落の区長、農民代表らから構成される水管理委員会を設置し、協議を行なっている。その中でプロジェクトで行う施設改善工事について設計段階から参加して行きたいとの意見が出るなど積極的な面が見られつつある
	将来プロジェクトの成果を持続させていくための予算確保のための対策は十分か。	・DARD、DPC、CPCの予算の流れと長期的見通し	プロジェクト資料 プロジェクト関係者 DARD、DPMU	DARDの予算は堅調に伸びており（特にDB郡）、人材、施設は概ね維持されていく模様。 ・MARDの3郡を含む北西部における農業・農村開発分野への予算配分の傾向と今後の見込みとしては、開発が重要であるとの認識はあるが財源問題などから不明 ・カラーコピーなど高価な教材を作成する際は、今後の持続性を考慮に入れていく必要がある。
技術面	プロジェクトで移転を図っているノウハウをプロジェクト終了後も伝えていく見込みはあるか	・DPC普及員と農民組織との将来的な連携強化の可能性 ・ガイドライン／マニュアル、アクションプランの作成状況と活用の可能性	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	・日本人専門家と共に普及員は実証圃場の栽培記録を取っている。プロジェクト終了後、彼らは自分たちで他の地域でもこうした普及活動を継続していくであろうと考えられる。 ・プロジェクトの目的は農家に対する技術普及ではなく、技術普及を目的としている行政機関を対象として活動を行っていくことから、普及が進むものと考えている。 ・MARDを中心として普及技術は高いといわれている。が今後の課題としては予算と人員を確保した上での普及体制の強化である。 ・農家はプロジェクトから学んだ技術を今後とも継続的に使っていくことに意欲を見せている
	これまでプロジェクトで投入した資機材はプロジェクト終了後も適切に管理される見込みか。	関係者意見	プロジェクト関係者	プロジェクトで供与した車両は終了後DARDに引き継がれる。他の農業関連資機材の引き継ぎも現時点で問題視されていない。

評価項目：持続性（見込み）				
社会・文化・ 環境面	女性、貧困層、社会的弱者、伝統的組織への配慮不足により、持続的効果を妨げる可能性はないか？	<ul style="list-style-type: none"> ・対象コミュニティと対象外コミュニティとの経済格差 ・民族の違いからくる問題 	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	確認事項なし。
	環境への配慮不足により持続的効果を下げることがないか？	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌への長期的な影響 ・農地確保のための土地利用への影響（森林伐採など） 	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	確認事項なし。逆に、家畜の糞や籾殻などを利用する有機肥料生産は農家の環境改善につながっている。

評価項目：軌道修正の必要性

評価設問		必要なデータ	情報源	調査結果
大項目	小項目			
調査結果を受けての検討事項	プロジェクトデザインの見直しの必要性は生じているか	・実施機関の方向性 ・ロジックの齟齬 ・実現可能性（特に加工・販売）	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	・第1回JCC（2011年6月）では、PDMの説明（確認）、パイロットサイトの決定、各郡POの承認が行われた。この中の議論でベトナム側からは、PDMに関連してプロジェクトの対象作物として米・トウモロコシ・大豆だけでなく野菜栽培や家畜に対する支援が要望されている。また、米・トウモロコシ・大豆以外で収量の高い作物や高く売れる作物についても調査して欲しいとの要望があった。 ・2012年1、2月のPMU全体会議で、PDMの見直しや指標の設定を目指したプロジェクトの今後についての検討を試みたところ、プロジェクトの目指す方向性など抽象的で判り難い、とのベ国側からの反応であった。 ・上記の議論と今回の調査結果を踏まえて、特に指標について改訂する必要があるとの結論に至った。
	プロジェクトのC/P、T/G、対象地域を修正する必要があるか	・DARDの方向性、郡の実施能力確認 ・T/Gの対象者、人数再確認 ・対象地域を狭めるか？検討	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	・現行PDMにおいて、本プロジェクトの目標は郡の行政機関を中核とした体制整備による農村開発となっているが、活動計画には農家、普及員自らの力で問題点を洗い出し、その改善計画を作成実行させることとなっている。プロジェクトとしてはそれに必要な訓練（研修）を行ない、その活動をもとにマニュアル等を作成して、他のコミュニティにも普及させていくこととしている。PDMではパイロットコミュニティとその他のコミュニティとの書き分けを行っているが、普及活動を含めるとすべてのコミュニティがターゲットグループになるとプロジェクトでは考えている ・ベトナムの普及システムにおいては農業振興センターや植防センター職員、コミュニティレベルの普及員様々なアクターが存在し、また普及員は農業以外の技術の普及も行っていることから、特定のプロジェクトで特定のターゲットを設定することは困難。それよりも、こうしたアクターの連携強化のほうが重要である。 ・上記議論の結果、ターゲットグループは文章を簡素化するに留めることとなった。
	上位目標の内容を軌道修正する必要があるか？	・プロ目との論理性、現実性からの適切性確認	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	変更なし
	上位目標の指標を軌道修正する必要があるか？	プロ目との論理性、現実性、入手可能性確認	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	・行動計画を活用する主体者と活用先を明確化した。 ・本件は農業案件であることから、事後評価の時期を2020年と若干長めの設定とした。
	上位目標の横に外部条件を継続して設置する必要があるか？	3つの外部条件の必要性協議結果	農業・農村開発法 日本人専門家、プロジェクト関係者	【現行PDM】 ①北西部の社会・経済状況が大幅に変化しない ②農産物の価格が暴落しない ③病虫害、洪水、干ばつなど農業生産に影響のある異常気象が起きない 当該条件より以前に外部条件として設置され、また、スーパーゴールが設定されていないため削除する。
	プロジェクト目標を軌道修正する必要があるか？	特に、加工・流通部分に関する現地調査結果	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	・プロジェクト側との協議で、現行のプロ目の文言でもプロジェクトの方向性は読み取ることが出来ると判断され、変更しない結論に至った。
	プロジェクト目標の指標を軌道修正する必要があるか？	現地調査結果	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	①パイロット郡からパイロット集落に変更し、プロジェクト目標の発現場所を明確にした。 ②個々の成果が発現され、農村開発が促進された状況を、農業粗利益や生産量などの個別指標では測れないため、営農状態という統合的指標に置き換えた。また、パイロット集落の3郡の営農状況に差異をつけることとする。
	アウトプットの内容を軌道修正する必要があるか？	表現、構成、活動との因果関係等適切性に関する協議結果	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	変更なし

評価項目：軌道修正の必要性

調査結果を受けての検討事項	アウトプットの指標を軌道修正する必要があるか？	各アウトプットの達成状況から、目標値の修正の必要性に関する協議結果	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	<ul style="list-style-type: none"> 1-1は改善されたと捉える問題点の割合、1-2、1-3は改善される手法の内容について具体的に明記。1-4は使用から理解、60%という具体的かつ実現可能な目標値を設定。2-1~2-2は組織強化の目標と個別農家の水管理の改善へ目標を段階的に設置、2-3で対象者を明確化し、使用から理解に留めた。3-1は対象をパイロットコミュニティに限定し、3-2は評価対象を新たに設置、3-3は具体的な数値目標と対象者を明確化した。 1-1各パイロット集落において、改善計画で指摘された問題点のうち60%以上が改善される。 1-2各パイロット集落において、肥料にかかる知識習得により施肥の手法が改善される。 1-3各パイロット集落において、種子にかかる知識習得により優良種子の生産手法、播種技術が改善される。 1-4パイロット郡内全47コミュニティの60%以上の指導者がガイドライン/マニュアルの内容について理解を示す。 2-1パイロット集落で策定された改善計画に示された活動のうち60%以上が実施される。 2-2パイロット集落の60%以上の農家の水管理が改善される。 2-3パイロット郡内CPC水利担当者及び灌漑管理公社の技術者の60%以上にガイドライン/マニュアルが理解される。 3-1PCの農業普及員・集落長等のうち、研修に参加した、60%以上の研修員が普及方法を習得する。 3-2研修実施機関(植防支局、農業振興センター等)において、研修手法が改善されたと評価する。 3-3地方政府(省、郡、コミュニティ)及び関連組織等からのプロジェクト成果FBセミナー参加者の60%以上がプロジェクトの成果を理解する。
	アウトプットの内容・指標変更に伴い、活動の追加・削除する必要があるか？	<ul style="list-style-type: none"> これまでの進捗に伴う活動への影響の反映 協議結果 	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	<ul style="list-style-type: none"> 1-5のポストハーベストに販売を含め簡素化した 1-6、2-4文章を簡素化し、ガイドライン/マニュアルの配布まで含めた 1-7、2-5は他のコミュニティでのOJT活動まではプロジェクトの成果には関連しないため削除 2-6プロジェクト目標が農村開発であるため、それに資するインフラという表記に変更し、PDM上の位置づけを明確化 3-2関連組織の表記を明確化
	活動の追加・削除に伴い、投入内容を再度見直す必要があるか？	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト関係者意見 日本側支援機関意見 	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者 JICAベトナム事務所	変更なし
評価プロセスを外部と共有する新たな影響	事前評価時に指摘された問題点、課題、リスクに対するプロジェクトによる対応	<ul style="list-style-type: none"> SPL6との連携状況 類似技プロとの連携状況 	詳細計画策定調査報告書 運営指導調査報告書 日本人専門家、プロジェクト関係者 JICAベトナム事務所	<ul style="list-style-type: none"> ①貧困地域小規模インフラ整備事業(SPL6)(円借款事業)との連携が進んでいるか SPL6の進捗が遅れ、加工工場設立がキャンセルされたこともあり、連携は進んでいない ②農業生産性向上のための参加型水管理推進計画プロジェクト(技プロ)の支援手法は本案件で活かされているか PLM研修を実施し参加型水管理手法について本プロジェクトT/Gに紹介。
今後の留意点	DARD・JCC・プロジェクト等に対する提言	協議結果	プロジェクト資料 日本人専門家、プロジェクト関係者	<ul style="list-style-type: none"> PDMの変更 WUGの速やかな設置 農民同志の意見交換による理解促進 ベトナム人材の補完的活用(特にポストハーベスト、販売)による効果効率的なプロジェクト運営

7. 面談者リスト

Mr.Trinh Quoc Cuong	DARD 栽培部部長/NORRD プロジェクトマネジャー
MrTranVan Phuong	DARD 主任/農業
Mr.Nguyen Dinh Dung	DARD 主任/庶務
Ms.Duong Thuy Huong	DARD 会計/会計
Ms. Phan Thi Hoa	農業振興センターから DARD に出向
Ms. Vu Thi Yen	水利支局から DARD に出向中
MrPham Van Bach	Dien Bien DPC 副委員長
Mr. Dang Thi Hong	Dien Bien 郡 農産振興ステーションディレクター/業務調整
Mr.Pham Ngoc Thinh	Dien Bien 郡 農業振興ステーション副幹部/水利
Ms.Nguyen Thi Van Anh	Dien Bien 郡 農業振興ステーションディレクター/農業
Mr. Tran Cong Ngur	Dien Bien 郡 Noong Het 村 CPC 副委員長
Mr. Nguyen Ngoc Ngan	Dien Bien 郡 Thanh Hung 村 CPC 委員長
Mr. Phan Tien Than	Dien Bien 郡 コミューン普及員
Mr.Vu Van Duc	Tuan Giao 郡 DPC 副議長/ディレクター
Mr. Vu Thi Van	Tuan Giao 郡 植物防疫ステーションディレクター/農業
MsHoan Thi Hong	Tuan Giao 郡 植物防疫ステーションスタッフ/農業
Mr. Lo Van Tam	Tuan Giao 郡 Quai Cang 村 CPC 副委員長
Mr. Van	Tuan Giao 郡 CPC 副委員長
Mr. Thang	Tuan Giao 郡 区長/パイロット農家
Mr. Lo Van Sim	Tuan Giao 郡 植防センター職員
Ms. Thiep	Tuan Giao 郡 パイロット農家
Ms. Xyuen	Tuan Giao 郡 パイロット農家
Ms. Ly	Tuan Giao 郡 研修参加農家
Ms. Binh	Tuan Giao 郡 研修参加農家
Mr. La	Tuan Giao 郡 研修参加農家
Ms. Hoa	Tuan Giao 郡 研修参加農家
Mr. Dao Trong Hai	Muong Cha 郡 DPC 農業&農村開発部/業務調整
Mr. Vu Thi Nhung	Muong Cha 郡 DPC 農業&農村開発部/水利
Mr. Tran Duc Doi	Muong Cha 郡 農業振興ステーション所属農業普及員/農業
Mr. Lu Van Van	Muong Cha 郡 CPC Muong Tung 村

Mr. Han A Nanh	Muong Cha 郡 CPC MaThi Ho 村
瀬田 文治	JICA チーフアドバイザー
藤田 覚	JICA プロジェクト専門家
緒方 治子	JICA プロジェクト業務調整員
白石 正明	JICA 専門家 (コンサルタント)

8. 現地収集資料リスト

現地調査期間中、収集した資料は以下のとおり。

【プロジェクト提供】

1. List of the Water Users Group, Muong Tung Commune, Muong Cha District
2. Dien Bien 省においての各灌漑施設の利用・管理・補修するための水利組合の設立・体制強化・発展に関する案内書 (Dien Bien Phu, 2010 年 9 月 27 日、Dien Bien 人民委員会 農業農村開発、番号：951/HD-SNN-TL)
3. 課題確認と冬作の栽培活動について (各パイロットコミュニオン)、2012 年 12 月 8、11、12、13、17 日)
4. 本邦研修 (農民参加型灌漑管理についての研修/対話) 成果品例
作成者：Mr. Mai The Su, ディエンビエン省農業農村開発局水利支局副支局長)
 - 1) アクションプラン (2012 年 7 月)
 - 2) 報告書 (J12 -04107、2012 年 11 月)
5. Progress Report (2013 年 3 月 15 日)
6. プロジェクト実績表
7. 今後の方針案説明資料 (C/P 能力開発関係、水資源配分と灌漑関連)
8. 北西部山岳地域農村開発プロジェクトのプロジェクト管理委員会 (PMU) メンバーリスト

【DARD 提供】

1. Some indicators of agricultural productions of rice, corn, soybeans for three years (2010, 2011, 2012, DARD)

【その他】

1. パンフレット
(Title: Committee of the Ethnic Minorities, Project on Development of infrastructural facilities in the most difficult communes, national-border communes, safe-zone communes and extremely difficult villages under the National Program on Sustainable Poverty Reduction 2012-20159)

